

第5期豊橋市  
地域福祉計画市民意識調査

令和7年2月  
愛知県 豊橋市



# 目次

I	調査の概要	5
1	調査の目的	5
2	調査対象者と調査件数	5
3	調査期間	5
4	調査結果の表示方法	6
II	調査のまとめ	7
1	市民	7
2	自治会・民生委員児童委員	10
3	福祉・子ども関係事業所	12
III	調査結果	14
1	市民	14
(1)	回答者について	14
(2)	「地域」について	27
(3)	ご近所での助け合いについて	28
(4)	町内や小中学校区での活動について	36
(5)	災害に対する備え等について	52
(6)	判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利を擁護する「成年後見制度」のことについて	56
(7)	住民が安全で安心して暮らせるよう再犯の防止等について	64
(8)	ボランティア（個人）活動やNPO（市民活動団体など民間非営利団体）活動について	69
(9)	地域の福祉環境について	86
(10)	豊橋市社会福祉協議会のことについて	131
(11)	自由回答	135
2	自治会・民生委員児童委員	138
(1)	回答者自身のことについて	138
(2)	あなたの地域について	143
(3)	地域での活動について	223
(4)	避難行動要支援者支援事業について	226
(5)	「成年後見制度」について	231
(6)	再犯の防止等について	241
(7)	自由回答	243

3 福祉・子ども関係事業所.....	247
(1) 事業所について.....	247
(2) 事業所の利用者について.....	251
(3) 地域の諸団体や関係機関との交流・連携について.....	261
(4) 今後の行政等による地域福祉施策について.....	269
(5) 自由回答.....	277

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

社会福祉法第 107 条に基づく第 4 期豊橋市地域福祉計画の期間満了に向け、第 5 期計画の策定作業を令和 6 年度から令和 7 年度にかけて行います。作業を進めるうえで必要となる、地域福祉ニーズ等の把握や第 4 期計画の課題整理等の基礎資料とするため、市民等を対象とするアンケート調査を実施したものです。

## 2 調査対象者と調査件数

調査対象者と調査件数は、下記のとおりです。

	①市民向け	②自治会長向け	③民生委員 児童委員向け	④福祉・子ども関係 事業所向け※
配布数	1,400件	434件	552件	627件
抽出方法	満18歳以上の市民 から小学校区の 人口を考慮し、 無作為に抽出	全自治会長	全民生委員・ 児童委員	市内に登録の ある事業所
調査手法	郵送及び インターネット	郵送	郵送	郵送及び インターネット
回収数	479件	347件	544件	376件
回収率	34.2%	80.0%	98.6%	60.0%

※内訳

対象：障害者関係事業所 271 事業所

高齢者関係事業所 272 事業所

認定こども園、保育園、幼稚園 84 事業所

## 3 調査期間

令和 6 年 8 月～令和 6 年 10 月

## 4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

## Ⅱ 調査のまとめ

### 1 市民

#### (1) 回答者について

性別（問1）は、「女性」の割合が62.2%、「男性」の割合が37.6%となっており、世帯構成（問4）は「親と子の世帯（自分（夫婦）と子）」の割合が32.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」の割合が25.3%となっています。

「全ての人に関心を持って、お互いに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現」について第4期豊橋市地域福祉計画開始以前（令和元年度）と比べた場合の実感（問7）は、「実現には遠い」と感じている人は20.3%います。

関心がある分野（問8）については、「災害時の助け合い」が54.7%と最も高くなっており、令和元年度調査と比較すると、9.1ポイント増加しています。

#### (2) 「地域」について

「地域での支え合い」で地域として考える範囲（問10）について、「町自治会」の割合が39.0%と最も高く、次いで「となり近所（5～10世帯程度の身近な集まり）」の割合が28.2%、「小学校区」の割合が16.9%となっています。

#### (3) ご近所での助け合いについて

近所付き合いの程度（問11）について、「近所付き合いはほとんどしていない」と回答した人は全体の15.4%となっています。年代別では20歳代で34.6%の人が、世帯構成別ではひとり暮らしで37.3%の人が「近所づきあいはほとんどしていない」と回答しています。

あまり近所付き合いをしていない理由（問11-2）については、「仕事などで家にいないことが多いから」の割合が51.3%と最も高く、次いで「近所の人と知り合う機会が少ないから」の割合が34.7%となっています。令和元年度調査と比較すると、「仕事などで家にいないことが多いから」は9.2ポイント、「近所の人と知り合う機会が少ないから」は7.4ポイント減少しています。

#### (4) 町内や小中学校区での活動について

町内や小中学校区などでの活動や行事への参加頻度（問15）について、「あまり参加しない・参加したことがない」と回答した割合は高く、『C. 会議、会合』で61.0%、『E. 生涯学習センターや校区市民館の行事』で78.9%、『F. 高齢者、障害者、子どもの見守りなど』で83.1%、『G. 校区防災訓練』で68.1%、『H. 子ども会』で72.9%と6割を超えています。

また、参加したことがない、又は参加しにくい要因（問15-2）は、「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が35.8%と最も高くなっています。令和元年度調査と比較すると、「活動があること自体を知らない」の割合が7.5ポイント増加しています。また、年代別にみると、20歳代で「活動があること自体を知らない」の割合が57.7%と高くなっています。

## (5) 災害に対する備え等について

「福祉避難所」を知っている人（問 19）は、全体では 1 割程度ですが、70 歳代では 2 割程度となっています。

「災害ボランティアセンター」や「災害ボランティアコーディネーター」の認知度（問 20）について、「両方とも知っている」は 6.5%、「災害ボランティアセンター」は知っている」は 7.9%、「災害ボランティアコーディネーター」は知っている」は 0.8%と低い割合となっています。また、「災害ボランティアコーディネーター」として活動したいと思うか（問 20-2）について、「興味があるが活動する余裕がない」の割合が 51.4%、「思わない」の割合が 14.3%、「思う」が 8.6%となっています。

## (6) 判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利を擁護する「成年後見制度」 のことについて

成年後見制度に持っている印象（問 21-2）は、「制度を利用することで、本人の権利擁護に繋がると考えている」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「成年後見人によって横領などの不正が行われな  
いか不安」の割合が 27.8%、「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の割合が 25.7%とな  
っています。令和元年度調査と比較すると、「成年後見人によって横領などの不正が行われな  
いか不安」は 16.9 ポイント減少しています。

市民後見人の考え（問 21-4）について、「自分はなる気はないが、市民後見人という仕組みは応援  
したい」の割合が 52.7%と最も高くなっています。「自分自身はなる気はないし、関心もない」は 30.8%  
となっており、令和元年度調査から 7.8 ポイント増加しています。

## (7) 住民が安全で安心して暮らせるよう再犯の防止等について

地域の中で再犯防止活動等を行っている団体や施設の認知度（問 22）について、「知らない」の割合  
が『A. 保護司会』で 52.0%、『B. 更生保護女性会』で 63.7%、『C. 協力雇用主会』で 86.8%、『D.  
BBS 会』で 93.1%、『E. 更生保護施設「智光寮」』で 85.6%となっています。

犯罪をした者等が、自立した社会の構成員として安定した生活を送るために必要だと考えるもの（問  
23）は、「安定した就労先」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「支援者によるサポート」の割合が  
25.5%となっています。

## (8) ボランティア（個人）活動やNPO（市民活動団体など民間非営利団体） 活動について

今後、ボランティア活動やNPO活動に参加してみたい（参加を続けたい）と思うか（問 25）につ  
いて、「参加したくない」の割合が 51.1%と最も高く、令和元年度調査から 6.8 ポイント増加していま  
す。職業別にみると、家事専業（主婦・主夫）、無職で「参加したくない」の割合が高くなっています。

参加したくない理由（問 25-4）は、「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が 40.4%  
と最も高く、次いで「健康などに不安がある」の割合が 35.5%、「活動内容がよくわからない、よく知  
らない」の割合が 28.2%となっています。令和元年度調査と比較すると、「人と関わりをあまり持ちた  
くない」が 9.6 ポイント増加しています。また、年代別にみると、30 歳代で「仕事や家事、育児が忙  
しくて時間がとれない」の割合が、40 歳代で「人と関わりをあまり持ちたくない」の割合が高くなっ  
ています。

ボランティア・NPO活動の情報入手先（問 26）は、「インターネットや SNS で情報を得る」の割合

が 61.5%と最も高く、次いで「市役所に相談する」、「家族・友人・知人に相談する」の割合が 19.7%となっています。

## (9) 地域の福祉環境について

相談支援体制が足りないと思う割合（問 28）は 15.0%となっており、足りないと思うこと（問 28-2）は、「どこに相談したらよいかわからない」の割合が 58.3%、「気軽に相談できる場所や人が身近にいない」の割合が 52.8%となっています。年代別にみると、40 歳代で「気軽に相談できる場所や人が身近にいない」の割合が 81.8%と高くなっています。

悩みや不安の相談先（問 29-2）について、「家族・親族」の割合が 74.5%と最も高くなっています。一方、「相談相手はいない」の割合は 4.8%、「相談はしない」の割合は 10.0%となっています。

相談員（CSW）についての考え（問 32）は、「市役所や企業・個人の地域活動、福祉の専門機関などとの橋渡し役になってほしい」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「住民が地域活動に参加したくなるような環境づくりの支援をしてほしい」の割合が 34.4%となっています。

お互いに助け合う福祉を進めるために、行政が取り組むべきこと（問 33）は、「地域福祉の重要性を PR する」の割合が 26.5%と最も高くなっています。年代別にみると、20 歳代で「地域福祉の重要性を PR する」の割合が 46.2%と高くなっています。

## (10) 豊橋市社会福祉協議会のことについて

豊橋市社会福祉協議会（問 35）について、「名前も活動内容もよく知らない」と回答した人は全体では 36.7%となっています。年代別にみると、20 歳代では 61.5%と高くなっています。

今後、社会福祉協議会に期待すること（問 37）は、「福祉に関する情報の発信」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「地域福祉活動や住民参加・交流を支援すること」の割合が 26.9%、「地域と連携した高齢者の支援や見守りに関すること」の割合が 25.0%となっています。令和元年度調査と比較すると、「地域福祉活動や住民参加・交流を支援すること」が 9.9 ポイント、「福祉教育に関すること」が 9 ポイント増加しています。一方、「地域と連携した高齢者の支援や見守りに関すること」が 33.5 ポイント、「地域と連携した障害者の支援や見守りに関すること」が 12.5 ポイント減少しています。

## 2 自治会・民生委員児童委員

### (1) 回答者自身のことについて

自治会長の経験年数（自治会：問4）について、「1年未満」の割合が43.5%と最も高く、次いで「1年～4年」の割合が31.7%、「5年～9年」の割合が17.3%となっています。

民生委員児童委員の経験年数（期数）（民生委員児童委員：問4）について、「1～3期」の割合が43.6%と最も高く、次いで「1期末満」の割合が38.4%、「4～6期」の割合が12.1%となっています。

### (2) あなたの地域について

地域福祉活動に関わる人（自治会：問5、民生委員児童委員：問5）について、「少ない」と回答した割合は、自治会で51.3%、民生委員児童委員で45.8%となっています。

地域福祉への関心度（自治会：問5、民生委員児童委員：問5）について、「低い」と回答した割合は、自治会で44.1%、民生委員児童委員で45.2%となっています。経験年数別にみると、自治会の10年以上で「高い」の割合が高くなっています。

地域の支え合いを推進するために必要だと考えること（自治会：問8、民生委員児童委員：問8）は、自治会・民生委員児童委員ともに、「活動の担い手となる人材育成」（自治会：60.2%、民生委員児童委員：49.3%）が最も高くなっています。

他の組織団体と地域の支え合い活動を推進するために連携するうえで困っていること（自治会：問9、民生委員児童委員：問16）は、自治会・民生委員児童委員ともに、「個人情報保護のため、どこまで情報共有してよいかわからない」（自治会：46.7%、民生委員児童委員：53.5%）が最も高くなっています。令和元年度調査と比較すると、自治会は、「自分が多忙で連携まで手が回らない」が7.3ポイント、民生委員児童委員は、「組織団体の人と出会う機会がない」が6.2ポイント減少しています。

相談員（CSW）に最も期待すること（自治会：問10-2、民生委員児童委員：問9-2）について、自治会・民生委員児童委員ともに、「市役所や社会福祉協議会・福祉サービス事業所などの橋渡し役」（自治会：52.7%、民生委員児童委員：57.4%）が最も高くなっています。

地域福祉活動を推進していくうえで行政に期待すること（自治会：問12、民生委員児童委員：問11）について、自治会は、「活動資金の援助」の割合が39.2%と最も高く、次いで「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が38.3%となっています。民生委員児童委員は、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が37.1%と最も高くなっています。

地域福祉活動を推進していくうえで社会福祉協議会に期待すること（自治会：問13、民生委員児童委員：問12）について、自治会は「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が38.0%と最も高く、次いで「活動資金の援助」の割合が33.7%となっています。民生委員児童委員は、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が39.0%と最も高くなっています。

### (3) 地域での活動について

現在、民生委員児童委員として地域福祉活動をしている中で困っていること（民生委員児童委員：問13）は、「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑うことがある」の割合が72.4%と最も高くなっています。令和元年度調査と比較すると、「地域の付き合いが薄くなっている」が11ポイント増加しています。

#### (4) 避難行動要支援者支援事業について

避難行動要支援者支援事業を行ううえでの困りごと（自治会：問 14-2、民生委員児童委員：問 17-2）は、自治会・民生委員児童委員ともに、「台帳を活用した具体的な取り組み方法が分からない」（自治会：36.6%、民生委員児童委員：35.8%）が最も高くなっています。令和元年度調査と比較すると、自治会で「活動の担い手が不足しており、対応ができない」が 6.6 ポイント、民生委員児童委員で「制度についてよく分からない」が 6.7 ポイント増加しています。

#### (5) 「成年後見制度」について

身の回りに成年後見制度が必要と思われる方がいるか（自治会：問 16、民生委員児童委員：問 19）については、「いる」が自治会で 19.2%、民生委員児童委員で 11.4%となっており、令和元年度調査と比較すると、自治会で「いる」の割合が増加しています。

#### (6) 再犯の防止等について

地域の中で再犯防止活動等を行っている団体や施設の認知度（自治会：問 17、民生委員児童委員：問 20）について、自治会・民生委員児童委員ともに、「知らない」の割合が『C. 協力雇用主会』（自治会：78.4%、民生委員児童委員：78.3%）と『D. BBS 会』（自治会：85.3%、民生委員児童委員：84.4%）と『E. 更生保護施設「智光寮」』（自治会：64.3%、民生委員児童委員：64.5%）で高くなっています。

犯罪をした者等が、自立した社会の構成員として安定した生活を送るために必要だと考えるもの（自治会：問 18、民生委員児童委員：問 21）は、自治会・民生委員児童委員ともに、「安定した就労先」（自治会：50.1%、民生委員：50.7%）が最も高く、次いで「支援者によるサポート」（自治会：21.0%、民生委員：23.5%）となっています。

### 3 福祉・子ども関係事業所

#### (1) 事業所について

本市での活動歴（問1）は、「20年以上」の割合が28.2%と最も高く、次いで「0～4年」の割合が22.6%となっています。

事業分野（問4）については、「障害福祉サービス事業所」の割合が45.2%と最も高くなっており、令和元年度調査より9.1ポイント増加しています。活動歴別にみると、0～4年で「障害福祉サービス事業所」が75.3%と高くなっています。

#### (2) 事業所の利用者について

利用者の方々が困っている、または不安を抱えていると感じること（問6）について、「健康に関すること」の割合が56.6%と最も高く、次いで「将来のこと」の割合が51.3%、「収入や家計に関すること」の割合が44.1%となっています。令和元年度調査と比較すると、「災害に関すること」が12.3ポイント増加しています。事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「子ども・子育てに関すること」が94.1%、障害福祉サービス事業所で「将来のこと」が78.8%と高くなっています。

成年後見制度を利用しやすくするために重要だと思う取組み（問9）について、「相談しやすい相談窓口の運営」の割合が31.6%と最も高く、次いで「申し立て手続きの簡素化と迅速化」の割合が10.4%となっています。

成年後見制度における「市長申立」の印象（問10）は、「親族との関わりがないケースを支援できる」の割合が23.4%と最も高く、次いで「市長申立制度があることを知らなかった」の割合が21.0%となっています。

成年後見制度による支援に期待すること（問11）は、「本人の意思の丁寧なくみとり」の割合が25.0%と最も高く、次いで「様々な手続きの代理」の割合が20.5%となっています。

#### (3) 地域の諸団体や関係機関との交流・連携について

普段から交流・連携している地域の諸団体や関係機関（問12）は、「市役所」の割合が60.4%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が58.5%、「福祉サービス事業所」の割合が52.1%となっています。令和元年度調査と比較すると、「障害者相談支援事業所」が8.8ポイント増加しています。一方、「ボランティア団体」が20.1ポイント減少しています。事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」が82.4%と高くなっています。

地域の諸団体や関係機関と交流・連携する際の課題（問14）について、「地域の諸団体等の人と出会う機会がない」の割合が57.4%と最も高く、次いで「職員の負担が大きく連携まで手が回らない」の割合が56.1%となっています。令和元年度調査と比較すると、「地域の諸団体等の人と出会う機会がない」が17.9ポイント増加しています。

#### (4) 今後の行政等による地域福祉施策について

地域福祉活動を推進していくうえで、行政に期待すること（問 17）は、「活動資金の援助」の割合が全体で 34.6%と最も高くなっています。

地域福祉活動を推進していくうえで、社会福祉協議会に期待すること（問 20）は、「住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が 38.0%と最も高くなっており、令和元年度調査より 20.8 ポイント増加しています。事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が 54.9%と高くなっています。

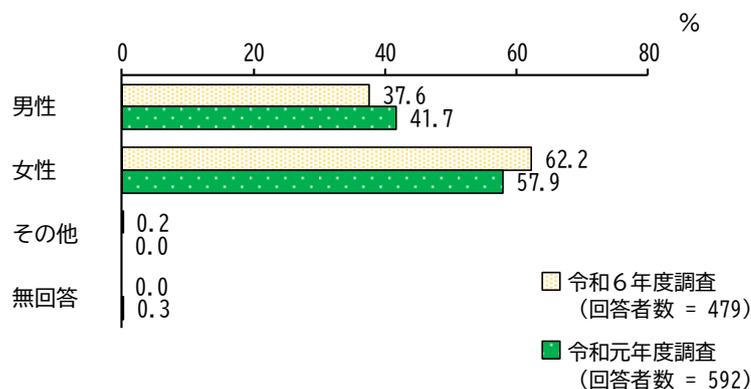
### Ⅲ 調査結果

#### 1 市民

##### (1) 回答者について

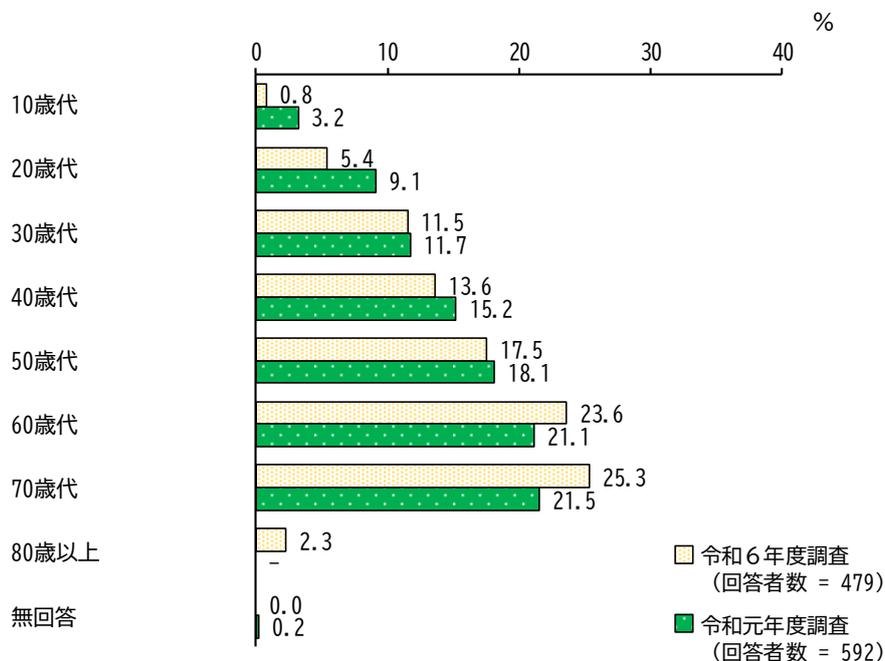
###### 問1 性別を教えてください。【1つに○印】

「男性」の割合が37.6%、「女性」の割合が62.2%となっています。



###### 問2 年齢について教えてください。【1つに○印】

「70歳代」の割合が25.3%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が23.6%、「50歳代」の割合が17.5%となっています。

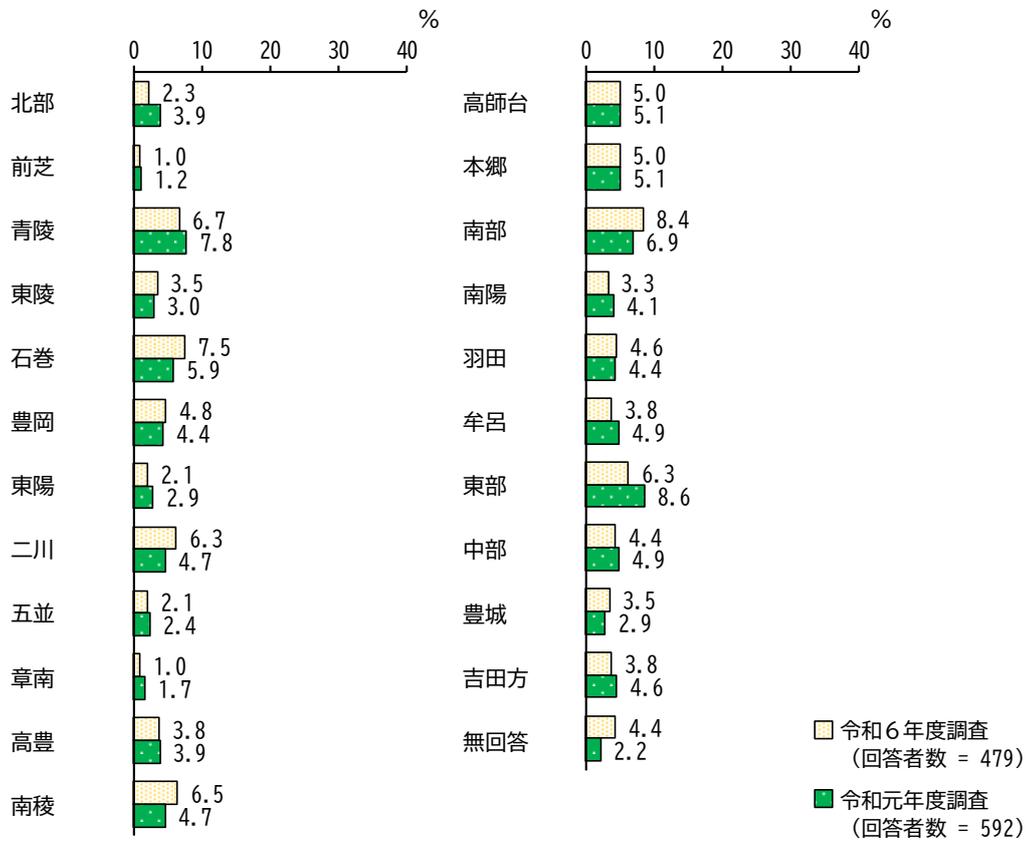


※前回調査では、「80歳以上」の選択肢はありませんでした。

### 問3 お住まいの小学校区をご記入ください。

#### 中学校区

「南部」の割合が8.4%と最も高くなっています。

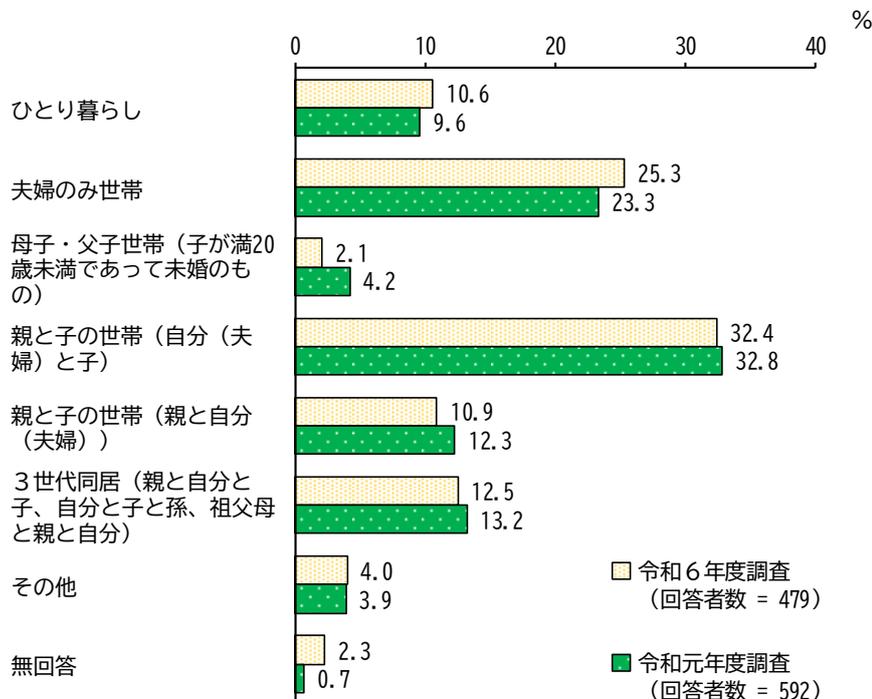


※前回比較のため「中学校区」で集計しています。

#### 問4 世帯構成を教えてください。【1つに○印】

「親と子の世帯（自分（夫婦）と子）」の割合が32.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」の割合が25.3%、「3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）」の割合が12.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

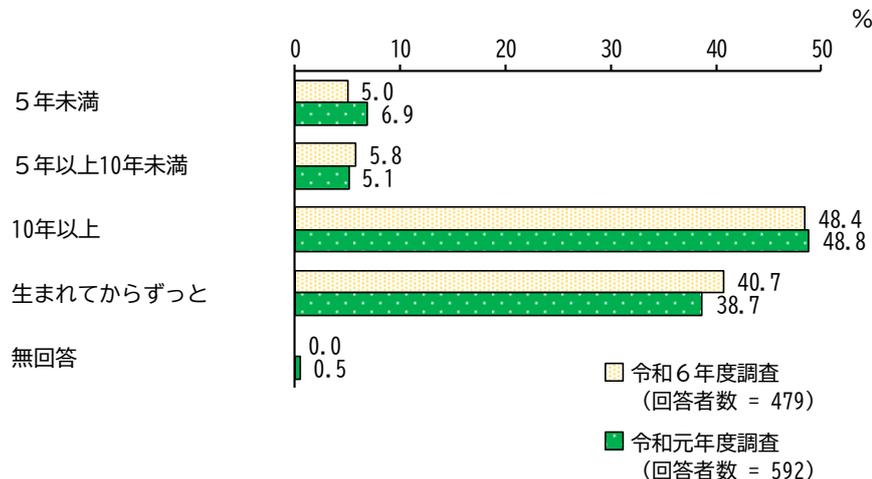


※前回調査では、「母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）」の選択肢が、「母子世帯」、「父子世帯」になっていました。

#### 問5 豊橋市内にお住まいの年数を教えてください。【1つに○印】

「10年以上」の割合が48.4%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が40.7%となっています。

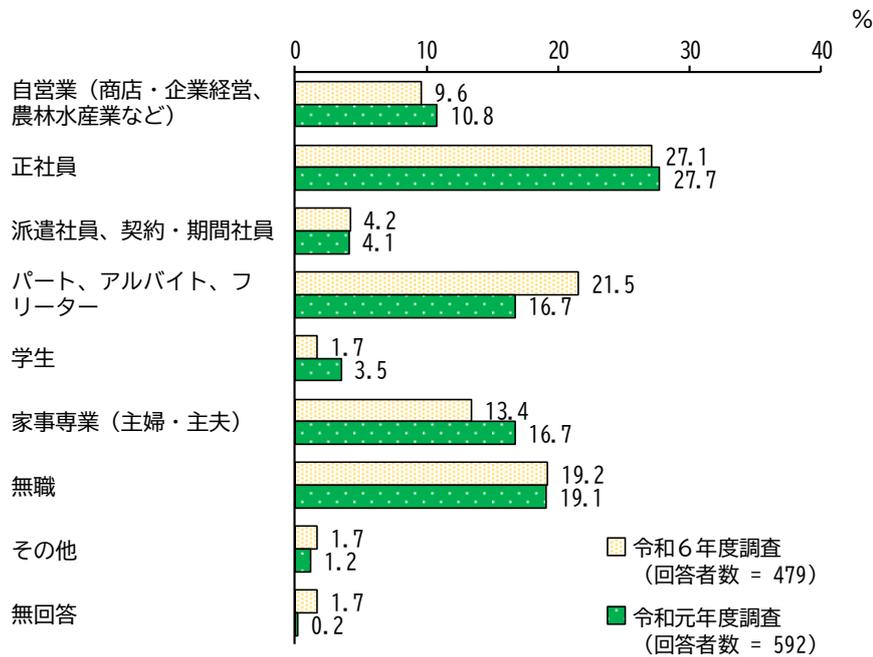
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 現在の主な職業を教えてください。【1つに○印】

「正社員」の割合が27.1%と最も高く、次いで「パート、アルバイト、フリーター」の割合が21.5%、「無職」の割合が19.2%となっています。

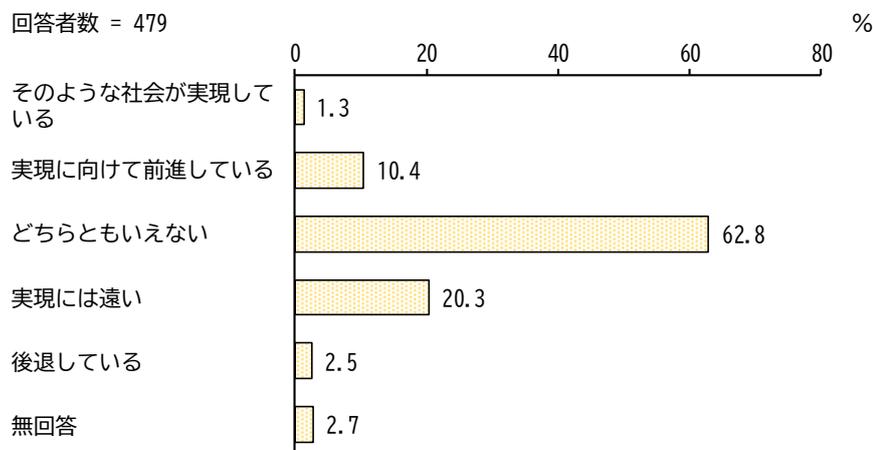
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【新規】

問7 第4期豊橋市地域福祉計画では、「全ての人に関心を持って、お互いに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現」を目指しています。計画開始以前 (令和元年度) と比べた場合、あなたの実感に最も近いものを教えてください。【1つに○印】

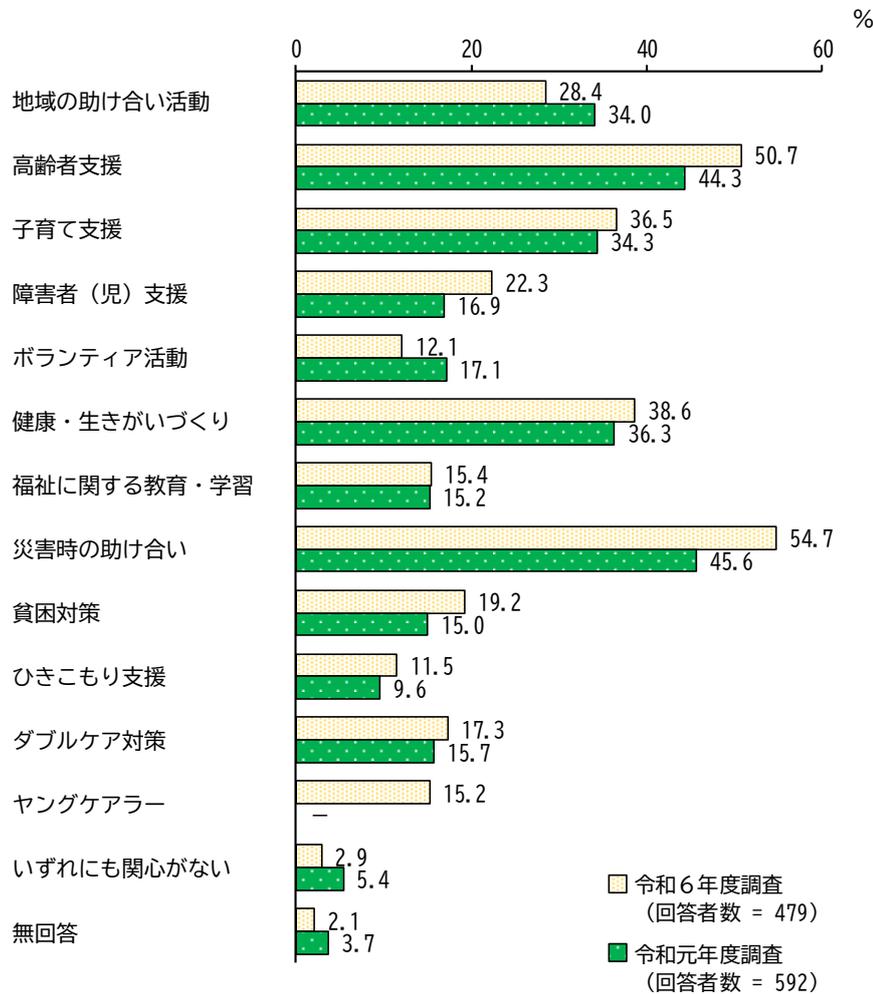
「どちらともいえない」の割合が62.8%と最も高く、次いで「実現には遠い」の割合が20.3%、「実現に向けて前進している」の割合が10.4%となっています。



問8 次の項目について関心があるのはどの分野か教えてください。  
【あてはまるものすべてに○印】

「災害時の助け合い」の割合が54.7%と最も高く、次いで「高齢者支援」の割合が50.7%、「健康・生きがいづくり」の割合が38.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「高齢者支援」、「障害者（児）支援」、「災害時の助け合い」の割合が増加しています。一方、「地域の助け合い活動」、「ボランティア活動」の割合が減少しています。



※前回調査では、「ヤングケアラー」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、30歳代で「子育て支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域の助け合い活動	高齢者支援	子育て支援	障害者(児)支援	ボランティア活動	健康・生きがいづくり	福祉に関する教育・学習	災害時の助け合い	貧困対策	ひきこもり支援	ダブルケア対策	ヤングケアラー	いずれにも関心がない	無回答
全体	479	28.4	50.7	36.5	22.3	12.1	38.6	15.4	54.7	19.2	11.5	17.3	15.2	2.9	2.1
10歳代	4	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	—	75.0	—	—	—	—	25.0	—
20歳代	26	26.9	7.7	69.2	7.7	7.7	30.8	11.5	50.0	23.1	7.7	23.1	7.7	3.8	—
30歳代	55	14.5	27.3	74.5	20.0	10.9	27.3	18.2	60.0	20.0	20.0	27.3	23.6	—	—
40歳代	65	18.5	49.2	56.9	29.2	12.3	24.6	23.1	46.2	26.2	18.5	27.7	24.6	4.6	—
50歳代	84	28.6	56.0	28.6	20.2	14.3	34.5	9.5	48.8	23.8	8.3	25.0	17.9	1.2	2.4
60歳代	113	27.4	57.5	23.0	22.1	10.6	45.1	14.2	57.5	17.7	10.6	9.7	11.5	0.9	2.7
70歳代	121	40.5	59.5	20.7	23.1	14.0	47.9	15.7	58.7	12.4	9.1	9.9	9.9	5.0	4.1
80歳以上	11	27.3	72.7	9.1	36.4	—	63.6	27.3	54.5	27.3	—	—	18.2	9.1	—

【居住年数別】

居住年数別にみると、5年未満で「子育て支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域の助け合い活動	高齢者支援	子育て支援	障害者(児)支援	ボランティア活動	健康・生きがいづくり	福祉に関する教育・学習	災害時の助け合い	貧困対策	ひきこもり支援	ダブルケア対策	ヤングケアラー	いずれにも関心がない	無回答
全体	479	28.4	50.7	36.5	22.3	12.1	38.6	15.4	54.7	19.2	11.5	17.3	15.2	2.9	2.1
5年未満	24	16.7	29.2	75.0	33.3	20.8	33.3	29.2	58.3	29.2	4.2	20.8	25.0	—	—
5年以上10年未満	28	28.6	42.9	71.4	21.4	10.7	39.3	14.3	57.1	10.7	21.4	32.1	10.7	—	—
10年以上	232	31.0	54.3	32.3	23.7	12.1	41.4	15.1	59.9	18.5	11.2	15.9	16.8	3.4	2.6
生まれてからずっと	195	26.7	50.3	31.8	19.5	11.3	35.9	14.4	47.7	20.0	11.3	16.4	12.8	3.1	2.1

問9 地域（家族・親戚以外）の子ども、高齢者、障害者との関わりについて教えてください。【それぞれ1つずつ〇印】

「よく話す人がいる」と「時々話す人がいる」を合わせた“話す人がいる”の割合が、『A. 子ども』で28.4%、『B. 高齢者』で59.1%、『C. 障害者』で11.9%となっています。

「ほとんど話さない」と「ほとんど会うことがない」を合わせた“話す人がいない”の割合が、『A. 子ども』で64.7%、『B. 高齢者』で37.8%、『C. 障害者』で80.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“話す人がいる”の『A. 子ども』が令和6年度調査で28.4%と、令和元年度調査と比べて8.6ポイント低くなっています



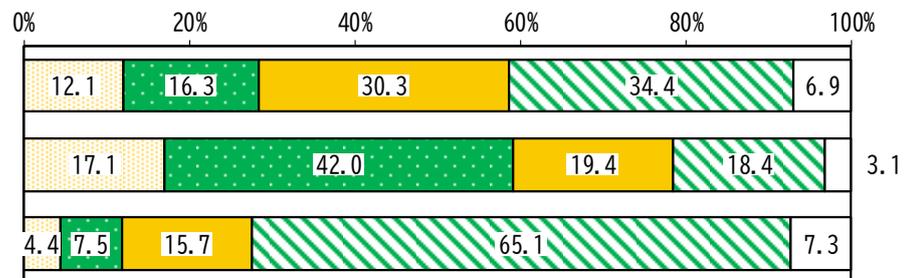
【令和6年度調査】

回答者数 = 479

A. 子ども

B. 高齢者

C. 障害者



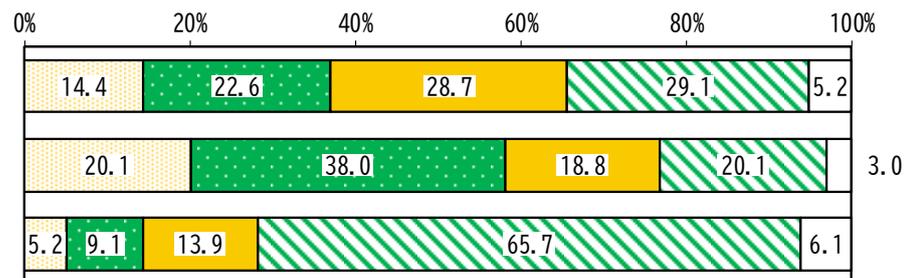
【令和元年度調査】

回答者数 = 592

A. 子ども

B. 高齢者

C. 障害者



## A. 子ども

### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「ほとんど会うことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく話す人がいる	時々話す人がいる	ほとんど話さない	ほとんど会うことがない	無回答
全 体	479	12.1	16.3	30.3	34.4	6.9
10歳代	4	—	25.0	75.0	—	—
20歳代	26	3.8	11.5	15.4	69.2	—
30歳代	55	23.6	14.5	23.6	38.2	—
40歳代	65	16.9	16.9	36.9	29.2	—
50歳代	84	9.5	15.5	29.8	40.5	4.8
60歳代	113	6.2	14.2	40.7	35.4	3.5
70歳代	121	12.4	20.7	22.3	25.6	19.0
80歳以上	11	27.3	9.1	27.3	18.2	18.2

【居住地区別】

居住地区別にみると、五並で「ほとんど会うことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく話す人がいる	時々話す人がいる	ほとんど話さない	ほとんど会うことがない	無回答
全 体	479	12.1	16.3	30.3	34.4	6.9
北部	11	9.1	27.3	45.5	18.2	—
前芝	5	20.0	—	20.0	40.0	20.0
青陵	32	9.4	15.6	34.4	40.6	—
東陵	17	11.8	11.8	47.1	23.5	5.9
石巻	36	30.6	8.3	25.0	27.8	8.3
豊岡	23	—	30.4	34.8	30.4	4.3
東陽	10	10.0	20.0	30.0	20.0	20.0
二川	30	10.0	30.0	16.7	36.7	6.7
五並	10	30.0	—	10.0	60.0	—
章南	5	40.0	—	40.0	20.0	—
高豊	18	—	16.7	22.2	55.6	5.6
南稜	31	6.5	16.1	38.7	32.3	6.5
高師台	24	16.7	20.8	25.0	25.0	12.5
本郷	24	16.7	16.7	29.2	29.2	8.3
南部	40	5.0	12.5	30.0	45.0	7.5
南陽	16	6.3	18.8	31.3	37.5	6.3
羽田	22	13.6	9.1	40.9	31.8	4.5
牟呂	18	27.8	11.1	44.4	16.7	—
東部	30	6.7	20.0	36.7	33.3	3.3
中部	21	9.5	23.8	19.0	38.1	9.5
豊城	17	5.9	17.6	35.3	41.2	—
吉田方	18	22.2	—	16.7	38.9	22.2

## B. 高齢者

### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「ほとんど会うことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく話す人がいる	時々話す人がいる	ほとんど話さない	ほとんど会うことがない	無回答
全 体	479	17.1	42.0	19.4	18.4	3.1
10歳代	4	25.0	50.0	—	25.0	—
20歳代	26	3.8	26.9	23.1	46.2	—
30歳代	55	12.7	34.5	27.3	25.5	—
40歳代	65	12.3	33.8	30.8	23.1	—
50歳代	84	16.7	44.0	11.9	26.2	1.2
60歳代	113	13.3	42.5	24.8	16.8	2.7
70歳代	121	26.4	48.8	11.6	4.1	9.1
80歳以上	11	36.4	63.6	—	—	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、東陽で「ほとんど会うことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく話す人がいる	時々話す人がいる	ほとんど話さない	ほとんど会うことがない	無回答
全 体	479	17.1	42.0	19.4	18.4	3.1
北部	11	—	54.5	36.4	9.1	—
前芝	5	—	60.0	—	20.0	20.0
青陵	32	21.9	46.9	12.5	18.8	—
東陵	17	17.6	29.4	29.4	17.6	5.9
石巻	36	25.0	44.4	13.9	13.9	2.8
豊岡	23	21.7	47.8	13.0	13.0	4.3
東陽	10	—	20.0	30.0	40.0	10.0
二川	30	26.7	33.3	10.0	30.0	—
五並	10	20.0	50.0	10.0	20.0	—
章南	5	20.0	20.0	20.0	40.0	—
高豊	18	16.7	44.4	11.1	22.2	5.6
南稜	31	19.4	45.2	16.1	16.1	3.2
高師台	24	16.7	54.2	12.5	16.7	—
本郷	24	25.0	33.3	20.8	16.7	4.2
南部	40	10.0	32.5	25.0	27.5	5.0
南陽	16	31.3	31.3	18.8	12.5	6.3
羽田	22	22.7	40.9	27.3	4.5	4.5
牟呂	18	5.6	55.6	38.9	—	—
東部	30	16.7	53.3	13.3	13.3	3.3
中部	21	9.5	52.4	19.0	19.0	—
豊城	17	11.8	47.1	23.5	17.6	—
吉田方	18	5.6	33.3	27.8	27.8	5.6

### C. 障害者

#### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「ほとんど会うことがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく話す人がいる	時々話す人がいる	ほとんど話さない	ほとんど会うことがない	無回答
全 体	479	4.4	7.5	15.7	65.1	7.3
10歳代	4	—	—	25.0	75.0	—
20歳代	26	—	3.8	—	96.2	—
30歳代	55	3.6	1.8	16.4	78.2	—
40歳代	65	7.7	16.9	18.5	56.9	—
50歳代	84	6.0	4.8	13.1	73.8	2.4
60歳代	113	5.3	5.3	19.5	66.4	3.5
70歳代	121	2.5	9.9	14.9	50.4	22.3
80歳以上	11	—	9.1	18.2	54.5	18.2

【居住地区別】

居住地区別にみると、牟呂で「ほとんど話さない」の割合が高くなっています。

単位：％

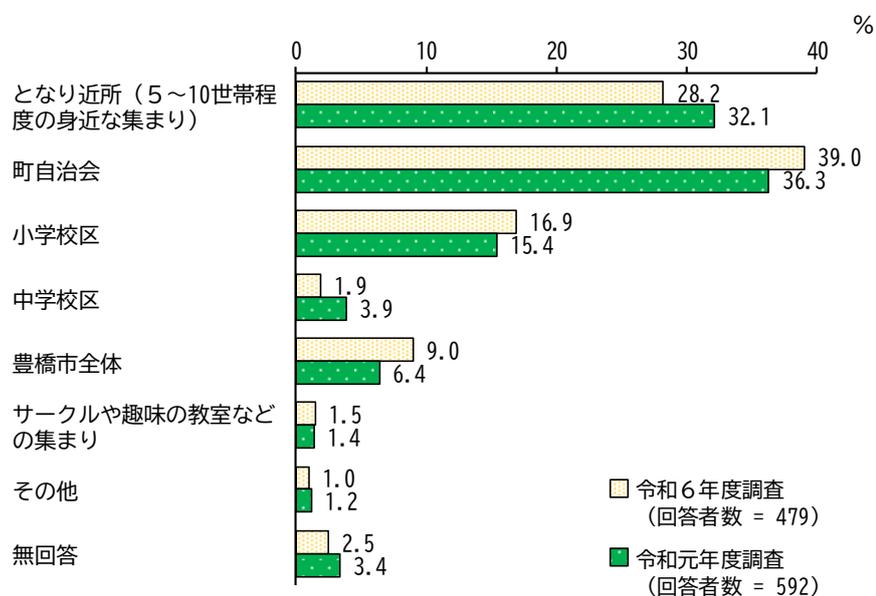
区分	回答者数 (件)	よく話す人がいる	時々話す人がいる	ほとんど話さない	ほとんど会うことがない	無回答
全 体	479	4.4	7.5	15.7	65.1	7.3
北部	11	9.1	—	27.3	63.6	—
前芝	5	—	—	20.0	60.0	20.0
青陵	32	6.3	12.5	15.6	65.6	—
東陵	17	5.9	—	11.8	76.5	5.9
石巻	36	—	11.1	13.9	63.9	11.1
豊岡	23	4.3	8.7	8.7	69.6	8.7
東陽	10	—	—	10.0	70.0	20.0
二川	30	10.0	20.0	10.0	53.3	6.7
五並	10	—	10.0	30.0	60.0	—
章南	5	—	—	60.0	40.0	—
高豊	18	—	5.6	5.6	83.3	5.6
南稜	31	3.2	12.9	9.7	67.7	6.5
高師台	24	4.2	12.5	16.7	58.3	8.3
本郷	24	12.5	8.3	8.3	62.5	8.3
南部	40	5.0	—	10.0	77.5	7.5
南陽	16	18.8	—	12.5	62.5	6.3
羽田	22	—	9.1	27.3	59.1	4.5
牟呂	18	5.6	5.6	38.9	50.0	—
東部	30	6.7	—	23.3	66.7	3.3
中部	21	—	9.5	14.3	66.7	9.5
豊城	17	—	5.9	29.4	64.7	—
吉田方	18	—	5.6	—	66.7	27.8

## (2) 「地域」について

問10 「地域での支え合い」であなたが地域として考える範囲は概ねどの範囲ですか。  
【1つに○印】

「町自治会」の割合が39.0%と最も高く、次いで「となり近所（5～10世帯程度の身近な集まり）」の割合が28.2%、「小学校区」の割合が16.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

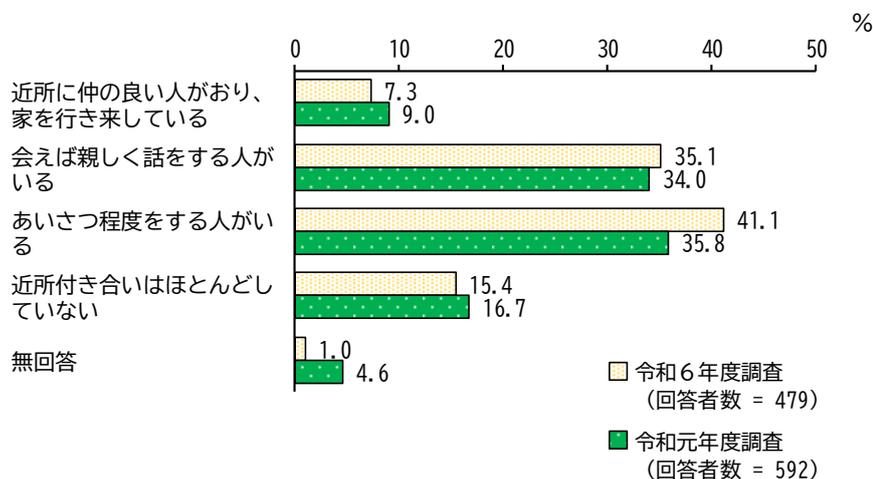


### (3) ご近所での助け合いについて

#### 問11 あなたはどのような近所付き合いをしていますか。【1つに○印】

「あいさつ程度をする人がいる」の割合が41.1%と最も高く、次いで「会えば親しく話をする人がいる」の割合が35.1%、「近所付き合いはほとんどしていない」の割合が15.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「あいさつ程度をする人がいる」の割合が増加しています。



#### 【性別】

性別にみると、男性で「近所付き合いはほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度をする人がいる	近所付き合いはほとんどしていない	無回答
全体	479	7.3	35.1	41.1	15.4	1.0
男性	180	5.6	27.8	45.0	20.6	1.1
女性	298	8.4	39.6	38.6	12.4	1.0
その他	1	—	—	100.0	—	—

【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「会えば親しく話をする人がいる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度をする人がいる	近所付き合いはほとんどしていない	無回答
全体	479	7.3	35.1	41.1	15.4	1.0
10歳代	4	—	50.0	25.0	25.0	—
20歳代	26	7.7	7.7	50.0	34.6	—
30歳代	55	10.9	18.2	43.6	27.3	—
40歳代	65	3.1	27.7	44.6	24.6	—
50歳代	84	1.2	32.1	53.6	13.1	—
60歳代	113	10.6	38.9	36.3	13.3	0.9
70歳代	121	9.1	48.8	33.1	5.8	3.3
80歳以上	11	9.1	54.5	36.4	—	—

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり暮らしで「近所付き合いはほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度をする人がいる	近所付き合いはほとんどしていない	無回答
全体	479	7.3	35.1	41.1	15.4	1.0
ひとり暮らし	51	5.9	33.3	23.5	37.3	—
夫婦のみ世帯	121	8.3	41.3	36.4	10.7	3.3
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	10	—	50.0	30.0	20.0	—
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	155	8.4	35.5	47.7	8.4	—
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	52	5.8	17.3	50.0	26.9	—
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	60	6.7	43.3	38.3	10.0	1.7
その他	19	5.3	10.5	52.6	31.6	—

【職業別】

職業別にみると、派遣社員、契約・期間社員で「あいさつ程度をする人がいる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度をする人がいる	近所付き合いはほとんどしていない	無回答
全 体	479	7.3	35.1	41.1	15.4	1.0
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	46	19.6	45.7	30.4	4.3	—
正社員	130	4.6	21.5	49.2	24.6	—
派遣社員、契約・期間社員	20	—	25.0	55.0	20.0	—
パート、アルバイト、フリーター	103	5.8	43.7	39.8	10.7	—
学生	8	12.5	12.5	50.0	25.0	—
家事専業（主婦・主夫）	64	9.4	46.9	34.4	9.4	—
無職	92	5.4	39.1	38.0	14.1	3.3
その他	8	—	12.5	62.5	25.0	—

【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、いずれにも関心がないで「近所付き合いはほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

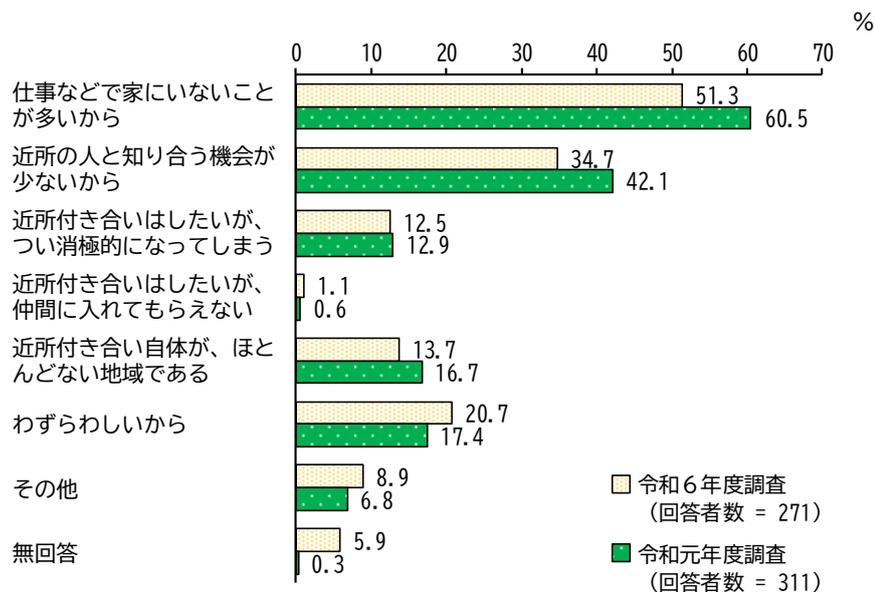
区分	回答者数(件)	近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度をする人がいる	近所付き合いはほとんどしていない	無回答
全 体	479	7.3	35.1	41.1	15.4	1.0
地域の助け合い活動	136	8.1	46.3	35.3	8.1	2.2
高齢者支援	243	6.2	39.9	40.3	12.8	0.8
子育て支援	175	9.1	35.4	44.0	11.4	—
障害者（児）支援	107	7.5	39.3	39.3	14.0	—
ボランティア活動	58	8.6	48.3	31.0	10.3	1.7
健康・生きがいづくり	185	4.9	47.6	33.5	13.0	1.1
福祉に関する教育・学習	74	6.8	43.2	29.7	20.3	—
災害時の助け合い	262	8.4	39.3	37.0	14.5	0.8
貧困対策	92	5.4	37.0	35.9	21.7	—
ひきこもり支援	55	10.9	32.7	38.2	18.2	—
ダブルケア対策	83	7.2	37.3	39.8	15.7	—
ヤングケアラー	73	8.2	39.7	34.2	17.8	—
いずれにも関心がない	14	21.4	14.3	21.4	42.9	—

問 11 で「あいさつ程度をする人がいる」または「近所付き合いはほとんどしていない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 11-2 あまり近所付き合いをしていない理由は何ですか。【3つまで〇印】

「仕事などで家にいないことが多いから」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「近所の人と知り合う機会が少ないから」の割合が 34.7%、「わずらわしいから」の割合が 20.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「仕事などで家にいないことが多いから」、「近所の人と知り合う機会が少ないから」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別にみると、30歳代で「近所の人と知り合う機会が少ないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事などで家にか ないことが多いか	近所の人と知り合 う機会が少ないか	近所付き合いはし たいが、つい消極的 になつてしまふ	近所付き合いはし たいが、仲間に入れ てもらえない	近所付き合いはし たいが、ほとんどない地 域である	近所付き合ひ自体 が、ほとんどない地 域である	わづらわしいから	その他	無回答
全 体	271	51.3	34.7	12.5	1.1	13.7	20.7	8.9	5.9	
10歳代	2	—	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	
20歳代	22	68.2	40.9	9.1	—	22.7	9.1	13.6	—	
30歳代	39	51.3	53.8	12.8	2.6	5.1	28.2	15.4	5.1	
40歳代	45	66.7	31.1	13.3	—	4.4	26.7	8.9	—	
50歳代	56	67.9	28.6	12.5	—	12.5	19.6	3.6	7.1	
60歳代	56	46.4	26.8	16.1	1.8	14.3	16.1	7.1	8.9	
70歳代	47	19.1	34.0	8.5	2.1	23.4	21.3	10.6	8.5	
80歳以上	4	25.0	50.0	—	—	25.0	25.0	—	25.0	

【職業別】

職業別にみると、派遣社員、契約・期間社員で「仕事などで家にかいないことが多いから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事などで家にか ないことが多いか	近所の人と知り合 う機会が少ないか	近所付き合いはし たいが、つい消極的 になつてしまふ	近所付き合いはし たいが、仲間に入れ てもらえない	近所付き合いはし たいが、ほとんどない地 域である	近所付き合ひ自体 が、ほとんどない地 域である	わづらわしいから	その他	無回答
全 体	271	51.3	34.7	12.5	1.1	13.7	20.7	8.9	5.9	
自営業(商店・企業経営、農林水 産業など)	16	43.8	31.3	18.8	—	—	18.8	6.3	6.3	
正社員	96	75.0	38.5	10.4	—	6.3	17.7	6.3	4.2	
派遣社員、契約・期間社員	15	86.7	20.0	20.0	—	13.3	13.3	6.7	6.7	
パート、アルバイト、フリーター	52	61.5	25.0	13.5	—	7.7	19.2	9.6	3.8	
学生	6	66.7	50.0	33.3	—	16.7	—	16.7	—	
家事専業(主婦・主夫)	28	3.6	39.3	17.9	3.6	28.6	17.9	17.9	7.1	
無職	48	4.2	39.6	4.2	4.2	31.3	29.2	10.4	12.5	
その他	7	85.7	28.6	14.3	—	14.3	42.9	—	—	

問 12 ご近所とのお付き合いの中で、手助けすることがありますか。  
【それぞれ1つずつ〇印】

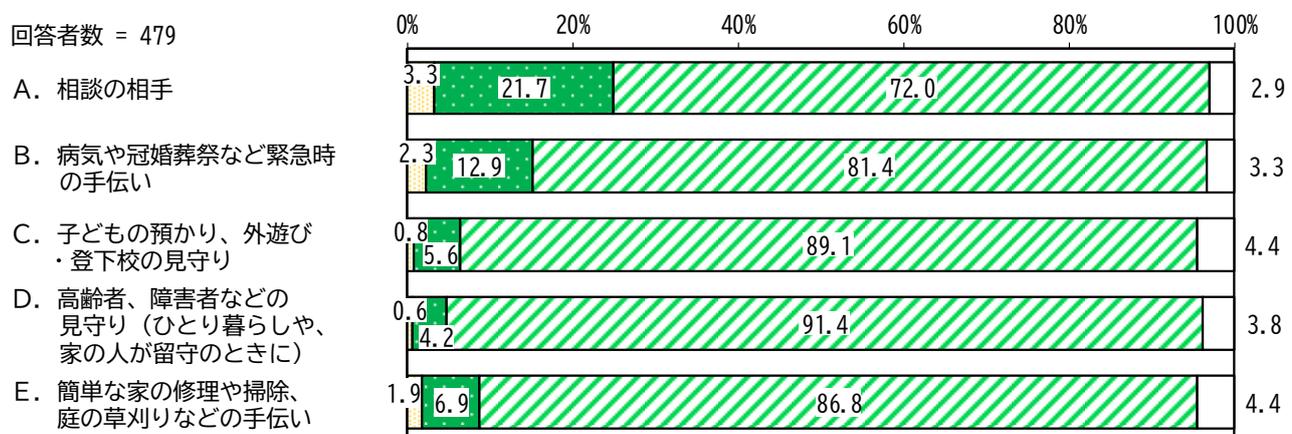
すべての項目で「ほとんどしていない」の割合が高く、『A. 相談の相手』で 72.0%、『B. 病気や冠婚葬祭など緊急時の手伝い』で 81.4%、『C. 子どもの預かり、外遊び・登下校の見守り』で 89.1%、『D. 高齢者、障害者などの見守り（ひとり暮らしや、家の人留守のときに）』で 91.4%、『E. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い』で 86.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ほとんどしていない」の『B. 病気や冠婚葬祭など緊急時の手伝い』が令和6年度調査で 81.4%と、令和元年度調査と比べて 21.4 ポイント高くなっています。

□ よくしている ■ たまにしている ▨ ほとんどしていない □ 無回答

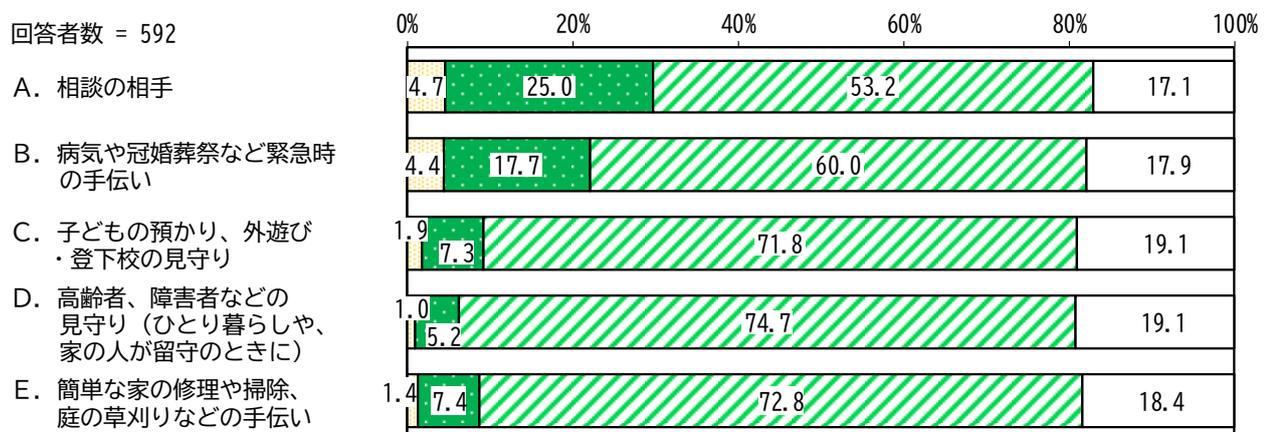
【令和6年度調査】

回答者数 = 479



【令和元年度調査】

回答者数 = 592



問 13 ご近所とのお付き合いの中で、手助けされることはありますか。  
【それぞれ1つずつ〇印】

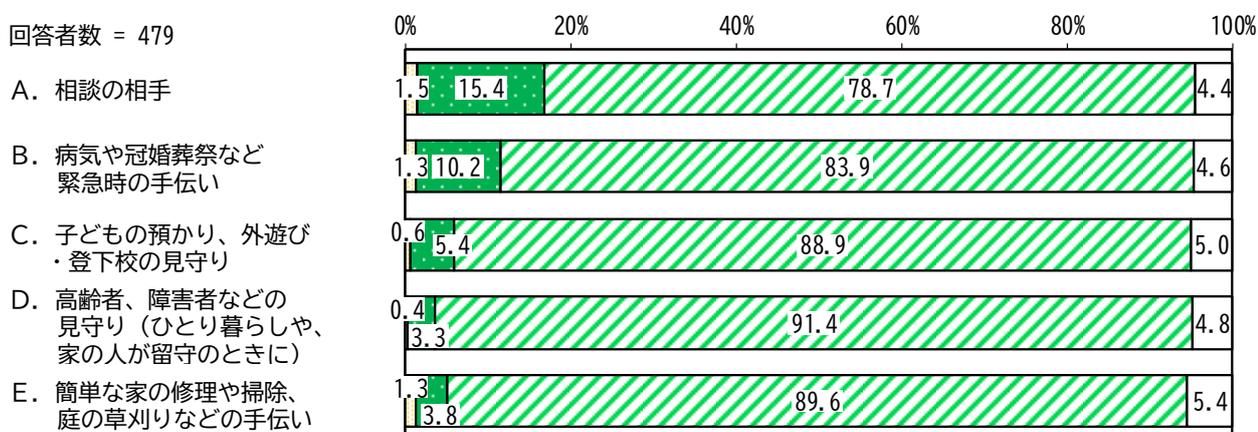
すべての項目で「ほとんどされていない」の割合が高く、『A. 相談の相手』で 78.7%、『B. 病気や冠婚葬祭など緊急時の手伝い』で 83.9%、『C. 子どもの預かり、外遊び・登下校の見守り』で 88.9%、『D. 高齢者、障害者などの見守り（ひとり暮らしや、家の人留守のときに）』で 91.4%、『E. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い』で 89.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ほとんどされていない」の『B. 病気や冠婚葬祭など緊急時の手伝い』が令和6年度調査で 83.9%と、令和元年度調査と比べて 10.9 ポイント高くなっています。

□ よくされている ■ たまにされている ▨ ほとんどされていない □ 無回答

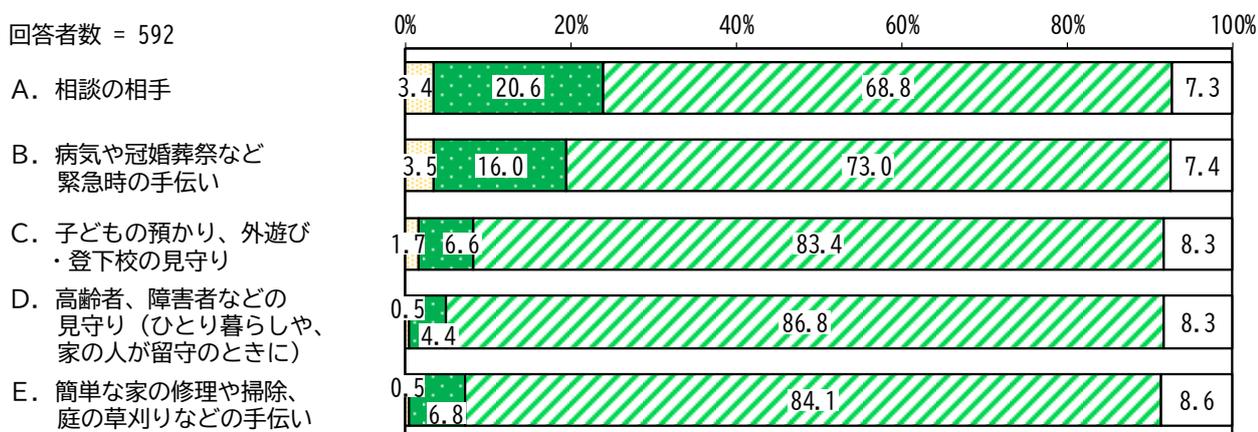
【令和6年度調査】

回答者数 = 479



【令和元年度調査】

回答者数 = 592



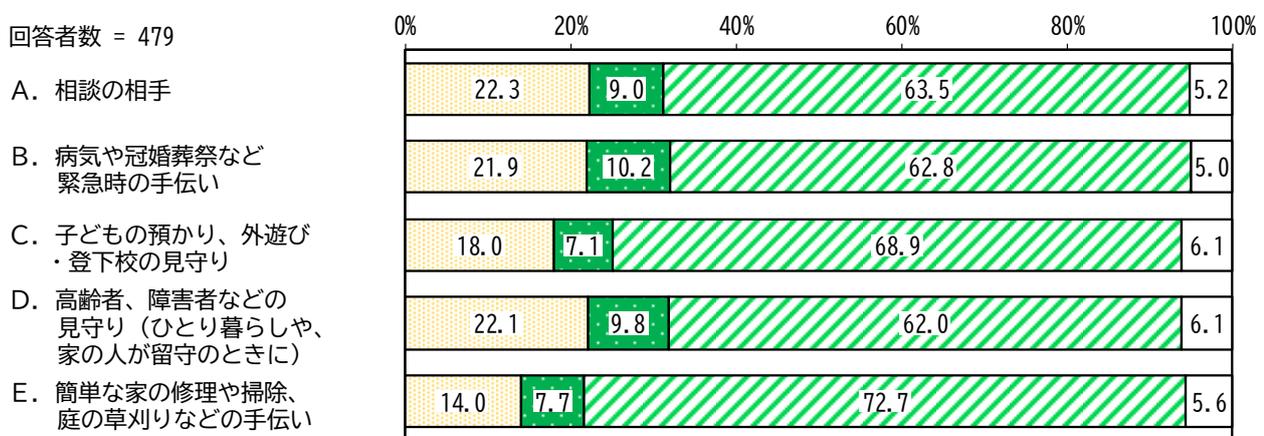
問 14 ご近所とのお付き合いの中で、今後、手助けしてあげたい、あるいは、手助けしてほしい、と思うことはありますか。【それぞれ1つずつ〇印】

「今後手助けしてあげたい」の割合が、『A. 相談の相手』で 22.3%、『B. 病気や冠婚葬祭など緊急時の手伝い』で 21.9%、『C. 子どもの預かり、外遊び・登下校の見守り』で 18.0%、『D. 高齢者、障害者などの見守り（ひとり暮らしや、家の人留守のときに）』で 22.1%、『E. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い』で 14.0%となっています。

今後手助けしてあげたい       今後手助けしてほしい  
 どちらもあまり思わない       無回答

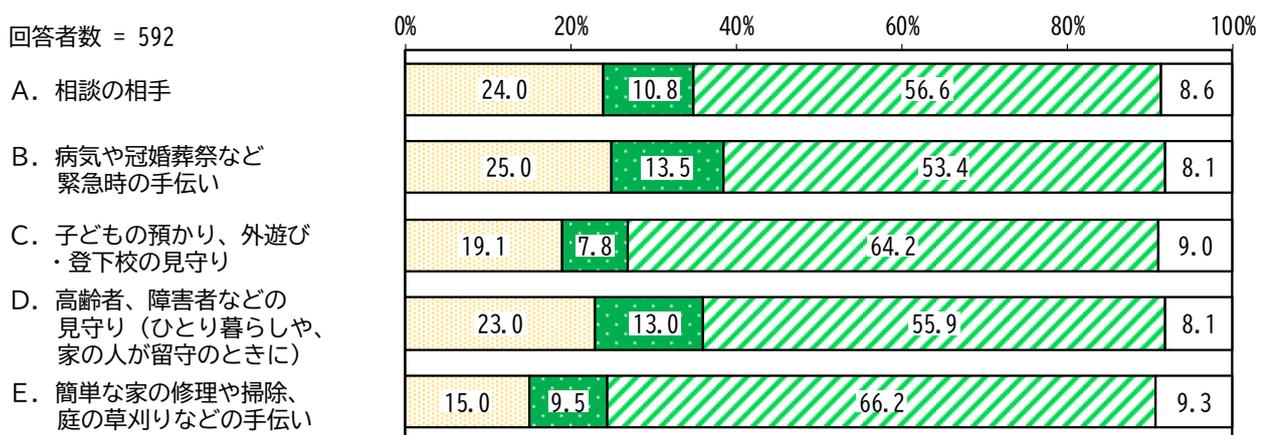
【令和6年度調査】

回答者数 = 479



【令和元年度調査】

回答者数 = 592



#### (4) 町内や小中学校校区での活動について

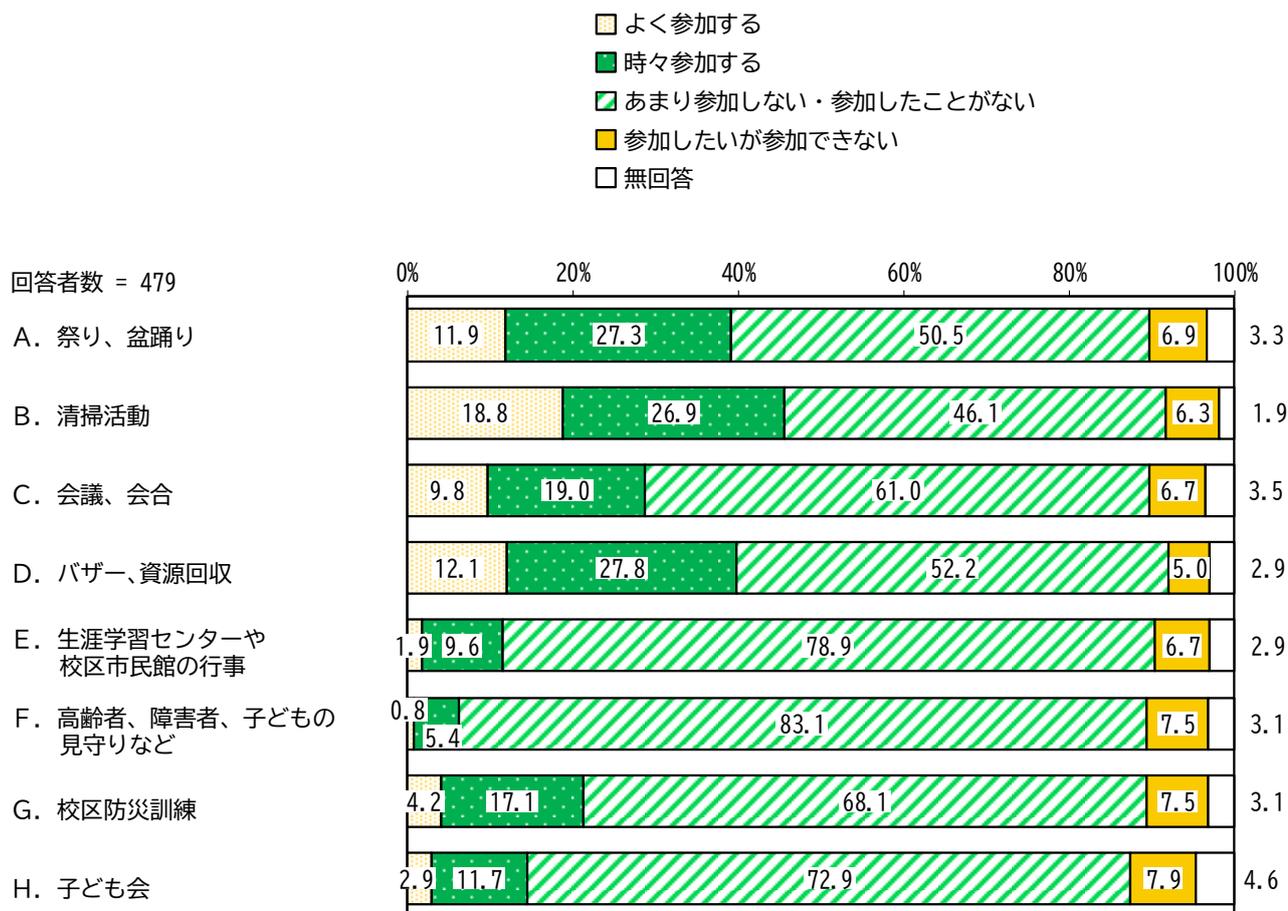
問 15 現在、お住まいの町内や小中学校校区などでの活動や行事へ、あなたはどの程度参加していますか。【それぞれ1つずつ〇印】

「よく参加する」と「時々参加する」を合わせた“参加する”の割合が、『A. 祭り、盆踊り』で39.2%、『B. 清掃活動』で45.7%、『C. 会議、会合』で28.8%、『D. バザー、資源回収』で39.9%、『E. 生涯学習センターや校区市民館の行事』で11.5%、『F. 高齢者、障害者、子どもの見守りなど』で6.2%、『G. 校区防災訓練』で21.3%、『H. 子ども会』で14.6%となっています。

「あまり参加しない・参加したことがない」と「参加したいが参加できない」を合わせた“参加しない”の割合が、『A. 祭り、盆踊り』で57.4%、『B. 清掃活動』で52.4%、『C. 会議、会合』で67.7%、『D. バザー、資源回収』で57.2%、『E. 生涯学習センターや校区市民館の行事』で85.6%、『F. 高齢者、障害者、子どもの見守りなど』で90.6%、『G. 校区防災訓練』で75.6%、『H. 子ども会』で80.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“参加する”の『E. 生涯学習センターや校区市民館の行事』が令和6年度調査で11.5%と、令和元年度調査と比べて11.1ポイント低くなっています。

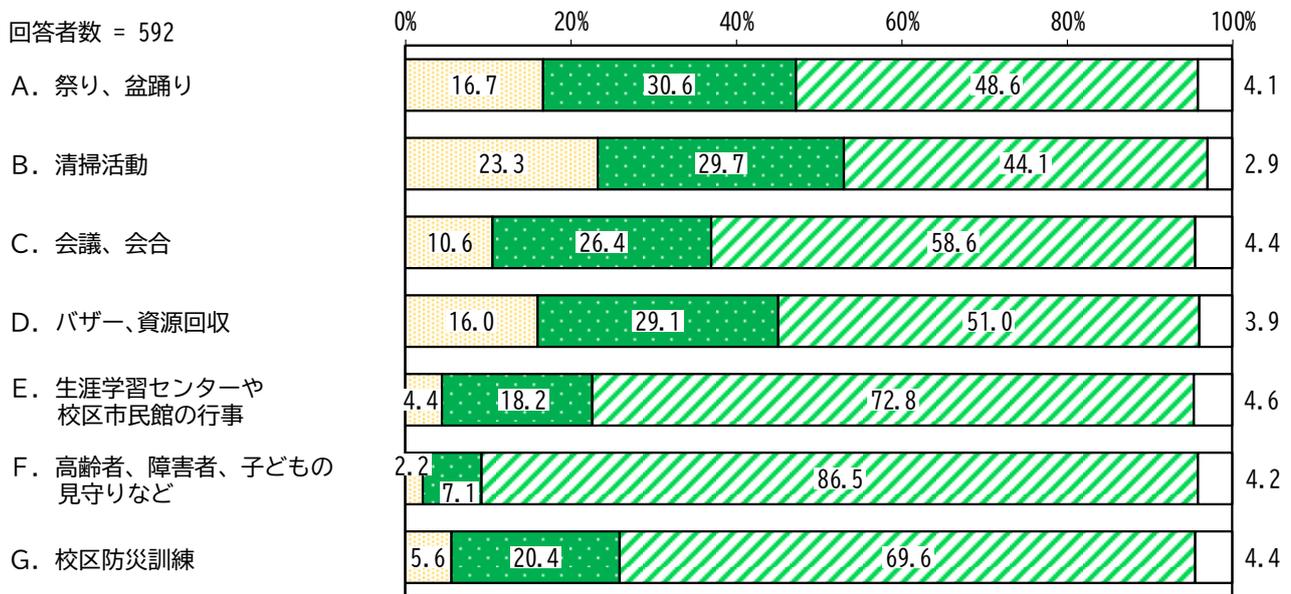
#### 【令和6年度調査】



【令和元年度調査】

- よく参加する
- 時々参加する
- あまり参加しない・参加したことがない
- 無回答

回答者数 = 592



※前回調査では、『H. 子ども会』の項目はありませんでした。

※前回調査では、「参加したいが参加できない」の選択肢はありませんでした。

## A. 祭り、盆踊り

### 【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「時々参加する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがな い	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	11.9	27.3	50.5	6.9	3.3
10歳代	4	25.0	25.0	25.0	25.0	—
20歳代	26	—	34.6	57.7	7.7	—
30歳代	55	18.2	30.9	49.1	1.8	—
40歳代	65	15.4	24.6	53.8	6.2	—
50歳代	84	7.1	29.8	48.8	10.7	3.6
60歳代	113	8.8	21.2	60.2	6.2	3.5
70歳代	121	16.5	28.1	43.8	5.0	6.6
80歳以上	11	—	45.5	18.2	27.3	9.1

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、いずれにも関心がないで「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがな い	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	11.9	27.3	50.5	6.9	3.3
地域の助け合い活動	136	20.6	27.2	39.7	8.8	3.7
高齢者支援	243	13.6	28.0	49.4	5.8	3.3
子育て支援	175	18.9	36.0	40.0	3.4	1.7
障害者（児）支援	107	16.8	27.1	47.7	6.5	1.9
ボランティア活動	58	19.0	31.0	37.9	6.9	5.2
健康・生きがいづくり	185	14.1	27.0	48.1	7.0	3.8
福祉に関する教育・学習	74	13.5	27.0	47.3	10.8	1.4
災害時の助け合い	262	14.9	26.7	47.3	7.6	3.4
貧困対策	92	10.9	22.8	59.8	5.4	1.1
ひきこもり支援	55	16.4	34.5	45.5	—	3.6
ダブルケア対策	83	18.1	28.9	42.2	8.4	2.4
ヤングケアラー	73	16.4	34.2	43.8	4.1	1.4
いずれにも関心がない	14	—	14.3	64.3	7.1	14.3

## B. 清掃活動

### 【年代別】

年代別にみると、30歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがな い	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	18.8	26.9	46.1	6.3	1.9
10歳代	4	25.0	—	75.0	—	—
20歳代	26	7.7	3.8	73.1	15.4	—
30歳代	55	3.6	14.5	80.0	1.8	—
40歳代	65	7.7	21.5	63.1	7.7	—
50歳代	84	15.5	33.3	44.0	6.0	1.2
60歳代	113	25.7	33.6	34.5	5.3	0.9
70歳代	121	29.8	29.8	28.9	6.6	5.0
80歳以上	11	18.2	36.4	27.3	9.1	9.1

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ひきこもり支援で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがな い	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	18.8	26.9	46.1	6.3	1.9
地域の助け合い活動	136	22.8	30.9	36.0	8.8	1.5
高齢者支援	243	20.2	33.7	39.9	4.5	1.6
子育て支援	175	14.3	29.7	50.9	4.6	0.6
障害者（児）支援	107	21.5	29.9	42.1	4.7	1.9
ボランティア活動	58	27.6	29.3	34.5	6.9	1.7
健康・生きがいづくり	185	23.2	30.3	40.0	4.3	2.2
福祉に関する教育・学習	74	16.2	27.0	47.3	8.1	1.4
災害時の助け合い	262	20.2	27.9	43.9	6.5	1.5
貧困対策	92	17.4	21.7	55.4	4.3	1.1
ひきこもり支援	55	12.7	25.5	56.4	1.8	3.6
ダブルケア対策	83	13.3	32.5	44.6	8.4	1.2
ヤングケアラー	73	16.4	27.4	53.4	1.4	1.4
いずれにも関心がない	14	7.1	21.4	42.9	14.3	14.3

### C. 会議、会合

#### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全体	479	9.8	19.0	61.0	6.7	3.5
10歳代	4	—	—	100.0	—	—
20歳代	26	3.8	—	88.5	7.7	—
30歳代	55	1.8	5.5	85.5	7.3	—
40歳代	65	9.2	16.9	64.6	9.2	—
50歳代	84	7.1	23.8	59.5	7.1	2.4
60歳代	113	11.5	23.0	59.3	2.7	3.5
70歳代	121	15.7	24.0	43.8	8.3	8.3
80歳以上	11	9.1	18.2	54.5	9.1	9.1

#### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ヤングケアラーで「時々参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全体	479	9.8	19.0	61.0	6.7	3.5
地域の助け合い活動	136	15.4	22.1	50.0	8.8	3.7
高齢者支援	243	10.3	22.2	59.7	5.3	2.5
子育て支援	175	12.0	17.1	65.1	4.6	1.1
障害者（児）支援	107	14.0	19.6	57.9	6.5	1.9
ボランティア活動	58	17.2	25.9	44.8	10.3	1.7
健康・生きがいづくり	185	9.2	24.3	58.4	5.4	2.7
福祉に関する教育・学習	74	9.5	16.2	62.2	10.8	1.4
災害時の助け合い	262	11.5	18.7	60.7	6.5	2.7
貧困対策	92	6.5	20.7	66.3	5.4	1.1
ひきこもり支援	55	5.5	30.9	56.4	3.6	3.6
ダブルケア対策	83	8.4	24.1	55.4	9.6	2.4
ヤングケアラー	73	11.0	31.5	50.7	5.5	1.4
いずれにも関心がない	14	7.1	7.1	57.1	7.1	21.4

## D. バザー、資源回収

### 【年代別】

年代別にみると、30歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全体	479	12.1	27.8	52.2	5.0	2.9
10歳代	4	—	25.0	75.0	—	—
20歳代	26	7.7	15.4	61.5	15.4	—
30歳代	55	5.5	16.4	78.2	—	—
40歳代	65	12.3	29.2	55.4	3.1	—
50歳代	84	6.0	32.1	54.8	6.0	1.2
60歳代	113	14.2	29.2	52.2	2.7	1.8
70歳代	121	19.0	33.1	33.1	7.4	7.4
80歳以上	11	9.1	—	63.6	9.1	18.2

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、貧困対策で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全体	479	12.1	27.8	52.2	5.0	2.9
地域の助け合い活動	136	11.8	34.6	44.1	6.6	2.9
高齢者支援	243	11.5	30.0	50.2	4.9	3.3
子育て支援	175	12.6	33.1	52.0	1.7	0.6
障害者（児）支援	107	14.0	29.0	50.5	4.7	1.9
ボランティア活動	58	10.3	25.9	55.2	6.9	1.7
健康・生きがいづくり	185	13.5	28.1	50.3	4.9	3.2
福祉に関する教育・学習	74	13.5	32.4	45.9	5.4	2.7
災害時の助け合い	262	12.6	27.5	52.7	4.2	3.1
貧困対策	92	9.8	21.7	62.0	5.4	1.1
ひきこもり支援	55	10.9	34.5	50.9	—	3.6
ダブルケア対策	83	14.5	33.7	44.6	6.0	1.2
ヤングケアラー	73	15.1	35.6	47.9	—	1.4
いずれにも関心がない	14	21.4	21.4	42.9	7.1	7.1

## E. 生涯学習センターや校区市民館の行事

### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	1.9	9.6	78.9	6.7	2.9
10歳代	4	—	25.0	75.0	—	—
20歳代	26	—	—	92.3	7.7	—
30歳代	55	5.5	7.3	87.3	—	—
40歳代	65	—	7.7	86.2	6.2	—
50歳代	84	—	6.0	84.5	8.3	1.2
60歳代	113	1.8	6.2	82.3	7.1	2.7
70歳代	121	3.3	16.5	63.6	8.3	8.3
80歳以上	11	—	36.4	54.5	9.1	—

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	1.9	9.6	78.9	6.7	2.9
地域の助け合い活動	136	2.9	15.4	70.6	8.1	2.9
高齢者支援	243	1.2	11.5	77.4	7.4	2.5
子育て支援	175	2.9	13.7	80.0	2.9	0.6
障害者（児）支援	107	0.9	19.6	70.1	7.5	1.9
ボランティア活動	58	3.4	20.7	65.5	6.9	3.4
健康・生きがいづくり	185	2.2	16.2	71.4	7.6	2.7
福祉に関する教育・学習	74	1.4	23.0	64.9	9.5	1.4
災害時の助け合い	262	2.7	12.6	76.3	5.7	2.7
貧困対策	92	1.1	15.2	77.2	5.4	1.1
ひきこもり支援	55	1.8	14.5	80.0	—	3.6
ダブルケア対策	83	2.4	16.9	73.5	6.0	1.2
ヤングケアラー	73	1.4	21.9	75.3	—	1.4
いずれにも関心がない	14	—	—	78.6	7.1	14.3

## F. 高齢者、障害者、子どもの見守りなど

### 【年代別】

年代別にみると、30歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	0.8	5.4	83.1	7.5	3.1
10歳代	4	—	—	100.0	—	—
20歳代	26	—	3.8	88.5	7.7	—
30歳代	55	1.8	3.6	90.9	3.6	—
40歳代	65	—	7.7	84.6	7.7	—
50歳代	84	—	6.0	84.5	8.3	1.2
60歳代	113	—	4.4	85.8	7.1	2.7
70歳代	121	2.5	5.8	73.6	9.9	8.3
80歳以上	11	—	9.1	81.8	—	9.1

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	0.8	5.4	83.1	7.5	3.1
地域の助け合い活動	136	0.7	8.8	77.2	10.3	2.9
高齢者支援	243	0.8	7.4	81.9	7.4	2.5
子育て支援	175	1.7	8.6	82.9	6.3	0.6
障害者（児）支援	107	1.9	10.3	74.8	10.3	2.8
ボランティア活動	58	3.4	13.8	65.5	12.1	5.2
健康・生きがいづくり	185	0.5	7.0	81.6	7.6	3.2
福祉に関する教育・学習	74	1.4	10.8	74.3	12.2	1.4
災害時の助け合い	262	1.1	6.1	82.8	6.9	3.1
貧困対策	92	1.1	7.6	81.5	8.7	1.1
ひきこもり支援	55	1.8	10.9	81.8	1.8	3.6
ダブルケア対策	83	1.2	9.6	78.3	9.6	1.2
ヤングケアラー	73	1.4	11.0	78.1	8.2	1.4
いずれにも関心がない	14	—	—	78.6	7.1	14.3

## G. 校区防災訓練

### 【年代別】

年代別にみると、30歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	4.2	17.1	68.1	7.5	3.1
10歳代	4	—	—	100.0	—	—
20歳代	26	—	—	84.6	15.4	—
30歳代	55	—	3.6	94.5	1.8	—
40歳代	65	6.2	10.8	73.8	9.2	—
50歳代	84	1.2	19.0	66.7	10.7	2.4
60歳代	113	6.2	20.4	68.1	3.5	1.8
70歳代	121	6.6	27.3	48.8	9.1	8.3
80歳以上	11	—	9.1	72.7	9.1	9.1

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ボランティア活動で「時々参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	4.2	17.1	68.1	7.5	3.1
地域の助け合い活動	136	6.6	25.0	55.9	8.8	3.7
高齢者支援	243	3.7	20.2	66.3	7.0	2.9
子育て支援	175	6.3	15.4	73.1	3.4	1.7
障害者（児）支援	107	6.5	17.8	63.6	9.3	2.8
ボランティア活動	58	6.9	25.9	55.2	8.6	3.4
健康・生きがいづくり	185	4.3	22.2	63.2	7.0	3.2
福祉に関する教育・学習	74	4.1	16.2	67.6	9.5	2.7
災害時の助け合い	262	5.0	16.0	69.1	6.5	3.4
貧困対策	92	1.1	12.0	76.1	8.7	2.2
ひきこもり支援	55	3.6	21.8	69.1	—	5.5
ダブルケア対策	83	2.4	20.5	63.9	10.8	2.4
ヤングケアラー	73	5.5	17.8	71.2	2.7	2.7
いずれにも関心がない	14	—	21.4	50.0	14.3	14.3

## H. 子ども会

### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「あまり参加しない・参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	2.9	11.7	72.9	7.9	4.6
10歳代	4	—	25.0	75.0	—	—
20歳代	26	—	3.8	88.5	7.7	—
30歳代	55	5.5	16.4	70.9	7.3	—
40歳代	65	9.2	26.2	55.4	9.2	—
50歳代	84	3.6	14.3	69.0	10.7	2.4
60歳代	113	—	4.4	84.1	7.1	4.4
70歳代	121	1.7	9.1	71.1	6.6	11.6
80歳以上	11	—	—	81.8	9.1	9.1

### 【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ヤングケアラーで「時々参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

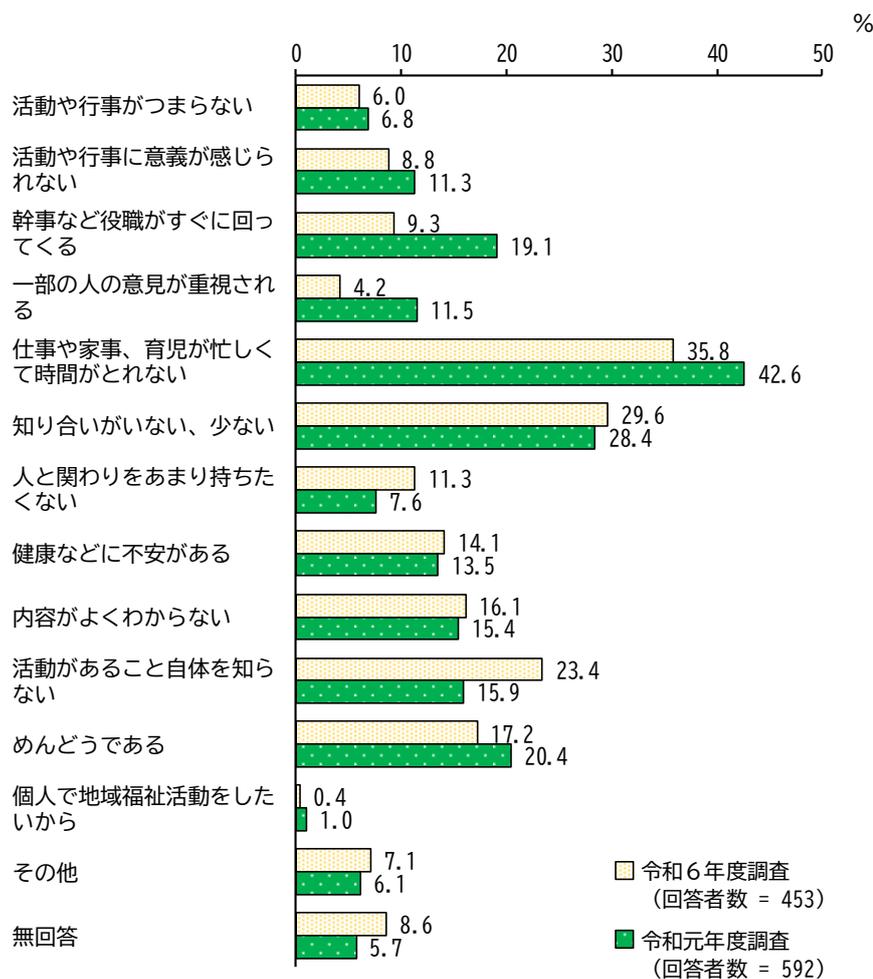
区分	回答者数 (件)	よく参加する	時々参加する	あまり参加しない・ 参加したことがない	参加したいが参加 できない	無回答
全 体	479	2.9	11.7	72.9	7.9	4.6
地域の助け合い活動	136	2.9	13.2	66.2	11.8	5.9
高齢者支援	243	3.7	12.8	71.6	7.4	4.5
子育て支援	175	5.7	21.1	64.6	5.7	2.9
障害者（児）支援	107	4.7	19.6	62.6	10.3	2.8
ボランティア活動	58	3.4	13.8	60.3	17.2	5.2
健康・生きがいづくり	185	3.8	9.7	74.6	6.5	5.4
福祉に関する教育・学習	74	4.1	12.2	71.6	9.5	2.7
災害時の助け合い	262	2.7	11.5	74.4	6.9	4.6
貧困対策	92	3.3	10.9	71.7	10.9	3.3
ひきこもり支援	55	1.8	16.4	67.3	7.3	7.3
ダブルケア対策	83	4.8	20.5	60.2	10.8	3.6
ヤングケアラー	73	2.7	27.4	58.9	8.2	2.7
いずれにも関心がない	14	—	7.1	71.4	7.1	14.3

問15の「A. 祭り、盆踊り」～「H. 子ども会」の設問で一つでも「あまり参加しない・参加したことがない」、「参加したいが参加できない」を回答された方のみにお尋ねします。

問15-2 町内や小中学校区の活動に、参加したことがない、又は参加しにくい要因は何ですか。【3つまで〇印】

「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「知り合いが少ない、少ない」の割合が29.6%、「活動があること自体を知らない」の割合が23.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「活動があること自体を知らない」の割合が増加しています。一方、「幹事など役職がすぐに回ってくる」、「一部の人の意見が重視される」、「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「活動があること自体を知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	い活動や行事がつまらない	活動や行事に意義が感じられない	幹事など役職がすぐに回ってくる	一部の人の意見が重視される	仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない	知り合いが少ない、少ない	人と関わりをあまり持ちたくない	健康などに不安がある	内容がよくわからない	活動があること自体を知らない	めんどうである	個人で地域福祉活動をしたくないから	その他	無回答
全体	453	6.0	8.8	9.3	4.2	35.8	29.6	11.3	14.1	16.1	23.4	17.2	0.4	7.1	8.6
10歳代	4	25.0	—	—	—	—	50.0	—	—	25.0	25.0	50.0	—	25.0	—
20歳代	26	—	3.8	3.8	3.8	34.6	50.0	3.8	3.8	23.1	57.7	19.2	—	3.8	3.8
30歳代	54	7.4	11.1	5.6	5.6	57.4	33.3	16.7	5.6	29.6	42.6	9.3	—	7.4	3.7
40歳代	62	3.2	16.1	16.1	4.8	45.2	19.4	14.5	8.1	11.3	16.1	22.6	—	9.7	6.5
50歳代	81	7.4	8.6	9.9	7.4	44.4	25.9	8.6	7.4	9.9	16.0	17.3	—	9.9	9.9
60歳代	109	5.5	8.3	11.0	3.7	37.6	31.2	11.0	11.9	14.7	18.3	16.5	0.9	7.3	8.3
70歳代	107	7.5	6.5	7.5	1.9	15.0	30.8	11.2	29.9	15.9	21.5	16.8	0.9	2.8	12.1
80歳以上	10	—	—	—	—	10.0	10.0	10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	—	10.0	20.0

【居住地区別】

居住地区別にみると、高豊で「知り合いがいない、少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	い活動や行事がつまらない	活動や行事に意義が感じられない	幹事など役職がすぐに回ってくる	一部の人の意見が重視される	仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない	知り合いがいない、少ない	人と関わりをあまり持ちたくない	健康などに不安がある	内容がよくわからない	活動があること自体を知らない	めんどうである	個人で地域福祉活動をしたくないから	その他	無回答
全体	453	6.0	8.8	9.3	4.2	35.8	29.6	11.3	14.1	16.1	23.4	17.2	0.4	7.1	8.6
北部	10	20.0	10.0	—	10.0	30.0	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	30.0	—	10.0	—
前芝	4	—	—	—	—	25.0	25.0	—	25.0	25.0	25.0	—	—	25.0	25.0
青陵	31	3.2	9.7	6.5	3.2	45.2	22.6	—	—	22.6	22.6	19.4	—	9.7	9.7
東陵	17	—	11.8	11.8	11.8	23.5	35.3	11.8	11.8	11.8	29.4	5.9	—	11.8	5.9
石巻	29	6.9	6.9	10.3	3.4	27.6	20.7	10.3	10.3	6.9	20.7	13.8	—	6.9	20.7
豊岡	22	4.5	4.5	—	—	50.0	36.4	9.1	9.1	13.6	27.3	9.1	—	—	9.1
東陽	9	11.1	11.1	11.1	11.1	55.6	44.4	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	—	—	—
二川	29	3.4	3.4	6.9	3.4	41.4	27.6	13.8	13.8	20.7	27.6	20.7	—	3.4	3.4
五並	9	—	—	11.1	—	44.4	22.2	—	11.1	33.3	22.2	11.1	—	33.3	—
章南	5	—	—	—	—	80.0	40.0	20.0	—	40.0	40.0	—	—	40.0	—
高豊	18	16.7	16.7	—	5.6	22.2	61.1	16.7	11.1	16.7	22.2	22.2	—	5.6	11.1
南稜	29	10.3	6.9	13.8	6.9	31.0	20.7	13.8	3.4	17.2	37.9	20.7	—	3.4	6.9
高師台	22	9.1	18.2	9.1	—	31.8	22.7	9.1	22.7	22.7	18.2	22.7	—	4.5	—
本郷	24	4.2	12.5	20.8	—	33.3	29.2	20.8	20.8	4.2	16.7	12.5	—	8.3	16.7
南部	39	—	5.1	17.9	7.7	41.0	17.9	7.7	17.9	5.1	17.9	23.1	—	5.1	12.8
南陽	15	6.7	20.0	6.7	6.7	26.7	33.3	—	13.3	33.3	33.3	13.3	6.7	—	13.3
羽田	22	4.5	9.1	—	—	36.4	9.1	9.1	22.7	9.1	18.2	4.5	—	9.1	9.1
牟呂	17	—	11.8	17.6	11.8	52.9	17.6	17.6	5.9	11.8	17.6	11.8	—	17.6	5.9
東部	30	6.7	6.7	3.3	3.3	26.7	36.7	6.7	16.7	30.0	20.0	20.0	—	10.0	6.7
中部	20	5.0	10.0	5.0	—	50.0	35.0	15.0	15.0	15.0	20.0	10.0	5.0	—	15.0
豊城	16	12.5	12.5	12.5	6.3	31.3	25.0	18.8	25.0	6.3	12.5	12.5	—	6.3	—
吉田方	17	11.8	5.9	17.6	—	23.5	41.2	5.9	29.4	17.6	23.5	41.2	—	—	5.9

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、親と子の世帯（自分（夫婦）と子）で「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	活動や行事がつまらない	活動や行事に意義が感じられない	幹事など役割がすぐ回ってくれない	一部の人の意見が重視される	仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない	知り合いが少ない、少ない	人と関わりをあまり持ちたくない
全 体	453	6.0	8.8	9.3	4.2	35.8	29.6	11.3
ひとり暮らし	48	6.3	4.2	6.3	2.1	31.3	37.5	20.8
夫婦のみ世帯	113	8.8	11.5	9.7	4.4	24.8	31.9	9.7
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	8	12.5	37.5	—	—	12.5	25.0	25.0
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	147	6.8	10.2	12.9	6.8	46.9	21.1	8.8
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	52	3.8	3.8	7.7	1.9	34.6	38.5	15.4
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	56	1.8	7.1	8.9	3.6	41.1	26.8	10.7
その他	19	—	5.3	—	—	31.6	42.1	5.3

区分	健康などに不安がある	内容がよくわからない	活動があること自体を知らない	めんどうである	個人で地域福祉活動をしたいから	その他	無回答
全 体	14.1	16.1	23.4	17.2	0.4	7.1	8.6
ひとり暮らし	14.6	18.8	29.2	22.9	—	2.1	4.2
夫婦のみ世帯	15.9	12.4	20.4	15.9	1.8	8.8	8.0
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	12.5	37.5	12.5	25.0	—	—	12.5
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	9.5	17.7	22.4	18.4	—	6.1	9.5
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	5.8	25.0	30.8	23.1	—	7.7	5.8
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	19.6	12.5	21.4	7.1	—	8.9	10.7

【職業別】

職業別にみると、正社員で「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

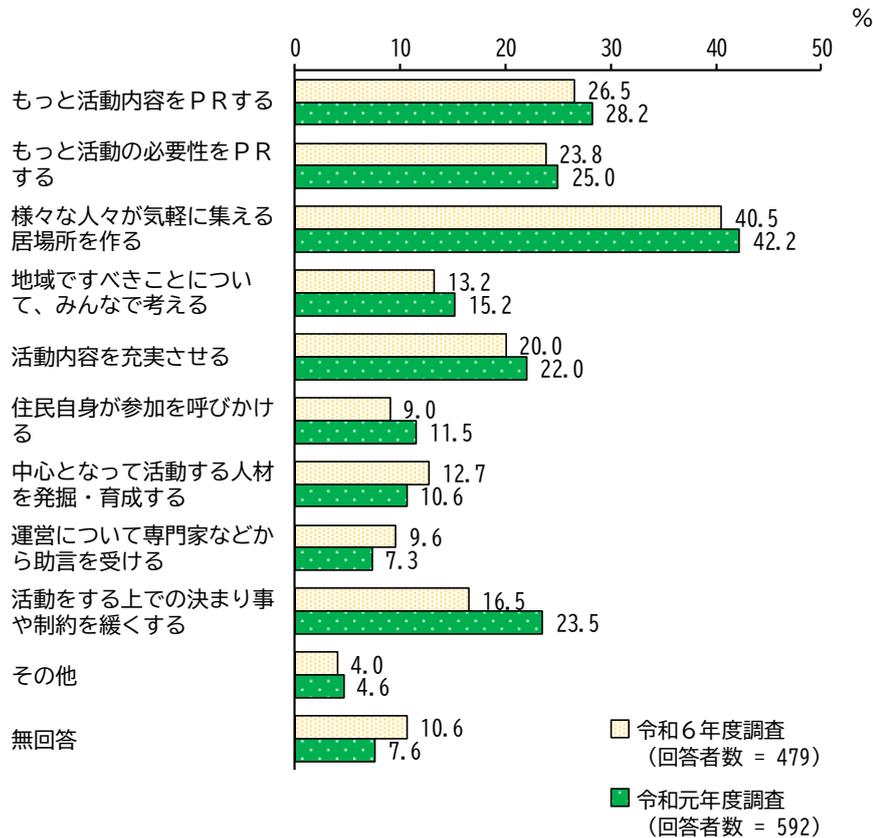
区分	回答者数(件)	活動や行事がつまらない	活動や行事に意義を感じられない	幹事など役職がすぐに戻ってくる	一部の人の意見が重視される	仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない	知り合いがいない、少ない	人と関わりをあまり持ちたくない
全体	453	6.0	8.8	9.3	4.2	35.8	29.6	11.3
自営業(商店・企業経営、農林水産業など)	39	2.6	7.7	2.6	2.6	48.7	15.4	7.7
正社員	128	4.7	6.3	8.6	3.9	55.5	31.3	10.9
派遣社員、契約・期間社員	19	10.5	5.3	15.8	—	36.8	21.1	—
パート、アルバイト、フリーター	99	7.1	10.1	12.1	3.0	47.5	26.3	7.1
学生	8	12.5	12.5	—	—	25.0	50.0	—
家事専業(主婦・主夫)	61	4.9	6.6	6.6	8.2	9.8	32.8	9.8
無職	85	5.9	11.8	9.4	3.5	5.9	35.3	22.4
その他	8	25.0	25.0	25.0	12.5	50.0	50.0	12.5

区分	健康などに不安がある	内容がよくわからない	活動があること自体を知らない	めんどろである	個人で地域福祉活動をしたいから	その他	無回答
全体	14.1	16.1	23.4	17.2	0.4	7.1	8.6
自営業(商店・企業経営、農林水産業など)	12.8	12.8	15.4	7.7	2.6	10.3	12.8
正社員	3.1	18.8	31.3	18.8	—	6.3	4.7
派遣社員、契約・期間社員	10.5	15.8	31.6	21.1	—	10.5	—
パート、アルバイト、フリーター	9.1	15.2	15.2	20.2	—	5.1	11.1
学生	—	12.5	50.0	12.5	—	25.0	—
家事専業(主婦・主夫)	27.9	9.8	21.3	11.5	—	9.8	13.1
無職	31.8	20.0	23.5	21.2	1.2	5.9	7.1
その他	—	—	25.0	12.5	—	—	—

問16 町内や小中学校区の活動を活発にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。【3つまで○印】

「様々な人々が気軽に集える居場所を作る」の割合が40.5%と最も高く、次いで「もっと活動内容をPRする」の割合が26.5%、「もっと活動の必要性をPRする」の割合が23.8%となっています。

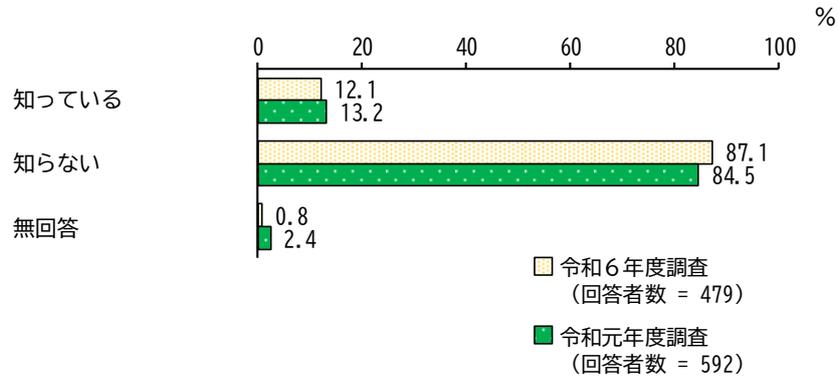
令和元年度調査と比較すると、「活動をする上での決まり事や制約を緩くする」の割合が減少しています。



## (5) 災害に対する備え等について

問 17 あなたは市が行っている「避難行動要支援者支援事業」を知っていますか。  
【1つに○印】

「知らない」の割合が87.1%、「知っている」の割合が12.1%となっています。  
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

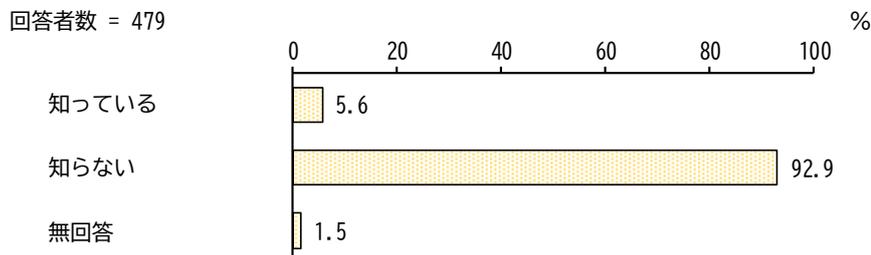
単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	479	12.1	87.1	0.8
10歳代	4	—	100.0	—
20歳代	26	—	100.0	—
30歳代	55	5.5	94.5	—
40歳代	65	9.2	90.8	—
50歳代	84	10.7	88.1	1.2
60歳代	113	11.5	88.5	—
70歳代	121	20.7	76.9	2.5
80歳以上	11	18.2	81.8	—

【新規】

問 18 あなたは避難行動要支援者を支援するために個別避難計画の作成が努力義務化されたことを知っていますか。【1つに○印】

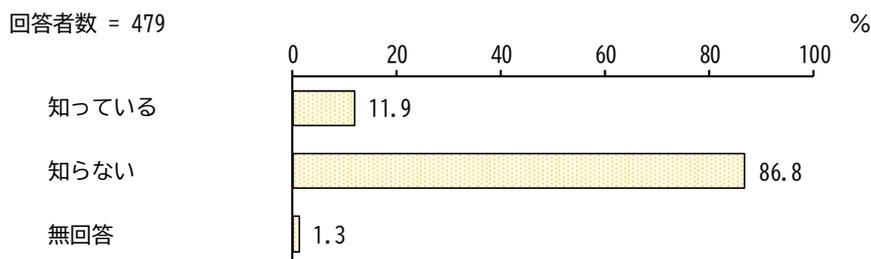
「知らない」の割合が92.9%、「知っている」の割合が5.6%となっています。



【新規】

問 19 あなたは「福祉避難所」を知っていますか。【1つに○印】

「知らない」の割合が86.8%、「知っている」の割合が11.9%となっています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代と80歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。

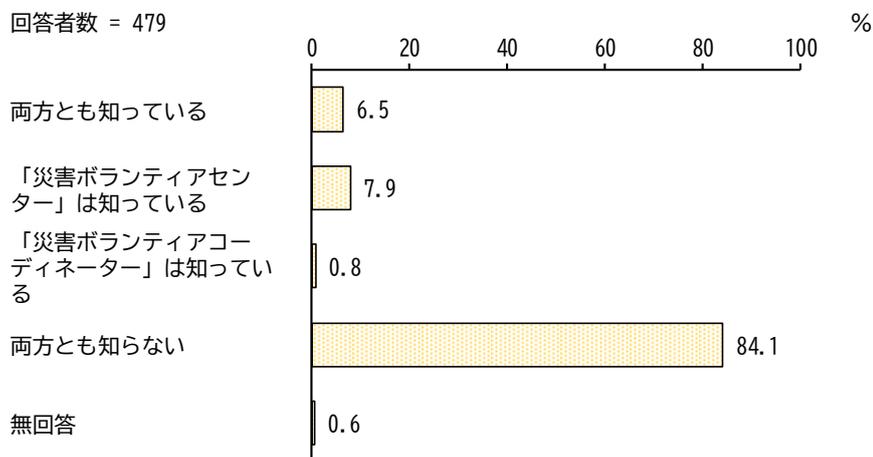
単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全体	479	11.9	86.8	1.3
10歳代	4	—	100.0	—
20歳代	26	—	100.0	—
30歳代	55	12.7	87.3	—
40歳代	65	12.3	87.7	—
50歳代	84	4.8	94.0	1.2
60歳代	113	10.6	89.4	—
70歳代	121	21.5	74.4	4.1
80歳以上	11	—	100.0	—

【新規】

問 20 あなたは大規模災害の発生時に設置される「災害ボランティアセンター」やセンターでボランティアの受け入れ等の運営全般について活動する「災害ボランティアコーディネーター」を知っていますか。【1つに○印】

「両方とも知らない」の割合が 84.1%と最も高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「両方とも知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

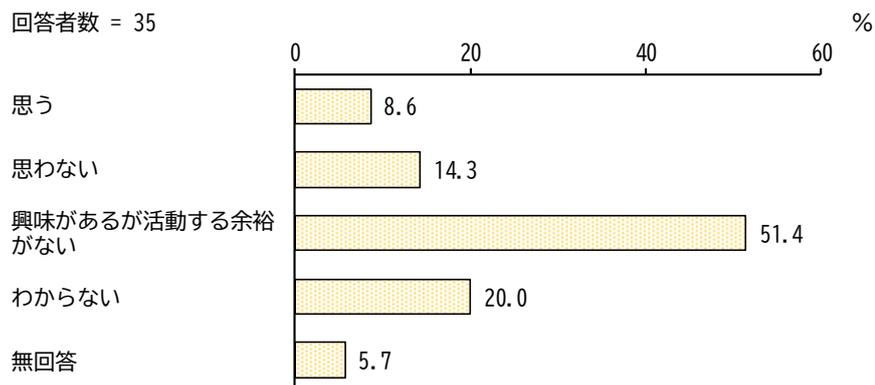
区分	回答者数(件)	両方とも知っている	「災害ボランティアセンター」は知っている	「災害ボランティアコーディネーター」は知っている	両方とも知らない	無回答
全体	479	6.5	7.9	0.8	84.1	0.6
10歳代	4	—	—	—	100.0	—
20歳代	26	3.8	—	—	96.2	—
30歳代	55	7.3	3.6	—	89.1	—
40歳代	65	6.2	10.8	—	83.1	—
50歳代	84	4.8	3.6	2.4	88.1	1.2
60歳代	113	6.2	14.2	—	79.6	—
70歳代	121	9.1	8.3	1.7	79.3	1.7
80歳以上	11	—	—	—	100.0	—

【新規】

問 20 で「両方とも知っている」または「「災害ボランティアコーディネーター」は知っている」を回答された方のみにお尋ねします。

問 20-2 あなたは「災害ボランティアコーディネーター」として活動したいと思いますか。【1つに○印】

「興味があるが活動する余裕がない」の割合が 51.4%と最も高く、「思わない」の割合が 14.3%、「思う」が 8.6%となっています。

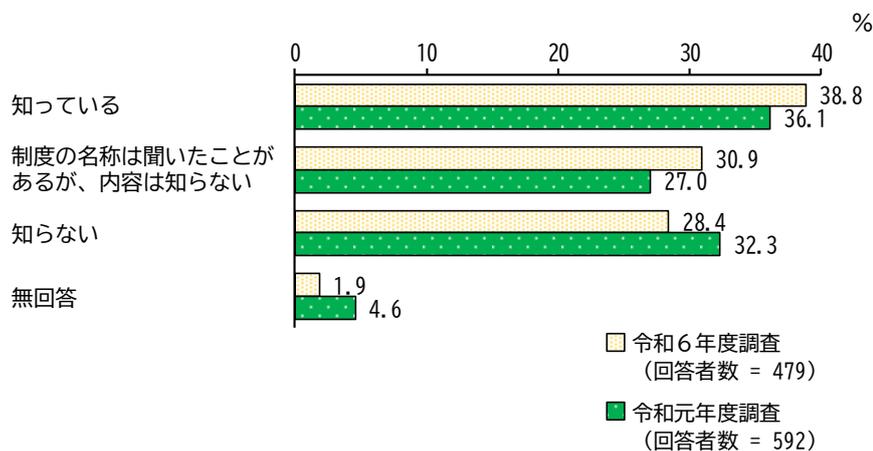


## (6) 判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利を擁護する「成年後見制度」 のことについて

### 問 21 あなたは成年後見制度を知っていますか。【1つに○印】

「知っている」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 30.9%、「知らない」の割合が 28.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全 体	479	38.8	30.9	28.4	1.9
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	23.1	23.1	53.8	—
30歳代	55	27.3	36.4	36.4	—
40歳代	65	43.1	27.7	29.2	—
50歳代	84	40.5	34.5	23.8	1.2
60歳代	113	44.2	25.7	29.2	0.9
70歳代	121	42.1	34.7	18.2	5.0
80歳以上	11	18.2	36.4	36.4	9.1

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）で「知らない」の割合が高くなっています。

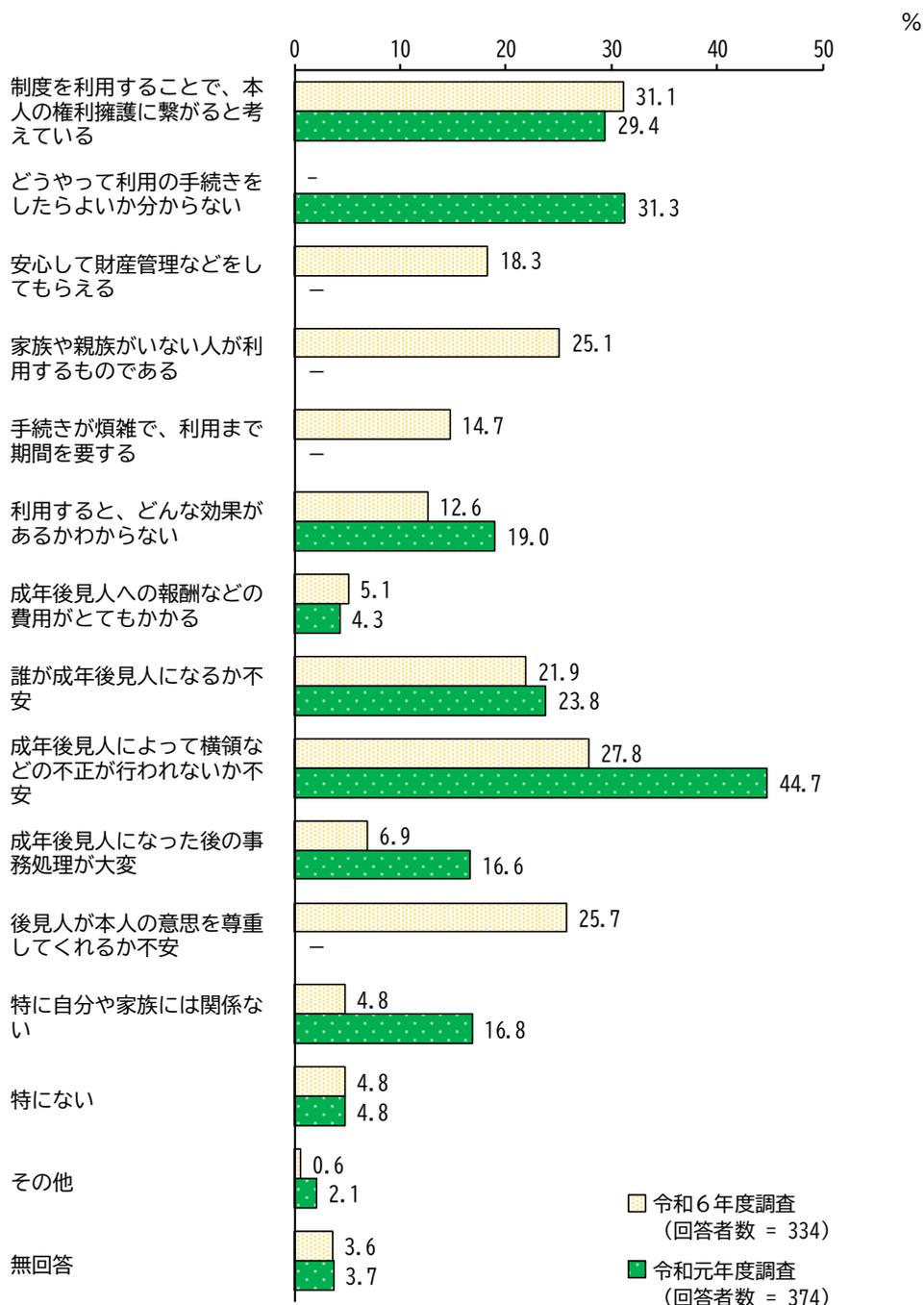
単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全 体	479	38.8	30.9	28.4	1.9
ひとり暮らし	51	33.3	21.6	45.1	—
夫婦のみ世帯	121	43.0	31.4	20.7	5.0
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	10	30.0	10.0	60.0	—
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	155	40.0	31.6	27.1	1.3
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	52	32.7	32.7	32.7	1.9
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	60	35.0	36.7	28.3	—
その他	19	63.2	21.1	15.8	—

問 21 で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 21-2 成年後見制度についてどのような印象を持っていますか。【3つまで○印】

「制度を利用することで、本人の権利擁護に繋がると考えている」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「成年後見人によって横領などの不正が行われないか不安」の割合が 27.8%、「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の割合が 25.7%となっています。



※前回調査では、「安心して財産管理などをしてもらえる」、「家族や親族がいない人が利用するものである」、「手続きが煩雑で、利用まで期間を要する」、「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の選択肢はありませんでした。

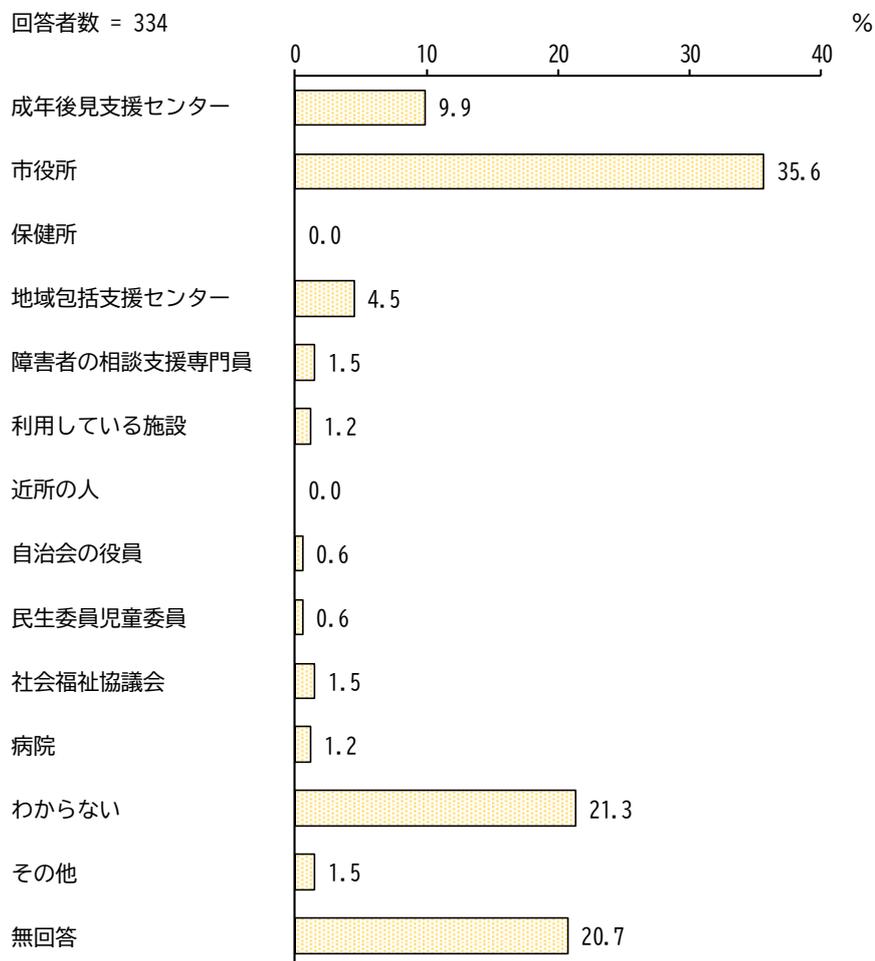
※前回調査では、「どうやって利用の手続きをしたらよいか分からない」の選択肢がありました。

【新規】

問 21 で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 21-3 成年後見制度について詳しく知りたいとき、どこに相談しますか【1つに○印】

「市役所」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.3%となっています。

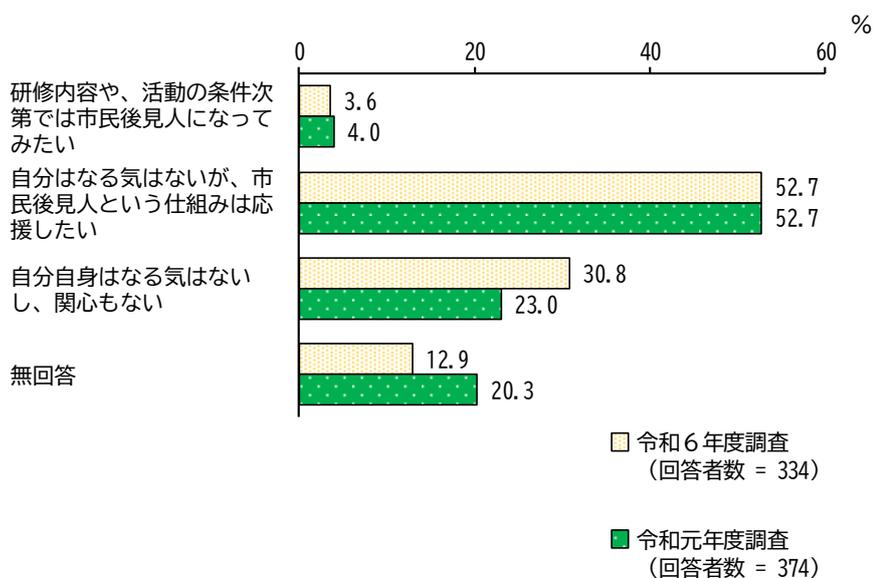


問 21 で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 21-4 成年後見制度には、一定の研修を修了した地域の方を成年後見人として選任し、金銭管理などの活動をする「市民後見人」というものがあります。この市民後見人についてあなたの考えに最も近いものをお答えください。【1つに○印】

「自分はなる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「自分自身はなる気はないし、関心もない」の割合が 30.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自分自身はなる気はないし、関心もない」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「自分自身はなる気はないし、関心もない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	研修内容や、活動の条件次第では市民後見人になってみたい	自分はなる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい	自分自身はなる気はないし、関心もない	無回答
全体	334	3.6	52.7	30.8	12.9
10歳代	—	—	—	—	—
20歳代	12	8.3	33.3	58.3	—
30歳代	35	2.9	45.7	45.7	5.7
40歳代	46	4.3	60.9	30.4	4.3
50歳代	63	3.2	63.5	30.2	3.2
60歳代	79	5.1	54.4	22.8	17.7
70歳代	93	2.2	47.3	26.9	23.7
80歳以上	6	—	16.7	66.7	16.7

【職業別】

職業別にみると、パート、アルバイト、フリーターで「自分になる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	たい後見人になってみ	研修内容や、活動の条件次第では市民	自分がなる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい	自分自身はなる気はないし、関心もない	無回答
全体	334	3.6	52.7	30.8	12.9	
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	34	－	50.0	35.3	14.7	
正社員	81	4.9	54.3	33.3	7.4	
派遣社員、契約・期間社員	12	8.3	50.0	33.3	8.3	
パート、アルバイト、フリーター	80	3.8	60.0	26.3	10.0	
学生	2	－	－	100.0	－	
家事専業（主婦・主夫）	50	6.0	46.0	36.0	12.0	
無職	66	1.5	48.5	27.3	22.7	
その他	6	－	66.7	16.7	16.7	

【成年後見制度の印象別】

成年後見制度の印象別にみると、特に自分や家族には関係ないで「自分自身はなる気はないし、関心もない」の割合が高くなっています。

単位：％

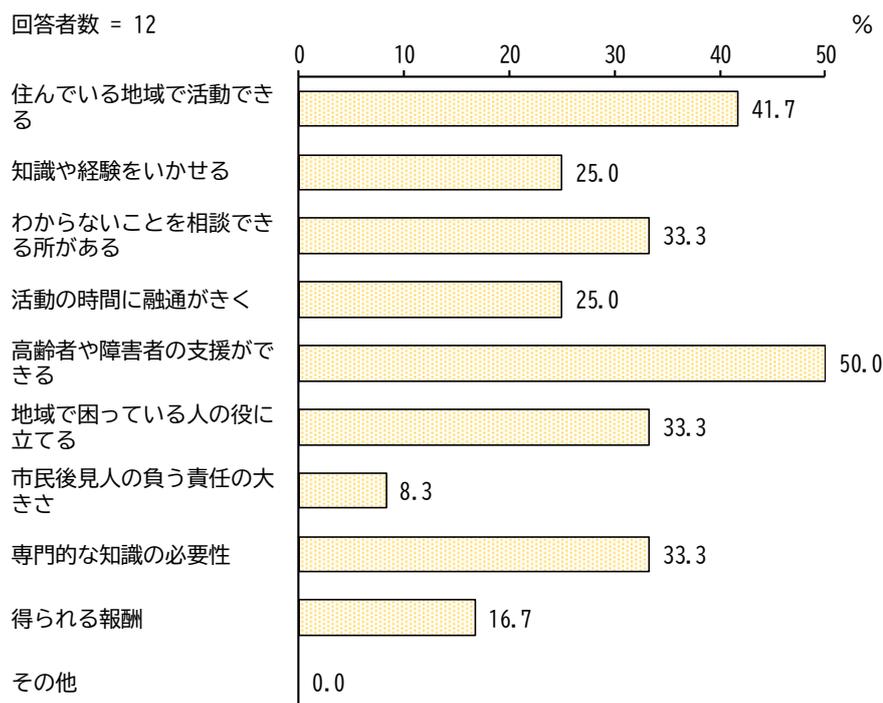
区分	回答者数(件)	たい後見人になってみ	研修内容や、活動の条件次第では市民	自分がなる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい	自分自身はなる気はないし、関心もない	無回答
全体	334	3.6	52.7	30.8	12.9	
制度を利用することで、本人の権利擁護に繋がると考えている	104	4.8	71.2	16.3	7.7	
安心して財産管理などをしてもらえる	61	3.3	70.5	23.0	3.3	
家族や親族がいない人が利用するものである	84	2.4	56.0	27.4	14.3	
手続きが煩雑で、利用まで期間を要する	49	6.1	40.8	40.8	12.2	
利用すると、どんな効果があるかわからない	42	－	50.0	33.3	16.7	
成年後見人への報酬などの費用がとてかかる	17	11.8	47.1	23.5	17.6	
誰が成年後見人になるか不安	73	1.4	63.0	26.0	9.6	
成年後見人によって横領などの不正が行われないか不安	93	5.4	54.8	28.0	11.8	
成年後見人になった後の事務処理が大変	23	8.7	56.5	26.1	8.7	
後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安	86	7.0	51.2	26.7	15.1	
特に自分や家族には関係ない	16	－	18.8	75.0	6.3	
特にない	16	－	37.5	56.3	6.3	
その他	2	－	50.0	50.0	－	

【新規】

問 21-4 で「研修内容や、活動の条件次第では市民後見人になってみたい」を回答された方のみにお尋ねします。

問 21-5 市民後見人の活動において、重要だと思うことは何ですか。【3つまで○印】

「高齢者や障害者の支援ができる」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「住んでいる地域で活動できる」の割合が 41.7%、「わからないことを相談できる所がある」、「地域で困っている人の役に立てる」、「専門的な知識の必要性」の割合が 33.3%となっています。

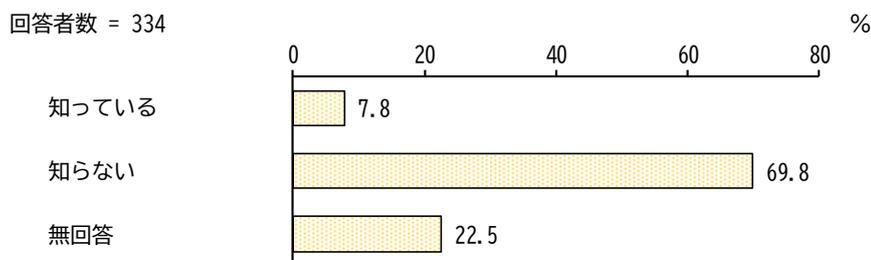


【新規】

問 21 で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 21-6 民生委員児童委員や福祉施設等の職員を通じた市町村長申し立てにより成年後見制度が利用できることを知っていますか。【1つに○印】

「知らない」の割合が 69.8%、「知っている」の割合が 7.8%となっています。

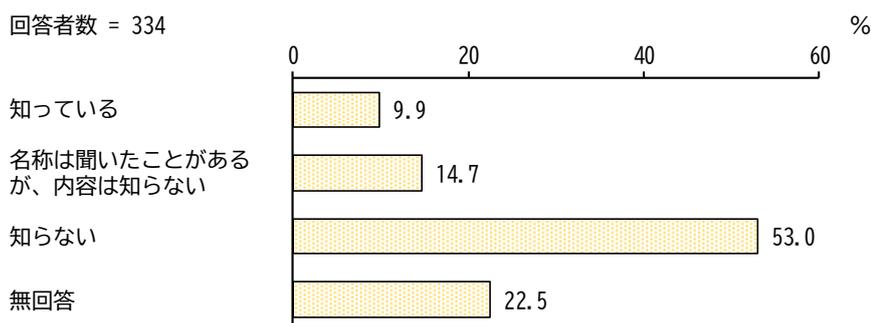


【新規】

問 21 で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 21-7 「任意後見制度」を知っていますか。【1つに○印】

「知らない」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 14.7%となっています。



## (7) 住民が安全で安心して暮らせるよう再犯の防止等について

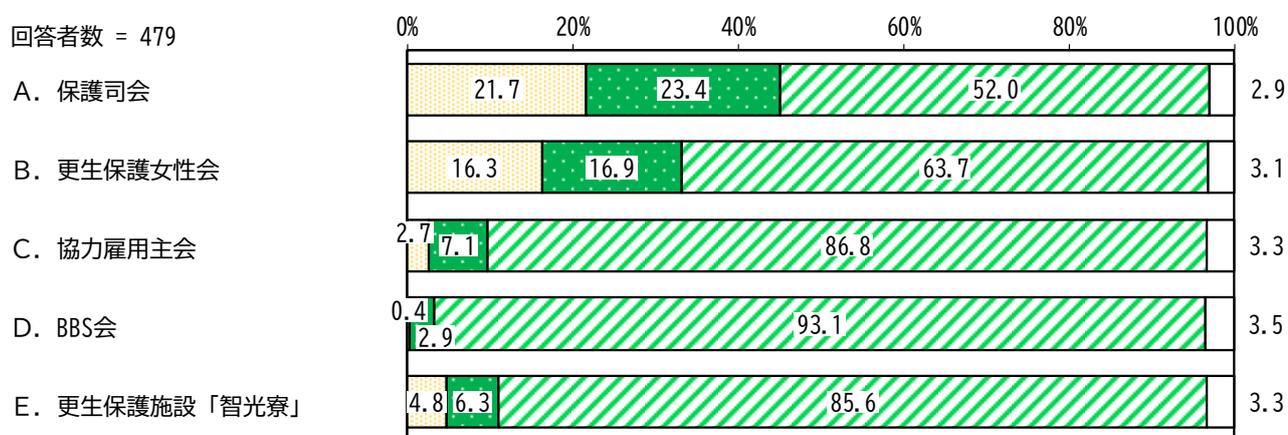
【新規】

問 22 あなたは地域の中で、保護司会、更生保護女性会、協力雇用主会、BBS会など再犯防止活動等を行っている団体や施設があることを知っていますか。  
【それぞれ1つずつ〇印】

すべての項目で「知らない」の割合が高く、『A. 保護司会』で 52.0%、『B. 更生保護女性会』で 63.7%、『C. 協力雇用主会』で 86.8%、『D. BBS 会』で 93.1%、『E. 更生保護施設「智光寮」』で 85.6%となっています。

- 知っている
- 名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 知らない
- 無回答

回答者数 = 479



### A. 保護司会

【年代別】

年代別にみると、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない	知らない	無回答
全体	479	21.7	23.4	52.0	2.9
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	3.8	3.8	92.3	—
30歳代	55	9.1	18.2	70.9	1.8
40歳代	65	18.5	18.5	63.1	—
50歳代	84	16.7	25.0	57.1	1.2
60歳代	113	29.2	31.9	37.2	1.8
70歳代	121	30.6	21.5	40.5	7.4
80歳以上	11	18.2	54.5	18.2	9.1

## B. 更生保護女性会

### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	名称は聞いたこと があるが、活動内容 は知らない	知らない	無回答
全 体	479	16.3	16.9	63.7	3.1
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	7.7	3.8	88.5	—
30歳代	55	5.5	5.5	87.3	1.8
40歳代	65	13.8	18.5	67.7	—
50歳代	84	9.5	16.7	72.6	1.2
60歳代	113	20.4	23.9	53.1	2.7
70歳代	121	24.8	16.5	51.2	7.4
80歳以上	11	27.3	36.4	27.3	9.1

## C. 協力雇用主会

### 【年代別】

年代別にみると、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	名称は聞いたこと があるが、活動内容 は知らない	知らない	無回答
全 体	479	2.7	7.1	86.8	3.3
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	—	7.7	92.3	—
30歳代	55	3.6	1.8	92.7	1.8
40歳代	65	1.5	6.2	92.3	—
50歳代	84	1.2	8.3	89.3	1.2
60歳代	113	4.4	6.2	87.6	1.8
70歳代	121	3.3	10.7	76.9	9.1
80歳以上	11	—	—	90.9	9.1

## D. BBS 会

### 【年代別】

年代別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	名称は聞いたこと があるが、活動内容 は知らない	知らない	無回答
全 体	479	0.4	2.9	93.1	3.5
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	3.8	—	96.2	—
30歳代	55	—	1.8	96.4	1.8
40歳代	65	1.5	3.1	95.4	—
50歳代	84	—	3.6	95.2	1.2
60歳代	113	—	2.7	95.6	1.8
70歳代	121	—	4.1	86.8	9.1
80歳以上	11	—	—	81.8	18.2

## E. 更生保護施設「智光寮」

### 【年代別】

年代別にみると、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

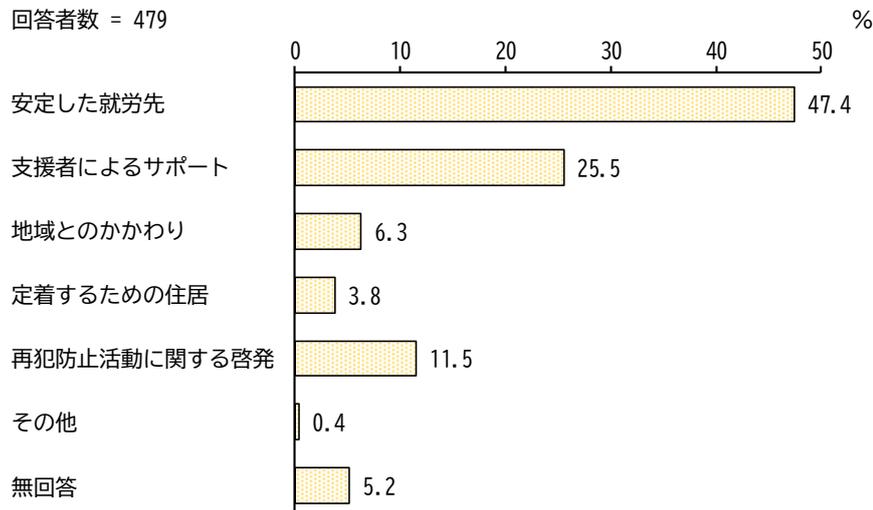
単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	名称は聞いたこと があるが、活動内容 は知らない	知らない	無回答
全 体	479	4.8	6.3	85.6	3.3
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	—	7.7	92.3	—
30歳代	55	—	—	98.2	1.8
40歳代	65	1.5	6.2	92.3	—
50歳代	84	4.8	6.0	88.1	1.2
60歳代	113	6.2	8.8	83.2	1.8
70歳代	121	7.4	7.4	76.0	9.1
80歳以上	11	18.2	—	72.7	9.1

【新規】

問 23 豊橋市では「再犯防止推進計画」を定めていますが、犯罪をした者等が復帰に向けて地域社会の中で孤立することなく、自立した社会の構成員として安定した生活を送るために必要なものについてあなたの考えに最も近いものをお答えください。【1つに○印】

「安定した就労先」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「支援者によるサポート」の割合が 25.5%、「再犯防止活動に関する啓発」の割合が 11.5%となっています。



【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「支援者によるサポート」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	安定した就労先	支援者によるサポート	地域とのかかわり	定着するための住居	再犯防止活動に関する啓発	その他	無回答
全体	479	47.4	25.5	6.3	3.8	11.5	0.4	5.2
10歳代	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—	—
20歳代	26	38.5	30.8	15.4	—	11.5	3.8	—
30歳代	55	47.3	23.6	7.3	3.6	16.4	—	1.8
40歳代	65	50.8	26.2	7.7	1.5	10.8	1.5	1.5
50歳代	84	54.8	25.0	1.2	6.0	10.7	—	2.4
60歳代	113	42.5	30.1	6.2	4.4	12.4	—	4.4
70歳代	121	48.8	19.8	5.8	3.3	9.9	—	12.4
80歳以上	11	27.3	36.4	9.1	9.1	9.1	—	9.1

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）で「支援者によるサポート」の割合が高くなっています。

単位：％

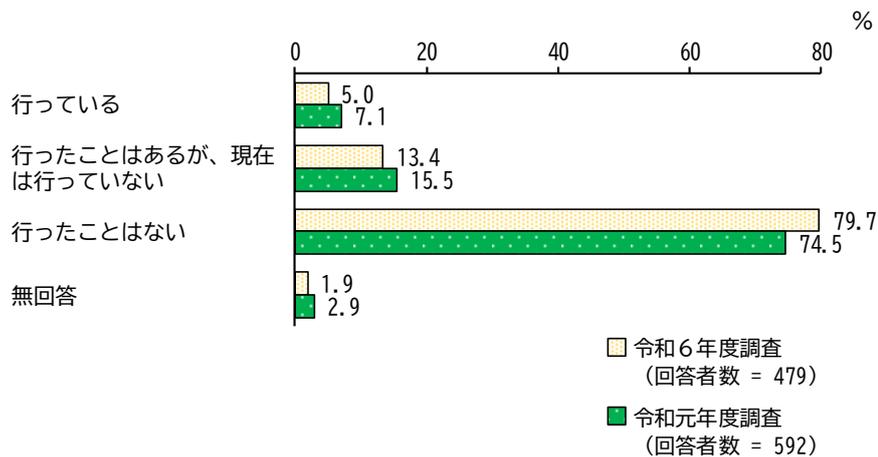
区分	回答者数 (件)	安定した就労先	支援者によるサポート	地域とのかかわり	居定着するための住	再犯防止活動に関する啓発	その他	無回答
全 体	479	47.4	25.5	6.3	3.8	11.5	0.4	5.2
ひとり暮らし	51	33.3	37.3	11.8	2.0	9.8	—	5.9
夫婦のみ世帯	121	54.5	18.2	4.1	5.0	11.6	—	6.6
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	10	30.0	70.0	—	—	—	—	—
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	155	48.4	25.8	5.8	2.6	12.9	—	4.5
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	52	51.9	25.0	9.6	—	7.7	—	5.8
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	60	40.0	28.3	5.0	6.7	16.7	—	3.3
その他	19	57.9	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5

## (8) ボランティア（個人）活動やNPO（市民活動団体など民間非営利団体）活動について

### 問 24 あなたはボランティア活動やNPO活動を行っていますか。【1つに○印】

「行ったことはない」の割合が79.7%と最も高く、次いで「行ったことはあるが、現在は行っていない」の割合が13.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「行ったことはない」の割合が増加しています。



#### 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「行ったことはあるが、現在は行っていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	行っている	行ったことはあるが、現在は行っていない	行ったことはない	無回答
全 体	479	5.0	13.4	79.7	1.9
10歳代	4	—	25.0	75.0	—
20歳代	26	3.8	26.9	69.2	—
30歳代	55	3.6	20.0	76.4	—
40歳代	65	9.2	16.9	73.8	—
50歳代	84	2.4	10.7	85.7	1.2
60歳代	113	7.1	9.7	82.3	0.9
70歳代	121	4.1	10.7	80.2	5.0
80歳以上	11	—	9.1	81.8	9.1

【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ボランティア活動で「行っている」の割合が高くなっています。

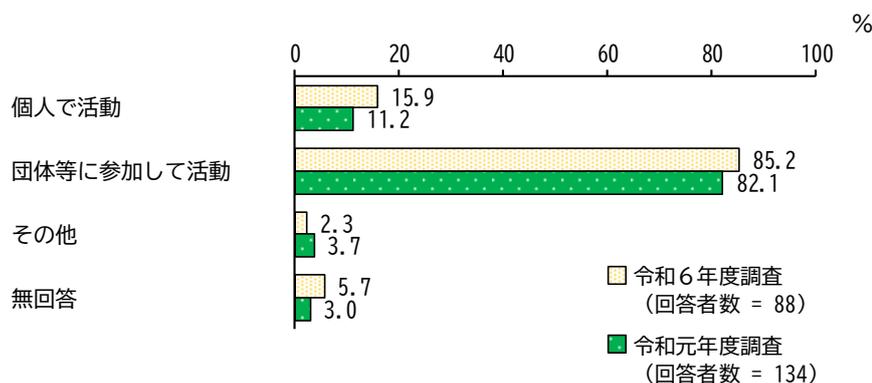
単位：％

区分	回答者数 (件)	行っている	行ったことはある が、現在は行っていない	行ったことはない	無回答
全 体	479	5.0	13.4	79.7	1.9
地域の助け合い活動	136	9.6	12.5	77.2	0.7
高齢者支援	243	5.8	13.2	80.2	0.8
子育て支援	175	7.4	19.4	73.1	—
障害者（児）支援	107	8.4	15.0	74.8	1.9
ボランティア活動	58	22.4	20.7	55.2	1.7
健康・生きがいづくり	185	5.9	18.4	75.1	0.5
福祉に関する教育・学習	74	13.5	25.7	60.8	—
災害時の助け合い	262	5.7	14.5	79.0	0.8
貧困対策	92	5.4	17.4	77.2	—
ひきこもり支援	55	9.1	12.7	78.2	—
ダブルケア対策	83	7.2	21.7	71.1	—
ヤングケアラー	73	12.3	16.4	71.2	—
いずれにも関心がない	14	—	—	78.6	21.4

問 24 で「行っている」または「行ったことはあるが、現在は行っていない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 24-2 活動形態はどのようなものですか。【あてはまるものすべてに○印】

「団体等に参加して活動」の割合が 85.2%、「個人で活動」の割合が 15.9%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

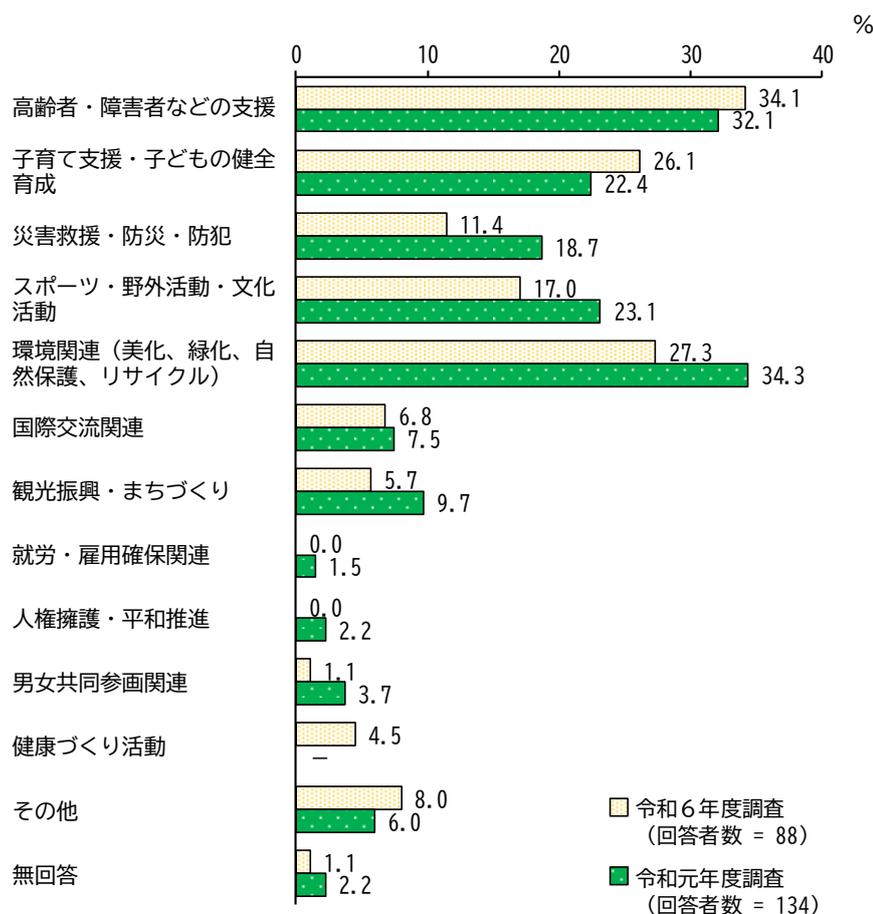


問 24 で「行っている」または「行ったことはあるが、現在は行っていない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 24-3 活動分野は何ですか。【あてはまるものすべてに○印】

「高齢者・障害者などの支援」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「環境関連（美化、緑化、自然保護、リサイクル）」の割合が 27.3%、「子育て支援・子どもの健全育成」の割合が 26.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「災害救援・防災・防犯」、「スポーツ・野外活動・文化活動」、「環境関連（美化、緑化、自然保護、リサイクル）」の割合が減少しています。



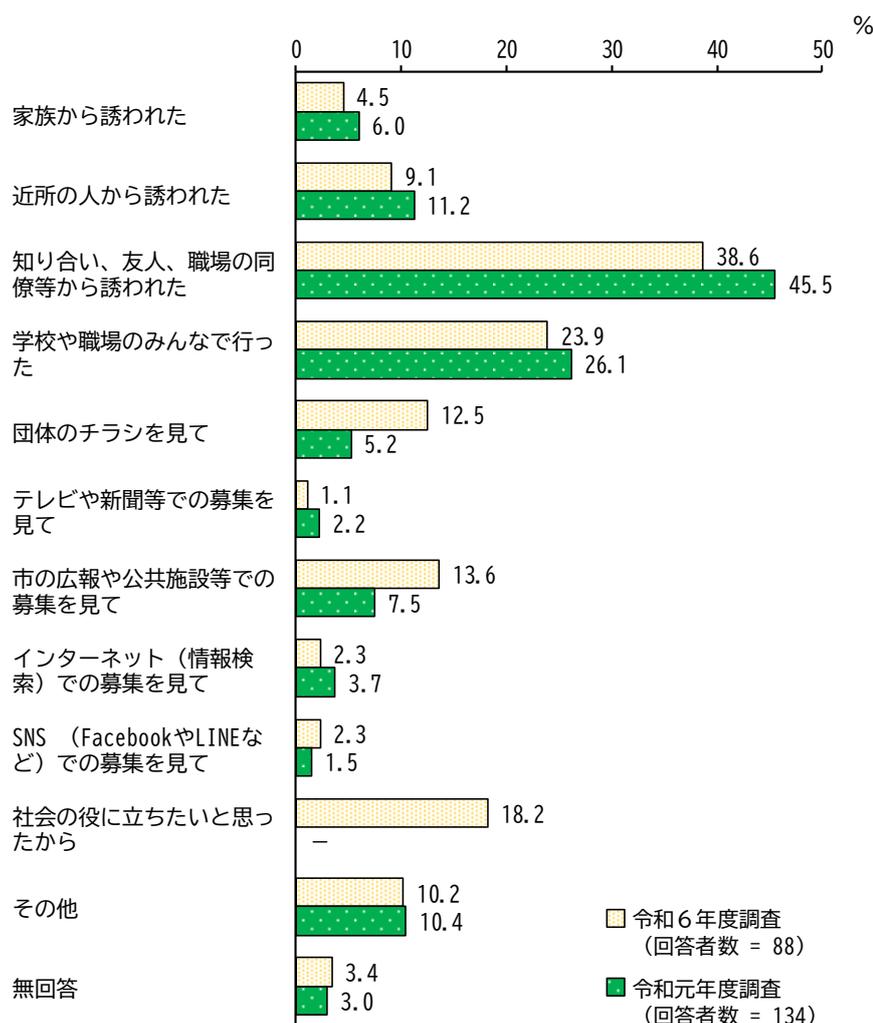
※前回調査では、「健康づくり活動」の選択肢はありませんでした。

問 24 で「行っている」または「行ったことはあるが、現在は行っていない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 24-4 活動を始めたきっかけは何ですか。【3つまで〇印】

「知り合い、友人、職場の同僚等から誘われた」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「学校や職場のみんなで行った」の割合が 23.9%、「社会の役に立ちたいと思ったから」の割合が 18.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「団体のチラシを見て」、「市の広報や公共施設等での募集を見て」の割合が増加しています。一方、「知り合い、友人、職場の同僚等から誘われた」の割合が減少しています。



※前回調査では、「社会の役に立ちたいと思ったから」の選択肢はありませんでした。

【ボランティア活動の分野別】

ボランティア活動の分野別にみると、子育て支援・子どもの健全育成で「学校や職場のみんなで行った」の割合が高くなっています。

単位：％

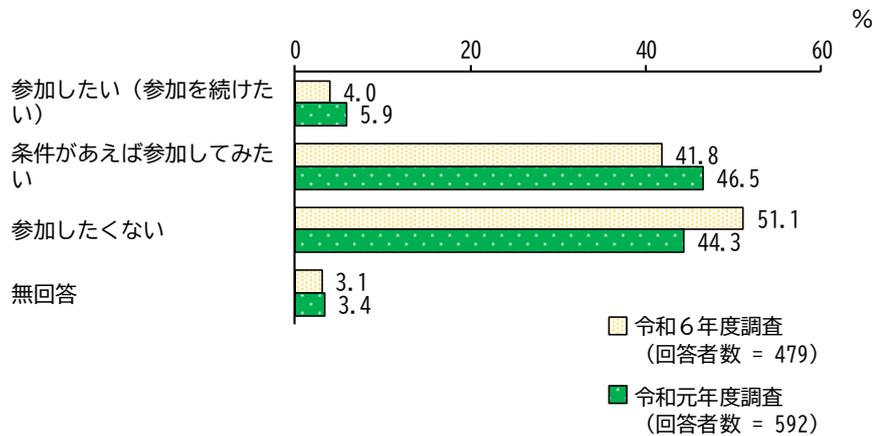
区分	回答者数(件)	家族から誘われた	近所の人から誘われた	職場の同僚等から誘われた	知り合い、友人、職場の同僚等から誘われた	学校や職場のみんなで行った	団体のチラシを見て	テレビや新聞等での募集を見て
全体	88	4.5	9.1	38.6	23.9	12.5	1.1	
高齢者・障害者などの支援	30	3.3	6.7	43.3	30.0	10.0	—	
子育て支援・子どもの健全育成	23	13.0	4.3	47.8	39.1	26.1	—	
災害救援・防災・防犯	10	—	10.0	30.0	20.0	10.0	—	
スポーツ・野外活動・文化活動	15	6.7	20.0	40.0	6.7	6.7	—	
環境関連（美化、緑化、自然保護、リサイクル）	24	4.2	16.7	45.8	29.2	8.3	4.2	
国際交流関連	6	—	—	50.0	33.3	50.0	—	
観光振興・まちづくり	5	—	—	60.0	20.0	40.0	—	
就労・雇用確保関連	—	—	—	—	—	—	—	
人権擁護・平和推進	—	—	—	—	—	—	—	
男女共同参画関連	1	—	—	100.0	—	100.0	—	
健康づくり活動	4	—	50.0	75.0	25.0	—	—	
その他	7	—	—	28.6	—	14.3	—	

区分	市等の広報や公共施設での募集を見	インターネット（情報検索）での募集を見て	SNS（FacebookやLINEなど）での募集を見て	社会の役に立ちたいと思ったから	その他	無回答
全体	13.6	2.3	2.3	18.2	10.2	3.4
高齢者・障害者などの支援	16.7	3.3	—	23.3	3.3	—
子育て支援・子どもの健全育成	13.0	4.3	—	26.1	—	—
災害救援・防災・防犯	20.0	—	—	—	10.0	20.0
スポーツ・野外活動・文化活動	6.7	—	13.3	13.3	13.3	6.7
環境関連（美化、緑化、自然保護、リサイクル）	16.7	—	—	8.3	8.3	—
国際交流関連	16.7	—	—	16.7	16.7	—
観光振興・まちづくり	—	—	—	20.0	20.0	—
就労・雇用確保関連	—	—	—	—	—	—
人権擁護・平和推進	—	—	—	—	—	—
男女共同参画関連	—	—	—	100.0	—	—
健康づくり活動	—	—	—	50.0	—	—
その他	14.3	—	14.3	14.3	42.9	—

問 25 今後、ボランティア活動やNPO活動に参加してみたい（参加を続けたい）と思いませんか。【1つに○印】

「参加したくない」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「条件があれば参加してみたい」の割合が 41.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「条件があれば参加してみたい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	参加したい (参加を続けたい)	条件があれば参加してみたい	参加したくない	無回答
全体	479	4.0	41.8	51.1	3.1
10歳代	4	—	75.0	25.0	—
20歳代	26	3.8	65.4	30.8	—
30歳代	55	5.5	49.1	45.5	—
40歳代	65	7.7	55.4	36.9	—
50歳代	84	1.2	36.9	59.5	2.4
60歳代	113	4.4	41.6	53.1	0.9
70歳代	121	3.3	30.6	57.0	9.1
80歳以上	11	—	18.2	72.7	9.1

【職業別】

職業別にみると、派遣社員、契約・期間社員で「条件があれば参加してみたい」の割合が高くなっています。

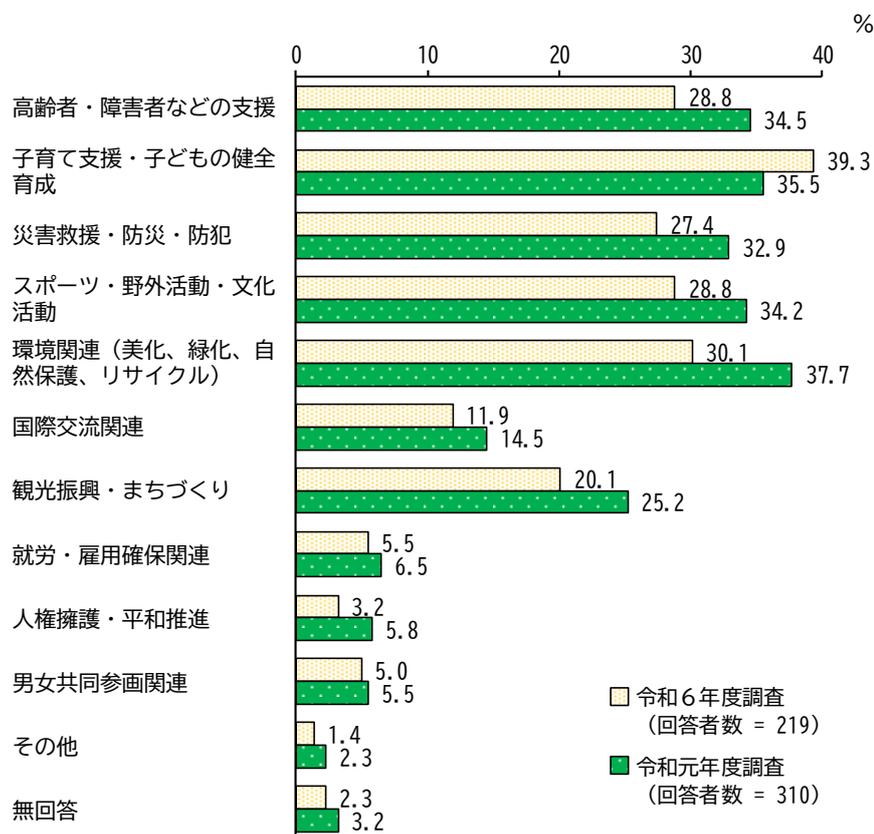
単位：％

区分	回答者数 (件)	参加したい (参加を 続けたい)	条件があれば参加 してみたい	参加したくない	無回答
全 体	479	4.0	41.8	51.1	3.1
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	46	6.5	32.6	54.3	6.5
正社員	130	3.1	46.2	50.8	—
派遣社員、契約・期間社員	20	5.0	65.0	30.0	—
パート、アルバイト、フリーター	103	4.9	50.5	41.7	2.9
学生	8	—	62.5	37.5	—
家事専業（主婦・主夫）	64	—	35.9	60.9	3.1
無職	92	5.4	27.2	60.9	6.5
その他	8	12.5	37.5	50.0	—

問 25 で「参加したい（参加を続けたい）」または「条件があえば参加してみたい」を回答された方のみにお尋ねします。

問 25－2 参加してみたい活動は何ですか。【あてはまるものすべてに○印】

「子育て支援・子どもの健全育成」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「環境関連（美化、緑化、自然保護、リサイクル）」の割合が 30.1%、「高齢者・障害者などの支援」、「スポーツ・野外活動・文化活動」の割合が 28.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「災害救援・防災・防犯」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高齢者・ 障害者などの 支援	子育て支援・ 子どもの 健全育成	災害救援・ 防災・防犯	スポーツ・ 野外活動・ 文化活動	環境関連(美化、 緑化、自然保護、 リサイクル)	国際交流関連	観光振興・ まちづくり	就労・雇用 確保関連	人権擁護・ 平和推進	男女共同 参画関連	その他	無回答
全体	219	28.8	39.3	27.4	28.8	30.1	11.9	20.1	5.5	3.2	5.0	1.4	2.3
男性	79	26.6	26.6	43.0	44.3	34.2	12.7	20.3	6.3	3.8	6.3	2.5	—
女性	139	30.2	46.0	18.7	20.1	28.1	11.5	20.1	5.0	2.9	4.3	0.7	3.6
その他	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別にみると、20歳代で「国際交流関連」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高齢者・ 障害者などの 支援	子育て支援・ 子どもの 健全育成	災害救援・ 防災・防犯	スポーツ・ 野外活動・ 文化活動	環境関連(美化、 緑化、自然保護、 リサイクル)	国際交流関連	観光振興・ まちづくり	就労・雇用 確保関連	人権擁護・ 平和推進	男女共同 参画関連	その他	無回答
全体	219	28.8	39.3	27.4	28.8	30.1	11.9	20.1	5.5	3.2	5.0	1.4	2.3
10歳代	3	—	66.7	66.7	100.0	—	—	33.3	—	—	—	—	—
20歳代	18	5.6	50.0	22.2	44.4	38.9	33.3	33.3	5.6	—	—	—	—
30歳代	30	30.0	56.7	23.3	23.3	30.0	10.0	33.3	10.0	3.3	6.7	—	—
40歳代	41	31.7	48.8	29.3	39.0	17.1	9.8	17.1	7.3	4.9	12.2	2.4	—
50歳代	32	37.5	34.4	31.3	25.0	28.1	15.6	21.9	—	3.1	3.1	3.1	—
60歳代	52	23.1	34.6	30.8	23.1	30.8	13.5	13.5	5.8	—	1.9	1.9	1.9
70歳代	41	39.0	17.1	22.0	22.0	43.9	2.4	14.6	4.9	7.3	4.9	—	9.8
80歳以上	2	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【職業別】

職業別にみると、派遣社員、契約・期間社員で「災害救援・防災・防犯」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高齢者・障害者などの 支援	子育て支援・子どもの 健全育成	災害救援・防災・防 犯	スポーツ・文化活動 ・野外活動	環境関連(美化、緑 化、自然保護、リサ イクル)	国際交流関連
全 体	219	28.8	39.3	27.4	28.8	30.1	11.9
自営業(商店・企業経営、農林水産業など)	18	27.8	33.3	27.8	27.8	33.3	5.6
正社員	64	25.0	37.5	37.5	43.8	25.0	10.9
派遣社員、契約・期間社員	14	28.6	21.4	57.1	50.0	50.0	21.4
パート、アルバイト、フリーター	57	31.6	49.1	19.3	14.0	26.3	10.5
学生	5	—	60.0	20.0	80.0	20.0	40.0
家事専業(主婦・主夫)	23	30.4	56.5	17.4	8.7	26.1	13.0
無職	30	36.7	20.0	13.3	26.7	50.0	13.3
その他	4	25.0	50.0	50.0	25.0	—	—

区分	観光振興・まちづく り	就労・雇用確保関連	人権擁護・平和推進	男女共同参画関連	その他	無回答
全 体	20.1	5.5	3.2	5.0	1.4	2.3
自営業(商店・企業経営、農林水産業など)	16.7	11.1	5.6	5.6	—	—
正社員	25.0	6.3	—	9.4	1.6	—
派遣社員、契約・期間社員	35.7	7.1	14.3	7.1	—	—
パート、アルバイト、フリーター	10.5	7.0	—	1.8	1.8	—
学生	40.0	—	—	—	—	—
家事専業(主婦・主夫)	21.7	4.3	17.4	4.3	—	8.7
無職	23.3	—	—	—	3.3	3.3
その他	—	—	—	—	—	—

【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ボランティア活動で「環境関連（美化、緑化、自然保護、リサイクル）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高齢者・ 障害者など の支援	子育て支援・ 子どもの 健全育成	災害救援・ 防災・防 犯	スポーツ・ 野外活 動・文化活動	環境関連（ 美化、緑 化、自然保 護、リサ イクル）	国際交 流関連
全 体	219	28.8	39.3	27.4	28.8	30.1	11.9
地域の助け合い活動	74	31.1	33.8	31.1	29.7	40.5	17.6
高齢者支援	110	39.1	39.1	29.1	28.2	31.8	10.9
子育て支援	111	28.8	54.1	31.5	29.7	28.8	11.7
障害者（児）支援	62	45.2	38.7	37.1	22.6	32.3	14.5
ボランティア活動	44	43.2	36.4	40.9	27.3	47.7	15.9
健康・生きがいづくり	92	33.7	37.0	31.5	30.4	43.5	14.1
福祉に関する教育・学習	47	44.7	48.9	27.7	29.8	46.8	19.1
災害時の助け合い	124	26.6	41.1	34.7	28.2	33.1	13.7
貧困対策	53	34.0	39.6	30.2	30.2	39.6	13.2
ひきこもり支援	31	38.7	38.7	35.5	19.4	35.5	12.9
ダブルケア対策	50	36.0	46.0	28.0	32.0	40.0	16.0
ヤングケアラー	47	38.3	46.8	34.0	23.4	36.2	12.8
いずれにも関心がない	2	－	－	50.0	－	50.0	－

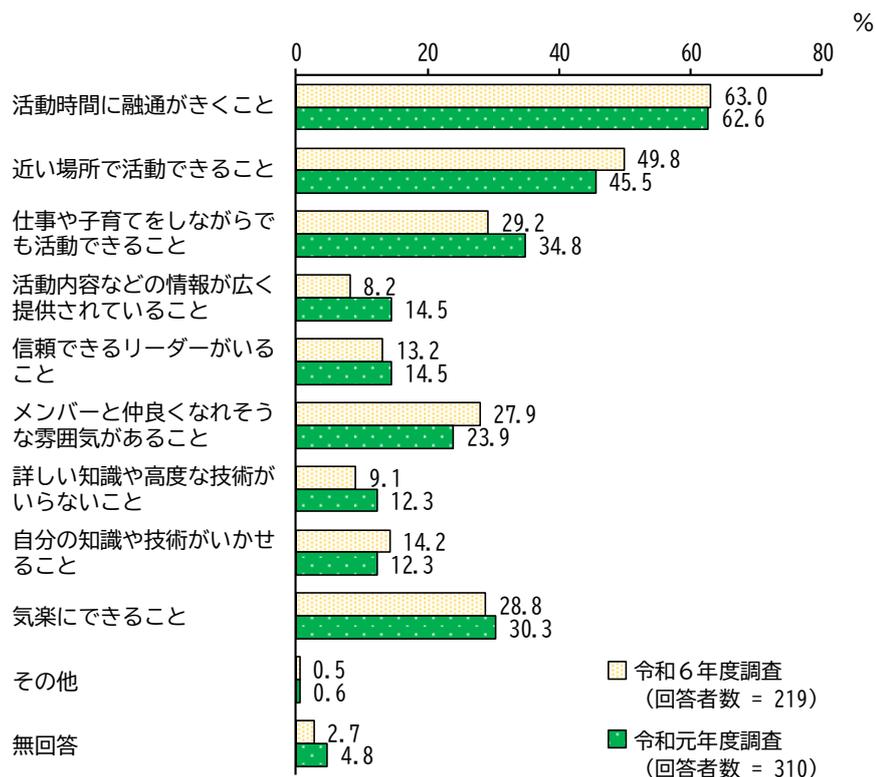
区分	観光振興・ まちづく り	就労・ 雇用確保 関連	人権擁護・ 平和推進	男女共同 参画関連	その他	無回 答
全 体	20.1	5.5	3.2	5.0	1.4	2.3
地域の助け合い活動	25.7	9.5	5.4	8.1	1.4	2.7
高齢者支援	15.5	4.5	2.7	4.5	1.8	0.9
子育て支援	19.8	6.3	2.7	2.7	－	0.9
障害者（児）支援	22.6	6.5	4.8	1.6	－	1.6
ボランティア活動	31.8	4.5	11.4	11.4	－	－
健康・生きがいづくり	28.3	4.3	3.3	3.3	1.1	2.2
福祉に関する教育・学習	29.8	10.6	4.3	12.8	－	－
災害時の助け合い	19.4	5.6	3.2	4.8	2.4	2.4
貧困対策	20.8	5.7	1.9	5.7	3.8	－
ひきこもり支援	22.6	12.9	6.5	6.5	3.2	3.2
ダブルケア対策	28.0	14.0	4.0	6.0	2.0	－
ヤングケアラー	27.7	12.8	4.3	10.6	－	－
いずれにも関心がない	－	－	－	－	－	－

問 25 で「参加したい（参加を続けたい）」または「条件があれば参加してみたい」を回答された方のみにお尋ねします。

問 25-3 参加するにあたって重視することは何ですか。【3つまで〇印】

「活動時間に融通がきくこと」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「近い場所で活動できること」の割合が 49.8%、「仕事や子育てをしながらでも活動できること」の割合が 29.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「仕事や子育てをしながらでも活動できること」、「活動内容などの情報が広く提供されていること」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳代で「メンバーと仲良くなれそうな雰囲気があること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	活動時間に融通が きくこと	近い場所で活動で きること	仕事や子育てをし ながらでも活動で きること	活動内容などの情 報が広く提供され ていること	信頼できるリーダ ーがいること	メンバーと仲良 くなれそうな雰 囲気があること	詳しい知識や高度 な技術がいない こと	自分の知識や技術 がいかせること	気楽にできること	その他	無回答
全 体	219	63.0	49.8	29.2	8.2	13.2	27.9	9.1	14.2	28.8	0.5	2.7
10歳代	3	33.3	66.7	—	—	—	66.7	33.3	—	66.7	—	—
20歳代	18	38.9	44.4	33.3	11.1	11.1	61.1	11.1	11.1	5.6	—	11.1
30歳代	30	56.7	40.0	56.7	6.7	3.3	23.3	10.0	10.0	30.0	3.3	—
40歳代	41	78.0	36.6	41.5	—	22.0	31.7	9.8	19.5	22.0	—	—
50歳代	32	75.0	50.0	34.4	3.1	12.5	25.0	6.3	18.8	40.6	—	—
60歳代	52	65.4	57.7	19.2	11.5	13.5	25.0	9.6	13.5	23.1	—	1.9
70歳代	41	56.1	63.4	7.3	17.1	12.2	14.6	7.3	12.2	36.6	—	7.3
80歳以上	2	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	100.0	—	—

【職業別】

職業別にみると、無職で「近い場所で活動できること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	活動時間に融通が きくこと	近い場所で活動で きること	仕事や子育てをし ながらも活動で きること	活動内容などの情 報が広く提供され ていること	信頼できるリーダ ーがいること
全 体	219	63.0	49.8	29.2	8.2	13.2
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	18	61.1	44.4	33.3	22.2	22.2
正社員	64	65.6	39.1	43.8	4.7	17.2
派遣社員、契約・期間社員	14	50.0	42.9	14.3	14.3	14.3
パート、アルバイト、フリーター	57	70.2	45.6	35.1	3.5	7.0
学生	5	40.0	60.0	20.0	—	—
家事専業（主婦・主夫）	23	60.9	65.2	30.4	8.7	13.0
無職	30	63.3	73.3	—	16.7	13.3
その他	4	50.0	50.0	—	—	25.0

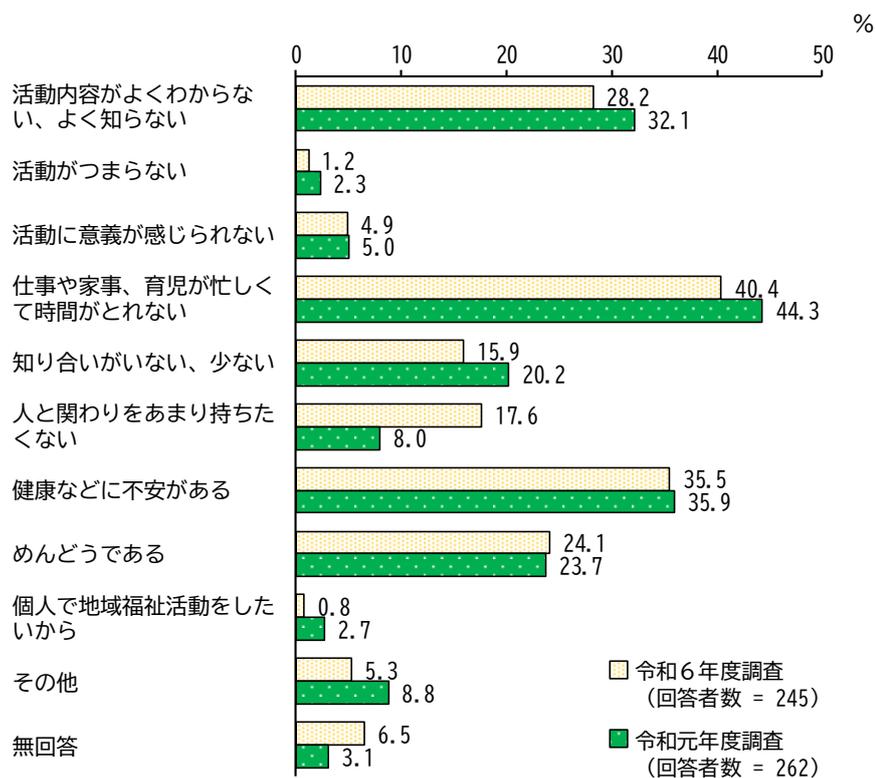
区分	メンバ ーと仲 良く なれる ような 雰囲気 がある こと	詳しい 知識や 高度な 技術が ないこ と	自分の 知識や 技術が いかせ ること	気楽に できる こと	その他	無回 答
全 体	27.9	9.1	14.2	28.8	0.5	2.7
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	5.6	11.1	11.1	33.3	—	—
正社員	31.3	7.8	14.1	21.9	—	3.1
派遣社員、契約・期間社員	50.0	21.4	21.4	28.6	—	—
パート、アルバイト、フリーター	28.1	7.0	12.3	38.6	1.8	—
学生	60.0	40.0	20.0	20.0	—	—
家事専業（主婦・主夫）	21.7	8.7	8.7	13.0	—	8.7
無職	16.7	6.7	16.7	43.3	—	—
その他	50.0	—	25.0	—	—	—

問 25 で「参加したくない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 25-4 今後、ボランティア活動やNPO活動に参加したくない理由は何ですか。  
【3つまで〇印】

「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「健康などに不安がある」の割合が 35.5%、「活動内容がよくわからない、よく知らない」の割合が 28.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「人と関わりをあまり持ちたくない」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別にみると、30歳代で「仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

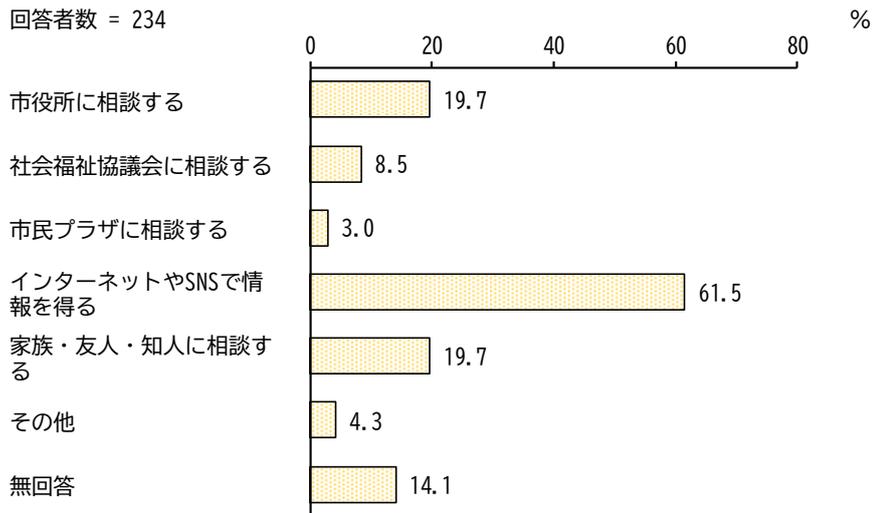
区分	回答者数(件)	活動内容がよくわからない	活動がつまらない	活動に意義が感じられない	仕事や家事、育児が忙しくて時間がとれない	知り合いが少ない	人と関わりをあまり持ちたくない	健康などに不安がある	めんどろである	個人で地域福祉活動をしたいため	その他	無回答
全体	245	28.2	1.2	4.9	40.4	15.9	17.6	35.5	24.1	0.8	5.3	6.5
10歳代	1	—	—	100.0	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	8	37.5	—	—	50.0	37.5	12.5	—	62.5	—	—	—
30歳代	25	20.0	—	16.0	76.0	16.0	24.0	4.0	12.0	—	4.0	4.0
40歳代	24	20.8	4.2	—	45.8	12.5	41.7	16.7	50.0	—	—	4.2
50歳代	50	36.0	2.0	4.0	58.0	16.0	18.0	18.0	18.0	—	4.0	6.0
60歳代	60	30.0	—	1.7	43.3	16.7	18.3	40.0	18.3	3.3	6.7	6.7
70歳代	69	26.1	1.4	5.8	11.6	14.5	8.7	60.9	26.1	—	7.2	10.1
80歳以上	8	25.0	—	—	25.0	—	—	87.5	—	—	12.5	—

【新規】

問 24 で「行っている」、「行ったことはあるが、現在は行っていない」または問 25 で「参加したい（参加を続けたい）」、「条件があれば参加してみたい」と回答された方のみにお尋ねします。

問 26 あなたはボランティア団体の活動やNPO活動に関しての情報を入手したいときはどのようにしていますか。【2つまで○印】

「インターネットや SNS で情報を得る」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「市役所に相談する」、「家族・友人・知人に相談する」の割合が 19.7%となっています。



【年代別】

年代別にみると、30 歳代で「インターネットや SNS で情報を得る」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市役所に相談する	社会福祉協議会に相談する	市民プラザに相談する	インターネットや SNS で情報を得る	家族・友人・知人に相談する	その他	無回答
全 体	234	19.7	8.5	3.0	61.5	19.7	4.3	14.1
10歳代	3	—	—	—	100.0	33.3	—	—
20歳代	18	5.6	—	—	77.8	33.3	—	11.1
30歳代	31	16.1	—	6.5	87.1	19.4	6.5	—
40歳代	42	14.3	7.1	2.4	78.6	14.3	7.1	7.1
50歳代	36	19.4	8.3	—	58.3	19.4	8.3	13.9
60歳代	58	15.5	10.3	5.2	58.6	15.5	1.7	22.4
70歳代	43	39.5	16.3	2.3	25.6	25.6	2.3	23.3
80歳以上	3	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—

## (9) 地域の福祉環境について

問27 あなたがお住まいの地域（おおむね小学校区の範囲）の福祉環境について、どのよう  
にお考えですか。【それぞれ1つずつ○印】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、『A. 困ったときに近所の人相談に乗ったり、助けてくれる』で39.0%、『B. 地域全体で子どもの見守りや子育ての支援をしていこうという雰囲気がある』で43.2%、『C. ひとり暮らしの高齢者、障害者が安心して暮らすことができる』で31.7%、『D. 要介護になったときに様々なサービスを受けることができる』で44.5%、『E. 高齢者、障害者などが活躍する機会がある』で20.4%、『F. 高齢者、障害者、妊婦や乳幼児連れの親子などが外出しやすい』で34.6%、『G. 自分自身や家族が認知症である場合、近所の人や友人に言える』で44.9%、『H. 認知症になっても出かける場所がある（デイサービスやグループホームなどの施設以外）』で22.5%、『I. 道路の段差解消や歩道があるなど、移動しやすい』で30.4%、『J. 治安がよい』で64.5%、『K. 様々な人々が気軽に集える場所がある』で22.5%となっています。

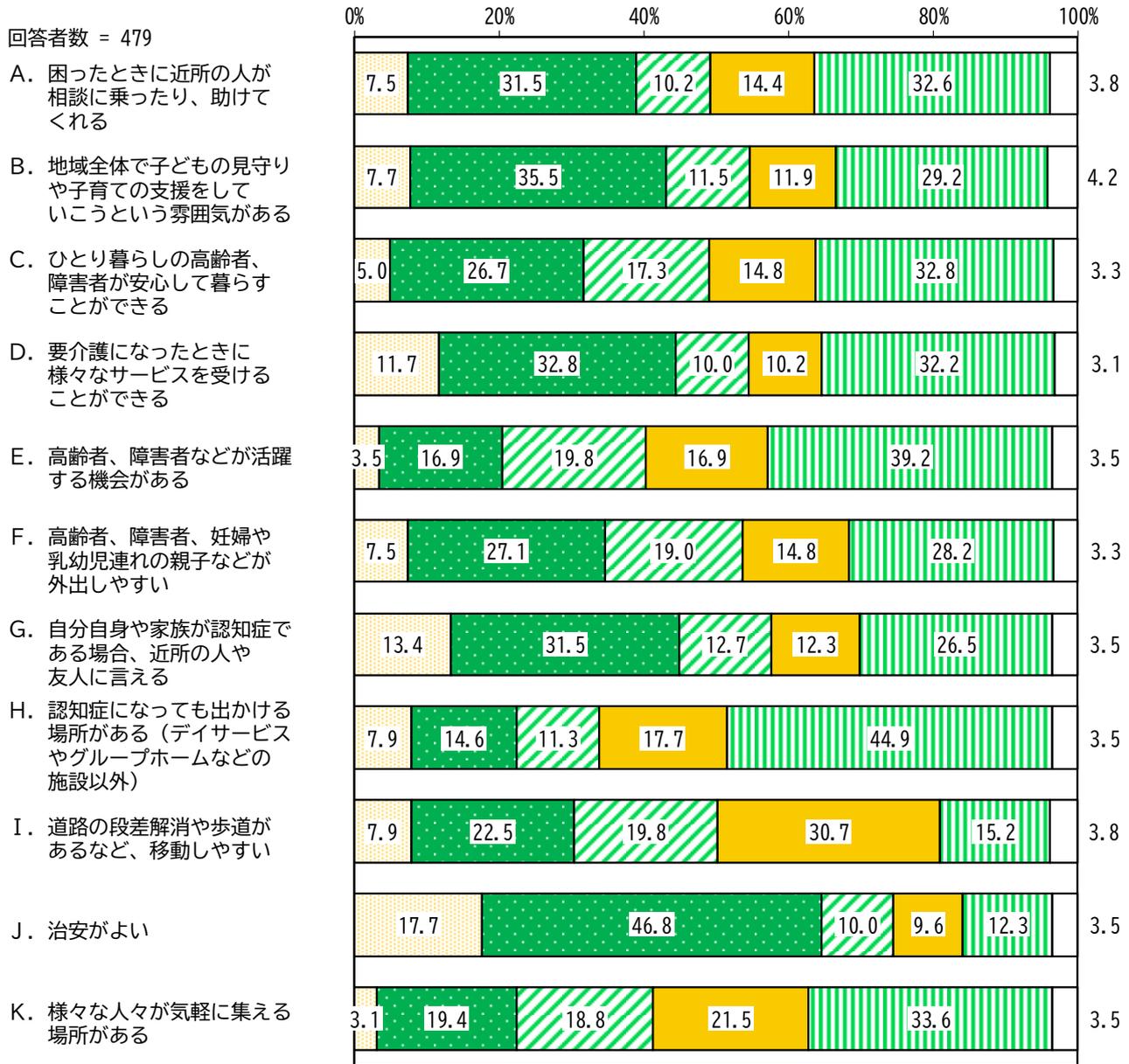
「どちらかといえばそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた“思わない”の割合が、『A. 困ったときに近所の人相談に乗ったり、助けてくれる』で24.6%、『B. 地域全体で子どもの見守りや子育ての支援をしていこうという雰囲気がある』で23.4%、『C. ひとり暮らしの高齢者、障害者が安心して暮らすことができる』で32.1%、『D. 要介護になったときに様々なサービスを受けることができる』で20.2%、『E. 高齢者、障害者などが活躍する機会がある』で36.7%、『F. 高齢者、障害者、妊婦や乳幼児連れの親子などが外出しやすい』で33.8%、『G. 自分自身や家族が認知症である場合、近所の人や友人に言える』で25.0%、『H. 認知症になっても出かける場所がある（デイサービスやグループホームなどの施設以外）』で29.0%、『I. 道路の段差解消や歩道があるなど、移動しやすい』で50.5%、『J. 治安がよい』で19.6%、『K. 様々な人々が気軽に集える場所がある』で40.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“思う”の『D. 要介護になったときに様々なサービスを受けることができる』が令和6年度調査で44.5%と、令和元年度調査と比べて8.4ポイント高くなっています

【令和6年度調査】

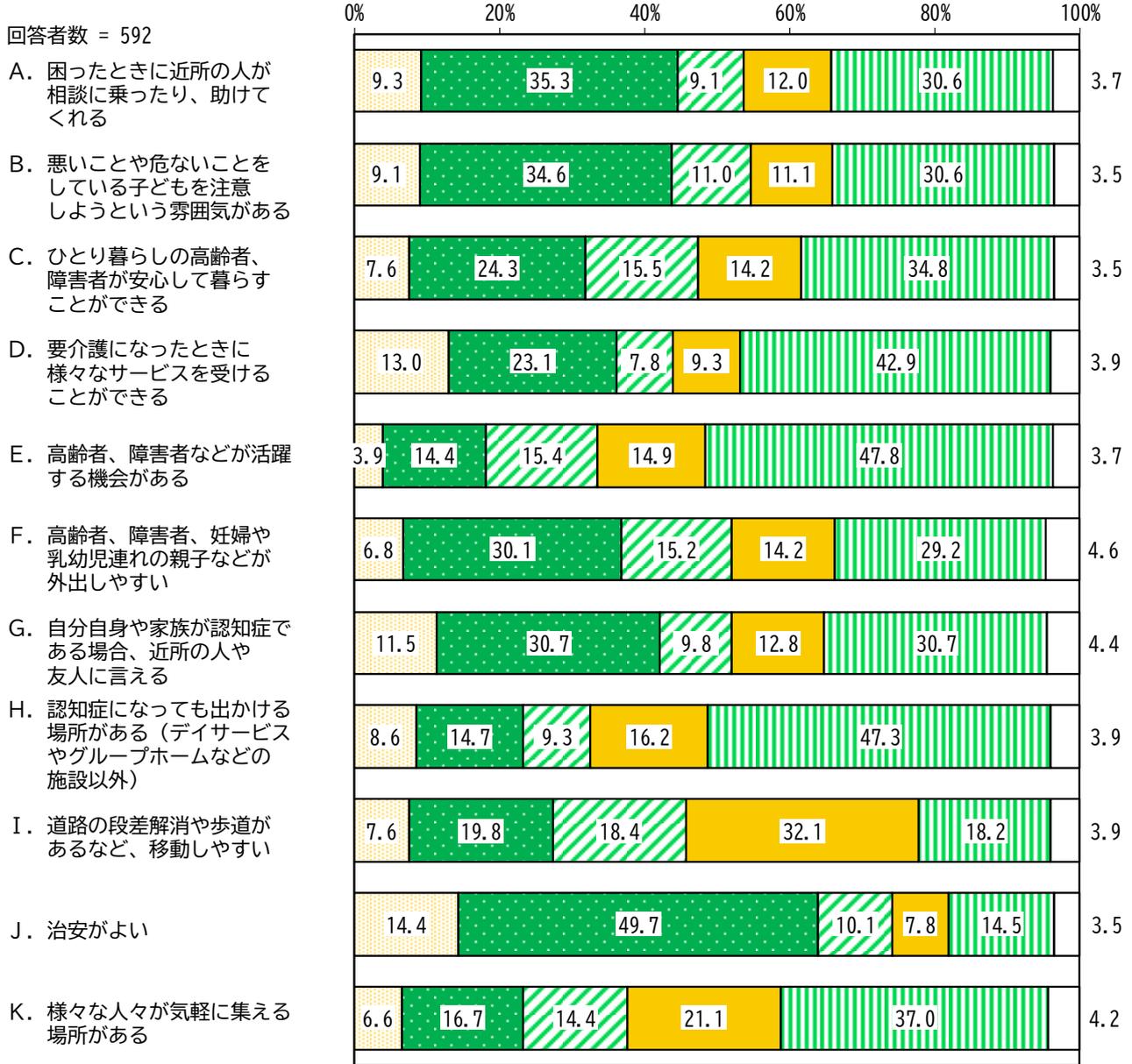
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそうは思わない
- そうは思わない
- わからない
- 無回答

回答者数 = 479



【令和元年度調査】

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそうは思わない
- そうは思わない
- わからない
- 無回答



※前回調査では「B. 地域全体で子どもの見守りや子育ての支援をしていこうという雰囲気がある」の設問文が「B. 悪いことや危ないことをしている子どもを注意しようという雰囲気がある」になっていました。

A. 困ったときに近所の人が相談に乗ったり、助けてくれる

【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わからない	無回答
全 体	479	7.5	31.5	10.2	14.4	32.6	3.8
10歳代	4	25.0	50.0	—	25.0	—	—
20歳代	26	3.8	30.8	7.7	19.2	38.5	—
30歳代	55	7.3	27.3	12.7	18.2	34.5	—
40歳代	65	4.6	33.8	16.9	20.0	24.6	—
50歳代	84	7.1	35.7	7.1	11.9	34.5	3.6
60歳代	113	6.2	25.7	12.4	15.0	38.1	2.7
70歳代	121	9.9	35.5	5.8	9.1	29.8	9.9
80歳以上	11	18.2	18.2	18.2	18.2	27.3	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、高師台で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは 思わない	そうは 思わない	わからない	無回答
全 体	479	7.5	31.5	10.2	14.4	32.6	3.8
北部	11	—	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1
前芝	5	—	40.0	—	20.0	20.0	20.0
青陵	32	6.3	46.9	9.4	18.8	18.8	—
東陵	17	11.8	23.5	17.6	17.6	29.4	—
石巻	36	19.4	33.3	8.3	13.9	19.4	5.6
豊岡	23	8.7	21.7	21.7	8.7	39.1	—
東陽	10	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0
二川	30	3.3	43.3	6.7	10.0	26.7	10.0
五並	10	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	—
章南	5	—	40.0	20.0	—	40.0	—
高豊	18	5.6	27.8	5.6	27.8	33.3	—
南稜	31	3.2	25.8	9.7	12.9	38.7	9.7
高師台	24	—	54.2	4.2	4.2	29.2	8.3
本郷	24	4.2	25.0	20.8	25.0	25.0	—
南部	40	10.0	32.5	5.0	15.0	37.5	—
南陽	16	12.5	18.8	12.5	12.5	37.5	6.3
羽田	22	4.5	40.9	9.1	9.1	31.8	4.5
牟呂	18	5.6	22.2	11.1	16.7	44.4	—
東部	30	6.7	30.0	6.7	13.3	43.3	—
中部	21	9.5	38.1	4.8	14.3	33.3	—
豊城	17	—	41.2	17.6	23.5	17.6	—
吉田方	18	11.1	27.8	16.7	16.7	22.2	5.6

B. 地域全体で子どもの見守りや子育ての支援をしていこうという雰囲気がある

【年代別】

年代別にみると、40歳代で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全 体	479	7.7	35.5	11.5	11.9	29.2	4.2
10歳代	4	—	50.0	—	25.0	25.0	—
20歳代	26	7.7	38.5	11.5	19.2	23.1	—
30歳代	55	9.1	32.7	14.5	12.7	30.9	—
40歳代	65	13.8	46.2	4.6	13.8	21.5	—
50歳代	84	3.6	41.7	11.9	16.7	23.8	2.4
60歳代	113	5.3	28.3	15.9	11.5	37.2	1.8
70歳代	121	8.3	33.9	9.9	5.8	28.9	13.2
80歳以上	11	18.2	18.2	9.1	9.1	45.5	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、北部で「どちらかといえばそうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わから ない	無回 答
全 体	479	7.7	35.5	11.5	11.9	29.2	4.2
北部	11	—	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1
前芝	5	—	60.0	—	—	20.0	20.0
青陵	32	6.3	40.6	6.3	21.9	25.0	—
東陵	17	11.8	35.3	11.8	17.6	23.5	—
石巻	36	22.2	38.9	11.1	8.3	13.9	5.6
豊岡	23	8.7	34.8	13.0	—	43.5	—
東陽	10	—	40.0	—	20.0	20.0	20.0
二川	30	6.7	36.7	10.0	16.7	26.7	3.3
五並	10	10.0	40.0	—	—	50.0	—
章南	5	—	40.0	—	—	60.0	—
高豊	18	11.1	16.7	16.7	16.7	38.9	—
南稜	31	—	32.3	12.9	16.1	32.3	6.5
高師台	24	8.3	41.7	8.3	8.3	25.0	8.3
本郷	24	8.3	45.8	4.2	16.7	16.7	8.3
南部	40	5.0	35.0	15.0	7.5	32.5	5.0
南陽	16	6.3	43.8	18.8	—	25.0	6.3
羽田	22	—	50.0	13.6	9.1	22.7	4.5
牟呂	18	—	33.3	22.2	16.7	27.8	—
東部	30	3.3	30.0	10.0	10.0	46.7	—
中部	21	19.0	19.0	23.8	4.8	33.3	—
豊城	17	5.9	41.2	11.8	23.5	17.6	—
吉田方	18	16.7	33.3	5.6	16.7	16.7	11.1

C. ひとり暮らしの高齢者、障害者が安心して暮らすことができる

【年代別】

年代別にみると、50歳代で「そうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全 体	479	5.0	26.7	17.3	14.8	32.8	3.3
10歳代	4	—	50.0	25.0	—	25.0	—
20歳代	26	7.7	15.4	7.7	15.4	53.8	—
30歳代	55	3.6	25.5	18.2	18.2	34.5	—
40歳代	65	4.6	33.8	15.4	15.4	30.8	—
50歳代	84	4.8	21.4	23.8	22.6	25.0	2.4
60歳代	113	3.5	25.7	16.8	16.8	35.4	1.8
70歳代	121	6.6	30.6	15.7	6.6	30.6	9.9
80歳以上	11	9.1	18.2	18.2	9.1	45.5	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、南陽で「どちらかといえばそうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ばそう 思う	どちらか かといえ ばそう は思わ ない	そうは 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答
全 体	479	5.0	26.7	17.3	14.8	32.8	3.3
北部	11	—	18.2	27.3	18.2	27.3	9.1
前芝	5	—	20.0	—	20.0	40.0	20.0
青陵	32	—	34.4	28.1	15.6	21.9	—
東陵	17	5.9	17.6	29.4	11.8	35.3	—
石巻	36	8.3	44.4	19.4	8.3	13.9	5.6
豊岡	23	—	26.1	17.4	8.7	47.8	—
東陽	10	—	20.0	10.0	10.0	40.0	20.0
二川	30	6.7	16.7	13.3	30.0	30.0	3.3
五並	10	—	30.0	10.0	20.0	40.0	—
章南	5	—	20.0	40.0	—	40.0	—
高豊	18	—	33.3	11.1	22.2	33.3	—
南稜	31	—	22.6	22.6	16.1	35.5	3.2
高師台	24	12.5	29.2	12.5	8.3	29.2	8.3
本郷	24	4.2	29.2	20.8	16.7	29.2	—
南部	40	12.5	25.0	10.0	15.0	35.0	2.5
南陽	16	—	6.3	43.8	12.5	31.3	6.3
羽田	22	—	40.9	18.2	13.6	22.7	4.5
牟呂	18	—	22.2	22.2	22.2	33.3	—
東部	30	3.3	16.7	16.7	16.7	46.7	—
中部	21	—	47.6	4.8	9.5	38.1	—
豊城	17	11.8	29.4	11.8	23.5	23.5	—
吉田方	18	16.7	27.8	16.7	11.1	16.7	11.1

D. 要介護になったときに様々なサービスを受けることができる

【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全 体	479	11.7	32.8	10.0	10.2	32.2	3.1
10歳代	4	—	50.0	25.0	—	25.0	—
20歳代	26	7.7	19.2	—	11.5	61.5	—
30歳代	55	7.3	18.2	18.2	10.9	45.5	—
40歳代	65	6.2	36.9	12.3	9.2	35.4	—
50歳代	84	11.9	29.8	11.9	15.5	29.8	1.2
60歳代	113	8.8	34.5	8.0	14.2	31.9	2.7
70歳代	121	19.0	39.7	7.4	3.3	21.5	9.1
80歳以上	11	27.3	36.4	9.1	9.1	18.2	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、東陵で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは 思わない	そうは 思わない	わからない	無回答
全 体	479	11.7	32.8	10.0	10.2	32.2	3.1
北部	11	18.2	18.2	18.2	9.1	27.3	9.1
前芝	5	20.0	—	20.0	—	40.0	20.0
青陵	32	6.3	34.4	9.4	15.6	34.4	—
東陵	17	—	52.9	—	5.9	41.2	—
石巻	36	19.4	38.9	8.3	11.1	16.7	5.6
豊岡	23	4.3	26.1	13.0	4.3	52.2	—
東陽	10	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
二川	30	6.7	40.0	—	16.7	33.3	3.3
五並	10	20.0	40.0	—	20.0	20.0	—
章南	5	—	40.0	40.0	—	20.0	—
高豊	18	11.1	38.9	11.1	5.6	33.3	—
南稜	31	19.4	19.4	19.4	3.2	35.5	3.2
高師台	24	16.7	37.5	12.5	8.3	16.7	8.3
本郷	24	8.3	37.5	12.5	12.5	29.2	—
南部	40	10.0	30.0	17.5	10.0	32.5	—
南陽	16	6.3	43.8	18.8	—	25.0	6.3
羽田	22	13.6	40.9	13.6	4.5	22.7	4.5
牟呂	18	5.6	33.3	—	16.7	44.4	—
東部	30	10.0	43.3	6.7	10.0	30.0	—
中部	21	14.3	38.1	9.5	4.8	33.3	—
豊城	17	11.8	17.6	—	29.4	41.2	—
吉田方	18	27.8	27.8	5.6	11.1	16.7	11.1

## E. 高齢者、障害者などが活躍する機会がある

### 【年代別】

年代別にみると、50歳代で「そうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば そう思う	どちらか かといえ ば そうは思 わない	そうは思 わない	わから ない	無回 答
全 体	479	3.5	16.9	19.8	16.9	39.2	3.5
10歳代	4	—	—	75.0	25.0	—	—
20歳代	26	—	11.5	15.4	15.4	57.7	—
30歳代	55	3.6	16.4	20.0	14.5	45.5	—
40歳代	65	3.1	23.1	21.5	15.4	35.4	1.5
50歳代	84	6.0	17.9	17.9	23.8	33.3	1.2
60歳代	113	1.8	10.6	23.9	20.4	41.6	1.8
70歳代	121	4.1	21.5	17.4	10.7	35.5	10.7
80歳以上	11	9.1	9.1	—	18.2	63.6	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、羽田で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは 思わない	そうは 思わない	わからない	無回答
全 体	479	3.5	16.9	19.8	16.9	39.2	3.5
北部	11	—	18.2	27.3	9.1	36.4	9.1
前芝	5	—	—	20.0	—	60.0	20.0
青陵	32	—	15.6	15.6	34.4	34.4	—
東陵	17	—	11.8	11.8	11.8	64.7	—
石巻	36	22.2	8.3	27.8	16.7	19.4	5.6
豊岡	23	4.3	21.7	13.0	4.3	47.8	8.7
東陽	10	—	10.0	20.0	30.0	20.0	20.0
二川	30	3.3	6.7	26.7	20.0	40.0	3.3
五並	10	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—
章南	5	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—
高豊	18	—	16.7	27.8	22.2	33.3	—
南稜	31	3.2	16.1	25.8	9.7	38.7	6.5
高師台	24	—	25.0	16.7	29.2	25.0	4.2
本郷	24	—	29.2	20.8	16.7	33.3	—
南部	40	2.5	20.0	20.0	15.0	42.5	—
南陽	16	—	25.0	31.3	—	37.5	6.3
羽田	22	—	40.9	27.3	9.1	18.2	4.5
牟呂	18	—	16.7	5.6	27.8	50.0	—
東部	30	3.3	10.0	16.7	26.7	43.3	—
中部	21	—	14.3	14.3	14.3	57.1	—
豊城	17	—	17.6	11.8	23.5	47.1	—
吉田方	18	11.1	22.2	22.2	5.6	27.8	11.1

F. 高齢者、障害者、妊婦や乳幼児連れの親子などが外出しやすい

【年代別】

年代別にみると、20歳代で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは 思わない	そうは 思わない	わからない	無回答
全 体	479	7.5	27.1	19.0	14.8	28.2	3.3
10歳代	4	—	50.0	25.0	—	25.0	—
20歳代	26	11.5	46.2	11.5	3.8	26.9	—
30歳代	55	12.7	27.3	18.2	18.2	23.6	—
40歳代	65	7.7	33.8	16.9	16.9	24.6	—
50歳代	84	8.3	28.6	19.0	17.9	25.0	1.2
60歳代	113	3.5	21.2	25.7	16.8	31.0	1.8
70歳代	121	7.4	24.8	15.7	11.6	30.6	9.9
80歳以上	11	9.1	9.1	18.2	9.1	45.5	9.1

【居住地区別】

居住地区別にみると、牟呂で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは 思わない	そうは 思わない	わからない	無回答
全 体	479	7.5	27.1	19.0	14.8	28.2	3.3
北部	11	—	27.3	9.1	9.1	45.5	9.1
前芝	5	—	20.0	—	—	60.0	20.0
青陵	32	3.1	40.6	18.8	21.9	15.6	—
東陵	17	11.8	23.5	17.6	11.8	35.3	—
石巻	36	11.1	16.7	27.8	27.8	8.3	8.3
豊岡	23	8.7	26.1	21.7	8.7	34.8	—
東陽	10	10.0	10.0	30.0	10.0	20.0	20.0
二川	30	6.7	13.3	26.7	23.3	26.7	3.3
五並	10	—	20.0	30.0	20.0	30.0	—
章南	5	20.0	20.0	—	40.0	20.0	—
高豊	18	5.6	16.7	27.8	5.6	44.4	—
南稜	31	—	32.3	19.4	9.7	32.3	6.5
高師台	24	4.2	33.3	29.2	8.3	20.8	4.2
本郷	24	12.5	25.0	16.7	8.3	37.5	—
南部	40	7.5	27.5	15.0	20.0	30.0	—
南陽	16	—	25.0	31.3	12.5	25.0	6.3
羽田	22	9.1	40.9	18.2	9.1	18.2	4.5
牟呂	18	—	50.0	16.7	11.1	22.2	—
東部	30	10.0	20.0	16.7	20.0	33.3	—
中部	21	4.8	33.3	4.8	19.0	38.1	—
豊城	17	11.8	35.3	5.9	17.6	29.4	—
吉田方	18	16.7	33.3	11.1	5.6	22.2	11.1

G. 自分自身や家族が認知症である場合、近所の人や友人に言える

【年代別】

年代別にみると、30歳代で「どちらかといえばそうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからない	無回 答
全 体	479	13.4	31.5	12.7	12.3	26.5	3.5
10歳代	4	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—
20歳代	26	19.2	23.1	15.4	7.7	34.6	—
30歳代	55	7.3	20.0	27.3	18.2	27.3	—
40歳代	65	15.4	30.8	12.3	10.8	30.8	—
50歳代	84	15.5	36.9	13.1	14.3	19.0	1.2
60歳代	113	11.5	38.9	8.8	13.3	24.8	2.7
70歳代	121	14.9	27.3	9.9	9.1	28.1	10.7
80歳以上	11	—	45.5	9.1	9.1	36.4	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、吉田方で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは 思わない	そうは 思わない	わからない	無回答
全 体	479	13.4	31.5	12.7	12.3	26.5	3.5
北部	11	9.1	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1
前芝	5	20.0	20.0	—	20.0	20.0	20.0
青陵	32	6.3	40.6	15.6	9.4	28.1	—
東陵	17	17.6	23.5	5.9	11.8	41.2	—
石巻	36	19.4	38.9	11.1	8.3	16.7	5.6
豊岡	23	4.3	26.1	30.4	21.7	13.0	4.3
東陽	10	10.0	10.0	20.0	—	40.0	20.0
二川	30	20.0	30.0	3.3	20.0	23.3	3.3
五並	10	30.0	40.0	20.0	—	10.0	—
章南	5	20.0	60.0	20.0	—	—	—
高豊	18	16.7	33.3	5.6	11.1	33.3	—
南稜	31	9.7	32.3	9.7	16.1	25.8	6.5
高師台	24	4.2	41.7	12.5	20.8	16.7	4.2
本郷	24	8.3	41.7	8.3	16.7	25.0	—
南部	40	15.0	35.0	15.0	7.5	27.5	—
南陽	16	6.3	43.8	18.8	6.3	12.5	12.5
羽田	22	9.1	27.3	22.7	22.7	13.6	4.5
牟呂	18	16.7	27.8	11.1	22.2	22.2	—
東部	30	20.0	26.7	6.7	6.7	40.0	—
中部	21	23.8	19.0	23.8	—	33.3	—
豊城	17	11.8	17.6	5.9	17.6	47.1	—
吉田方	18	11.1	50.0	—	11.1	16.7	11.1

H. 認知症になっても出かける場所がある（デイサービスやグループホームなどの施設以外）

【年代別】

年代別にみると、50歳代で「そうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば そう思う	どちらか かといえ ば そうは思 わない	そうは 思わ ない	わから ない	無回 答
全 体	479	7.9	14.6	11.3	17.7	44.9	3.5
10歳代	4	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—
20歳代	26	7.7	11.5	7.7	23.1	50.0	—
30歳代	55	5.5	20.0	10.9	23.6	40.0	—
40歳代	65	9.2	21.5	12.3	13.8	43.1	—
50歳代	84	8.3	14.3	15.5	25.0	34.5	2.4
60歳代	113	1.8	15.0	12.4	15.0	53.1	2.7
70歳代	121	13.2	9.1	8.3	13.2	47.1	9.1
80歳以上	11	9.1	9.1	9.1	18.2	45.5	9.1

【居住地区別】

居住地区別にみると、羽田で「どちらかといえばそうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わから ない	無回 答
全 体	479	7.9	14.6	11.3	17.7	44.9	3.5
北部	11	—	18.2	9.1	9.1	54.5	9.1
前芝	5	—	—	20.0	—	60.0	20.0
青陵	32	6.3	15.6	15.6	18.8	43.8	—
東陵	17	5.9	5.9	5.9	17.6	64.7	—
石巻	36	8.3	11.1	5.6	27.8	38.9	8.3
豊岡	23	4.3	13.0	13.0	13.0	56.5	—
東陽	10	—	10.0	10.0	10.0	50.0	20.0
二川	30	13.3	16.7	6.7	23.3	36.7	3.3
五並	10	10.0	20.0	10.0	30.0	30.0	—
章南	5	20.0	40.0	20.0	—	20.0	—
高豊	18	—	16.7	22.2	22.2	38.9	—
南稜	31	6.5	9.7	6.5	32.3	41.9	3.2
高師台	24	12.5	25.0	4.2	20.8	33.3	4.2
本郷	24	8.3	20.8	16.7	12.5	41.7	—
南部	40	7.5	12.5	12.5	15.0	50.0	2.5
南陽	16	12.5	18.8	12.5	18.8	25.0	12.5
羽田	22	4.5	18.2	31.8	9.1	31.8	4.5
牟呂	18	16.7	11.1	11.1	11.1	50.0	—
東部	30	10.0	10.0	6.7	10.0	63.3	—
中部	21	—	23.8	9.5	9.5	57.1	—
豊城	17	5.9	11.8	11.8	29.4	41.2	—
吉田方	18	16.7	11.1	16.7	16.7	27.8	11.1

# I. 道路の段差解消や歩道があるなど、移動しやすい

## 【年代別】

年代別にみると、20歳代で「どちらかといえばそうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全 体	479	7.9	22.5	19.8	30.7	15.2	3.8
10歳代	4	—	25.0	50.0	25.0	—	—
20歳代	26	11.5	26.9	34.6	7.7	19.2	—
30歳代	55	5.5	18.2	21.8	40.0	14.5	—
40歳代	65	7.7	26.2	23.1	21.5	21.5	—
50歳代	84	11.9	25.0	11.9	39.3	9.5	2.4
60歳代	113	2.7	16.8	24.8	35.4	17.7	2.7
70歳代	121	9.1	24.0	15.7	26.4	14.0	10.7
80歳以上	11	27.3	36.4	—	27.3	9.1	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、五並で「そうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わから ない	無回 答
全 体	479	7.9	22.5	19.8	30.7	15.2	3.8
北部	11	18.2	9.1	27.3	18.2	18.2	9.1
前芝	5	—	20.0	—	20.0	40.0	20.0
青陵	32	6.3	21.9	31.3	21.9	18.8	—
東陵	17	5.9	23.5	23.5	29.4	17.6	—
石巻	36	11.1	13.9	19.4	47.2	2.8	5.6
豊岡	23	4.3	17.4	26.1	34.8	17.4	—
東陽	10	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
二川	30	6.7	23.3	10.0	30.0	23.3	6.7
五並	10	20.0	20.0	10.0	50.0	—	—
章南	5	—	40.0	20.0	40.0	—	—
高豊	18	5.6	38.9	16.7	16.7	22.2	—
南稜	31	—	12.9	22.6	41.9	12.9	9.7
高師台	24	4.2	25.0	8.3	41.7	16.7	4.2
本郷	24	8.3	20.8	20.8	37.5	12.5	—
南部	40	7.5	37.5	10.0	25.0	20.0	—
南陽	16	—	18.8	25.0	25.0	18.8	12.5
羽田	22	13.6	22.7	27.3	27.3	4.5	4.5
牟呂	18	—	33.3	16.7	27.8	22.2	—
東部	30	13.3	13.3	26.7	36.7	10.0	—
中部	21	4.8	38.1	14.3	23.8	19.0	—
豊城	17	17.6	17.6	23.5	29.4	11.8	—
吉田方	18	27.8	22.2	16.7	16.7	5.6	11.1

## J. 治安がよい

### 【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わからない	無回答
全 体	479	17.7	46.8	10.0	9.6	12.3	3.5
10歳代	4	50.0	—	25.0	25.0	—	—
20歳代	26	26.9	38.5	11.5	3.8	19.2	—
30歳代	55	18.2	34.5	14.5	16.4	16.4	—
40歳代	65	15.4	50.8	6.2	10.8	16.9	—
50歳代	84	17.9	53.6	11.9	8.3	7.1	1.2
60歳代	113	12.4	51.3	14.2	4.4	15.0	2.7
70歳代	121	19.8	44.6	5.0	11.6	8.3	10.7
80歳以上	11	27.3	45.5	—	18.2	9.1	—

【居住地区別】

居住地区別にみると、五並で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わから ない	無回 答
全 体	479	17.7	46.8	10.0	9.6	12.3	3.5
北部	11	18.2	36.4	9.1	9.1	18.2	9.1
前芝	5	—	20.0	—	—	60.0	20.0
青陵	32	18.8	65.6	6.3	—	9.4	—
東陵	17	11.8	52.9	5.9	17.6	11.8	—
石巻	36	27.8	44.4	5.6	16.7	—	5.6
豊岡	23	13.0	52.2	8.7	13.0	8.7	4.3
東陽	10	—	40.0	10.0	10.0	20.0	20.0
二川	30	6.7	43.3	16.7	10.0	20.0	3.3
五並	10	40.0	40.0	—	20.0	—	—
章南	5	20.0	80.0	—	—	—	—
高豊	18	22.2	55.6	11.1	—	11.1	—
南稜	31	16.1	54.8	6.5	3.2	9.7	9.7
高師台	24	12.5	29.2	25.0	29.2	—	4.2
本郷	24	20.8	45.8	8.3	4.2	20.8	—
南部	40	15.0	55.0	2.5	10.0	17.5	—
南陽	16	6.3	31.3	31.3	12.5	6.3	12.5
羽田	22	13.6	40.9	13.6	13.6	13.6	4.5
牟呂	18	—	50.0	16.7	5.6	27.8	—
東部	30	23.3	53.3	13.3	3.3	6.7	—
中部	21	28.6	42.9	4.8	9.5	14.3	—
豊城	17	35.3	41.2	5.9	11.8	5.9	—
吉田方	18	38.9	33.3	11.1	5.6	5.6	5.6

K. 様々な人々が気軽に集える場所がある

【年代別】

年代別にみると、50歳代で「そうは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば そう 思う	どちらか かといえ ば そう は思わ ない	そうは 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答
全 体	479	3.1	19.4	18.8	21.5	33.6	3.5
10歳代	4	—	50.0	25.0	25.0	—	—
20歳代	26	7.7	26.9	11.5	19.2	34.6	—
30歳代	55	1.8	25.5	18.2	25.5	29.1	—
40歳代	65	1.5	24.6	24.6	20.0	29.2	—
50歳代	84	2.4	15.5	14.3	33.3	33.3	1.2
60歳代	113	—	13.3	22.1	21.2	40.7	2.7
70歳代	121	6.6	20.7	18.2	12.4	32.2	9.9
80歳以上	11	9.1	9.1	9.1	27.3	36.4	9.1

【居住地区別】

居住地区別にみると、二川で「どちらかといえばそうは思わない」の割合が高くなっています。

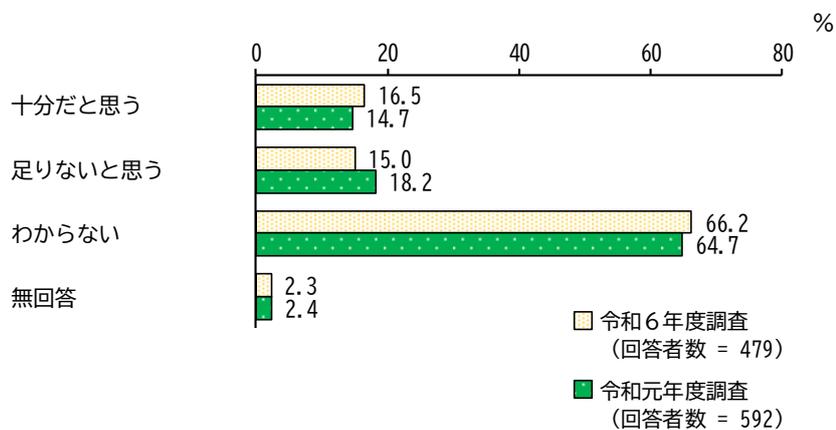
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか かといえ ば	どちらか かといえ ば そうは 思わな い	そうは 思わな い	わから ない	無回 答
全 体	479	3.1	19.4	18.8	21.5	33.6	3.5
北部	11	—	9.1	27.3	27.3	27.3	9.1
前芝	5	—	—	20.0	20.0	40.0	20.0
青陵	32	6.3	18.8	18.8	18.8	37.5	—
東陵	17	5.9	11.8	23.5	23.5	35.3	—
石巻	36	8.3	19.4	25.0	22.2	16.7	8.3
豊岡	23	—	17.4	30.4	8.7	43.5	—
東陽	10	—	30.0	10.0	30.0	10.0	20.0
二川	30	3.3	20.0	33.3	13.3	26.7	3.3
五並	10	10.0	20.0	10.0	30.0	30.0	—
章南	5	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—
高豊	18	—	22.2	22.2	11.1	44.4	—
南稜	31	—	22.6	12.9	22.6	35.5	6.5
高師台	24	4.2	16.7	12.5	29.2	33.3	4.2
本郷	24	4.2	33.3	8.3	20.8	33.3	—
南部	40	5.0	20.0	12.5	27.5	35.0	—
南陽	16	—	25.0	18.8	31.3	12.5	12.5
羽田	22	—	22.7	22.7	13.6	36.4	4.5
牟呂	18	—	16.7	22.2	16.7	44.4	—
東部	30	—	13.3	10.0	33.3	43.3	—
中部	21	—	23.8	28.6	14.3	33.3	—
豊城	17	5.9	17.6	23.5	29.4	23.5	—
吉田方	18	11.1	5.6	16.7	27.8	33.3	5.6

問 28 豊橋市では、豊橋市社会福祉協議会、地域の民生委員児童委員、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所やこども若者総合相談支援センターなど様々な相談窓口があります。あなたは現在の相談支援体制は十分だと思いますか。【1つに○印】

「わからない」の割合が66.2%と最も高く、次いで「十分だと思う」の割合が16.5%、「足りないと思う」の割合が15.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

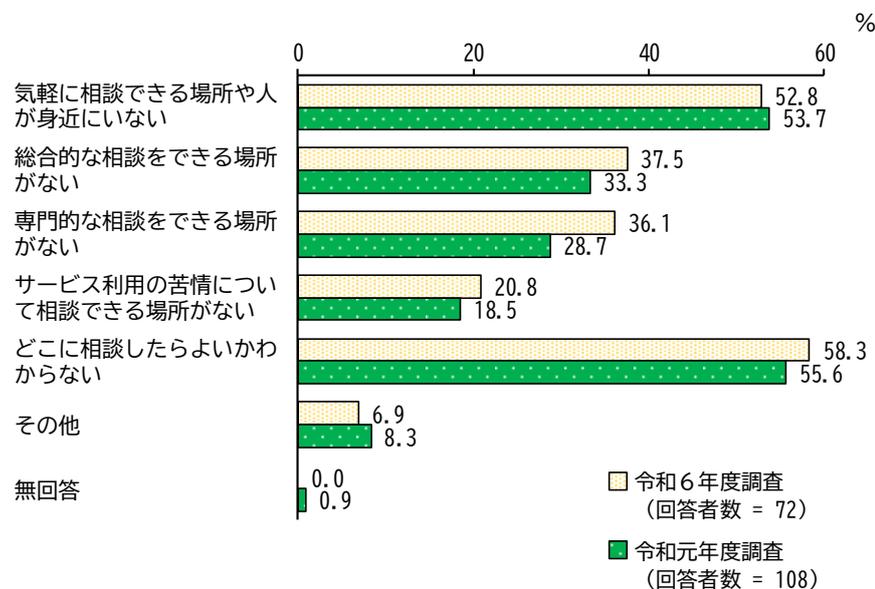


問 28 で「足りないと思う」を回答された方のみにお尋ねします。

問 28-2 どのようなことが足りないと思いますか。【あてはまるものすべてに○印】

「どこに相談したらよいかわからない」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「気軽に相談できる場所や人が身近にいない」の割合が 52.8%、「総合的な相談をできる場所がない」の割合が 37.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「専門的な相談をできる場所がない」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別にみると、40 歳代で「気軽に相談できる場所や人が身近にいない」の割合が高くなっています。

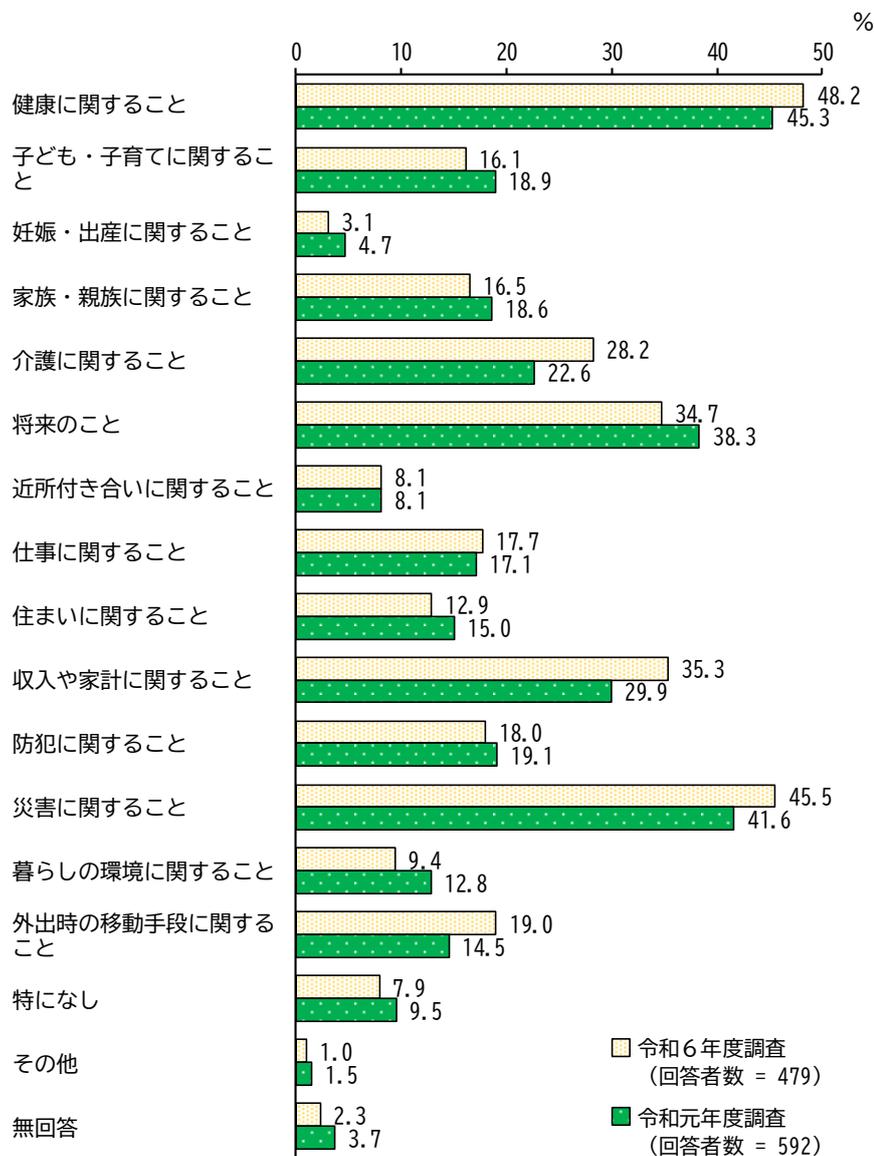
単位：%

区分	回答者数 (件)	気軽に相談できる場所や人が身近にいない	総合的な相談をできる場所がない	専門的な相談をできる場所がない	サービス利用の苦情について相談できる場所がない	どこに相談したらよいかわからない	その他	無回答
全体	72	52.8	37.5	36.1	20.8	58.3	6.9	—
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	3	33.3	—	—	—	100.0	33.3	—
30歳代	11	63.6	27.3	27.3	—	72.7	9.1	—
40歳代	11	81.8	45.5	54.5	45.5	54.5	9.1	—
50歳代	20	45.0	50.0	30.0	30.0	30.0	10.0	—
60歳代	16	37.5	31.3	56.3	12.5	75.0	—	—
70歳代	11	54.5	36.4	18.2	18.2	63.6	—	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

問 29 あなたは暮らしの中で、どのような悩みや不安をお持ちですか。  
【あてはまるものすべてに○印】

「健康に関すること」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「災害に関すること」の割合が 45.5%、「収入や家計に関すること」の割合が 35.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「介護に関すること」、「収入や家計に関すること」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別にみると、30歳代で「子ども・子育てに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康に関すること	子ども・子育てに関すること	妊娠・出産に関すること	家族・親族に関すること	介護に関すること	将来のこと	近所付き合いに関すること	仕事に関すること	住まいに関すること	収入や家計に関すること	防犯に関すること	災害に関すること	暮らしの環境に関すること	外出時の移動手段に関すること	特になし	その他	無回答
全体	479	48.2	16.1	3.1	16.5	28.2	34.7	8.1	17.7	12.9	35.3	18.0	45.5	9.4	19.0	7.9	1.0	2.3
10歳代	4	—	—	—	—	—	50.0	—	25.0	—	25.0	50.0	75.0	—	25.0	—	25.0	—
20歳代	26	19.2	26.9	19.2	7.7	3.8	42.3	3.8	15.4	23.1	53.8	11.5	50.0	7.7	3.8	19.2	—	—
30歳代	55	32.7	54.5	16.4	23.6	20.0	40.0	10.9	32.7	18.2	54.5	23.6	52.7	10.9	14.5	9.1	—	—
40歳代	65	52.3	38.5	1.5	23.1	32.3	43.1	13.8	32.3	13.8	38.5	15.4	47.7	3.1	12.3	6.2	—	—
50歳代	84	35.7	11.9	—	22.6	32.1	31.0	4.8	22.6	14.3	34.5	19.0	48.8	11.9	19.0	7.1	—	3.6
60歳代	113	50.4	2.7	—	13.3	31.9	33.6	9.7	16.8	12.4	37.2	22.1	43.4	9.7	22.1	7.1	1.8	0.9
70歳代	121	65.3	1.7	—	10.7	28.9	28.9	5.0	2.5	8.3	19.8	13.2	38.0	9.9	24.0	7.4	0.8	5.0
80歳以上	11	72.7	—	—	18.2	36.4	36.4	18.2	—	9.1	36.4	9.1	54.5	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1

【居住地区別】

居住地区別にみると、五並で「外出時の移動手段に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康に関すること	子ども・子育てに関すること	妊娠・出産に関すること	家族・親族に関すること	介護に関すること	将来のこと	近所付き合いに関すること	仕事に関すること	住まいに関すること	収入や家計に関すること	防犯に関すること	災害に関すること	暮らしの環境に関すること	外出時の移動手段に関すること	特になし	その他	無回答
全体	479	48.2	16.1	3.1	16.5	28.2	34.7	8.1	17.7	12.9	35.3	18.0	45.5	9.4	19.0	7.9	1.0	2.3
北部	11	45.5	—	—	27.3	36.4	54.5	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	54.5	9.1	18.2	—	—	—
前芝	5	40.0	—	—	20.0	40.0	—	40.0	—	40.0	—	20.0	80.0	—	20.0	—	—	—
青陵	32	50.0	15.6	9.4	25.0	34.4	34.4	12.5	34.4	15.6	53.1	18.8	53.1	12.5	25.0	3.1	3.1	—
東陵	17	58.8	23.5	—	23.5	29.4	29.4	11.8	23.5	17.6	35.3	11.8	41.2	5.9	11.8	11.8	—	5.9
石巻	36	55.6	11.1	5.6	8.3	25.0	25.0	2.8	8.3	5.6	19.4	19.4	38.9	13.9	33.3	8.3	—	2.8
豊岡	23	52.2	26.1	4.3	8.7	26.1	30.4	—	34.8	17.4	52.2	26.1	52.2	8.7	21.7	8.7	—	—
東陽	10	30.0	10.0	—	—	10.0	40.0	10.0	30.0	—	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	—	—	10.0
二川	30	56.7	26.7	—	26.7	23.3	43.3	20.0	16.7	13.3	43.3	23.3	36.7	3.3	16.7	3.3	—	—
五並	10	40.0	10.0	—	20.0	40.0	40.0	10.0	30.0	40.0	70.0	50.0	60.0	30.0	60.0	—	10.0	—
章南	5	20.0	20.0	—	40.0	—	40.0	—	20.0	—	40.0	—	40.0	20.0	20.0	20.0	—	—
高豊	18	33.3	11.1	—	5.6	27.8	55.6	16.7	11.1	5.6	22.2	27.8	33.3	11.1	33.3	11.1	—	—
南稜	31	41.9	12.9	3.2	9.7	25.8	22.6	9.7	16.1	—	16.1	19.4	32.3	12.9	19.4	19.4	3.2	—
高師台	24	33.3	20.8	—	20.8	20.8	37.5	8.3	16.7	8.3	54.2	16.7	54.2	4.2	16.7	12.5	—	8.3
本郷	24	58.3	12.5	12.5	16.7	50.0	41.7	4.2	25.0	4.2	41.7	16.7	66.7	—	16.7	—	—	4.2
南部	40	42.5	25.0	5.0	25.0	22.5	32.5	5.0	17.5	25.0	37.5	22.5	50.0	15.0	7.5	7.5	—	2.5
南陽	16	50.0	12.5	—	18.8	56.3	37.5	—	12.5	18.8	43.8	6.3	68.8	6.3	37.5	—	6.3	6.3
羽田	22	40.9	4.5	4.5	9.1	36.4	22.7	4.5	13.6	—	27.3	18.2	36.4	4.5	9.1	13.6	—	4.5
牟呂	18	61.1	33.3	—	27.8	16.7	44.4	5.6	33.3	16.7	38.9	22.2	55.6	11.1	5.6	—	—	—
東部	30	40.0	13.3	—	10.0	26.7	20.0	3.3	—	3.3	26.7	16.7	36.7	6.7	30.0	13.3	—	—
中部	21	38.1	14.3	—	23.8	19.0	28.6	9.5	14.3	19.0	28.6	4.8	23.8	9.5	—	9.5	4.8	4.8
豊城	17	58.8	29.4	5.9	5.9	29.4	58.8	—	23.5	17.6	17.6	11.8	52.9	11.8	5.9	5.9	—	—
吉田方	18	61.1	—	—	11.1	27.8	33.3	5.6	—	11.1	33.3	16.7	44.4	5.6	16.7	11.1	—	5.6

【職業別】

職業別にみると、派遣社員、契約・期間社員で「将来のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

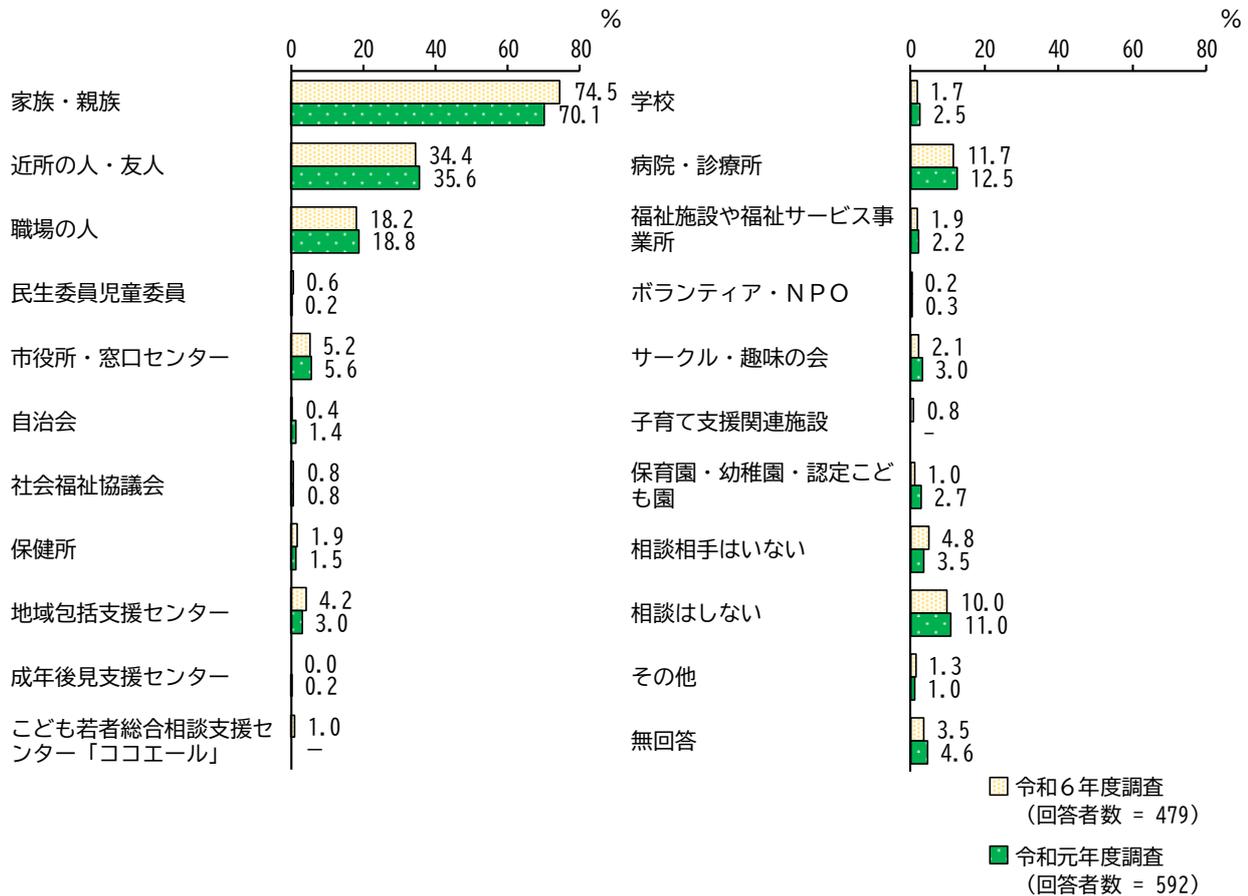
区分	回答者数(件)	健康に関すること	子ども・子育てに関すること	妊娠・出産に関すること	家族・親族に関すること	介護に関すること	将来のこと	近所付き合いに関すること	仕事に関すること
全 体	479	48.2	16.1	3.1	16.5	28.2	34.7	8.1	17.7
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	46	45.7	13.0	—	13.0	17.4	28.3	4.3	23.9
正社員	130	36.9	24.6	6.9	19.2	21.5	39.2	6.2	23.1
派遣社員、契約・期間社員	20	70.0	20.0	5.0	15.0	45.0	60.0	10.0	35.0
パート、アルバイト、フリーター	103	46.6	17.5	1.0	19.4	31.1	33.0	6.8	21.4
学生	8	—	—	—	12.5	—	25.0	—	12.5
家事専業（主婦・主夫）	64	48.4	17.2	6.3	18.8	40.6	31.3	10.9	12.5
無職	92	68.5	2.2	—	9.8	29.3	33.7	12.0	5.4
その他	8	50.0	37.5	—	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5

区分	住まいに関すること	収入や家計に関すること	防犯に関すること	災害に関すること	暮らしの環境に関すること	外出時の移動手段に関すること	特になし	その他	無回答
全 体	12.9	35.3	18.0	45.5	9.4	19.0	7.9	1.0	2.3
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	13.0	32.6	21.7	43.5	10.9	17.4	10.9	—	4.3
正社員	14.6	43.1	14.6	47.7	4.6	9.2	6.9	—	2.3
派遣社員、契約・期間社員	10.0	40.0	15.0	40.0	5.0	15.0	10.0	5.0	—
パート、アルバイト、フリーター	10.7	44.7	20.4	50.5	10.7	22.3	7.8	—	—
学生	25.0	25.0	37.5	62.5	12.5	25.0	25.0	12.5	—
家事専業（主婦・主夫）	14.1	28.1	21.9	50.0	10.9	26.6	7.8	—	—
無職	10.9	20.7	12.0	35.9	13.0	26.1	6.5	3.3	5.4
その他	25.0	37.5	50.0	50.0	—	12.5	12.5	—	—

問 29-2 悩みや不安について、あなたはどこ（誰）に相談していますか。  
【あてはまるものすべてに○印】

「家族・親族」の割合が74.5%と最も高く、次いで「近所の人・友人」の割合が34.4%、「職場の人」の割合が18.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」、「子育て支援関連施設」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、30歳代で「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	近所の人・友人	職場の人	民生委員児童委員	市役所・窓口センタ	自治会	社会福祉協議会	保健所	地域包括支援セン	成年後見支援セン	こども若者総合相 談支援センター「こ こエール」
全 体	479	74.5	34.4	18.2	0.6	5.2	0.4	0.8	1.9	4.2	—	1.0
10歳代	4	75.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	26	76.9	34.6	19.2	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	55	80.0	41.8	36.4	—	5.5	—	—	3.6	—	—	1.8
40歳代	65	73.8	36.9	35.4	—	4.6	—	1.5	—	1.5	—	3.1
50歳代	84	75.0	27.4	22.6	—	10.7	1.2	1.2	2.4	4.8	—	—
60歳代	113	72.6	38.1	13.3	—	3.5	—	0.9	1.8	5.3	—	0.9
70歳代	121	72.7	31.4	4.1	2.5	5.0	0.8	0.8	2.5	7.4	—	0.8
80歳以上	11	81.8	27.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	学校	病院・診療所	福祉施設や福祉サ ービス事業所	ボランティア・NP	サークル・趣味の会	子育て支援関連施 設	保育園・幼稚園・認 定こども園	相談相手はいない	相談はしない	その他	無回答
全 体	1.7	11.7	1.9	0.2	2.1	0.8	1.0	4.8	10.0	1.3	3.5
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0	—	—
20歳代	3.8	7.7	—	—	—	3.8	—	—	19.2	3.8	—
30歳代	1.8	12.7	—	—	—	3.6	7.3	5.5	10.9	—	—
40歳代	6.2	9.2	3.1	—	—	—	—	6.2	10.8	3.1	—
50歳代	2.4	7.1	2.4	—	—	—	—	1.2	9.5	1.2	3.6
60歳代	—	13.3	1.8	0.9	2.7	—	—	8.0	10.6	—	2.7
70歳代	—	14.0	2.5	—	5.8	0.8	0.8	5.0	7.4	1.7	8.3
80歳以上	—	27.3	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1

【近所付き合いの程度別】

近所付き合いの程度別にみると、近所に仲の良い人がおり、家を行き来しているで「近所の人・友人」の割合が高くなっています。

単位：%

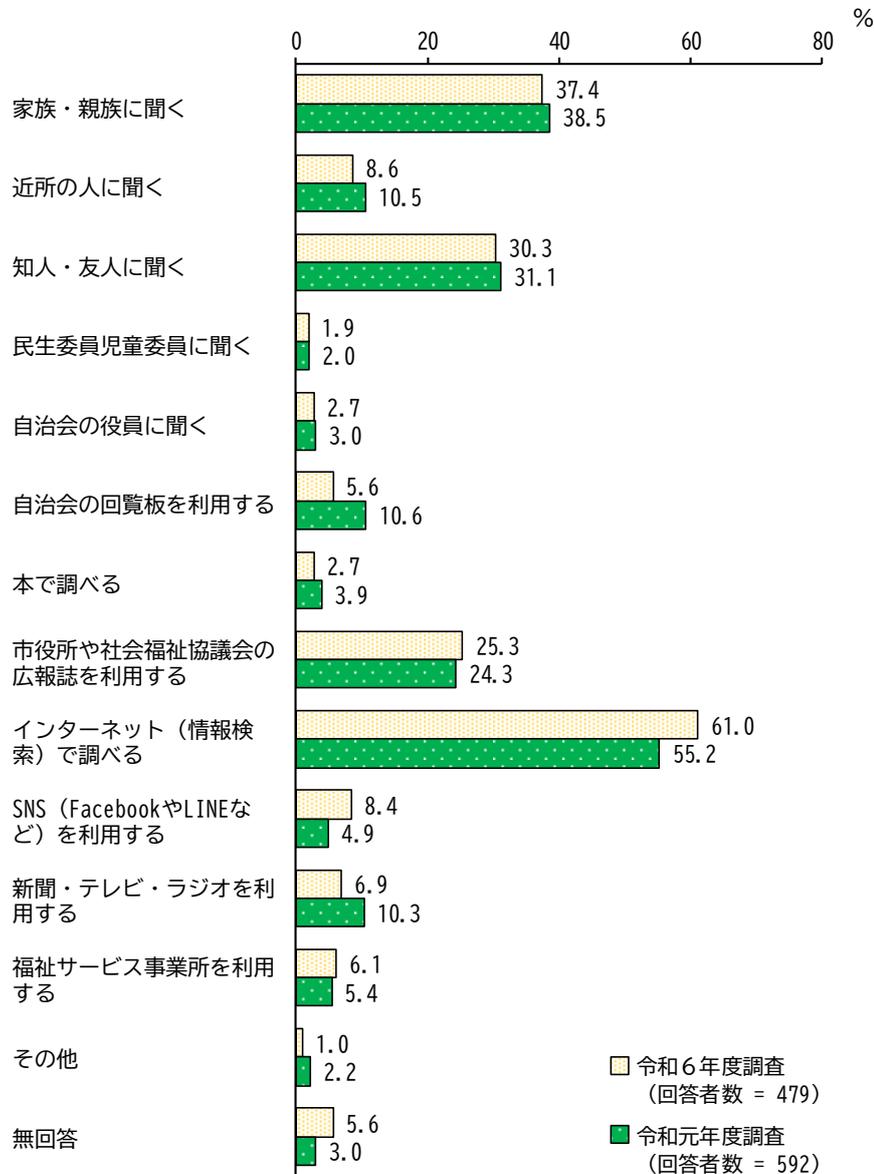
区分	回答者数(件)	家族・親族	近所の人・友人	職場の人	民生委員児童委員	市役所・窓口センター	自治会	社会福祉協議会	保健所	地域包括支援センター	成年後見支援センター	子ども若者総合相談支援センター「ココエール」
全体	479	74.5	34.4	18.2	0.6	5.2	0.4	0.8	1.9	4.2	-	1.0
近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	35	68.6	51.4	25.7	-	-	-	-	2.9	2.9	-	-
会えば親しく話をする人がいる	168	83.9	42.3	17.3	1.8	6.0	1.2	1.2	1.8	6.5	-	1.8
あいさつ程度をする人がいる	197	74.1	31.0	17.8	-	5.6	-	0.5	2.0	3.6	-	-
近所付き合いはほとんどしていない	74	56.8	17.6	17.6	-	5.4	-	1.4	1.4	1.4	-	1.4

区分	学校	病院・診療所	福祉施設や福祉サービス事業所	ボランティア・NPO	サークル・趣味の会	子育て支援関連施設	保育園・幼稚園・認定こども園	相談相手はいない	相談はしない	その他	無回答
全体	1.7	11.7	1.9	0.2	2.1	0.8	1.0	4.8	10.0	1.3	3.5
近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	2.9	2.9	2.9	-	-	-	2.9	8.6	5.7	2.9	8.6
会えば親しく話をする人がいる	1.8	14.9	1.8	0.6	3.6	1.2	-	1.8	3.0	-	3.0
あいさつ程度をする人がいる	2.0	13.2	2.0	-	1.5	0.5	1.5	4.6	11.2	1.5	3.6
近所付き合いはほとんどしていない	-	5.4	1.4	-	-	-	-	10.8	25.7	2.7	1.4

問 30 あなたは福祉に関する情報を入手したいときはどのようにしていますか。  
【3つまで○印】

「インターネット（情報検索）で調べる」の割合が61.0%と最も高く、次いで「家族・親族に聞く」の割合が37.4%、「知人・友人に聞く」の割合が30.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「インターネット（情報検索）で調べる」の割合が増加しています。



【年代別】

年代別にみると、80歳以上で「家族・親族に聞く」の割合が高くなっています。

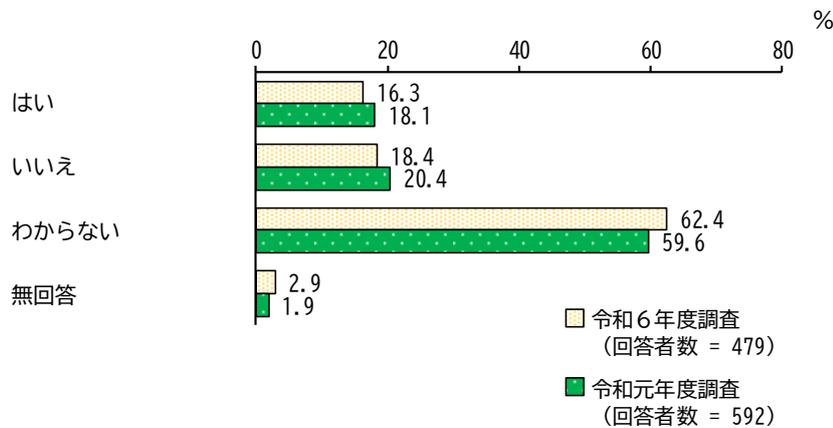
単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親族に聞く	近所の人に聞く	知人・友人に聞く	民生委員児童委員に聞く	自治会の役員に聞く	自治会の回覧板を利用する	本で調べる	市役所や社会福祉協議会の広報誌を利用する	インターネット(情報検索)で調べる	SMS (FacebookやLINEなど)を利用する	新聞・テレビ・ラジオを利用する	福祉サービス事業所を利用する	その他	無回答
全体	479	37.4	8.6	30.3	1.9	2.7	5.6	2.7	25.3	61.0	8.4	6.9	6.1	1.0	5.6
10歳代	4	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—	100.0	25.0	—	—	—	—
20歳代	26	53.8	—	30.8	—	—	—	3.8	3.8	76.9	26.9	—	—	—	—
30歳代	55	41.8	3.6	25.5	—	—	1.8	1.8	14.5	85.5	27.3	3.6	3.6	—	5.5
40歳代	65	36.9	3.1	33.8	—	—	7.7	4.6	23.1	75.4	7.7	3.1	4.6	1.5	3.1
50歳代	84	36.9	3.6	29.8	1.2	—	3.6	—	23.8	73.8	7.1	9.5	6.0	—	4.8
60歳代	113	32.7	10.6	33.6	—	1.8	5.3	3.5	31.9	61.9	2.7	8.0	6.2	0.9	4.4
70歳代	121	33.9	14.9	26.4	5.8	9.1	9.9	3.3	32.2	32.2	2.5	8.3	9.9	1.7	10.7
80歳以上	11	72.7	36.4	45.5	9.1	—	—	—	18.2	9.1	—	18.2	—	9.1	—

問31 あなたのお住まいの地域は、子どもから高齢者まで多世代が交流できる機会がありますか。【1つに○印】

「わからない」の割合が62.4%と最も高く、次いで「いいえ」の割合が18.4%、「はい」の割合が16.3%となっています。

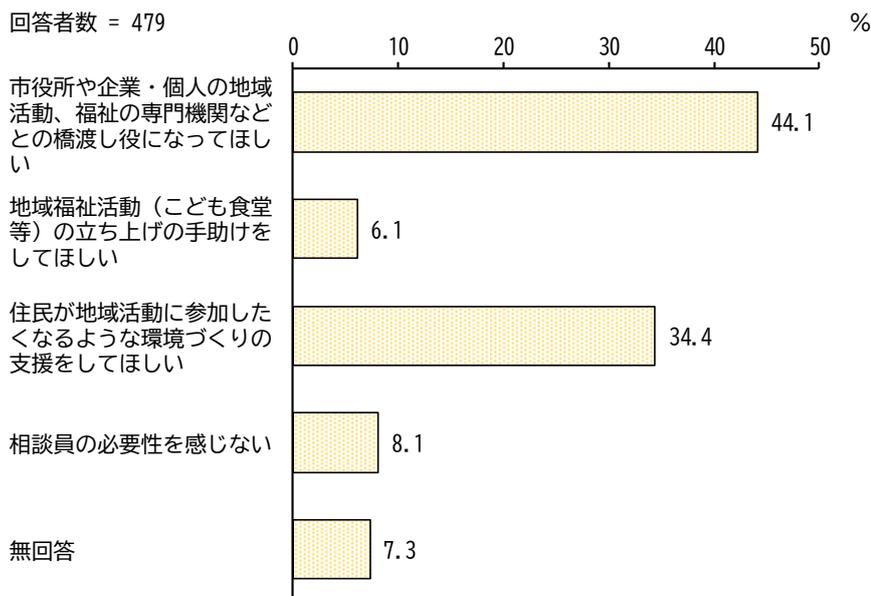
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【新規】

問 32 地域において、年齢や障害の有無に関わらず住民が抱える課題等について、解決に向けて共に取り組み地域で支え合う仕組みを作っていく相談員（CSW）の存在についてのあなたの考えに最も近いものをお答えください。【1つに○印】

「市役所や企業・個人の地域活動、福祉の専門機関などとの橋渡し役になってほしい」の割合が44.1%と最も高く、次いで「住民が地域活動に参加したくなるような環境づくりの支援をしてほしい」の割合が34.4%となっています。



【年代別】

年代別にみると、40歳代で「市役所や企業・個人の地域活動、福祉の専門機関などとの橋渡し役になってほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	橋渡し役などになってほしい	市役所や企業・個人の地域活動、福祉の専門機関などとの	地域福祉活動(こども食堂等)の立ち上げの手助けをしてほしい	住民が地域活動に参加したくなるような環境づくりの支援をしてほしい	相談員の必要性を感じない	無回答
全体	479	44.1	6.1	34.4	8.1	7.3	
10歳代	4	—	—	50.0	25.0	25.0	
20歳代	26	46.2	3.8	42.3	3.8	3.8	
30歳代	55	40.0	7.3	41.8	9.1	1.8	
40歳代	65	53.8	7.7	24.6	13.8	—	
50歳代	84	50.0	8.3	29.8	7.1	4.8	
60歳代	113	51.3	6.2	33.6	4.4	4.4	
70歳代	121	31.4	3.3	38.8	8.3	18.2	
80歳以上	11	36.4	9.1	27.3	18.2	9.1	

【居住年数別】

居住年数別にみると、5年未満で「住民が地域活動に参加したくなるような環境づくりの支援をしてほしい」の割合が高くなっています。

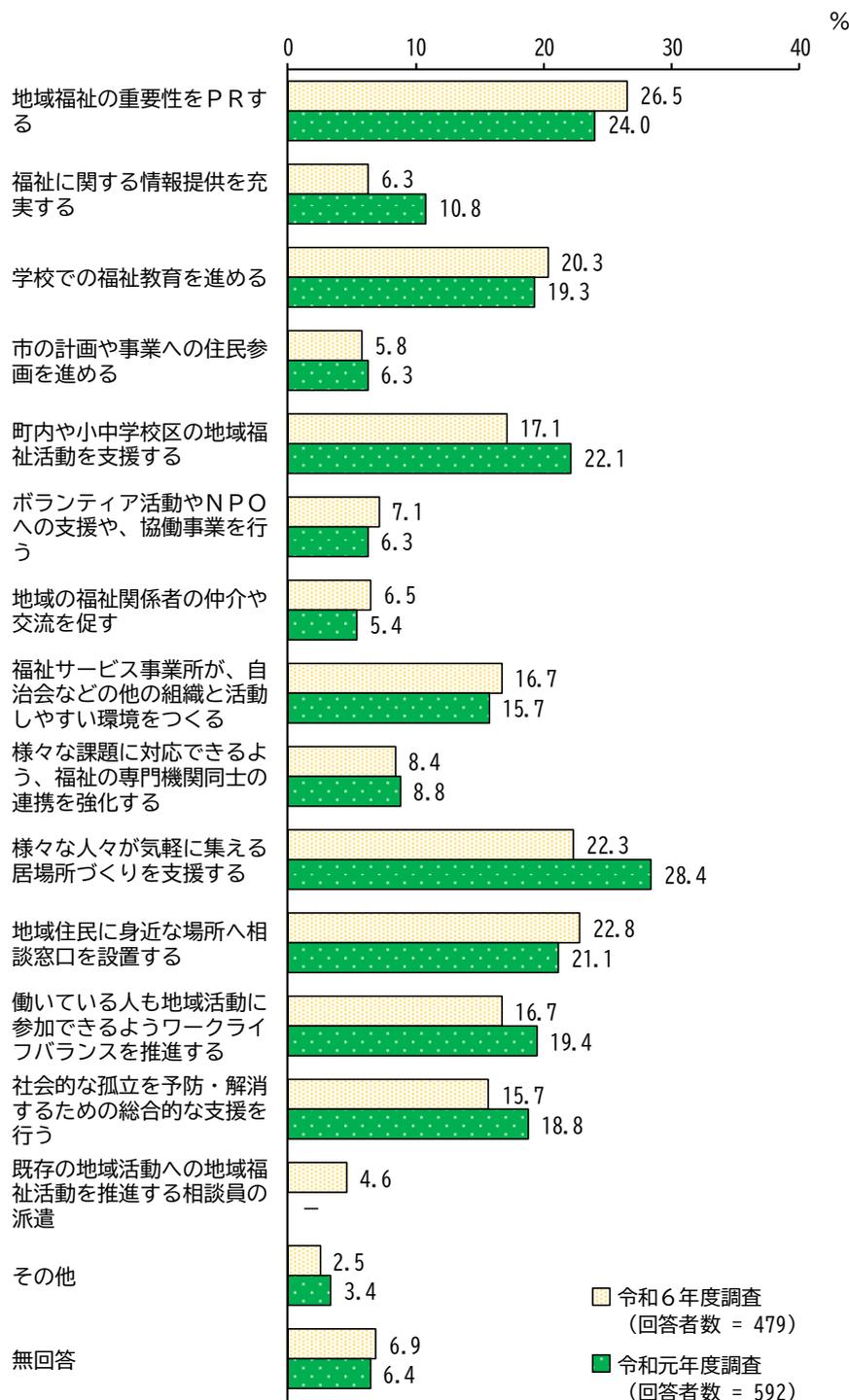
単位：％

区分	回答者数(件)	橋渡し役などになってほしい	市役所や企業・個人の地域活動、福祉の専門機関などとの	地域福祉活動(こども食堂等)の立ち上げの手助けをしてほしい	住民が地域活動に参加したくなるような環境づくりの支援をしてほしい	相談員の必要性を感じない	無回答
全体	479	44.1	6.1	34.4	8.1	7.3	
5年未満	24	41.7	4.2	54.2	—	—	
5年以上10年未満	28	46.4	3.6	39.3	3.6	7.1	
10年以上	232	46.1	5.6	31.5	9.9	6.9	
生まれてからずっと	195	41.5	7.2	34.9	7.7	8.7	

問 33 地域住民がお互いに助け合う福祉を進めるため、行政は何に取り組むべきとお考えですか。【3つまで○印】

「地域福祉の重要性をPRする」の割合が26.5%と最も高く、次いで「地域住民に身近な場所へ相談窓口を設置する」の割合が22.8%、「様々な人々が気軽に集える居場所づくりを支援する」の割合が22.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「町内や小中学校区の地域福祉活動を支援する」、「様々な人々が気軽に集える居場所づくりを支援する」の割合が減少しています。



※前回調査では、「既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、20歳代で「地域福祉の重要性をPRする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	地域福祉の重要性をPRする	福祉に関する情報提供を充実する	学校での福祉教育を進める	市の計画や事業への住民参画を進める	町内や小中学校校区の地域福祉活動を支援する	ボランティア活動やNPOへの支援や、協働事業を行う	地域の福祉関係者の仲介や交流を促す	福祉サービス事業所が、自治会などの他の組織と活動しやすい環境をつくる
全体	479	26.5	6.3	20.3	5.8	17.1	7.1	6.5	16.7
10歳代	4	25.0	—	—	—	—	25.0	—	—
20歳代	26	46.2	—	38.5	7.7	15.4	15.4	3.8	7.7
30歳代	55	21.8	3.6	29.1	10.9	21.8	7.3	9.1	12.7
40歳代	65	20.0	1.5	30.8	6.2	16.9	9.2	4.6	21.5
50歳代	84	20.2	2.4	22.6	6.0	14.3	9.5	6.0	15.5
60歳代	113	29.2	9.7	15.0	4.4	15.9	6.2	8.8	18.6
70歳代	121	28.9	11.6	12.4	4.1	19.0	3.3	5.0	18.2
80歳以上	11	36.4	—	—	9.1	18.2	—	9.1	9.1

区分	様々な課題に対応できるような福祉の専門機関との連携を強化する	様々な人々が気軽に集える居場所づくりを支援する	地域住民に身近な場所へ相談窓口を設置する	働いている人も地域活動に参加できるようなワークショップやイベントを推進する	防・社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援を行う	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	無回答
全体	8.4	22.3	22.8	16.7	15.7	4.6	2.5	6.9
10歳代	—	75.0	—	25.0	25.0	—	—	—
20歳代	7.7	7.7	3.8	30.8	7.7	—	3.8	—
30歳代	7.3	30.9	18.2	32.7	7.3	5.5	1.8	—
40歳代	6.2	18.5	21.5	21.5	21.5	4.6	7.7	—
50歳代	10.7	23.8	32.1	20.2	17.9	2.4	1.2	4.8
60歳代	8.0	18.6	22.1	14.2	18.6	3.5	1.8	4.4
70歳代	9.9	24.0	23.1	5.0	14.0	6.6	1.7	18.2
80歳以上	—	27.3	36.4	—	9.1	18.2	—	18.2

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）で「町内や小中学校区の地域福祉活動を支援する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域福祉の重要性をPRする	福祉に関する情報提供を充実する	学校での福祉教育を進める	市の計画や事業への住民参画を進める	町内や小中学校区の地域福祉活動を支援する	ボランティア活動やNPOへの支援や、協働事業を行う	地域の福祉関係者の仲介や交流を促す	福祉サービス事業所が、自治会などの他の組織と活動しやすい環境をつくる
全体	479	26.5	6.3	20.3	5.8	17.1	7.1	6.5	16.7
ひとり暮らし	51	25.5	5.9	15.7	3.9	7.8	7.8	5.9	11.8
夫婦のみ世帯	121	28.1	8.3	12.4	5.0	16.5	5.8	9.1	19.0
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	10	40.0	10.0	30.0	—	10.0	30.0	10.0	20.0
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	155	25.2	3.9	25.2	7.7	17.4	8.4	3.2	15.5
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	52	26.9	7.7	36.5	3.8	7.7	7.7	9.6	21.2
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	60	31.7	5.0	13.3	6.7	36.7	1.7	8.3	15.0
その他	19	21.1	10.5	21.1	10.5	5.3	10.5	5.3	21.1

区分	様々な課題に対応できるよう、福祉の専門機関同士の連携を強化する	様々な人々が気軽に集える居場所づくりを支援する	地域住民に身近な場所へ相談窓口を設置する	働いている人も地域活動に参加できるようにワークショップを推進する	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援を行う	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	無回答
全体	8.4	22.3	22.8	16.7	15.7	4.6	2.5	6.9
ひとり暮らし	13.7	19.6	17.6	13.7	25.5	9.8	2.0	7.8
夫婦のみ世帯	9.1	24.0	24.8	9.9	19.0	5.0	2.5	8.3
母子・父子世帯（子が満20歳未満であって未婚のもの）	10.0	—	10.0	20.0	—	20.0	—	10.0
親と子の世帯（自分（夫婦）と子）	9.7	18.7	27.7	22.6	11.0	3.2	2.6	5.8
親と子の世帯（親と自分（夫婦））	7.7	23.1	17.3	23.1	7.7	1.9	1.9	1.9
3世代同居（親と自分と子、自分と子と孫、祖父母と親と自分）	1.7	30.0	20.0	13.3	20.0	1.7	1.7	8.3
その他	5.3	31.6	10.5	21.1	26.3	5.3	5.3	5.3

【職業別】

職業別にみると、派遣社員、契約・期間社員で「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援を行う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域福祉の重要性をPRする	福祉に関する情報提供を充実する	学校での福祉教育を進める	市の計画や事業への住民参画を進める	町内や小中学校区の地域福祉活動を支援する	ボランティア活動やNPOへの支援や、協働事業を行う	地域の福祉関係者の仲介や交流を促す	福祉サービス事業所が、自治会などの他の組織と活動しやすい環境をつくる
全 体	479	26.5	6.3	20.3	5.8	17.1	7.1	6.5	16.7
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	46	26.1	8.7	19.6	2.2	15.2	4.3	6.5	19.6
正社員	130	27.7	3.8	24.6	10.0	17.7	10.8	10.0	11.5
派遣社員、契約・期間社員	20	30.0	5.0	25.0	5.0	20.0	15.0	5.0	25.0
パート、アルバイト、フリーター	103	29.1	7.8	24.3	7.8	18.4	6.8	4.9	20.4
学生	8	25.0	—	25.0	—	25.0	—	—	12.5
家事専業（主婦・主夫）	64	20.3	6.3	10.9	1.6	18.8	6.3	9.4	18.8
無職	92	25.0	8.7	14.1	3.3	13.0	4.3	2.2	18.5
その他	8	25.0	—	50.0	—	25.0	—	12.5	—

区分	様々な課題に対応できるよう、福祉の専門機関同士の連携を強化する	様々な人々が気軽に集える居場所づくりを支援する	地域住民に身近な場所へ相談窓口を設置する	参加できるようなワークショップを推進する	働いている人も地域活動に参加できるようにワークライフバランスを推進する	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援を行う	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	無回答
全 体	8.4	22.3	22.8	16.7	15.7	4.6	2.5	6.9	
自営業（商店・企業経営、農林水産業など）	4.3	21.7	21.7	13.0	15.2	2.2	8.7	4.3	
正社員	8.5	21.5	20.0	27.7	11.5	3.8	0.8	0.8	
派遣社員、契約・期間社員	10.0	15.0	25.0	15.0	30.0	—	—	—	
パート、アルバイト、フリーター	6.8	24.3	18.4	20.4	15.5	1.0	1.9	2.9	
学生	12.5	37.5	12.5	37.5	—	—	—	—	
家事専業（主婦・主夫）	10.9	23.4	29.7	7.8	28.1	9.4	1.6	9.4	
無職	9.8	23.9	25.0	2.2	10.9	8.7	3.3	19.6	
その他	—	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	—	

【関心がある分野別】

関心がある分野別にみると、ダブルケア対策で「働いている人も地域活動に参加できるようワークライフバランスを推進する」の割合が高くなっています。

単位：％

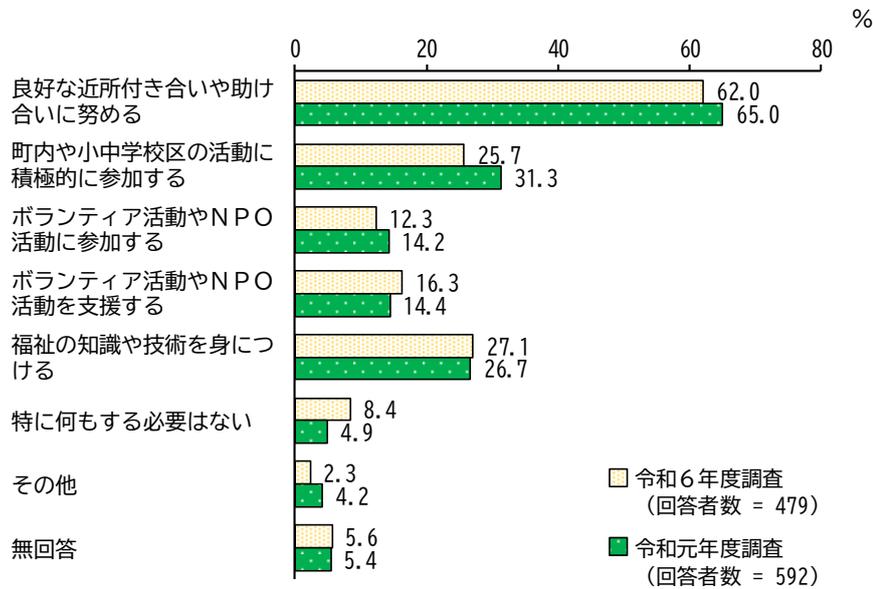
区分	回答者数(件)	地域福祉の重要性をPRする	福祉に関する情報提供を充実する	学校での福祉教育を進める	市の計画や事業への住民参画を進める	町内や小中学校区の地域福祉活動を支援する	ボランティア活動やNPOへの支援や、協働事業を行う	地域の福祉関係者の仲介や交流を促す	福祉サービス事業所が、自治会などの他の組織と活動しやすい環境をつくる
全体	479	26.5	6.3	20.3	5.8	17.1	7.1	6.5	16.7
地域の助け合い活動	136	33.1	7.4	21.3	5.9	19.1	2.9	7.4	25.7
高齢者支援	243	27.6	7.0	18.1	5.3	18.1	6.6	8.2	19.3
子育て支援	175	29.1	5.1	26.9	8.0	23.4	6.9	6.3	22.3
障害者(児)支援	107	26.2	7.5	26.2	7.5	14.0	8.4	8.4	22.4
ボランティア活動	58	31.0	3.4	22.4	8.6	15.5	17.2	3.4	22.4
健康・生きがいづくり	185	32.4	8.1	18.4	7.6	20.0	7.6	7.6	19.5
福祉に関する教育・学習	74	29.7	13.5	27.0	8.1	18.9	8.1	4.1	27.0
災害時の助け合い	262	27.5	7.6	20.6	5.7	22.1	8.0	6.9	17.9
貧困対策	92	20.7	9.8	26.1	7.6	13.0	6.5	8.7	20.7
ひきこもり支援	55	18.2	5.5	23.6	3.6	14.5	3.6	12.7	25.5
ダブルケア対策	83	24.1	8.4	21.7	4.8	20.5	6.0	7.2	28.9
ヤングケアラー	73	19.2	12.3	20.5	6.8	19.2	9.6	5.5	24.7
いずれにも関心がない	14	7.1	7.1	28.6	-	7.1	-	-	14.3

区分	様々な課題に対応できるよう、福祉の専門機関同士の連携を強化する	様々な人々が気軽に集える居場所づくりを支援する	地域住民に身近な場所へ相談窓口を設置する	働いている人も地域活動に参加できるようワークライフバランスを推進する	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援を行う	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	無回答
全体	8.4	22.3	22.8	16.7	15.7	4.6	2.5	6.9
地域の助け合い活動	4.4	31.6	19.9	19.1	17.6	5.9	2.9	6.6
高齢者支援	8.2	21.8	25.1	14.4	17.3	5.8	2.1	7.4
子育て支援	6.9	22.9	18.9	25.1	11.4	4.6	2.3	3.4
障害者(児)支援	16.8	26.2	20.6	17.8	20.6	8.4	2.8	6.5
ボランティア活動	3.4	34.5	13.8	19.0	22.4	5.2	1.7	5.2
健康・生きがいづくり	8.1	27.6	24.9	16.2	17.8	5.9	1.1	4.9
福祉に関する教育・学習	10.8	20.3	24.3	18.9	21.6	9.5	1.4	4.1
災害時の助け合い	6.5	26.7	24.0	17.6	19.5	3.8	0.8	6.5
貧困対策	12.0	23.9	20.7	21.7	20.7	5.4	3.3	3.3
ひきこもり支援	10.9	16.4	18.2	25.5	29.1	12.7	-	3.6
ダブルケア対策	9.6	22.9	24.1	31.3	21.7	3.6	-	4.8
ヤングケアラー	12.3	23.3	19.2	24.7	23.3	6.8	1.4	4.1
いずれにも関心がない	7.1	7.1	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	28.6

問 34 地域福祉活動を推進するため、あなた自身はどのようなことに取り組むべきとお考えですか。【3つまで○印】

「良好な近所付き合いや助け合いに努める」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「福祉の知識や技術を身につける」の割合が 27.1%、「町内や小中学校区の活動に積極的に参加する」の割合が 25.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「町内や小中学校区の活動に積極的に参加する」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別にみると、20 歳代で「町内や小中学校区の活動に積極的に参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	めい や 助 け 合 い に 努 め る	良 好 な 近 所 付 き 合 い	参 加 す る の 活 動 に 積 極 的 に	加 す る ポ ラ ン テ ィ ア 活 動 に	援 す る ポ ラ ン テ ィ ア 活 動 を	を 身 に つ け る 福 祉 の 知 識 や 技 術	は 特 に 何 も す る 必 要 は な い	そ の 他	無 回 答
全 体	479	62.0	25.7	12.3	16.3	27.1	8.4	2.3	5.6	
10歳代	4	75.0	—	—	—	25.0	25.0	—	—	
20歳代	26	42.3	46.2	23.1	11.5	26.9	11.5	3.8	—	
30歳代	55	61.8	34.5	9.1	9.1	32.7	7.3	1.8	—	
40歳代	65	46.2	32.3	20.0	24.6	32.3	12.3	3.1	—	
50歳代	84	59.5	21.4	7.1	11.9	32.1	10.7	3.6	3.6	
60歳代	113	69.0	19.5	15.0	20.4	23.9	7.1	0.9	3.5	
70歳代	121	69.4	24.0	9.9	17.4	22.3	5.0	2.5	14.9	
80歳以上	11	63.6	18.2	—	—	18.2	9.1	—	18.2	

【近所付き合いの程度別】

近所付き合いの程度別にみると、近所に仲の良い人がおり、家を行き来しているで「良好な近所付き合いや助け合いに努める」の割合が高くなっています。

単位：％

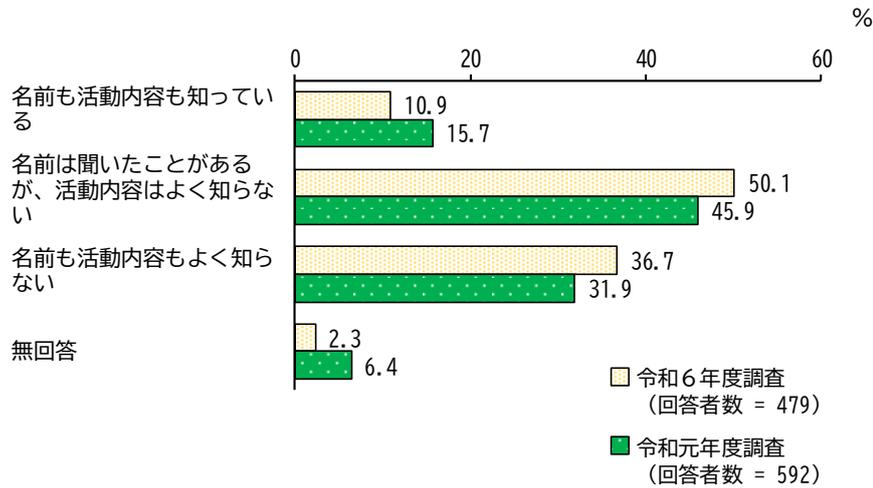
区分	回答者数(件)	めい や 助 け 合 い に 努 め る	良 好 な 近 所 付 き 合 い	参 加 す る の 活 動 に 積 極 的 に	加 す る ポ ラ ン テ ィ ア 活 動 に	援 す る ポ ラ ン テ ィ ア 活 動 を	を 身 に つ け る 福 祉 の 知 識 や 技 術	は 特 に 何 も す る 必 要 は な い	そ の 他	無 回 答
全 体	479	62.0	25.7	12.3	16.3	27.1	8.4	2.3	5.6	
近所に仲の良い人がおり、家を行き来している	35	85.7	28.6	11.4	8.6	5.7	2.9	5.7	8.6	
会えば親しく話をする人がいる	168	77.4	31.5	11.9	14.3	29.2	3.6	1.8	4.8	
あいさつ程度をする人がいる	197	56.3	25.9	12.7	18.3	22.8	10.2	2.0	6.1	
近所付き合いはほとんどしていない	74	32.4	10.8	12.2	18.9	43.2	17.6	2.7	2.7	

## (10) 豊橋市社会福祉協議会のことについて

問 35 あなたは、豊橋市社会福祉協議会を知っていますか。【1つに○印】

「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「名前も活動内容もよく知らない」の割合が 36.7%、「名前も活動内容も知っている」の割合が 10.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「名前も活動内容もよく知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	名前も活動内容も 知っている	名前は聞いたこと があるが、活動内容 はよく知らない	名前も活動内容も よく知らない	無回答
全 体	479	10.9	50.1	36.7	2.3
10歳代	4	—	—	100.0	—
20歳代	26	11.5	26.9	61.5	—
30歳代	55	5.5	50.9	43.6	—
40歳代	65	10.8	53.8	33.8	1.5
50歳代	84	9.5	45.2	45.2	—
60歳代	113	11.5	50.4	35.4	2.7
70歳代	121	13.2	57.0	24.8	5.0
80歳以上	11	18.2	54.5	18.2	9.1

【相談支援体制の充足度別】

相談支援体制の充足度別にみると、十分だと思うで「名前も活動内容も知っている」の割合が高くなっています。

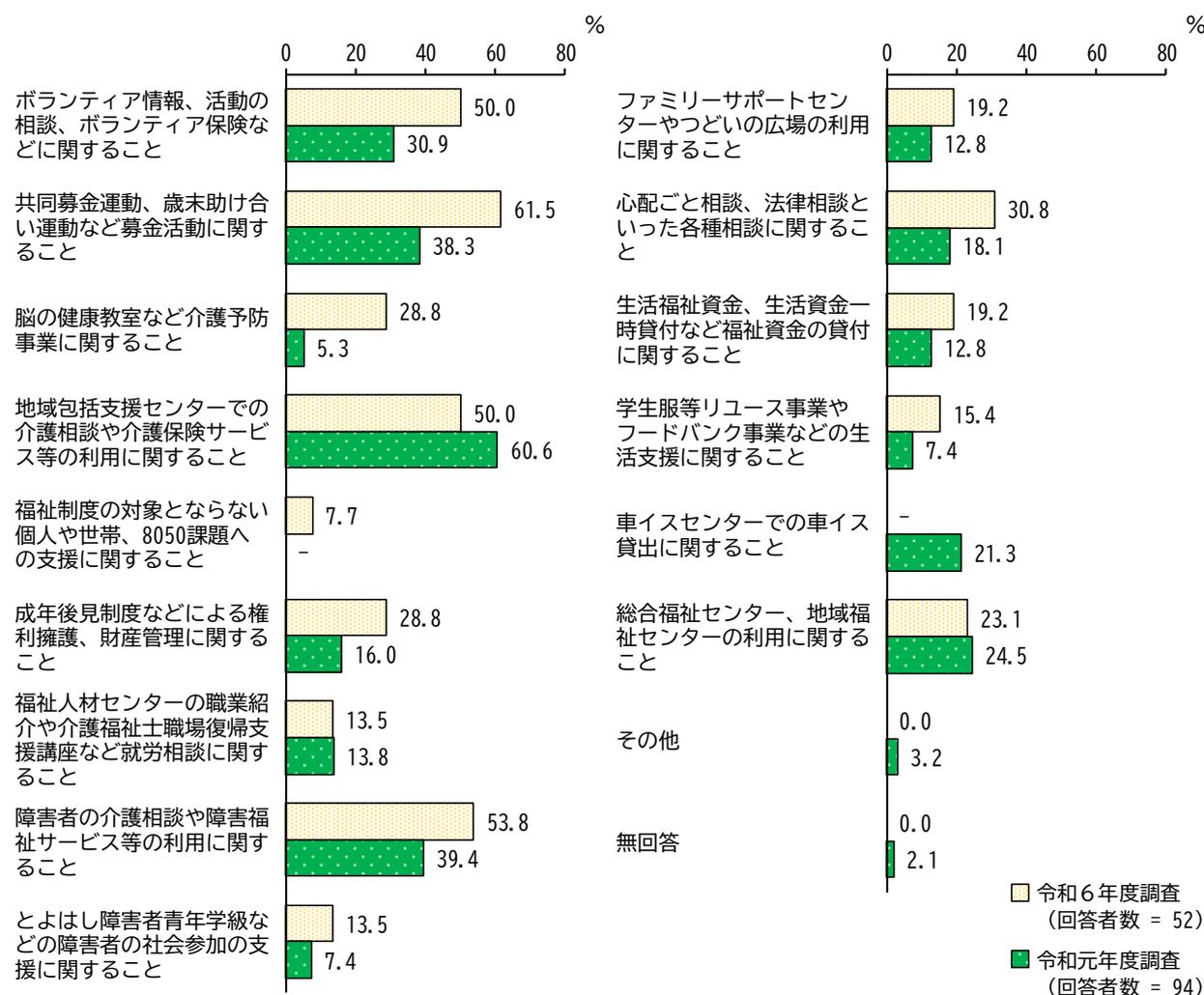
単位：%

区分	回答者数 (件)	名前も活動内容も 知っている	名前は聞いたこと があるが、活動内容 はよく知らない	名前も活動内容も よく知らない	無回答
全 体	479	10.9	50.1	36.7	2.3
十分だと思う	79	25.3	51.9	21.5	1.3
足りないと思う	72	13.9	51.4	34.7	—
わからない	317	6.9	49.8	41.3	1.9

問 35 で「名前も活動内容も知っている」を回答された方のみにお尋ねします。

問 36 あなたの知っている又は利用したことのある豊橋市社会福祉協議会の活動は次のうちどれですか。【あてはまるものすべてに○印】

「共同募金運動、歳末助け合い運動など募金活動に関すること」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「障害者の介護相談や障害福祉サービス等の利用に関すること」の割合が 53.8%、「ボランティア情報、活動の相談、ボランティア保険などに関すること」、「地域包括支援センターでの介護相談や介護保険サービス等の利用に関すること」の割合が 50.0%となっています。



※前回調査では「福祉人材センターの職業紹介や介護福祉士職場復帰支援講座など就労相談に関すること」の選択肢が「福祉人材センターの職業紹介や介護離職防止講座、介護福祉士職場復帰支援講座など就労相談に関すること」に、「成年後見制度などによる権利擁護、財産管理に関すること」が「成年後見制度の相談や日常生活自立支援事業による金銭管理の相談に関すること」になっていました。

※前回調査では「福祉制度の対象とならない個人や世帯、8050 課題への支援に関すること」の選択肢がありませんでした。

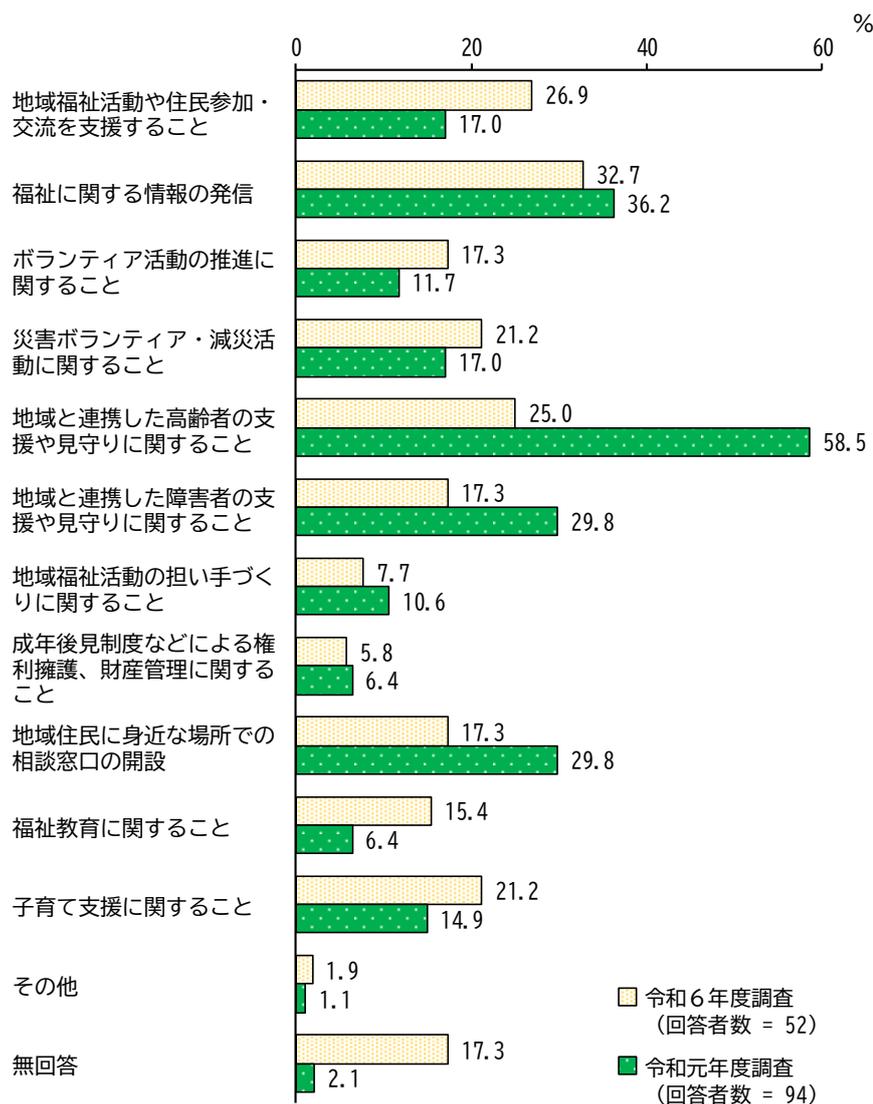
※前回調査では「車イスセンターでの車イス貸出に関すること」の選択肢がありました。今回調査ではありませんでした。

問 35 で「名前も活動内容も知っている」を回答された方のみにお尋ねします。

問 37 あなたが考える、今後社会福祉協議会に期待することは何ですか。【3つまで○印】

「福祉に関する情報の発信」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「地域福祉活動や住民参加・交流を支援すること」の割合が 26.9%、「地域と連携した高齢者の支援や見守りに関すること」の割合が 25.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域福祉活動や住民参加・交流を支援すること」、「ボランティア活動の推進に関すること」、「福祉教育に関すること」、「子育て支援に関すること」の割合が増加しています。一方、「地域と連携した高齢者の支援や見守りに関すること」、「地域と連携した障害者の支援や見守りに関すること」、「地域住民に身近な場所での相談窓口の開設」の割合が減少しています。



## (11) 自由回答

地域福祉活動についてご意見がありましたら自由にご記入ください。

### (1) 自分達でできること・していること

カテゴリー	件数
1 地域について	11
・地域住民とコミュニケーションをとる	10
・助け合える地域にしたい	1
2 ご近所での助け合いについて	11
・緊急時用の連絡先を交換している	1
・声をかけるなど見守り活動を行う	9
・助けが必要だと周囲に知らせる	1
3 地域活動について	18
・地域活動について情報を得る	3
・清掃活動の参加・実施	5
・清掃活動以外の地域活動の参加・実施	5
・地域活動が盛んではない	1
・忙しくて参加できない	3
・体調面の理由で参加できない	1
4 ボランティア活動について	8
・ボランティア活動を続ける	3
・ボランティア活動に参加する	1
・ボランティアの人手不足	1
・時間がなくできない	3
5 その他	4
・自分でできることはする	1
・まずは自分の状況を把握する	1
・健康に気を付ける	1
・介護サービスを頼りにしている	1

### (2) 地域でできること・していること

カテゴリー	件数
1 地域について	8
・見守り活動に感謝している	2
・ご近所と交流をする	4
・生活環境の改善を希望する	1
・町内会が十分に機能している	1

カテゴリー	件数
2 ご近所での助け合いについて	2
・声をかけるなど見守り活動を行う	2
3 地域活動について	19
・清掃活動の参加・実施	8
・清掃活動以外の地域活動の参加・実施	6
・地域での親睦を深める	1
・役員などできることはやりたい	1
・子ども・高齢者・障害者の支援活動	1
・活動の周知啓発をしてほしい	2
4 ボランティア活動について	1
・ボランティア活動に参加している	1

### (3) 行政に求めること

カテゴリー	件数
1 地域について	33
・公共施設・道路の整備をしてほしい	9
・治安のよい公園環境の整備をしてほしい	1
・公共交通機関を充実してほしい	4
・ボランティアの担い手を育成してほしい	2
・行政職員が地域に入り込み実態を把握すべき	1
・行政からの活動の呼びかけが必要	1
・自治会役員の負担が大きい	3
・子育て世代が集まれる場所を増やしてほしい	4
・子どもから高齢者まで集まれる場所がほしい	1
・高齢者の居場所をつくってほしい	2
・高齢者が参加したくなる活動を実施してほしい	1
・地域住民のコミュニケーションの場を提供してほしい	2
・誰もが笑顔で暮らせるまちにしてほしい	1
・安心して生活できるまちづくり	1
2 ご近所での助け合いについて	3
・見守りをしてほしい	1
・できることがあれば手伝いたい	1
・有償ボランティアを検討してほしい	1

カテゴリー	件数
3 地域活動について	6
・活動内容を周知啓発してほしい	2
・気軽に参加できる場所での有益な講座を実施してほしい	1
・地域福祉活動につながるようなイベントを企画してほしい	1
・地域福祉活動に参加できない理由の調査が必要	1
・任意の活動が義務的になるのが嫌	1
4 災害に対する備え等について	3
・災害時の地域と連携した行政の対応が必要	1
・災害時の支援が必要	1
・災害の予防活動が必要	1
5 地域の福祉環境について	19
・福祉に関する普及啓発を行ってほしい	1
・福祉サービスの周知をしてほしい	3
・福祉サービスを充実してほしい	10
・福祉サービスに感謝している	1
・地域の見守りを行う人材を増員してほしい	1
・専門性のないボランティアでもできることの情報提供をしてほしい	1
・地域福祉センターを増やしてほしい	1
・出産に対して後ろ向きとまらない社会にしてほしい	1
6 アンケートについて	3
・アンケート内容が難しい	1
・設問が多い	2
7 その他	13
・今のままで充分	1
・税金を適切に利用してほしい	1
・年金での生活に不安がある	2
・専門家の意見を踏まえた取組みを検討してほしい	1
・行政サービス提供体制の見直しをしてほしい	4
・行政サービスの周知をしてほしい	1
・目的を明らかにして実行してほしい	1
・縦割りではない横の連携をしてほしい	1
・動物愛護の周知啓発と拡充をしてほしい	1

## 2 自治会・民生委員児童委員

### (1) 回答者自身のことについて

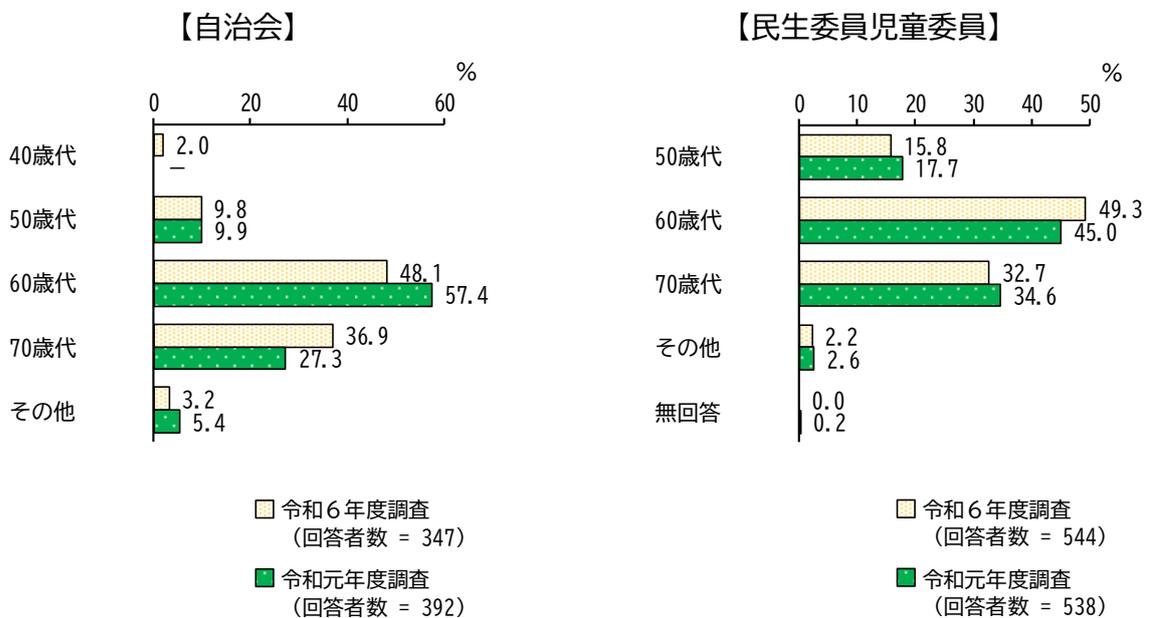
問 年齢について教えてください。【1つに○印】  
(自治会：問1、民生委員児童委員：問1)

自治会は、「60歳代」の割合が48.1%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が36.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「70歳代」の割合が増加しています。一方、「60歳代」の割合が減少しています。

民生委員児童委員は、「60歳代」の割合が49.3%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が32.7%、「50歳代」の割合が15.8%となっています。

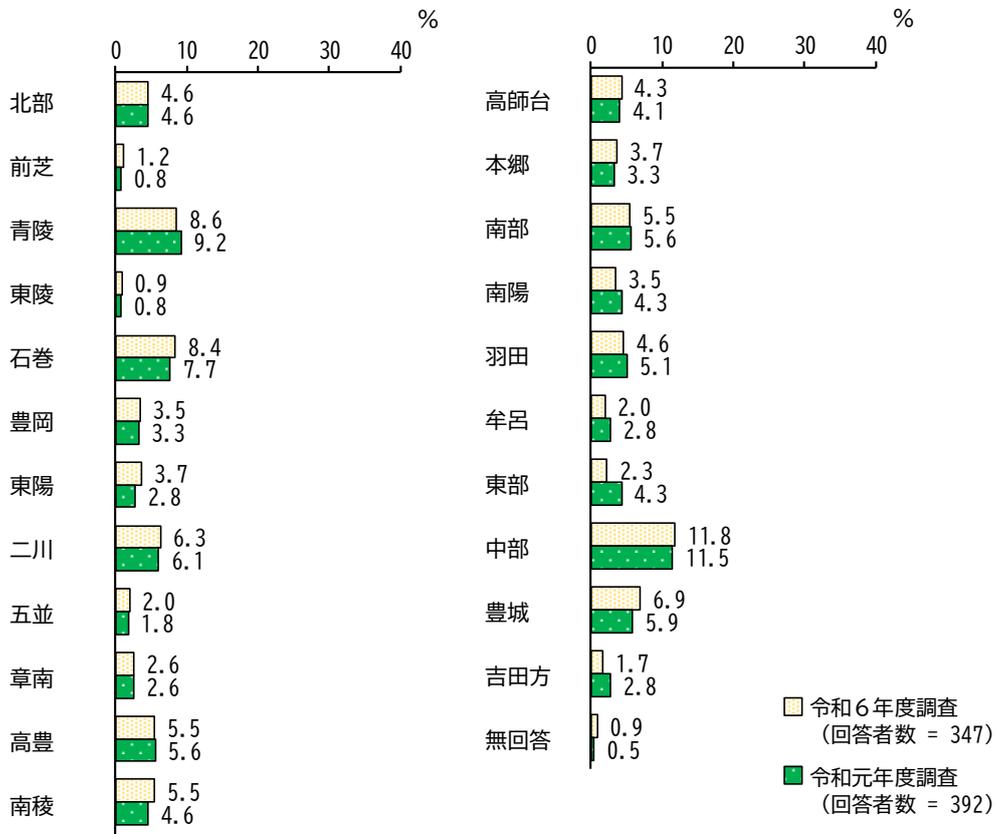
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



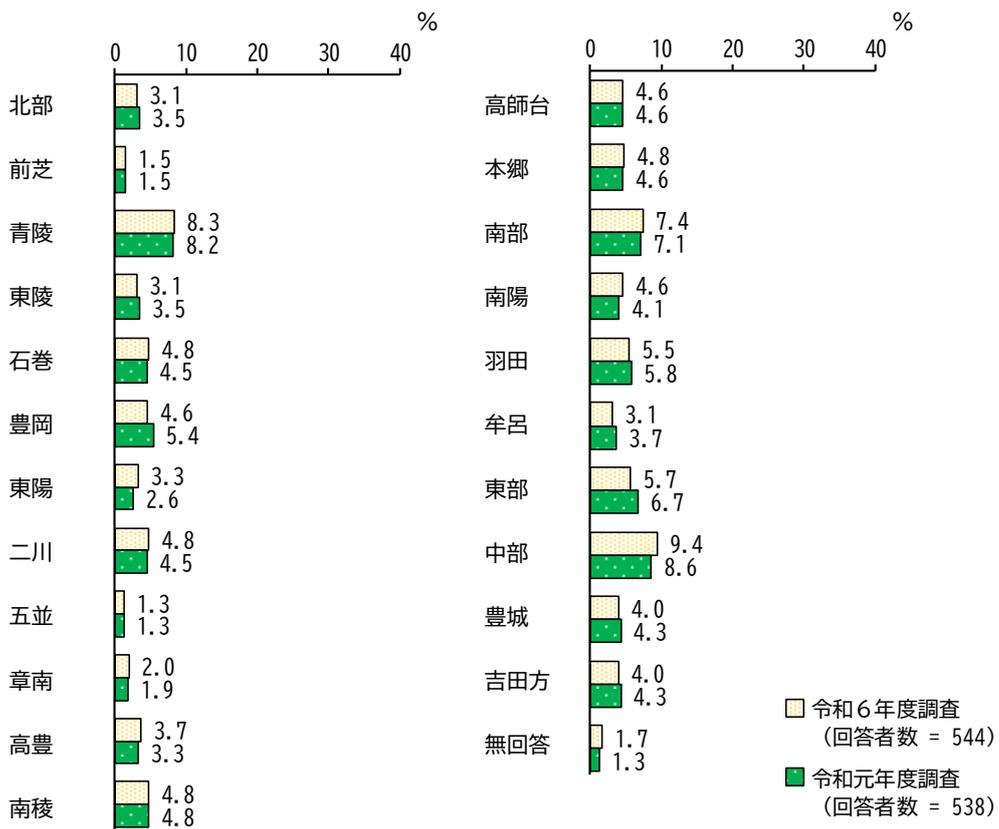
※自治会の前回調査では、「40歳代」の選択肢はありませんでした。

問 ①お住まいの中学校区を教えてください。(自治会：問2、民生委員児童委員：問2)

【自治会】



【民生委員児童委員】



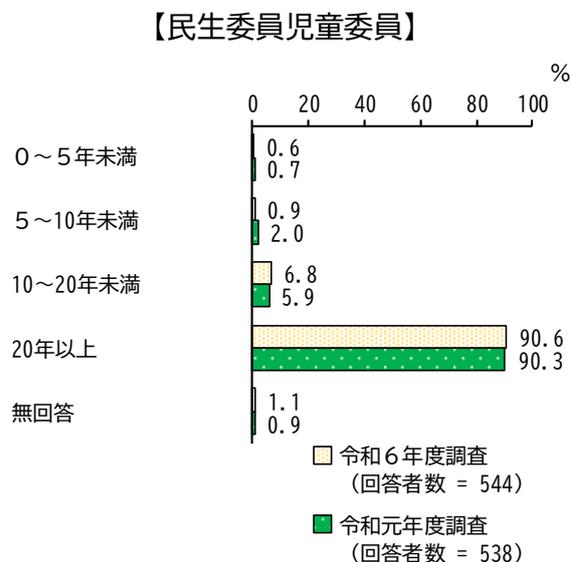
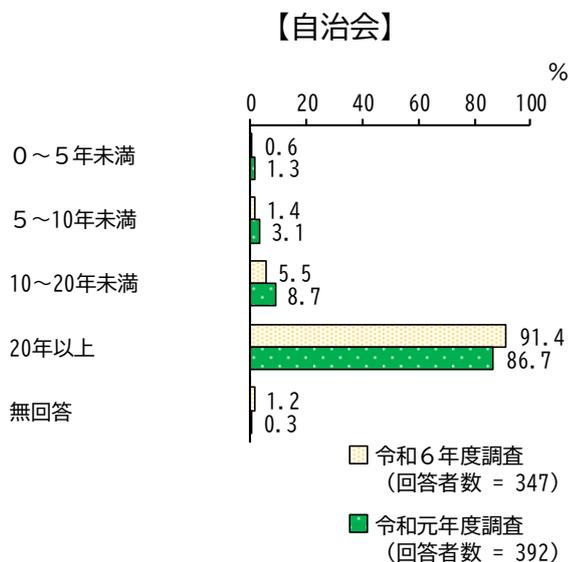
問 ②現在の校区に何年ぐらいお住まいですか。【1つに○印】

自治会は、「20年以上」の割合が91.4%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

民生委員児童委員は、「20年以上」の割合が90.6%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 現在お仕事をしていますか。【1つに○印】（自治会：問3、民生委員児童委員：問3）

自治会は、「無職」の割合が39.8%と最も高く、次いで「自営業（商店・企業経営、農林水産業など）」の割合が21.0%、「正社員」の割合が15.9%となっています。

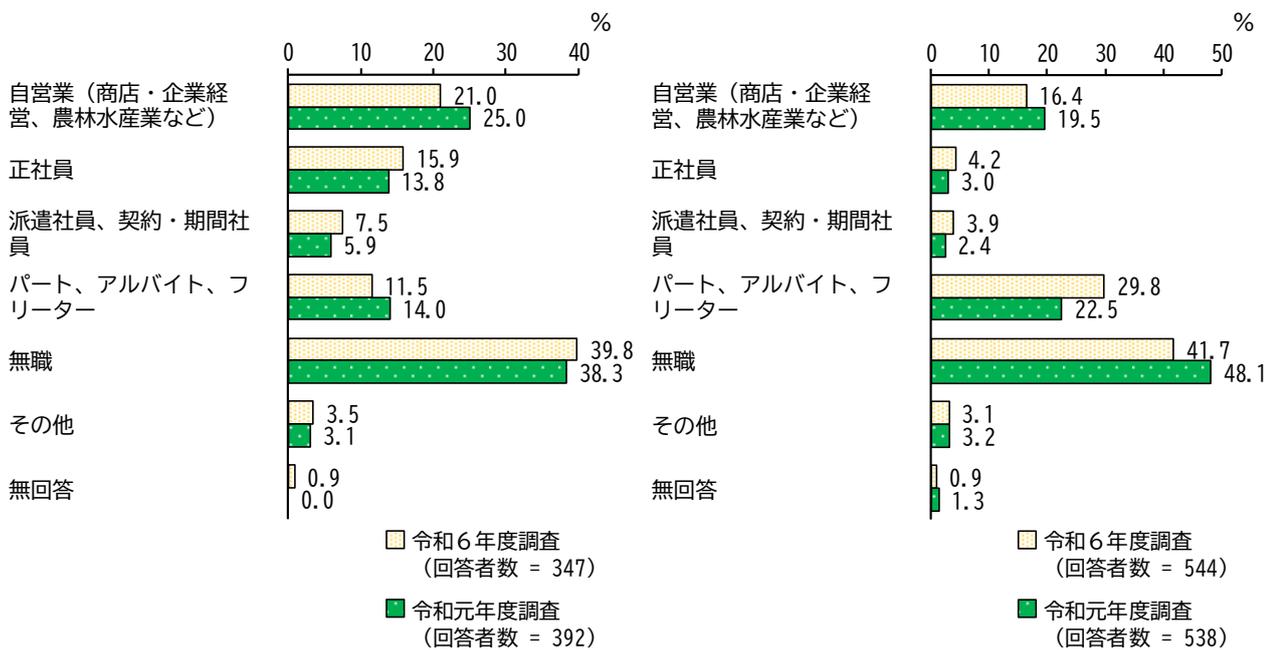
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

民生委員児童委員は、「無職」の割合が41.7%と最も高く、次いで「パート、アルバイト、フリーター」の割合が29.8%、「自営業（商店・企業経営、農林水産業など）」の割合が16.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「パート、アルバイト、フリーター」の割合が増加しています。一方、「無職」の割合が減少しています。

【自治会】

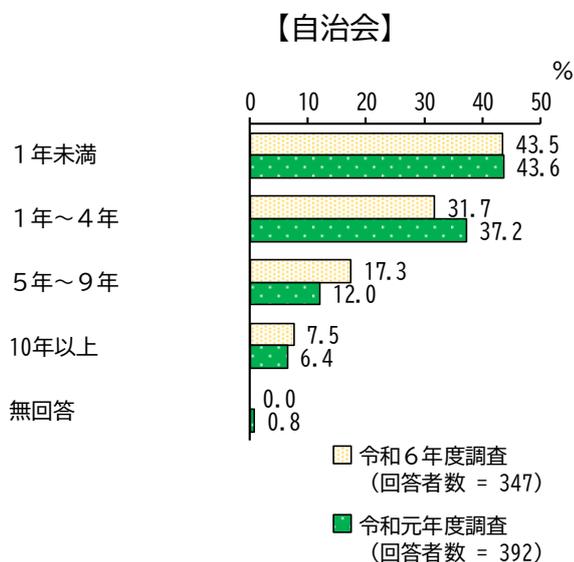
【民生委員児童委員】



問 自治会長の経験年数を教えてください。【1つに○印】（自治会：問4）

「1年未満」の割合が43.5%と最も高く、次いで「1年～4年」の割合が31.7%、「5年～9年」の割合が17.3%となっています。

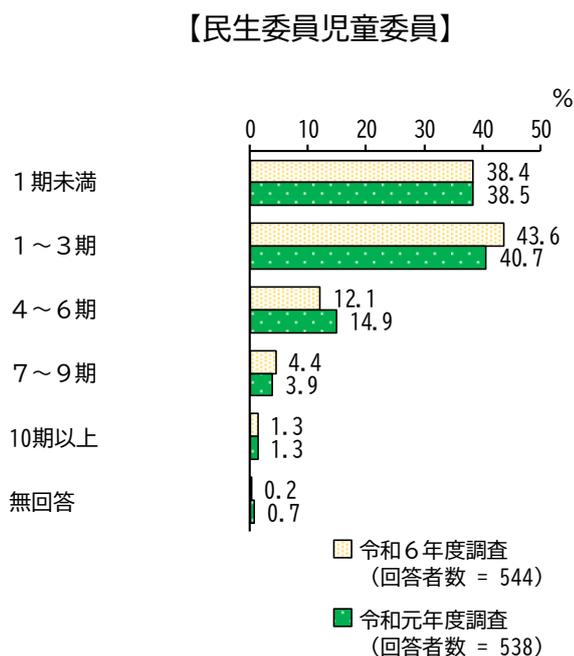
令和元年度調査と比較すると、「5年～9年」の割合が増加しています。一方、「1年～4年」の割合が減少しています。



問 民生委員児童委員の経験年数（期数）を教えてください【1つに○印】（民生委員児童委員：問4）

「1～3期」の割合が43.6%と最も高く、次いで「1期未満」の割合が38.4%、「4～6期」の割合が12.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※民生委員児童委員の1期の任期は3年です。

## (2) あなたの地域について

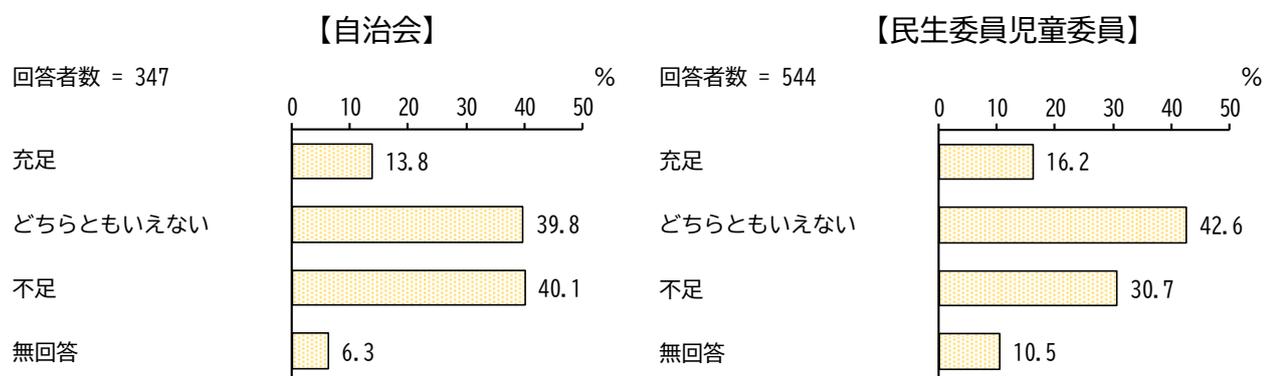
【新規】

問 あなたがお住まいの地域で、地域住民による地域の支え合い活動を進めるにあたっての現状についてどのように感じているか教えてください。【それぞれ1つに○印】  
(自治会：問5、民生委員児童委員：問5)

### 1. 活動の中心となるリーダー

自治会は、「不足」の割合が40.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が39.8%、「充足」の割合が13.8%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「不足」の割合が30.7%、「充足」の割合が16.2%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、南部で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	13.8	39.8	40.1	6.3
北部	16	12.5	43.8	31.3	12.5
前芝	4	—	25.0	25.0	50.0
青陵	30	20.0	43.3	33.3	3.3
東陵	3	—	33.3	66.7	—
石巻	29	10.3	55.2	31.0	3.4
豊岡	12	25.0	41.7	25.0	8.3
東陽	13	7.7	53.8	30.8	7.7
二川	22	9.1	40.9	36.4	13.6
五並	7	14.3	42.9	42.9	—
章南	9	11.1	55.6	33.3	—
高豊	19	21.1	36.8	36.8	5.3
南稜	19	5.3	57.9	31.6	5.3
高師台	15	26.7	33.3	40.0	—
本郷	13	30.8	23.1	38.5	7.7
南部	19	—	26.3	68.4	5.3
南陽	12	8.3	33.3	50.0	8.3
羽田	16	—	25.0	62.5	12.5
牟呂	7	14.3	42.9	28.6	14.3
東部	8	12.5	37.5	50.0	—
中部	41	17.1	26.8	51.2	4.9
豊城	24	16.7	50.0	29.2	4.2
吉田方	6	33.3	33.3	33.3	—

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、吉田方で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

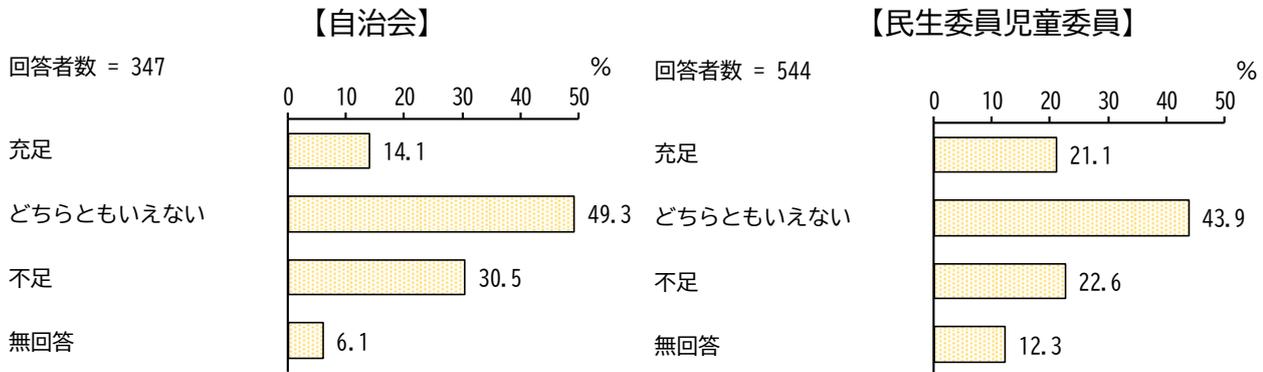
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	16.2	42.6	30.7	10.5
北部	17	11.8	29.4	47.1	11.8
前芝	8	—	37.5	25.0	37.5
青陵	45	24.4	35.6	28.9	11.1
東陵	17	11.8	41.2	29.4	17.6
石巻	26	7.7	23.1	53.8	15.4
豊岡	25	8.0	60.0	28.0	4.0
東陽	18	27.8	16.7	27.8	27.8
二川	26	23.1	53.8	23.1	—
五並	7	28.6	28.6	42.9	—
章南	11	18.2	27.3	45.5	9.1
高豊	20	25.0	45.0	15.0	15.0
南稜	26	23.1	53.8	11.5	11.5
高師台	25	16.0	44.0	24.0	16.0
本郷	26	11.5	42.3	38.5	7.7
南部	40	22.5	42.5	27.5	7.5
南陽	25	4.0	40.0	44.0	12.0
羽田	30	13.3	50.0	33.3	3.3
牟呂	17	11.8	23.5	58.8	5.9
東部	31	16.1	48.4	29.0	6.5
中部	51	19.6	43.1	27.5	9.8
豊城	22	13.6	54.5	27.3	4.5
吉田方	22	4.5	72.7	18.2	4.5

## 2. 活動について相談できるところ

自治会は、「どちらともいえない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「不足」の割合が30.5%、「充足」の割合が14.1%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が43.9%と最も高く、次いで「不足」の割合が22.6%、「充足」の割合が21.1%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、豊岡で「充足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	14.1	49.3	30.5	6.1
北部	16	6.3	37.5	37.5	18.8
前芝	4	—	50.0	50.0	—
青陵	30	10.0	50.0	36.7	3.3
東陵	3	—	66.7	33.3	—
石巻	29	13.8	51.7	31.0	3.4
豊岡	12	41.7	25.0	33.3	—
東陽	13	15.4	46.2	30.8	7.7
二川	22	9.1	40.9	36.4	13.6
五並	7	14.3	71.4	14.3	—
章南	9	11.1	44.4	44.4	—
高豊	19	26.3	36.8	26.3	10.5
南稜	19	21.1	52.6	21.1	5.3
高師台	15	26.7	53.3	20.0	—
本郷	13	23.1	69.2	—	7.7
南部	19	5.3	36.8	42.1	15.8
南陽	12	8.3	41.7	41.7	8.3
羽田	16	6.3	50.0	31.3	12.5
牟呂	7	—	57.1	28.6	14.3
東部	8	25.0	75.0	—	—
中部	41	9.8	48.8	39.0	2.4
豊城	24	12.5	62.5	25.0	—
吉田方	6	33.3	50.0	16.7	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、5年～9年で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	14.1	49.3	30.5	6.1
1年未満	151	9.9	53.0	31.8	5.3
1年～4年	110	18.2	40.0	33.6	8.2
5年～9年	60	15.0	58.3	23.3	3.3
10年以上	26	19.2	46.2	26.9	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、吉田方で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	21.1	43.9	22.6	12.3
北部	17	5.9	58.8	23.5	11.8
前芝	8	—	25.0	37.5	37.5
青陵	45	35.6	35.6	15.6	13.3
東陵	17	29.4	23.5	17.6	29.4
石巻	26	11.5	42.3	26.9	19.2
豊岡	25	12.0	52.0	28.0	8.0
東陽	18	22.2	27.8	27.8	22.2
二川	26	26.9	46.2	23.1	3.8
五並	7	14.3	42.9	42.9	—
章南	11	27.3	27.3	36.4	9.1
高豊	20	25.0	45.0	15.0	15.0
南稜	26	30.8	50.0	11.5	7.7
高師台	25	24.0	44.0	16.0	16.0
本郷	26	19.2	50.0	23.1	7.7
南部	40	27.5	45.0	17.5	10.0
南陽	25	8.0	40.0	32.0	20.0
羽田	30	16.7	53.3	30.0	—
牟呂	17	17.6	35.3	35.3	11.8
東部	31	29.0	48.4	19.4	3.2
中部	51	29.4	41.2	19.6	9.8
豊城	22	9.1	50.0	22.7	18.2
吉田方	22	—	68.2	22.7	9.1

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

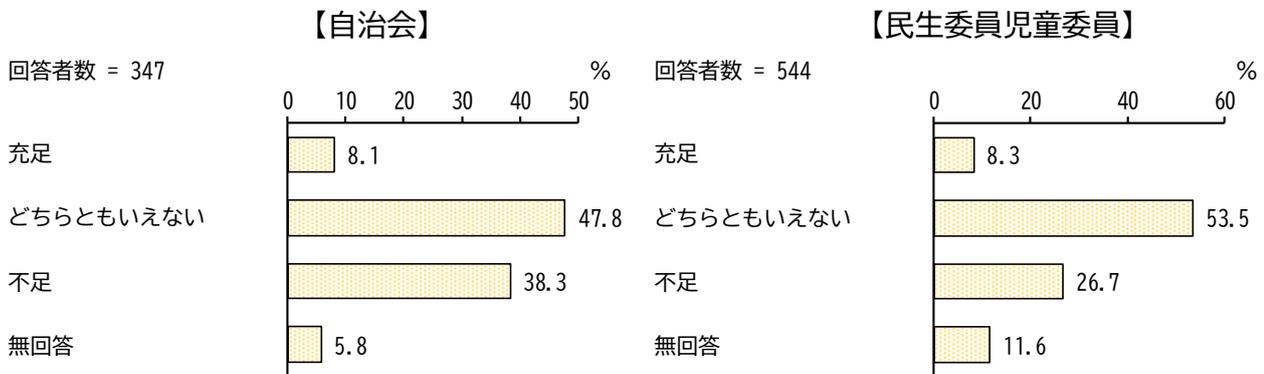
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	21.1	43.9	22.6	12.3
1 期末満	209	20.6	41.6	23.0	14.8
1～3 期	237	21.5	44.7	22.8	11.0
4～6 期	66	19.7	45.5	22.7	12.1
7～9 期	24	25.0	50.0	16.7	8.3
10 期以上	7	14.3	57.1	28.6	—

### 3. 活動に割ける時間

自治会は、「どちらともいえない」の割合が47.8%と最も高く、次いで「不足」の割合が38.3%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が53.5%と最も高く、次いで「不足」の割合が26.7%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、高師台で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不 足	無 回 答
全 体	347	8.1	47.8	38.3	5.8
北部	16	12.5	37.5	31.3	18.8
前芝	4	—	50.0	50.0	—
青陵	30	3.3	53.3	36.7	6.7
東陵	3	—	33.3	66.7	—
石巻	29	6.9	37.9	51.7	3.4
豊岡	12	16.7	50.0	33.3	—
東陽	13	7.7	61.5	30.8	—
二川	22	4.5	27.3	54.5	13.6
五並	7	28.6	28.6	42.9	—
章南	9	—	55.6	44.4	—
高豊	19	15.8	47.4	31.6	5.3
南稜	19	15.8	52.6	26.3	5.3
高師台	15	13.3	80.0	6.7	—
本郷	13	—	61.5	30.8	7.7
南部	19	—	31.6	52.6	15.8
南陽	12	—	50.0	41.7	8.3
羽田	16	12.5	56.3	25.0	6.3
牟呂	7	—	57.1	28.6	14.3
東部	8	12.5	62.5	25.0	—
中部	41	9.8	48.8	39.0	2.4
豊城	24	4.2	45.8	45.8	4.2
吉田方	6	16.7	50.0	33.3	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	8.1	47.8	38.3	5.8
1年未満	151	4.6	45.0	45.7	4.6
1年～4年	110	8.2	45.5	39.1	7.3
5年～9年	60	15.0	55.0	25.0	5.0
10年以上	26	11.5	57.7	23.1	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、章南で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	8.3	53.5	26.7	11.6
北部	17	—	52.9	35.3	11.8
前芝	8	—	50.0	25.0	25.0
青陵	45	6.7	53.3	28.9	11.1
東陵	17	11.8	41.2	29.4	17.6
石巻	26	7.7	57.7	15.4	19.2
豊岡	25	8.0	52.0	32.0	8.0
東陽	18	—	66.7	11.1	22.2
二川	26	11.5	65.4	19.2	3.8
五並	7	14.3	57.1	28.6	—
章南	11	9.1	36.4	45.5	9.1
高豊	20	20.0	35.0	25.0	20.0
南稜	26	15.4	46.2	23.1	15.4
高師台	25	4.0	64.0	12.0	20.0
本郷	26	7.7	42.3	42.3	7.7
南部	40	7.5	62.5	22.5	7.5
南陽	25	4.0	48.0	32.0	16.0
羽田	30	10.0	53.3	36.7	—
牟呂	17	5.9	52.9	29.4	11.8
東部	31	16.1	58.1	22.6	3.2
中部	51	11.8	54.9	23.5	9.8
豊城	22	4.5	50.0	31.8	13.6
吉田方	22	—	68.2	27.3	4.5

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、4～6期で「不足」の割合が高くなっています。

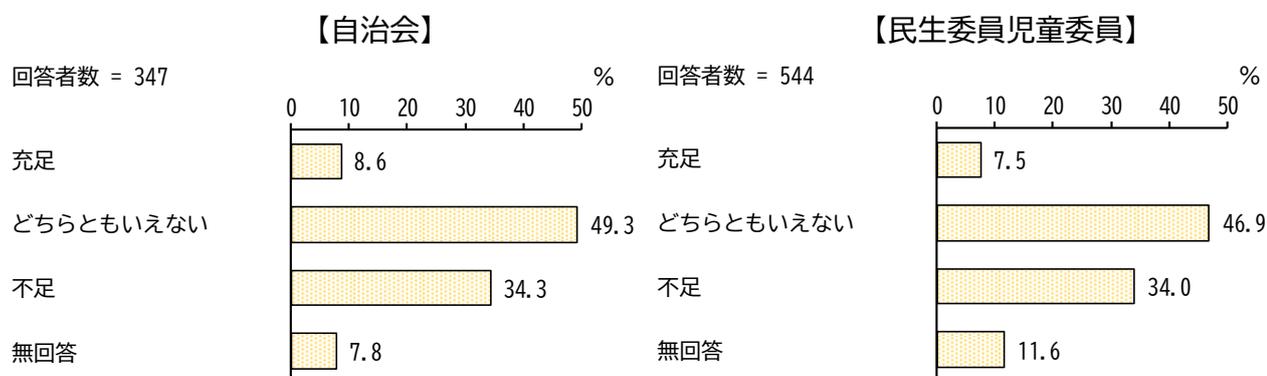
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	8.3	53.5	26.7	11.6
1 期未満	209	9.6	50.7	25.4	14.4
1～3 期	237	7.2	57.4	25.3	10.1
4～6 期	66	6.1	47.0	36.4	10.6
7～9 期	24	8.3	62.5	20.8	8.3
10 期以上	7	14.3	42.9	42.9	—

#### 4. 活動に必要な地域資源の情報

自治会は、「どちらともいえない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「不足」の割合が34.3%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「不足」の割合が34.0%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、羽田で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	8.6	49.3	34.3	7.8
北部	16	6.3	37.5	37.5	18.8
前芝	4	—	—	100.0	—
青陵	30	10.0	50.0	33.3	6.7
東陵	3	—	66.7	33.3	—
石巻	29	6.9	44.8	41.4	6.9
豊岡	12	—	58.3	41.7	—
東陽	13	15.4	46.2	30.8	7.7
二川	22	4.5	50.0	31.8	13.6
五並	7	—	71.4	28.6	—
章南	9	11.1	44.4	44.4	—
高豊	19	10.5	47.4	36.8	5.3
南稜	19	15.8	42.1	36.8	5.3
高師台	15	13.3	46.7	33.3	6.7
本郷	13	15.4	69.2	—	15.4
南部	19	—	36.8	47.4	15.8
南陽	12	8.3	50.0	33.3	8.3
羽田	16	6.3	75.0	12.5	6.3
牟呂	7	28.6	28.6	28.6	14.3
東部	8	12.5	87.5	—	—
中部	41	4.9	48.8	39.0	7.3
豊城	24	12.5	45.8	37.5	4.2
吉田方	6	16.7	33.3	50.0	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	8.6	49.3	34.3	7.8
1年未満	151	7.3	49.0	39.1	4.6
1年～4年	110	5.5	47.3	35.5	11.8
5年～9年	60	18.3	46.7	26.7	8.3
10年以上	26	7.7	65.4	19.2	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、吉田方で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	7.5	46.9	34.0	11.6
北部	17	5.9	47.1	35.3	11.8
前芝	8	—	12.5	62.5	25.0
青陵	45	6.7	53.3	31.1	8.9
東陵	17	11.8	41.2	29.4	17.6
石巻	26	3.8	30.8	42.3	23.1
豊岡	25	—	52.0	40.0	8.0
東陽	18	11.1	50.0	16.7	22.2
二川	26	3.8	61.5	30.8	3.8
五並	7	28.6	14.3	57.1	—
章南	11	9.1	27.3	54.5	9.1
高豊	20	5.0	35.0	40.0	20.0
南稜	26	15.4	30.8	38.5	15.4
高師台	25	4.0	56.0	24.0	16.0
本郷	26	3.8	50.0	38.5	7.7
南部	40	7.5	47.5	37.5	7.5
南陽	25	8.0	52.0	28.0	12.0
羽田	30	10.0	40.0	50.0	—
牟呂	17	11.8	47.1	29.4	11.8
東部	31	9.7	48.4	35.5	6.5
中部	51	13.7	49.0	27.5	9.8
豊城	22	4.5	59.1	22.7	13.6
吉田方	22	—	68.2	22.7	9.1

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

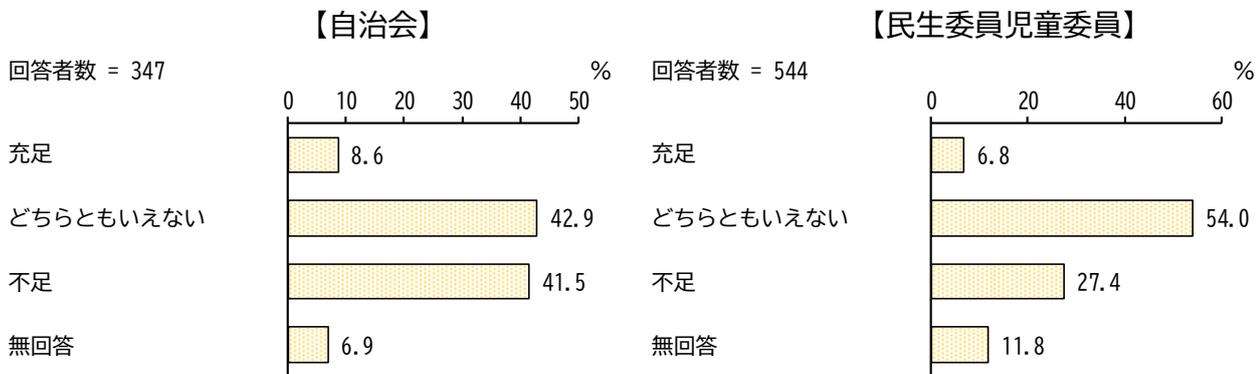
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	7.5	46.9	34.0	11.6
1 期末満	209	8.1	41.1	36.4	14.4
1～3 期	237	7.2	50.6	32.5	9.7
4～6 期	66	10.6	40.9	37.9	10.6
7～9 期	24	－	66.7	20.8	12.5
10 期以上	7	－	71.4	28.6	－

## 5. 活動に必要な資金

自治会は、「どちらともいえない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「不足」の割合が41.5%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が54.0%と最も高く、次いで「不足」の割合が27.4%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、高豊で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不 足	無 回 答
全 体	347	8.6	42.9	41.5	6.9
北部	16	－	37.5	37.5	25.0
前芝	4	－	25.0	75.0	－
青陵	30	3.3	53.3	40.0	3.3
東陵	3	－	－	100.0	－
石巻	29	6.9	41.4	48.3	3.4
豊岡	12	33.3	33.3	33.3	－
東陽	13	15.4	46.2	30.8	7.7
二川	22	－	36.4	50.0	13.6
五並	7	28.6	14.3	57.1	－
章南	9	－	44.4	55.6	－
高豊	19	5.3	57.9	31.6	5.3
南稜	19	5.3	42.1	47.4	5.3
高師台	15	13.3	46.7	33.3	6.7
本郷	13	15.4	53.8	23.1	7.7
南部	19	－	36.8	47.4	15.8
南陽	12	8.3	50.0	33.3	8.3
羽田	16	6.3	43.8	43.8	6.3
牟呂	7	14.3	28.6	42.9	14.3
東部	8	12.5	62.5	25.0	－
中部	41	12.2	41.5	41.5	4.9
豊城	24	16.7	37.5	37.5	8.3
吉田方	6	－	50.0	50.0	－

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	8.6	42.9	41.5	6.9
1年未満	151	6.0	43.0	45.7	5.3
1年～4年	110	7.3	37.3	45.5	10.0
5年～9年	60	15.0	48.3	33.3	3.3
10年以上	26	15.4	53.8	19.2	11.5

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、吉田方で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不 足	無 回 答
全 体	544	6.8	54.0	27.4	11.8
北部	17	11.8	47.1	29.4	11.8
前芝	8	—	37.5	37.5	25.0
青陵	45	2.2	48.9	37.8	11.1
東陵	17	—	58.8	11.8	29.4
石巻	26	—	46.2	34.6	19.2
豊岡	25	8.0	48.0	36.0	8.0
東陽	18	—	50.0	27.8	22.2
二川	26	—	57.7	38.5	3.8
五並	7	14.3	57.1	28.6	—
章南	11	9.1	45.5	36.4	9.1
高豊	20	15.0	55.0	10.0	20.0
南稜	26	—	57.7	26.9	15.4
高師台	25	8.0	56.0	20.0	16.0
本郷	26	—	57.7	34.6	7.7
南部	40	10.0	55.0	27.5	7.5
南陽	25	8.0	52.0	24.0	16.0
羽田	30	16.7	53.3	30.0	—
牟呂	17	5.9	64.7	17.6	11.8
東部	31	6.5	67.7	22.6	3.2
中部	51	15.7	52.9	21.6	9.8
豊城	22	13.6	50.0	22.7	13.6
吉田方	22	—	68.2	27.3	4.5

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「不足」の割合が高くなっています。

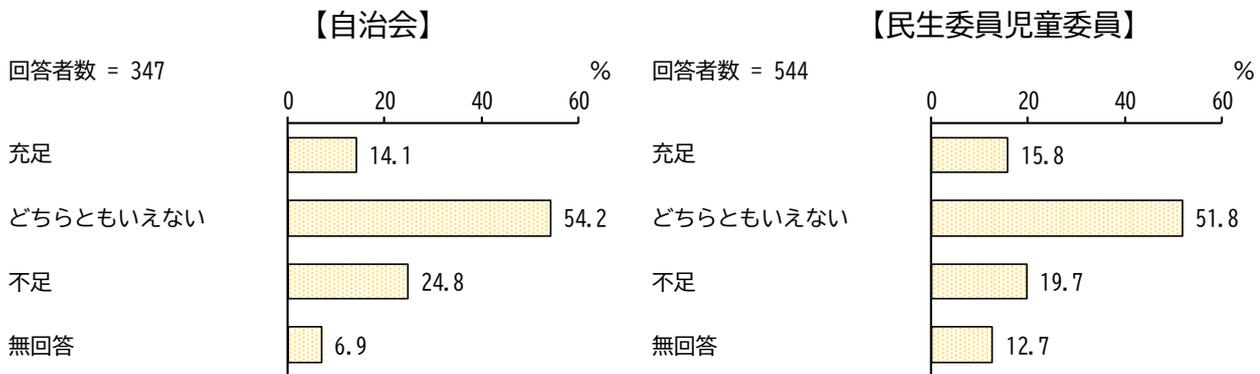
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不足	無 回 答
全 体	544	6.8	54.0	27.4	11.8
1 期末満	209	4.3	56.9	23.9	14.8
1～3 期	237	8.4	54.0	27.8	9.7
4～6 期	66	7.6	50.0	30.3	12.1
7～9 期	24	12.5	41.7	37.5	8.3
10 期以上	7	—	42.9	57.1	—

## 6. 連携できる団体や組織

自治会は、「どちらともいえない」の割合が54.2%と最も高く、次いで「不足」の割合が24.8%、「充足」の割合が14.1%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「不足」の割合が19.7%、「充足」の割合が15.8%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、南陽で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	14.1	54.2	24.8	6.9
北部	16	6.3	37.5	31.3	25.0
前芝	4	—	50.0	50.0	—
青陵	30	20.0	53.3	23.3	3.3
東陵	3	—	66.7	33.3	—
石巻	29	6.9	58.6	27.6	6.9
豊岡	12	16.7	58.3	25.0	—
東陽	13	23.1	53.8	15.4	7.7
二川	22	9.1	54.5	27.3	9.1
五並	7	28.6	42.9	28.6	—
章南	9	11.1	55.6	33.3	—
高豊	19	15.8	63.2	10.5	10.5
南稜	19	26.3	52.6	15.8	5.3
高師台	15	20.0	53.3	26.7	—
本郷	13	7.7	61.5	23.1	7.7
南部	19	5.3	42.1	36.8	15.8
南陽	12	8.3	41.7	41.7	8.3
羽田	16	6.3	56.3	31.3	6.3
牟呂	7	28.6	57.1	—	14.3
東部	8	12.5	87.5	—	—
中部	41	12.2	51.2	31.7	4.9
豊城	24	16.7	66.7	12.5	4.2
吉田方	6	33.3	50.0	16.7	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「充足」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不足	無 回 答
全 体	347	14.1	54.2	24.8	6.9
1年未満	151	12.6	57.0	25.2	5.3
1年～4年	110	10.0	55.5	25.5	9.1
5年～9年	60	21.7	51.7	20.0	6.7
10年以上	26	23.1	38.5	30.8	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、本郷で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不 足	無 回 答
全 体	544	15.8	51.8	19.7	12.7
北部	17	11.8	64.7	11.8	11.8
前芝	8	—	37.5	37.5	25.0
青陵	45	17.8	60.0	13.3	8.9
東陵	17	11.8	41.2	23.5	23.5
石巻	26	7.7	38.5	30.8	23.1
豊岡	25	4.0	68.0	24.0	4.0
東陽	18	22.2	38.9	11.1	27.8
二川	26	19.2	50.0	23.1	7.7
五並	7	14.3	42.9	28.6	14.3
章南	11	27.3	18.2	36.4	18.2
高豊	20	25.0	45.0	5.0	25.0
南稜	26	26.9	42.3	19.2	11.5
高師台	25	20.0	48.0	12.0	20.0
本郷	26	—	73.1	19.2	7.7
南部	40	15.0	55.0	20.0	10.0
南陽	25	12.0	44.0	32.0	12.0
羽田	30	16.7	50.0	33.3	—
牟呂	17	17.6	35.3	35.3	11.8
東部	31	19.4	64.5	9.7	6.5
中部	51	19.6	49.0	19.6	11.8
豊城	22	13.6	68.2	4.5	13.6
吉田方	22	18.2	68.2	9.1	4.5

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「不足」の割合が高くなっています。

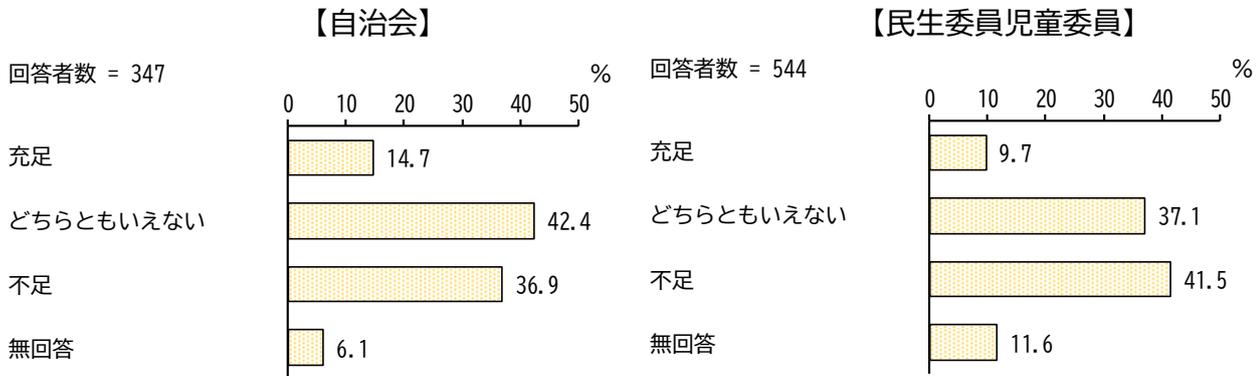
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不足	無 回 答
全 体	544	15.8	51.8	19.7	12.7
1 期末満	209	14.8	51.7	18.2	15.3
1～3 期	237	16.5	52.3	20.7	10.5
4～6 期	66	15.2	50.0	19.7	15.2
7～9 期	24	16.7	45.8	29.2	8.3
10 期以上	7	14.3	85.7	—	—

## 7. 様々な人々が気軽に集える居場所

自治会は、「どちらともいえない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「不足」の割合が36.9%、「充足」の割合が14.7%となっています。

民生委員児童委員は、「不足」の割合が41.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が37.1%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、南陽で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	14.7	42.4	36.9	6.1
北部	16	6.3	37.5	31.3	25.0
前芝	4	—	75.0	25.0	—
青陵	30	13.3	50.0	33.3	3.3
東陵	3	—	100.0	—	—
石巻	29	24.1	51.7	20.7	3.4
豊岡	12	41.7	16.7	41.7	—
東陽	13	7.7	61.5	23.1	7.7
二川	22	9.1	36.4	50.0	4.5
五並	7	28.6	42.9	28.6	—
章南	9	11.1	55.6	33.3	—
高豊	19	15.8	47.4	31.6	5.3
南稜	19	15.8	47.4	26.3	10.5
高師台	15	13.3	46.7	33.3	6.7
本郷	13	30.8	30.8	30.8	7.7
南部	19	5.3	42.1	36.8	15.8
南陽	12	—	25.0	66.7	8.3
羽田	16	—	37.5	56.3	6.3
牟呂	7	14.3	28.6	42.9	14.3
東部	8	25.0	62.5	12.5	—
中部	41	14.6	36.6	43.9	4.9
豊城	24	16.7	33.3	50.0	—
吉田方	6	33.3	33.3	33.3	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「充足」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不足	無 回 答
全 体	347	14.7	42.4	36.9	6.1
1年未満	151	13.9	47.0	35.1	4.0
1年～4年	110	12.7	39.1	38.2	10.0
5年～9年	60	16.7	38.3	41.7	3.3
10年以上	26	23.1	38.5	30.8	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、牟呂で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	9.7	37.1	41.5	11.6
北部	17	11.8	35.3	41.2	11.8
前芝	8	—	—	75.0	25.0
青陵	45	15.6	24.4	48.9	11.1
東陵	17	—	47.1	29.4	23.5
石巻	26	15.4	15.4	46.2	23.1
豊岡	25	8.0	44.0	40.0	8.0
東陽	18	16.7	11.1	55.6	16.7
二川	26	15.4	38.5	42.3	3.8
五並	7	14.3	42.9	28.6	14.3
章南	11	9.1	45.5	36.4	9.1
高豊	20	—	50.0	30.0	20.0
南稜	26	15.4	38.5	34.6	11.5
高師台	25	8.0	36.0	40.0	16.0
本郷	26	—	53.8	38.5	7.7
南部	40	15.0	42.5	32.5	10.0
南陽	25	—	36.0	52.0	12.0
羽田	30	6.7	36.7	56.7	—
牟呂	17	5.9	29.4	58.8	5.9
東部	31	9.7	48.4	35.5	6.5
中部	51	11.8	43.1	35.3	9.8
豊城	22	18.2	36.4	31.8	13.6
吉田方	22	—	50.0	45.5	4.5

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「充足」の割合が高くなっています。

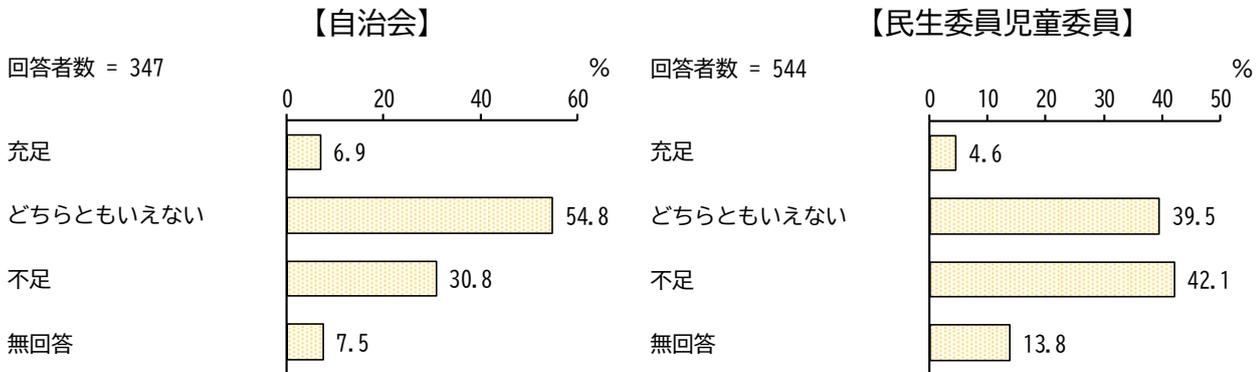
単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不足	無 回 答
全 体	544	9.7	37.1	41.5	11.6
1 期末満	209	9.1	35.9	41.1	13.9
1～3 期	237	8.9	40.1	40.5	10.5
4～6 期	66	12.1	33.3	43.9	10.6
7～9 期	24	16.7	29.2	45.8	8.3
10期以上	7	14.3	28.6	57.1	—

## 8. 地域に暮らす住民の情報

自治会は、「どちらともいえない」の割合が54.8%と最も高く、次いで「不足」の割合が30.8%となっています。

民生委員児童委員は、「不足」の割合が42.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が39.5%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、二川で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	6.9	54.8	30.8	7.5
北部	16	6.3	43.8	25.0	25.0
前芝	4	—	25.0	75.0	—
青陵	30	3.3	66.7	23.3	6.7
東陵	3	—	66.7	33.3	—
石巻	29	13.8	69.0	10.3	6.9
豊岡	12	25.0	41.7	33.3	—
東陽	13	7.7	61.5	23.1	7.7
二川	22	—	40.9	50.0	9.1
五並	7	—	71.4	28.6	—
章南	9	11.1	55.6	33.3	—
高豊	19	10.5	47.4	31.6	10.5
南稜	19	5.3	52.6	36.8	5.3
高師台	15	—	66.7	20.0	13.3
本郷	13	7.7	69.2	15.4	7.7
南部	19	5.3	42.1	36.8	15.8
南陽	12	—	50.0	41.7	8.3
羽田	16	6.3	50.0	37.5	6.3
牟呂	7	—	71.4	14.3	14.3
東部	8	12.5	50.0	37.5	—
中部	41	4.9	48.8	41.5	4.9
豊城	24	12.5	58.3	25.0	4.2
吉田方	6	16.7	50.0	33.3	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	どちらともいえない	不足	無回答
全 体	347	6.9	54.8	30.8	7.5
1年未満	151	5.3	57.6	31.1	6.0
1年～4年	110	6.4	50.9	32.7	10.0
5年～9年	60	10.0	51.7	31.7	6.7
10年以上	26	11.5	61.5	19.2	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、章南で「不足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	充足	いどちらともいえない	不足	無回答
全 体	544	4.6	39.5	42.1	13.8
北部	17	－	47.1	41.2	11.8
前芝	8	－	37.5	37.5	25.0
青陵	45	11.1	35.6	42.2	11.1
東陵	17	－	52.9	29.4	17.6
石巻	26	7.7	26.9	46.2	19.2
豊岡	25	4.0	40.0	48.0	8.0
東陽	18	－	27.8	44.4	27.8
二川	26	－	46.2	46.2	7.7
五並	7	14.3	14.3	57.1	14.3
章南	11	－	18.2	72.7	9.1
高豊	20	－	35.0	45.0	20.0
南稜	26	11.5	30.8	46.2	11.5
高師台	25	－	48.0	28.0	24.0
本郷	26	－	57.7	34.6	7.7
南部	40	2.5	52.5	32.5	12.5
南陽	25	－	48.0	36.0	16.0
羽田	30	10.0	30.0	60.0	－
牟呂	17	5.9	17.6	70.6	5.9
東部	31	6.5	35.5	51.6	6.5
中部	51	5.9	47.1	33.3	13.7
豊城	22	9.1	36.4	27.3	27.3
吉田方	22	－	54.5	31.8	13.6

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

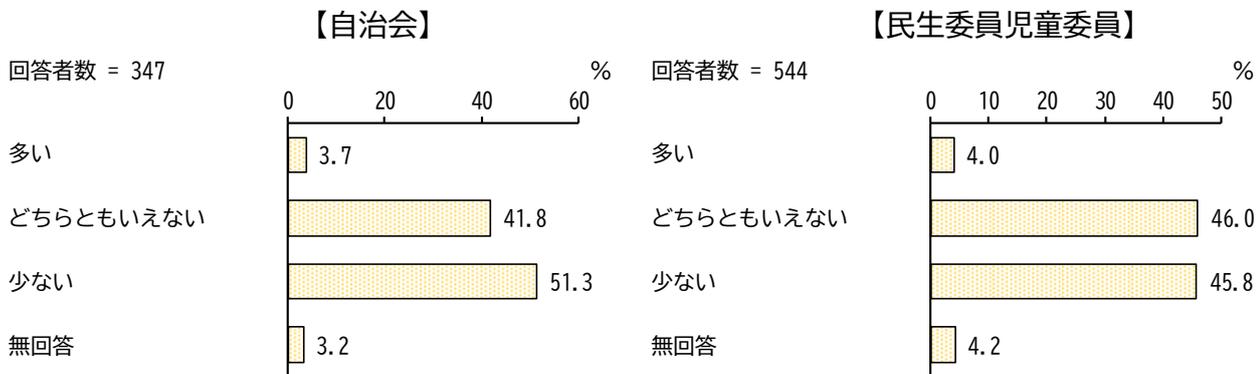
単位：%

区分	回答者数 (件)	充足	い ど ち ら と も い え な	不足	無 回 答
全 体	544	4.6	39.5	42.1	13.8
1 期末満	209	4.8	39.7	41.1	14.4
1～3 期	237	2.5	42.2	40.9	14.3
4～6 期	66	13.6	22.7	53.0	10.6
7～9 期	24	—	62.5	29.2	8.3
10 期以上	7	—	14.3	57.1	28.6

## 9. 地域福祉活動に関わる人

自治会は、「少ない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が41.8%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「少ない」の割合が45.8%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、南稜で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	多い	どちらともいえない	少ない	無回答
全 体	347	3.7	41.8	51.3	3.2
北部	16	6.3	43.8	50.0	—
前芝	4	—	50.0	25.0	25.0
青陵	30	6.7	40.0	50.0	3.3
東陵	3	—	33.3	66.7	—
石巻	29	3.4	51.7	44.8	—
豊岡	12	8.3	58.3	33.3	—
東陽	13	—	38.5	46.2	15.4
二川	22	—	22.7	72.7	4.5
五並	7	—	57.1	42.9	—
章南	9	—	44.4	55.6	—
高豊	19	5.3	31.6	47.4	15.8
南稜	19	5.3	73.7	15.8	5.3
高師台	15	13.3	40.0	46.7	—
本郷	13	—	30.8	69.2	—
南部	19	—	31.6	63.2	5.3
南陽	12	—	41.7	58.3	—
羽田	16	—	25.0	75.0	—
牟呂	7	—	42.9	42.9	14.3
東部	8	25.0	50.0	25.0	—
中部	41	—	41.5	58.5	—
豊城	24	8.3	54.2	37.5	—
吉田方	6	—	16.7	83.3	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	多い	どちらともいえない	少ない	無回答
全 体	347	3.7	41.8	51.3	3.2
1年未満	151	0.7	43.7	53.6	2.0
1年～4年	110	4.5	40.9	50.9	3.6
5年～9年	60	8.3	35.0	53.3	3.3
10年以上	26	7.7	50.0	34.6	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、吉田方で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	多い	どちらともいえない	少ない	無回答
全 体	544	4.0	46.0	45.8	4.2
北部	17	—	29.4	64.7	5.9
前芝	8	—	25.0	75.0	—
青陵	45	2.2	46.7	44.4	6.7
東陵	17	—	41.2	52.9	5.9
石巻	26	3.8	34.6	57.7	3.8
豊岡	25	—	60.0	40.0	—
東陽	18	—	44.4	50.0	5.6
二川	26	7.7	46.2	42.3	3.8
五並	7	14.3	—	85.7	—
章南	11	9.1	45.5	36.4	9.1
高豊	20	5.0	55.0	40.0	—
南稜	26	3.8	46.2	46.2	3.8
高師台	25	4.0	60.0	32.0	4.0
本郷	26	7.7	34.6	53.8	3.8
南部	40	5.0	42.5	52.5	—
南陽	25	—	60.0	24.0	16.0
羽田	30	3.3	40.0	53.3	3.3
牟呂	17	5.9	41.2	52.9	—
東部	31	9.7	35.5	51.6	3.2
中部	51	3.9	51.0	39.2	5.9
豊城	22	4.5	50.0	40.9	4.5
吉田方	22	—	68.2	31.8	—

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、4～6期で「少ない」の割合が高くなっています。

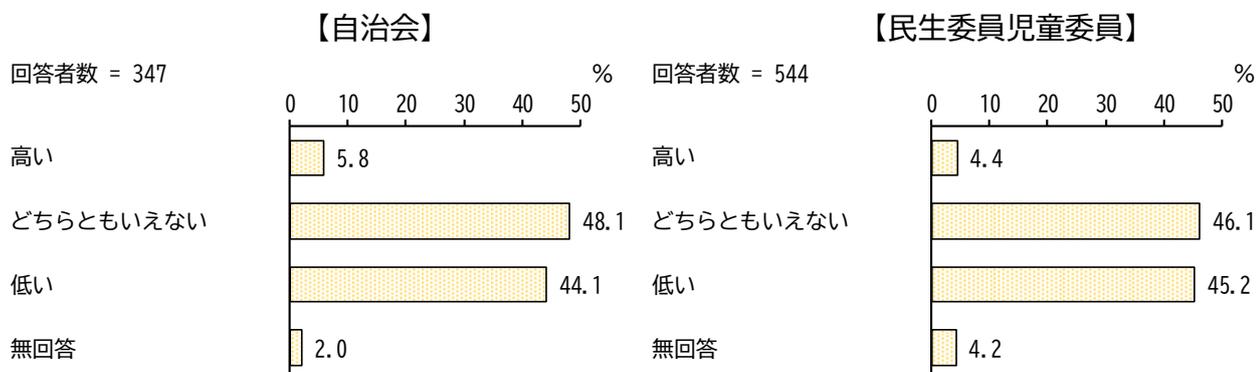
単位：％

区分	回答者数 (件)	多い	い ど ち ら と も い え な	少ない	無 回 答
全 体	544	4.0	46.0	45.8	4.2
1 期末満	209	2.9	46.4	43.5	7.2
1～3 期	237	3.8	50.2	43.5	2.5
4～6 期	66	6.1	33.3	59.1	1.5
7～9 期	24	12.5	37.5	45.8	4.2
10 期以上	7	—	42.9	57.1	—

## 10. 地域福祉への関心度

自治会は、「どちらともいえない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「低い」の割合が44.1%となっています。

民生委員児童委員は、「どちらともいえない」の割合が46.1%と最も高く、次いで「低い」の割合が45.2%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、南部で「低い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	高い	い ど ち ら と も い え な	低い	無 回 答
全 体	347	5.8	48.1	44.1	2.0
北部	16	—	56.3	43.8	—
前芝	4	—	75.0	25.0	—
青陵	30	20.0	40.0	40.0	—
東陵	3	—	66.7	33.3	—
石巻	29	3.4	58.6	37.9	—
豊岡	12	8.3	66.7	25.0	—
東陽	13	7.7	69.2	23.1	—
二川	22	—	31.8	63.6	4.5
五並	7	—	57.1	42.9	—
章南	9	—	33.3	66.7	—
高豊	19	—	63.2	31.6	5.3
南稜	19	5.3	63.2	26.3	5.3
高師台	15	6.7	60.0	33.3	—
本郷	13	7.7	46.2	46.2	—
南部	19	—	26.3	68.4	5.3
南陽	12	—	50.0	50.0	—
羽田	16	—	37.5	62.5	—
牟呂	7	—	57.1	28.6	14.3
東部	8	25.0	25.0	50.0	—
中部	41	9.8	31.7	53.7	4.9
豊城	24	4.2	58.3	37.5	—
吉田方	6	16.7	66.7	16.7	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「高い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	高い	い ど ち ら と も い え な	低い	無 回 答
全 体	347	5.8	48.1	44.1	2.0
1年未満	151	2.0	53.6	44.4	—
1年～4年	110	4.5	43.6	48.2	3.6
5年～9年	60	10.0	46.7	41.7	1.7
10年以上	26	23.1	38.5	30.8	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、石巻で「低い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高い	い ど ち ら と も い え な	低い	無 回 答
全 体	544	4.4	46.1	45.2	4.2
北部	17	—	58.8	35.3	5.9
前芝	8	—	50.0	50.0	—
青陵	45	4.4	44.4	44.4	6.7
東陵	17	5.9	23.5	64.7	5.9
石巻	26	7.7	26.9	65.4	—
豊岡	25	4.0	44.0	48.0	4.0
東陽	18	—	55.6	38.9	5.6
二川	26	—	61.5	34.6	3.8
五並	7	14.3	—	85.7	—
章南	11	—	36.4	63.6	—
高豊	20	5.0	45.0	45.0	5.0
南稜	26	7.7	57.7	26.9	7.7
高師台	25	4.0	52.0	32.0	12.0
本郷	26	7.7	42.3	50.0	—
南部	40	5.0	47.5	45.0	2.5
南陽	25	—	44.0	44.0	12.0
羽田	30	3.3	50.0	46.7	—
牟呂	17	—	41.2	58.8	—
東部	31	9.7	41.9	45.2	3.2
中部	51	3.9	45.1	47.1	3.9
豊城	22	9.1	50.0	36.4	4.5
吉田方	22	—	59.1	40.9	—

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「高い」の割合が高くなっています。

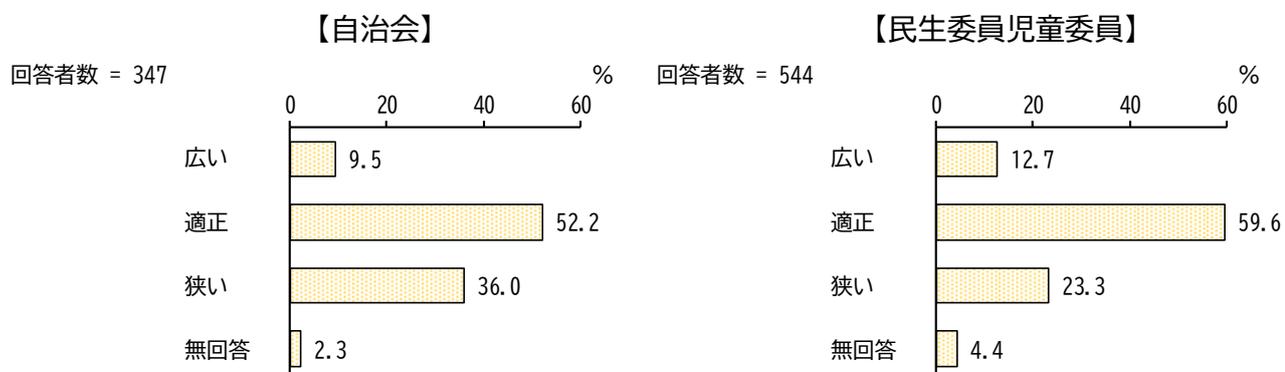
単位：％

区分	回答者数 (件)	高い	い ど ち ら と も い え な	低い	無 回 答
全 体	544	4.4	46.1	45.2	4.2
1 期未満	209	3.3	47.4	43.5	5.7
1～3 期	237	4.6	47.3	45.1	3.0
4～6 期	66	4.5	39.4	51.5	4.5
7～9 期	24	12.5	45.8	37.5	4.2
10 期以上	7	—	42.9	57.1	—

## 11. 活動範囲

自治会は、「適正」の割合が52.2%と最も高く、次いで「狭い」の割合が36.0%となっています。

民生委員児童委員は、「適正」の割合が59.6%と最も高く、次いで「狭い」の割合が23.3%、「広い」の割合が12.7%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、高師台で「適正」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広い	適正	狭い	無回答
全 体	347	9.5	52.2	36.0	2.3
北部	16	—	62.5	31.3	6.3
前芝	4	25.0	50.0	25.0	—
青陵	30	3.3	73.3	23.3	—
東陵	3	—	100.0	—	—
石巻	29	10.3	37.9	51.7	—
豊岡	12	—	75.0	25.0	—
東陽	13	7.7	61.5	30.8	—
二川	22	22.7	27.3	45.5	4.5
五並	7	14.3	57.1	28.6	—
章南	9	22.2	22.2	55.6	—
高豊	19	10.5	57.9	26.3	5.3
南稜	19	10.5	57.9	26.3	5.3
高師台	15	6.7	86.7	6.7	—
本郷	13	15.4	46.2	38.5	—
南部	19	10.5	31.6	57.9	—
南陽	12	—	50.0	41.7	8.3
羽田	16	6.3	50.0	43.8	—
牟呂	7	14.3	71.4	—	14.3
東部	8	25.0	37.5	37.5	—
中部	41	12.2	41.5	43.9	2.4
豊城	24	4.2	54.2	37.5	4.2
吉田方	6	—	66.7	33.3	—

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「適正」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	広い	適正	狭い	無回答
全 体	347	9.5	52.2	36.0	2.3
1年未満	151	11.3	51.7	35.1	2.0
1年～4年	110	6.4	51.8	39.1	2.7
5年～9年	60	10.0	51.7	38.3	—
10年以上	26	11.5	57.7	23.1	7.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、章南で「狭い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広い	適正	狭い	無回答
全 体	544	12.7	59.6	23.3	4.4
北部	17	11.8	70.6	11.8	5.9
前芝	8	12.5	62.5	12.5	12.5
青陵	45	8.9	62.2	22.2	6.7
東陵	17	—	58.8	35.3	5.9
石巻	26	15.4	42.3	38.5	3.8
豊岡	25	16.0	48.0	36.0	—
東陽	18	5.6	66.7	22.2	5.6
二川	26	11.5	61.5	23.1	3.8
五並	7	28.6	42.9	28.6	—
章南	11	18.2	36.4	45.5	—
高豊	20	25.0	70.0	5.0	—
南稜	26	7.7	69.2	11.5	11.5
高師台	25	12.0	60.0	20.0	8.0
本郷	26	19.2	50.0	30.8	—
南部	40	17.5	65.0	17.5	—
南陽	25	24.0	36.0	24.0	16.0
羽田	30	6.7	70.0	23.3	—
牟呂	17	11.8	58.8	23.5	5.9
東部	31	16.1	58.1	22.6	3.2
中部	51	7.8	64.7	23.5	3.9
豊城	22	4.5	72.7	18.2	4.5
吉田方	22	13.6	63.6	22.7	—

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「適正」の割合が高くなっています。

単位：％

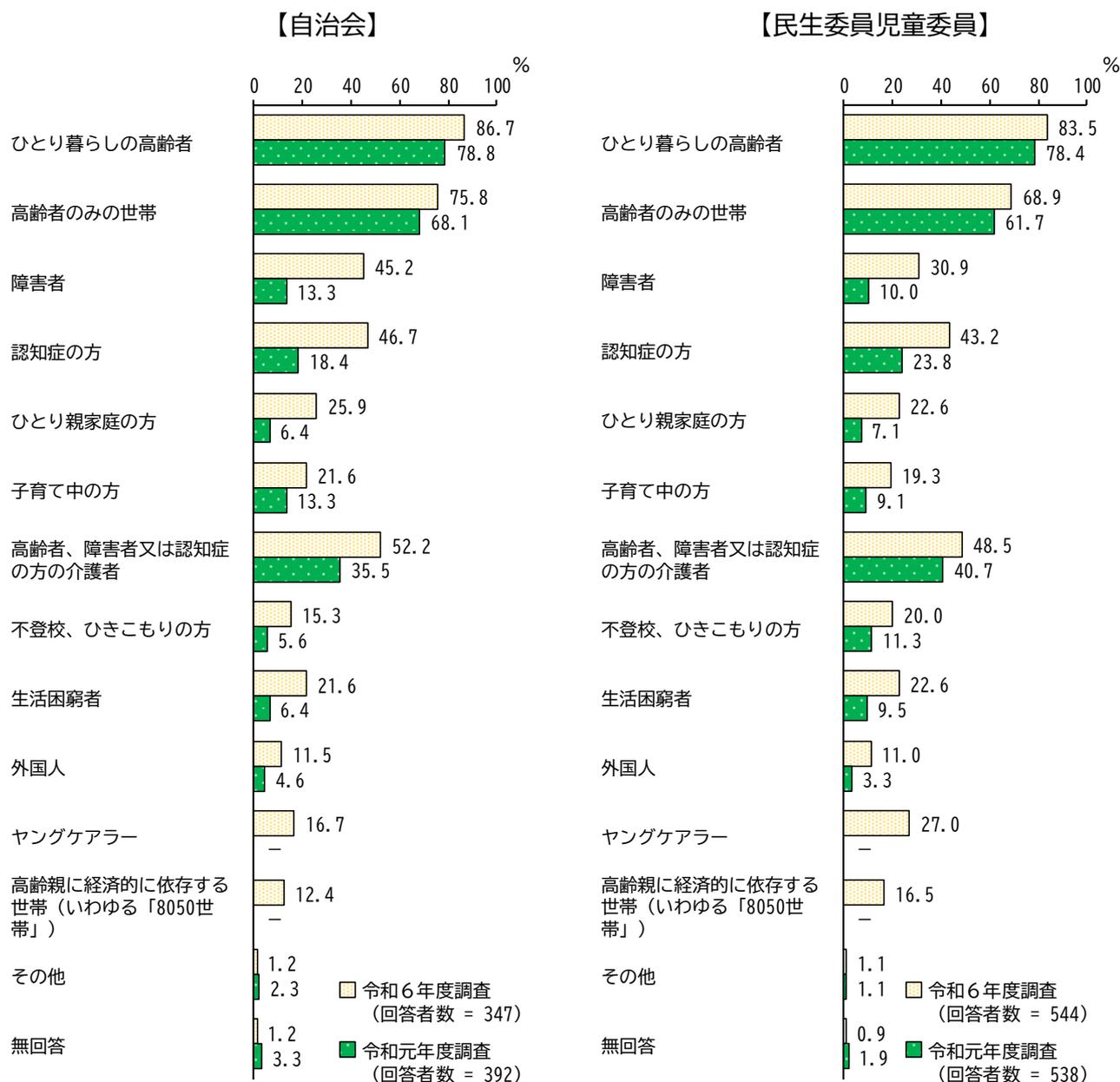
区分	回答者数 (件)	広い	適正	狭い	無回答
全 体	544	12.7	59.6	23.3	4.4
1 期末満	209	12.9	59.3	19.6	8.1
1～3期	237	12.2	57.4	27.8	2.5
4～6期	66	16.7	62.1	21.2	—
7～9期	24	8.3	70.8	16.7	4.2
10期以上	7	—	71.4	28.6	—

問 あなたがお住まいの地域において、これから特に支援が必要と思う方はどんな方ですか。  
【あてはまるものすべてに○印】（自治会：問6、民生委員児童委員：問6）

自治会は、「ひとり暮らしの高齢者」の割合が86.7%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」の割合が75.8%、「高齢者、障害者又は認知症の方の介護者」の割合が52.2%となっています。

民生委員児童委員は、「ひとり暮らしの高齢者」の割合が83.5%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」の割合が68.9%、「高齢者、障害者又は認知症の方の介護者」の割合が48.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、自治会・民生委員児童委員ともに「ひとり暮らしの高齢者」、「高齢者のみの世帯」、「障害者」、「認知症の方」、「ひとり親家庭の方」、「子育て中の方」、「高齢者、障害者又は認知症の方の介護者」、「不登校、ひきこもりの方」、「生活困窮者」、「外国人」の割合が増加しています。



※前回調査では、「ヤングケアラー」、「高齢親に経済的に依存する世帯 (いわゆる「8050世帯」)」の選択肢はありませんでした。

<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、東陽で「外国人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ひとり暮らしの高齢者	高齢者のみの世帯	障害者	認知症の方	ひとり親家庭の方	子育て中の方	高齢者、障害者又は認知症の方の介護者	不登校、ひきこもりの方	生活困窮者	外国人	ヤングケアラー	高齢親に経済的に依存する世帯(いわゆる「8050世帯」)	その他	無回答
全体	347	86.7	75.8	45.2	46.7	25.9	21.6	52.2	15.3	21.6	11.5	16.7	12.4	1.2	1.2
北部	16	87.5	81.3	43.8	50.0	25.0	6.3	37.5	—	6.3	18.8	6.3	31.3	—	—
前芝	4	75.0	100.0	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	25.0	25.0	—
青陵	30	93.3	80.0	50.0	60.0	33.3	20.0	56.7	16.7	26.7	3.3	10.0	13.3	3.3	—
東陵	3	100.0	100.0	100.0	100.0	33.3	33.3	100.0	—	33.3	33.3	33.3	66.7	—	—
石巻	29	82.8	69.0	48.3	37.9	20.7	27.6	41.4	6.9	20.7	6.9	3.4	3.4	—	3.4
豊岡	12	100.0	91.7	33.3	41.7	25.0	16.7	58.3	16.7	16.7	33.3	25.0	8.3	8.3	—
東陽	13	92.3	84.6	46.2	61.5	30.8	15.4	69.2	30.8	30.8	38.5	15.4	23.1	—	—
二川	22	86.4	54.5	45.5	45.5	22.7	27.3	50.0	22.7	27.3	9.1	18.2	—	—	—
五並	7	100.0	85.7	42.9	57.1	—	14.3	42.9	14.3	14.3	—	28.6	28.6	—	—
章南	9	100.0	77.8	33.3	33.3	33.3	33.3	55.6	22.2	33.3	33.3	33.3	22.2	—	—
高豊	19	84.2	89.5	31.6	36.8	31.6	21.1	57.9	21.1	26.3	15.8	21.1	5.3	—	—
南稜	19	84.2	78.9	63.2	57.9	26.3	26.3	63.2	26.3	31.6	—	26.3	15.8	—	—
高師台	15	73.3	73.3	33.3	46.7	20.0	26.7	53.3	6.7	6.7	6.7	20.0	—	—	6.7
本郷	13	76.9	61.5	69.2	61.5	23.1	30.8	61.5	23.1	38.5	15.4	23.1	30.8	—	—
南部	19	89.5	68.4	36.8	47.4	26.3	10.5	36.8	26.3	21.1	15.8	10.5	10.5	—	—
南陽	12	83.3	75.0	50.0	50.0	25.0	8.3	33.3	—	16.7	16.7	33.3	—	8.3	—
羽田	16	81.3	93.8	43.8	50.0	43.8	31.3	56.3	25.0	31.3	18.8	18.8	18.8	—	—
牟呂	7	42.9	42.9	42.9	28.6	57.1	57.1	57.1	14.3	—	14.3	14.3	14.3	—	14.3
東部	8	87.5	62.5	25.0	37.5	12.5	—	37.5	—	—	—	12.5	12.5	—	—
中部	41	90.2	78.0	41.5	36.6	24.4	19.5	56.1	14.6	17.1	7.3	14.6	12.2	—	—
豊城	24	91.7	70.8	50.0	41.7	20.8	29.2	66.7	12.5	20.8	4.2	20.8	4.2	—	—
吉田方	6	83.3	66.7	50.0	50.0	33.3	—	—	—	33.3	—	16.7	16.7	—	16.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、東陵で「ヤングケアラー」の割合が高くなっています。

単位：％

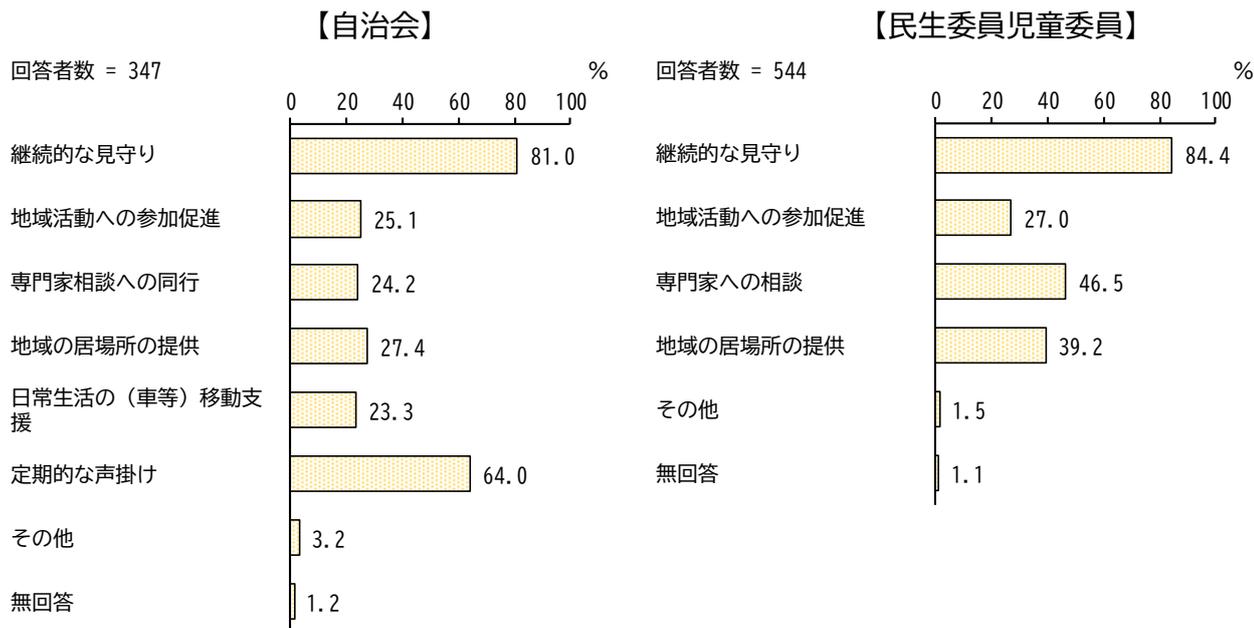
区分	回答者数(件)	ひとり暮らしの高齢者	高齢者のみの世帯	障害者	認知症の方	ひとり親家庭の方	子育て中の方	高齢者、障害者又は認知症の方の介護者	不登校、ひきこもりの方	生活困窮者	外国人	ヤングケアラー	高齢親に経済的に依存する世帯(いわゆる「8050世帯」)	その他	無回答
全体	544	83.5	68.9	30.9	43.2	22.6	19.3	48.5	20.0	22.6	11.0	27.0	16.5	1.1	0.9
北部	17	76.5	70.6	41.2	17.6	11.8	—	41.2	5.9	5.9	11.8	17.6	—	—	—
前芝	8	62.5	75.0	62.5	50.0	37.5	25.0	62.5	12.5	25.0	12.5	50.0	25.0	—	—
青陵	45	88.9	77.8	28.9	46.7	22.2	13.3	46.7	20.0	15.6	11.1	37.8	13.3	2.2	—
東陵	17	82.4	76.5	35.3	41.2	17.6	29.4	29.4	29.4	23.5	17.6	52.9	17.6	—	—
石巻	26	84.6	84.6	42.3	53.8	23.1	23.1	53.8	38.5	26.9	26.9	7.7	19.2	—	—
豊岡	25	96.0	64.0	32.0	48.0	12.0	4.0	44.0	4.0	20.0	4.0	28.0	—	—	—
東陽	18	72.2	66.7	27.8	55.6	38.9	33.3	50.0	27.8	16.7	22.2	27.8	5.6	—	—
二川	26	73.1	57.7	23.1	34.6	26.9	3.8	42.3	11.5	—	3.8	23.1	23.1	—	3.8
五並	7	85.7	85.7	14.3	28.6	14.3	28.6	42.9	28.6	28.6	—	28.6	57.1	—	—
章南	11	100.0	81.8	54.5	54.5	45.5	36.4	72.7	27.3	45.5	9.1	9.1	9.1	—	—
高豊	20	90.0	90.0	30.0	55.0	20.0	30.0	65.0	25.0	20.0	10.0	10.0	5.0	—	—
南稜	26	92.3	69.2	30.8	26.9	26.9	19.2	38.5	15.4	26.9	3.8	11.5	11.5	—	3.8
高師台	25	84.0	64.0	36.0	60.0	24.0	16.0	44.0	16.0	16.0	4.0	32.0	16.0	8.0	—
本郷	26	80.8	69.2	34.6	53.8	26.9	38.5	50.0	34.6	30.8	11.5	46.2	23.1	7.7	3.8
南部	40	80.0	62.5	30.0	25.0	12.5	2.5	47.5	12.5	20.0	10.0	32.5	20.0	—	—
南陽	25	92.0	64.0	28.0	64.0	24.0	28.0	64.0	16.0	40.0	24.0	40.0	12.0	—	—
羽田	30	83.3	76.7	16.7	30.0	13.3	20.0	36.7	20.0	26.7	3.3	6.7	16.7	—	—
牟呂	17	82.4	52.9	35.3	23.5	29.4	23.5	52.9	17.6	35.3	5.9	23.5	17.6	—	—
東部	31	83.9	71.0	35.5	48.4	29.0	16.1	48.4	25.8	19.4	16.1	35.5	16.1	3.2	—
中部	51	82.4	58.8	23.5	37.3	15.7	21.6	43.1	17.6	27.5	9.8	15.7	19.6	—	2.0
豊城	22	77.3	63.6	31.8	50.0	31.8	22.7	50.0	31.8	27.3	9.1	31.8	22.7	—	—
吉田方	22	81.8	63.6	22.7	54.5	36.4	27.3	68.2	22.7	27.3	18.2	31.8	31.8	—	—

【新規】

問 問6の支援が必要な方について、地域でどのような支援が必要と思いますか。  
【あてはまるものすべてに○印】（自治会：問6-2、民生委員児童委員：問6-2）

自治会は、「継続的な見守り」の割合が81.0%と最も高く、次いで「定期的な声掛け」の割合が64.0%、「地域の居場所の提供」の割合が27.4%となっています。

民生委員児童委員は、「継続的な見守り」の割合が84.4%と最も高く、次いで「専門家への相談」の割合が46.5%、「地域の居場所の提供」の割合が39.2%となっています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、豊岡と南陽で「地域活動への参加促進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	継続的な見守り	地域活動への参加 促進	行 専 門 家 相 談 へ の 同	供 地 域 の 居 場 所 の 提	移 日 動 常 支 生 援 活 ( 車 等 )	定期的な声掛け	その他	無回答
全 体	347	81.0	25.1	24.2	27.4	23.3	64.0	3.2	1.2
北部	16	62.5	18.8	6.3	31.3	12.5	50.0	12.5	—
前芝	4	50.0	—	—	25.0	50.0	50.0	25.0	—
青陵	30	86.7	26.7	20.0	30.0	40.0	86.7	—	—
東陵	3	66.7	33.3	—	—	33.3	100.0	—	—
石巻	29	69.0	17.2	20.7	24.1	31.0	58.6	3.4	3.4
豊岡	12	75.0	50.0	8.3	33.3	16.7	66.7	—	—
東陽	13	100.0	30.8	30.8	38.5	23.1	69.2	7.7	—
二川	22	90.9	—	22.7	18.2	36.4	77.3	4.5	—
五並	7	71.4	14.3	14.3	14.3	42.9	57.1	—	—
章南	9	88.9	11.1	55.6	11.1	33.3	44.4	—	—
高豊	19	84.2	21.1	36.8	31.6	47.4	63.2	—	5.3
南稜	19	89.5	26.3	36.8	31.6	5.3	78.9	—	—
高師台	15	80.0	33.3	33.3	20.0	13.3	60.0	—	—
本郷	13	84.6	23.1	15.4	46.2	38.5	46.2	—	—
南部	19	78.9	15.8	26.3	26.3	15.8	78.9	5.3	—
南陽	12	66.7	50.0	33.3	25.0	8.3	58.3	8.3	—
羽田	16	75.0	37.5	31.3	37.5	18.8	56.3	6.3	—
牟呂	7	85.7	14.3	71.4	28.6	14.3	71.4	—	—
東部	8	87.5	25.0	12.5	37.5	12.5	25.0	—	—
中部	41	90.2	31.7	12.2	24.4	9.8	61.0	—	2.4
豊城	24	79.2	33.3	29.2	25.0	12.5	45.8	8.3	—
吉田方	6	66.7	—	16.7	16.7	33.3	83.3	—	16.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、豊城で「地域活動への参加促進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	継続的な見守り	地域活動への参加促進	専門家への相談	地域の居場所の提供	その他	無回答
全 体	544	84.4	27.0	46.5	39.2	1.5	1.1
北部	17	100.0	41.2	29.4	29.4	—	—
前芝	8	100.0	12.5	—	50.0	—	—
青陵	45	84.4	24.4	46.7	57.8	2.2	—
東陵	17	82.4	23.5	29.4	41.2	5.9	5.9
石巻	26	88.5	30.8	57.7	50.0	—	—
豊岡	25	80.0	32.0	36.0	32.0	—	—
東陽	18	94.4	27.8	44.4	33.3	5.6	—
二川	26	88.5	19.2	46.2	34.6	—	3.8
五並	7	85.7	42.9	57.1	57.1	—	—
章南	11	81.8	27.3	45.5	45.5	—	—
高豊	20	90.0	30.0	60.0	30.0	—	—
南稜	26	88.5	19.2	34.6	30.8	—	—
高師台	25	92.0	12.0	48.0	36.0	4.0	4.0
本郷	26	92.3	38.5	65.4	46.2	3.8	3.8
南部	40	77.5	27.5	32.5	35.0	—	2.5
南陽	25	84.0	12.0	56.0	48.0	—	—
羽田	30	83.3	23.3	43.3	30.0	6.7	—
牟呂	17	82.4	11.8	52.9	29.4	—	—
東部	31	74.2	29.0	45.2	41.9	—	—
中部	51	76.5	33.3	52.9	41.2	2.0	2.0
豊城	22	90.9	54.5	36.4	31.8	—	—
吉田方	22	72.7	27.3	68.2	22.7	—	—

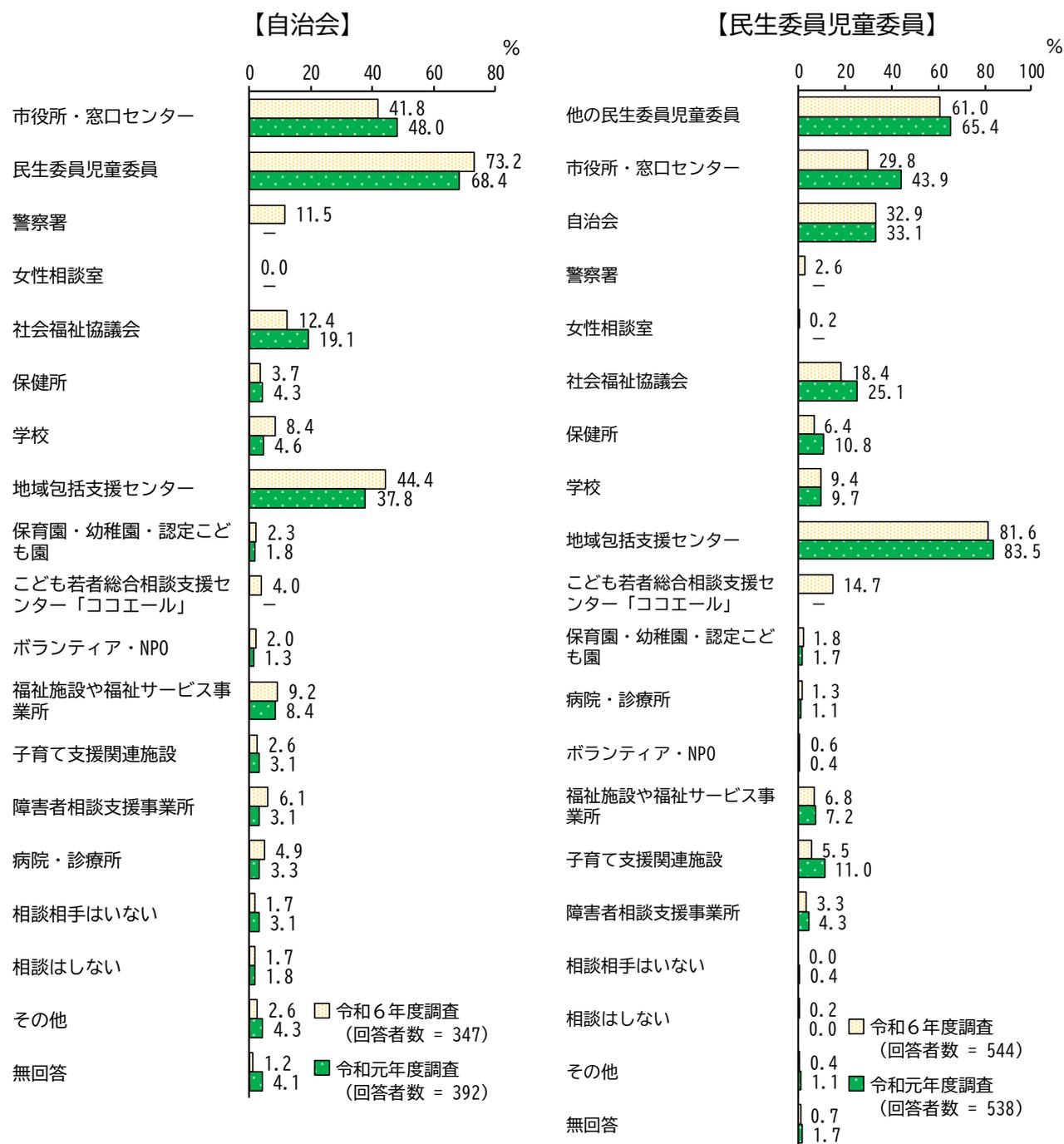
問 現在、地域の中で特に支援が必要と思われる方がいた場合、どこに相談していますか。  
【あてはまるものすべてに○印】（自治会：問7、民生委員児童委員：問7）

自治会は、「民生委員児童委員」の割合が73.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が44.4%、「市役所・窓口センター」の割合が41.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「民生委員児童委員」、「地域包括支援センター」の割合が増加しています。一方、「市役所・窓口センター」、「社会福祉協議会」の割合が減少しています。

民生委員児童委員は、「地域包括支援センター」の割合が81.6%と最も高く、次いで「他の民生委員児童委員」の割合が61.0%、「自治会」の割合が32.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市役所・窓口センター」、「社会福祉協議会」、「子育て支援関連施設」の割合が減少しています。



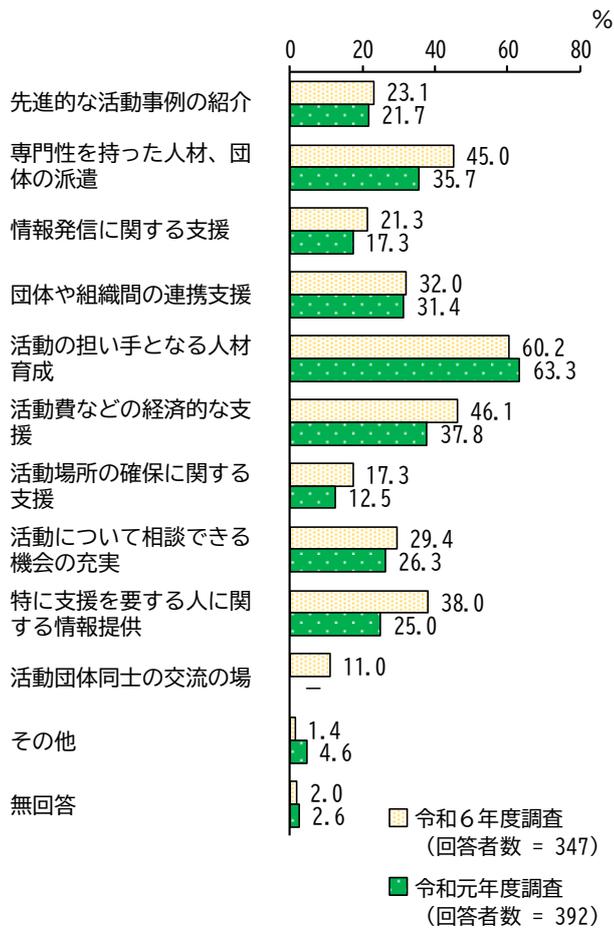
※前回調査では、「警察署」、「女性相談室」、「子ども若者総合相談支援センター「ココエール」」の選択肢はありませんでした。

問 自治会として地域の支え合いを推進するためにあなたが必要だと考えることは何ですか。  
【あてはまるものすべてに○印】（自治会：問8）

「活動の担い手となる人材育成」の割合が60.2%と最も高く、次いで「活動費などの経済的な支援」の割合が46.1%、「専門性を持った人材、団体の派遣」の割合が45.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「専門性を持った人材、団体の派遣」、「活動費などの経済的な支援」、「特に支援を要する人に関する情報提供」の割合が増加しています。

【自治会】



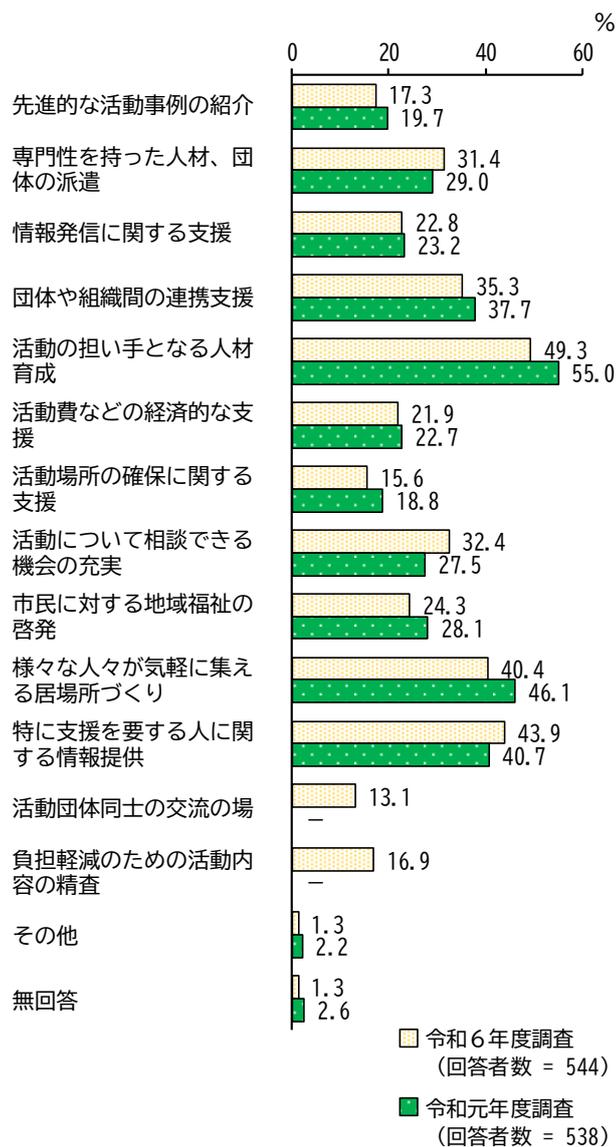
※前回調査では、「活動団体同士の交流の場」の選択肢はありませんでした。

問 地域住民が地域の支え合いを推進するためにあなたが必要だと考えることは何ですか。  
【あてはまるものすべてに○印】（民生委員児童委員：問8）

「活動の担い手となる人材育成」の割合が49.3%と最も高く、次いで「特に支援を要する人に関する情報提供」の割合が43.9%、「様々な人々が気軽に集える居場所づくり」の割合が40.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「活動の担い手となる人材育成」、「様々な人々が気軽に集える居場所づくり」の割合が減少しています。

【民生委員児童委員】



※前回調査では、「活動団体同士の交流の場」、「負担軽減のための活動内容の精査」の選択肢はありませんでした。

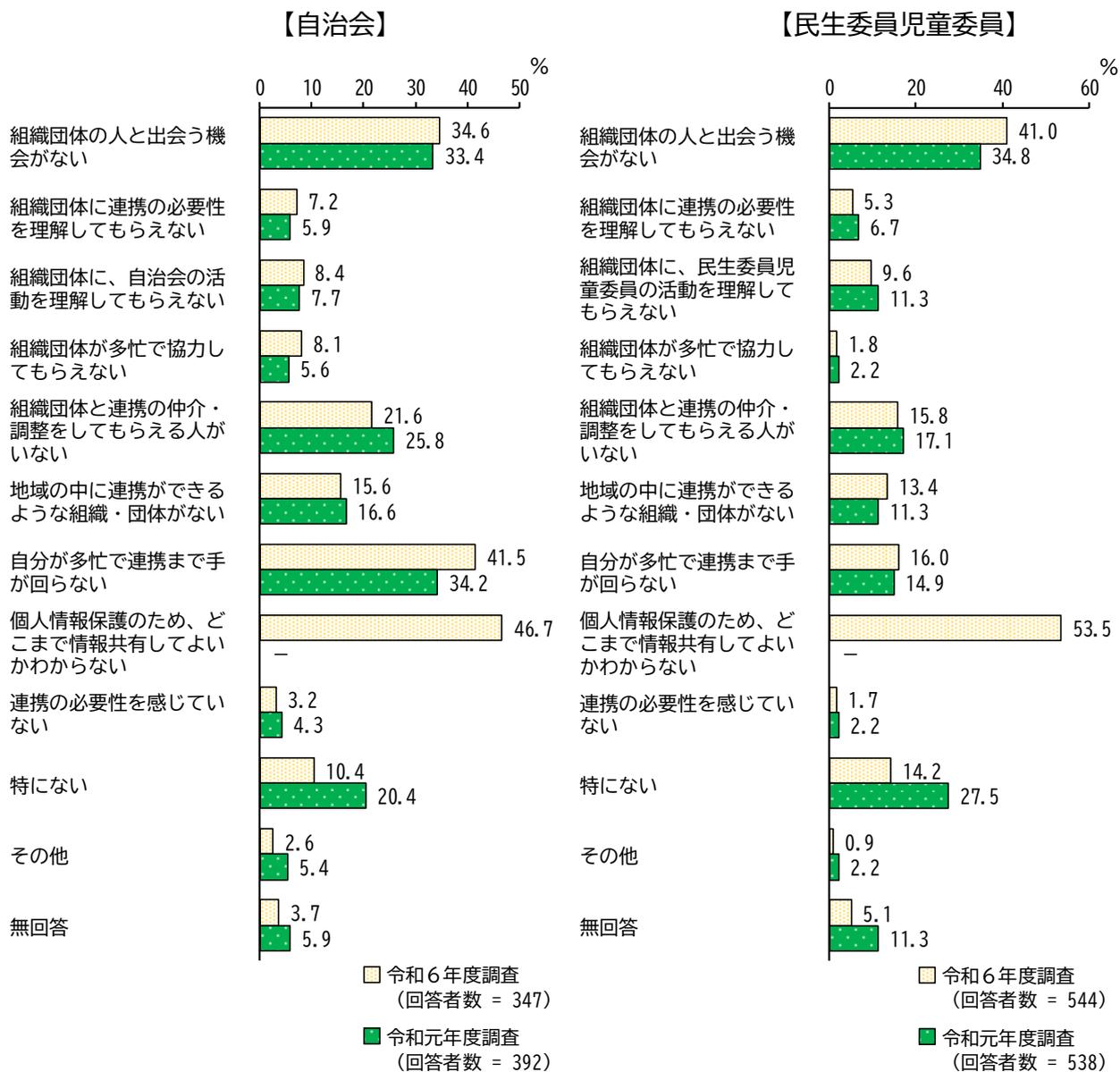
問 他の組織団体と地域の支え合い活動を推進するために連携するうえで困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○印】  
 (自治会：問9、民生委員児童委員：問16)

自治会は、「個人情報保護のため、どこまで情報共有してよいかわからない」の割合が46.7%と最も高く、次いで「自分が多忙で連携まで手が回らない」の割合が41.5%、「組織団体の人と出会う機会がない」の割合が34.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自分が多忙で連携まで手が回らない」の割合が増加しています。

民生委員児童委員は、「個人情報保護のため、どこまで情報共有してよいかわからない」の割合が53.5%と最も高く、次いで「組織団体の人と出会う機会がない」の割合が41.0%、「自分が多忙で連携まで手が回らない」の割合が16.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「組織団体の人と出会う機会がない」の割合が増加しています。



※前回調査では、「個人情報保護のため、どこまで情報共有してよいかわからない」の選択肢はありませんでした。

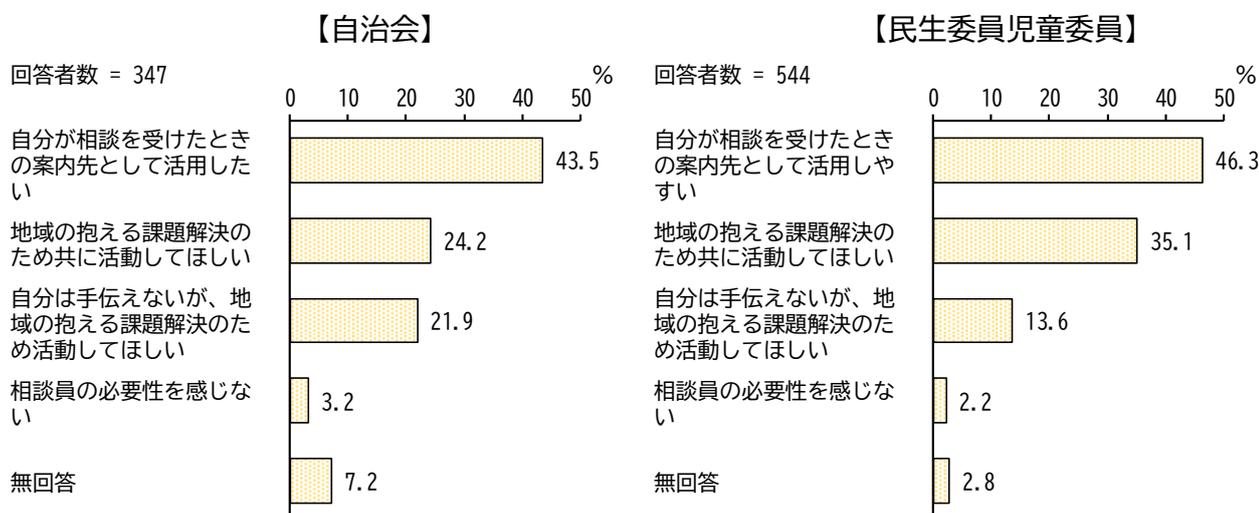
【新規】

問 地域において住民が抱える課題等について、相談先が見つからない（わからない）場合に、解決に向けて共に取り組み地域で支え合う仕組みを作っていく相談員（CSW）の存在についてのあなたの考えに最も近いものをお答えください。

【1つに○印】（自治会：問10、民生委員児童委員：問9）

自治会は、「自分が相談を受けたときの案内先として活用したい」の割合が43.5%と最も高く、次いで「地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい」の割合が24.2%、「自分は手伝えないが、地域の抱える課題解決のため活動してほしい」の割合が21.9%となっています。

民生委員児童委員は、「自分が相談を受けたときの案内先として活用しやすい」の割合が46.3%と最も高く、次いで「地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい」の割合が35.1%、「自分は手伝えないが、地域の抱える課題解決のため活動してほしい」の割合が13.6%となっています。



<自治会>

【経験年数別】

経験年数別にみると、5年～9年で「地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分が相談を受けたときの案内先として活用したい	地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい	自分は手伝えなが、地域の抱える課題解決のため活動してほしい	相談員の必要性を感じない	無回答
全 体	347	43.5	24.2	21.9	3.2	7.2
1年未満	151	45.7	20.5	25.8	2.6	5.3
1年～4年	110	42.7	25.5	20.9	0.9	10.0
5年～9年	60	48.3	30.0	13.3	3.3	5.0
10年以上	26	23.1	26.9	23.1	15.4	11.5

<民生委員児童委員>

【経験年数(期数)別】

経験年数(期数)別にみると、7～9期で「地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分が相談を受けたときの案内先として活用しやすい	地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい	自分は手伝えなが、地域の抱える課題解決のため活動してほしい	相談員の必要性を感じない	無回答
全 体	544	46.3	35.1	13.6	2.2	2.8
1期未満	209	51.2	26.8	16.7	2.4	2.9
1～3期	237	45.6	37.6	13.5	1.7	1.7
4～6期	66	42.4	42.4	7.6	1.5	6.1
7～9期	24	29.2	58.3	4.2	4.2	4.2
10期以上	7	28.6	42.9	14.3	14.3	—

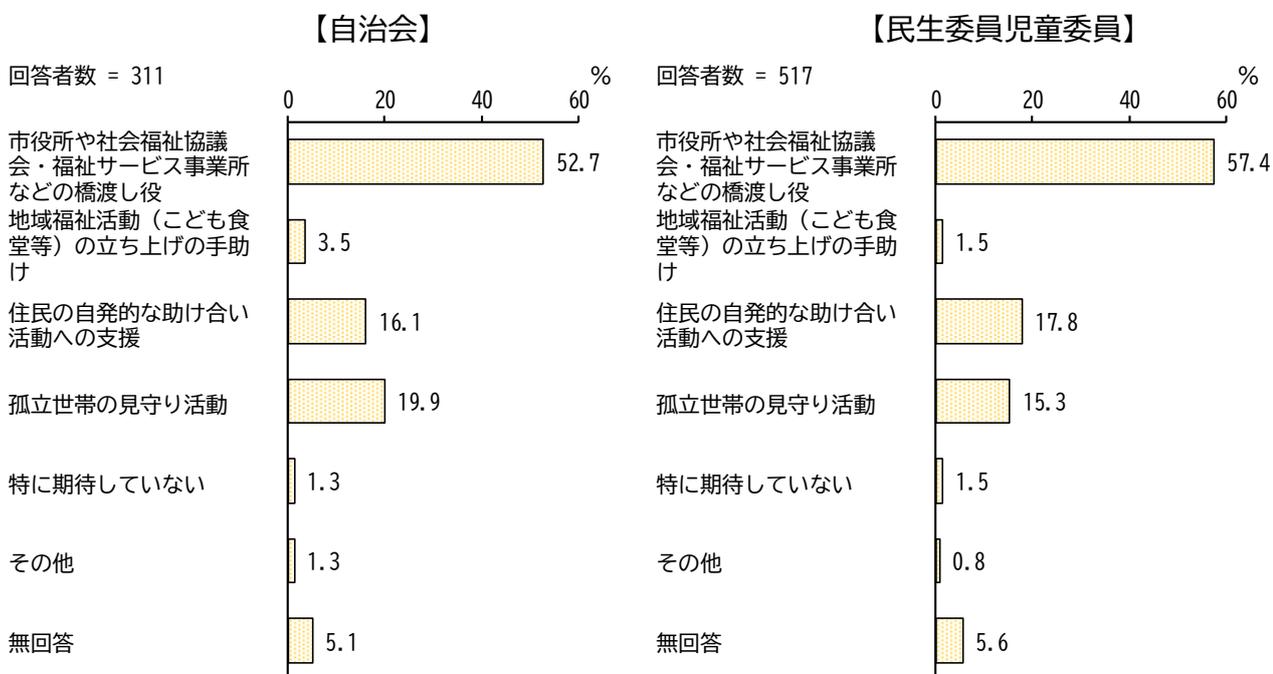
【新規】

前設問（自治会：問 10、民生委員児童委員：問9）で「自分が相談を受けたときの案内先として活用したい、しやすい」、「地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい」、「自分は手伝えないが、地域の抱える課題解決のため活動してほしい」を選択された方に伺います。

問 相談員（CSW）に最も期待することはどんなことですか。【1つに○印】  
（自治会：問 10-2、民生委員児童委員：問 9-2）

自治会は、「市役所や社会福祉協議会・福祉サービス事業所などの橋渡し役」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「孤立世帯の見守り活動」の割合が 19.9%、「住民の自発的な助け合い活動への支援」の割合が 16.1%となっています。

民生委員児童委員は、「市役所や社会福祉協議会・福祉サービス事業所などの橋渡し役」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「住民の自発的な助け合い活動への支援」の割合が 17.8%、「孤立世帯の見守り活動」の割合が 15.3%となっています。



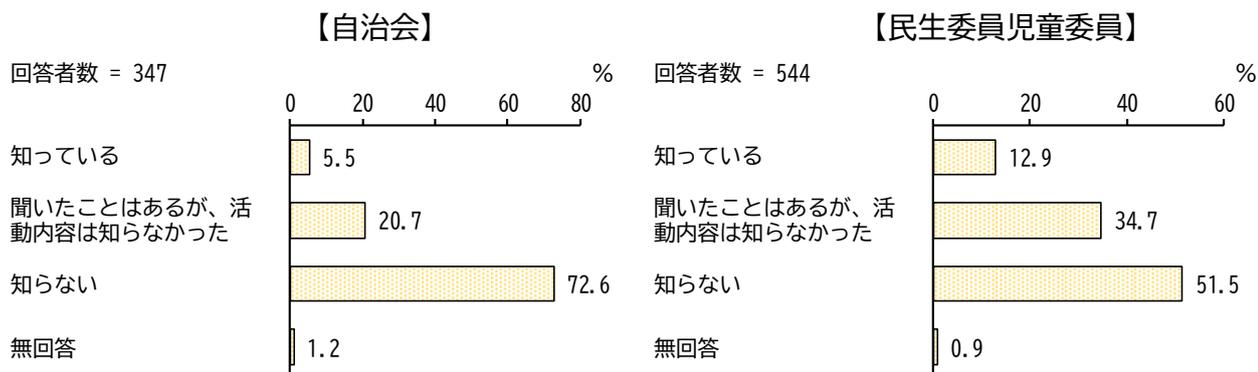
【新規】

問 福祉制度の対象とならない個人や世帯、8050 課題（高齢親に経済的に依存する世帯）など複数の課題を抱える家庭、セルフネグレクトなど自ら SOS を発信出来ない家庭を支援する福祉相談サポートセンターが市内にあることを知っていますか。

【1つに○印】（自治会：問 11、民生委員児童委員：問 10）

自治会は、「知らない」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、活動内容は知らなかった」の割合が 20.7%となっています。

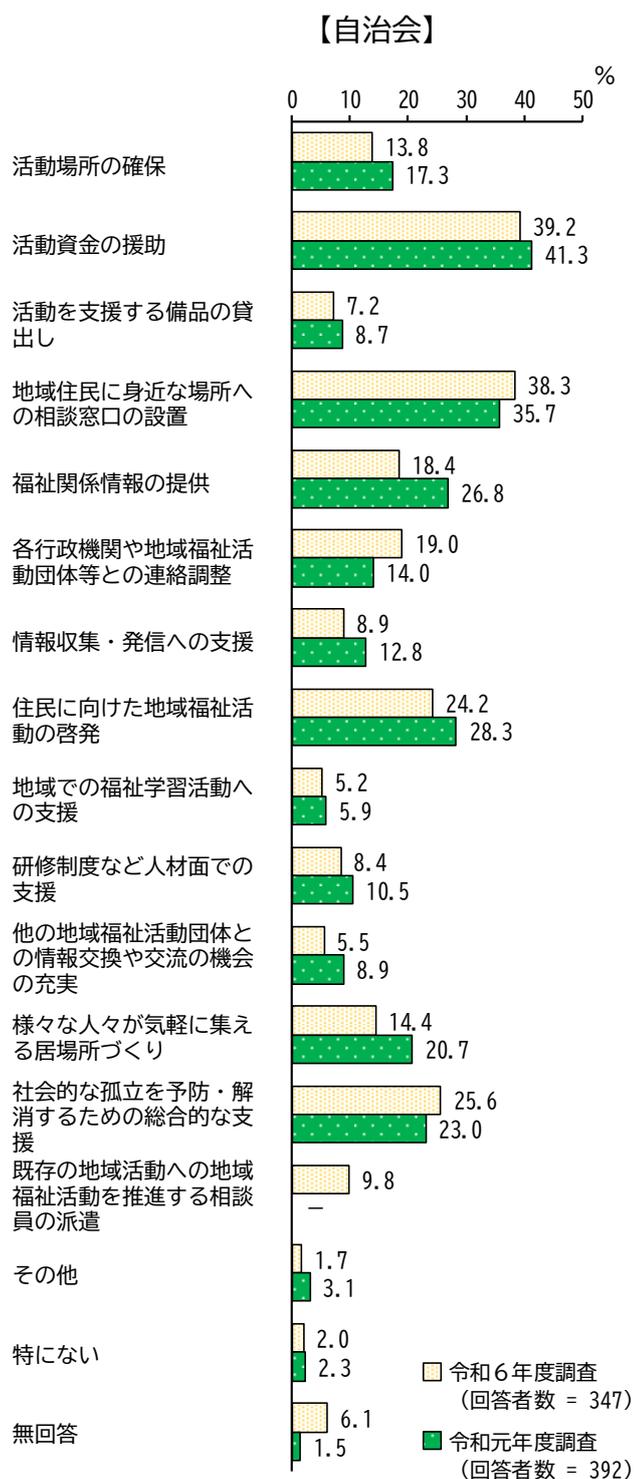
民生委員児童委員は、「知らない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、活動内容は知らなかった」の割合が 34.7%、「知っている」の割合が 12.9%となっています。



問 地域住民が地域福祉活動を推進していくうえであなたが行政に期待することは何ですか。  
【3つまで○印】（自治会：問 12、民生委員児童委員：問 11）

自治会は、「活動資金の援助」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が 38.3%、「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が 25.6%となっています。

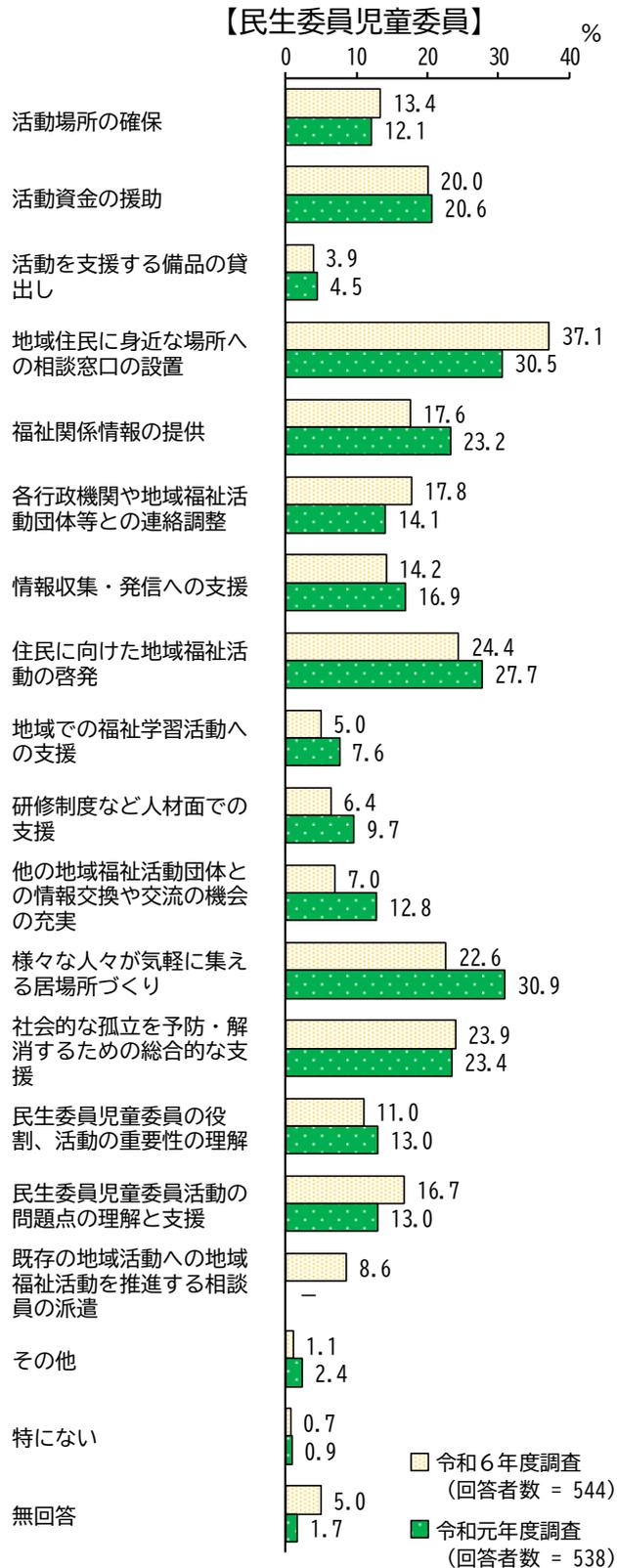
令和元年度調査と比較すると、「福祉関係情報の提供」、「様々な人々が気軽に集える居場所づくり」の割合が減少しています。



※前回調査では、「既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣」の選択肢はありませんでした。

民生委員児童委員は、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が37.1%と最も高く、次いで「住民に向けた地域福祉活動の啓発」の割合が24.4%、「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が23.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が増加しています。一方、「福祉関係情報の提供」、「他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実」、「様々な人々が気軽に集える居場所づくり」の割合が減少しています。



※前回調査では、「既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣」の選択肢はありませんでした。

<自治会>

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「福祉関係情報の提供」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	地域住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発
全 体	347	13.8	39.2	7.2	38.3	18.4	19.0	8.9	24.2
1年未満	151	11.3	44.4	7.3	43.7	17.2	21.9	7.9	19.9
1年～4年	110	17.3	36.4	7.3	44.5	16.4	19.1	6.4	26.4
5年～9年	60	11.7	30.0	8.3	23.3	18.3	16.7	18.3	30.0
10年以上	26	19.2	42.3	3.8	15.4	34.6	7.7	3.8	26.9

区分	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	様々な人々が気軽に集える居場所づくり	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	特になし	無回答
全 体	5.2	8.4	5.5	14.4	25.6	9.8	1.7	2.0	6.1
1年未満	4.6	7.3	4.6	13.2	25.8	10.6	0.7	3.3	4.6
1年～4年	6.4	7.3	5.5	14.5	30.9	10.9	1.8	—	4.5
5年～9年	5.0	10.0	8.3	16.7	20.0	10.0	3.3	1.7	6.7
10年以上	3.8	15.4	3.8	15.4	15.4	—	3.8	3.8	19.2

【地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別】

地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別にみると、活動団体同士の交流の場で「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	地域住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発
全体	347	13.8	39.2	7.2	38.3	18.4	19.0	8.9	24.2
先進的な活動事例の紹介	80	18.8	45.0	11.3	36.3	16.3	13.8	2.5	31.3
専門性を持った人材、団体の派遣	156	10.9	44.2	7.1	42.3	16.7	23.1	6.4	21.8
情報発信に関する支援	74	9.5	41.9	6.8	50.0	17.6	21.6	16.2	23.0
団体や組織間の連携支援	111	11.7	48.6	9.9	45.9	16.2	27.9	9.0	27.0
活動の担い手となる人材育成	209	10.5	42.6	4.8	40.7	17.7	17.7	8.1	31.1
活動費などの経済的な支援	160	10.6	59.4	10.6	36.9	15.0	16.9	10.6	25.6
活動場所の確保に関する支援	60	28.3	50.0	8.3	35.0	10.0	13.3	5.0	18.3
活動について相談できる機会の充実	102	15.7	35.3	4.9	47.1	19.6	21.6	8.8	29.4
特に支援を要する人に関する情報提供	132	10.6	36.4	6.8	37.9	23.5	16.7	11.4	28.0
活動団体同士の交流の場	38	15.8	42.1	10.5	21.1	21.1	13.2	5.3	21.1
その他	5	20.0	40.0	20.0	20.0	—	—	—	20.0

区分	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	様々な人々が気軽に集える居場所づくり	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	特になし	無回答
全体	5.2	8.4	5.5	14.4	25.6	9.8	1.7	2.0	6.1
先進的な活動事例の紹介	3.8	15.0	7.5	13.8	31.3	6.3	—	1.3	8.8
専門性を持った人材、団体の派遣	6.4	10.9	4.5	10.3	34.6	14.1	1.9	1.3	5.8
情報発信に関する支援	4.1	8.1	5.4	13.5	24.3	5.4	—	2.7	6.8
団体や組織間の連携支援	7.2	6.3	9.0	13.5	25.2	5.4	—	—	3.6
活動の担い手となる人材育成	5.7	11.0	4.3	14.4	28.2	9.1	1.9	1.4	6.2
活動費などの経済的な支援	5.0	8.1	4.4	13.8	27.5	8.1	1.3	0.6	6.3
活動場所の確保に関する支援	8.3	13.3	11.7	31.7	30.0	10.0	1.7	—	1.7
活動について相談できる機会の充実	6.9	11.8	5.9	14.7	32.4	15.7	1.0	1.0	4.9
特に支援を要する人に関する情報提供	4.5	6.8	9.8	15.2	26.5	9.1	0.8	1.5	6.1
活動団体同士の交流の場	5.3	7.9	18.4	23.7	47.4	2.6	—	—	10.5
その他	—	—	—	—	20.0	—	40.0	—	—

<民生委員児童委員>

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「様々な人々が気軽に集える居場所づくり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	地域住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援
全 体	544	13.4	20.0	3.9	37.1	17.6	17.8	14.2	24.4	5.0
1 期未満	209	11.5	20.6	4.3	38.8	19.6	17.7	14.4	21.1	5.7
1～3 期	237	15.2	19.4	3.8	39.7	16.0	16.0	13.5	24.9	3.8
4～6 期	66	13.6	18.2	4.5	24.2	13.6	21.2	13.6	30.3	6.1
7～9 期	24	12.5	25.0	—	41.7	29.2	20.8	16.7	29.2	4.2
10 期以上	7	—	28.6	—	14.3	14.3	42.9	14.3	42.9	14.3

区分	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	様々な人々が気軽に集える居場所づくり	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	民生委員児童委員の役割、活動の重要性の理解	民生委員児童委員活動の問題点の理解と支援	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	特になし	無回答
全 体	6.4	7.0	22.6	23.9	11.0	16.7	8.6	1.1	0.7	5.0
1 期未満	6.2	6.2	18.7	27.3	11.0	20.1	8.1	1.4	1.0	4.8
1～3 期	6.3	6.8	23.6	23.6	10.1	16.0	8.9	0.4	—	4.2
4～6 期	6.1	10.6	27.3	16.7	10.6	15.2	10.6	3.0	1.5	10.6
7～9 期	4.2	8.3	37.5	25.0	20.8	—	8.3	—	—	—
10 期以上	28.6	—	14.3	—	14.3	—	—	—	14.3	—

【地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別】

地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別にみると、活動費などの経済的な支援で「活動資金の援助」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	地域住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援
全体	544	13.4	20.0	3.9	37.1	17.6	17.8	14.2	24.4	5.0
先進的な活動事例の紹介	94	13.8	24.5	5.3	37.2	20.2	20.2	11.7	26.6	3.2
専門性を持った人材、団体の派遣	171	14.0	21.1	3.5	39.8	15.2	17.5	9.9	24.0	4.7
情報発信に関する支援	124	12.9	15.3	3.2	38.7	23.4	21.0	22.6	28.2	2.4
団体や組織間の連携支援	192	8.9	19.3	2.6	39.6	17.2	27.1	13.0	25.0	5.2
活動の担い手となる人材育成	268	15.3	23.5	3.0	35.4	17.5	15.3	14.9	25.0	5.2
活動費などの経済的な支援	119	16.8	50.4	5.9	28.6	11.8	19.3	6.7	16.8	3.4
活動場所の確保に関する支援	85	24.7	23.5	9.4	28.2	16.5	14.1	11.8	20.0	8.2
活動について相談できる機会の充実	176	13.1	17.6	5.1	46.0	17.6	17.6	13.6	26.1	1.7
市民に対する地域福祉の啓発	132	11.4	11.4	2.3	38.6	24.2	20.5	16.7	37.1	6.1
様々な人々が気軽に集える居場所づくり	220	19.5	15.9	3.6	33.6	11.8	15.9	13.2	23.2	5.5
特に支援を要する人に関する情報提供	239	9.6	12.6	3.3	39.7	24.3	21.3	21.8	25.5	4.6
活動団体同士の交流の場	71	22.5	19.7	2.8	32.4	18.3	21.1	11.3	18.3	4.2
負担軽減のための活動内容の精査	92	6.5	17.4	5.4	30.4	19.6	21.7	17.4	25.0	3.3
その他	7	—	14.3	28.6	14.3	—	14.3	—	14.3	—

(次ページへ続く)

区分	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	様々な人々が気軽に集える居場所づくり	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	民生委員児童委員の役割、活動の重要性の理解	民生委員児童委員活動の問題点の理解と支援	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	特になし	無回答
全体	6.4	7.0	22.6	23.9	11.0	16.7	8.6	1.1	0.7	5.0
先進的な活動事例の紹介	6.4	11.7	10.6	24.5	16.0	18.1	10.6	2.1	—	6.4
専門性を持った人材、団体の派遣	5.8	7.0	17.0	27.5	8.8	14.6	12.3	1.2	1.2	7.0
情報発信に関する支援	7.3	7.3	21.0	28.2	14.5	12.1	8.9	0.8	0.8	5.6
団体や組織間の連携支援	6.3	10.9	16.7	26.6	9.4	18.2	9.4	0.5	—	6.8
活動の担い手となる人材育成	9.7	7.5	24.6	26.9	13.8	18.7	9.7	1.1	—	3.4
活動費などの経済的な支援	10.9	5.0	22.7	21.8	10.9	16.8	9.2	1.7	—	7.6
活動場所の確保に関する支援	8.2	9.4	23.5	23.5	7.1	16.5	8.2	3.5	—	7.1
活動について相談できる機会の充実	5.1	8.5	18.2	25.6	10.2	17.6	11.4	1.1	—	8.0
市民に対する地域福祉の啓発	4.5	6.1	13.6	28.0	12.9	17.4	12.9	0.8	0.8	3.8
様々な人々が気軽に集える居場所づくり	5.0	7.3	42.3	23.2	10.9	15.9	7.7	0.9	—	5.9
特に支援を要する人に関する情報提供	6.7	7.5	15.9	27.2	11.7	16.7	7.9	1.3	—	5.9
活動団体同士の交流の場	7.0	16.9	32.4	15.5	14.1	19.7	11.3	—	—	5.6
負担軽減のための活動内容の精査	12.0	5.4	15.2	28.3	12.0	25.0	7.6	2.2	1.1	4.3
その他	—	14.3	—	28.6	28.6	57.1	14.3	28.6	—	—

(前ページの表 続き)

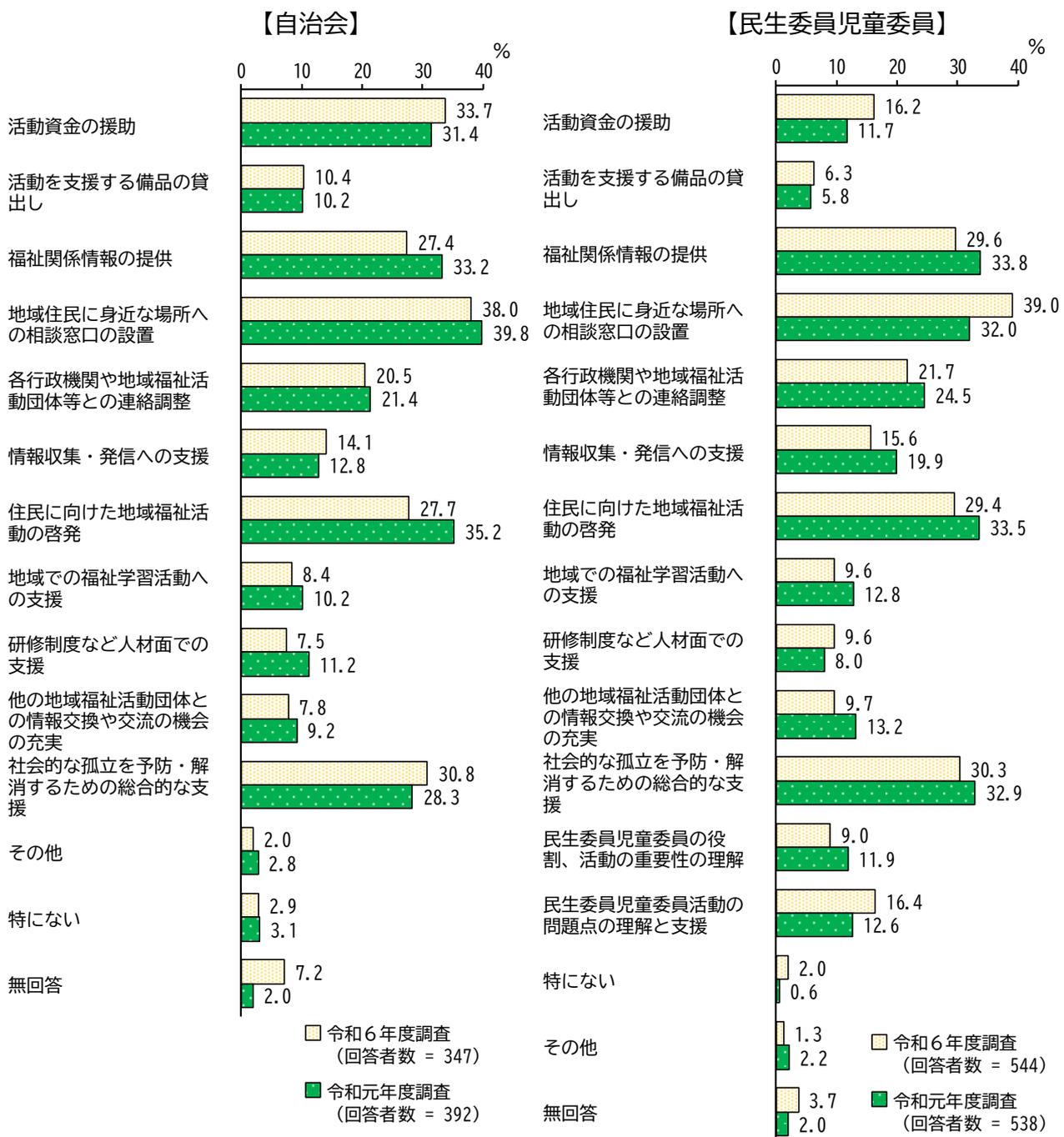
問 地域住民が地域福祉活動を推進していくうえであなたが社会福祉協議会に期待することは何ですか。【3つまで〇印】（自治会：問13、民生委員児童委員：問12）

自治会は、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が38.0%と最も高く、次いで「活動資金の援助」の割合が33.7%、「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が30.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「福祉関係情報の提供」、「住民に向けた地域福祉活動の啓発」の割合が減少しています。

民生委員児童委員は、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が39.0%と最も高く、次いで「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が30.3%、「福祉関係情報の提供」の割合が29.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が増加しています。



<自治会>

【経験年数別】

経験年数別にみると、10年以上で「活動を支援する備品の貸出し」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	福祉関係情報の提供	談窓口の設置	地域住民に身近な場所への相	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	その他	特にない	無回答
全 体	347	33.7	10.4	27.4	38.0	20.5	14.1	27.7	8.4	7.5	7.8	30.8	2.0	2.9	7.2	
1年未満	151	41.1	7.9	23.8	38.4	19.9	11.9	23.2	8.6	9.3	9.3	31.1	0.7	3.3	6.6	
1年～4年	110	31.8	9.1	30.0	45.5	20.9	15.5	28.2	11.8	6.4	6.4	37.3	2.7	1.8	4.5	
5年～9年	60	16.7	10.0	31.7	38.3	21.7	15.0	41.7	5.0	6.7	6.7	25.0	3.3	3.3	8.3	
10年以上	26	38.5	30.8	26.9	3.8	19.2	19.2	19.2	—	3.8	7.7	15.4	3.8	3.8	19.2	

【地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別】

地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別にみると、活動団体同士の交流の場で「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	活動資金の援助	活動を支援する備 品の貸出し	福祉関係情報の提 供	地域住民に身近な 場所への相談窓口 の設置	各行政機関や地 域の福祉活動団体等 との連絡調整	情報収集・発信への 支援	住民に向けた地域 福祉活動の啓発
全 体	347	33.7	10.4	27.4	38.0	20.5	14.1	27.7
先進的な活動事例の紹介	80	40.0	17.5	21.3	38.8	20.0	15.0	33.8
専門性を持った人材、団体の 派遣	156	34.0	13.5	28.2	42.9	23.1	9.0	26.9
情報発信に関する支援	74	35.1	16.2	24.3	47.3	27.0	17.6	25.7
団体や組織間の連携支援	111	39.6	12.6	21.6	37.8	31.5	13.5	27.9
活動の担い手となる人材育成	209	33.0	10.0	27.3	43.1	20.6	11.5	33.0
活動費などの経済的な支援	160	49.4	14.4	25.6	40.6	20.0	14.4	30.0
活動場所の確保に関する支援	60	40.0	18.3	25.0	38.3	23.3	13.3	30.0
活動について相談できる機会 の充実	102	24.5	6.9	36.3	50.0	21.6	11.8	35.3
特に支援を要する人に関する 情報提供	132	31.1	9.1	26.5	38.6	21.2	14.4	28.8
活動団体同士の交流の場	38	39.5	21.1	10.5	36.8	15.8	15.8	28.9
その他	5	—	—	—	—	—	—	20.0

区分	地域での福祉学 習への支援	研修制度など人 材面での支援	他地域福祉活 動の機会充 実	社会的な孤立を予 防・解消するた めの総合的な支 援	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	8.4	7.5	7.8	30.8	2.0	2.9	7.2
先進的な活動事例の紹介	8.8	10.0	10.0	30.0	1.3	2.5	8.8
専門性を持った人材、団体の 派遣	10.9	9.6	7.1	34.6	2.6	1.9	6.4
情報発信に関する支援	9.5	5.4	9.5	33.8	—	4.1	4.1
団体や組織間の連携支援	9.0	6.3	9.9	36.0	—	0.9	8.1
活動の担い手となる人材育成	9.1	8.6	5.3	34.4	2.4	1.9	7.2
活動費などの経済的な支援	10.0	6.3	8.1	32.5	1.9	0.6	5.6
活動場所の確保に関する支援	11.7	15.0	11.7	36.7	—	—	6.7
活動について相談できる機会 の充実	9.8	8.8	5.9	39.2	1.0	2.0	4.9
特に支援を要する人に関する 情報提供	8.3	9.1	11.4	34.8	0.8	1.5	7.6
活動団体同士の交流の場	5.3	13.2	18.4	60.5	—	—	2.6
その他	—	—	—	—	40.0	20.0	20.0

<民生委員児童委員>

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、7～9期で「各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	福祉関係情報の提供	地域住民に身近な場所への相談窓口の設置	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	民生委員児童委員の役割、活動の重要性の理解	民生委員児童委員活動の問題点の理解と支援	特になし	その他	無回答
全体	544	16.2	6.3	29.6	39.0	21.7	15.6	29.4	9.6	9.6	9.7	30.3	9.0	16.4	2.0	1.3	3.7
1期未満	209	14.8	5.3	29.7	40.7	23.0	13.9	29.2	7.7	8.6	7.2	31.1	7.7	17.2	2.9	2.9	4.3
1～3期	237	18.1	6.3	29.5	40.5	18.1	16.5	30.4	8.4	9.7	10.1	29.5	9.3	16.5	0.8	0.4	2.5
4～6期	66	13.6	10.6	31.8	31.8	19.7	18.2	24.2	16.7	12.1	13.6	33.3	13.6	13.6	3.0	—	6.1
7～9期	24	12.5	4.2	20.8	41.7	41.7	12.5	37.5	12.5	12.5	16.7	29.2	8.3	12.5	—	—	4.2
10期以上	7	28.6	—	28.6	—	42.9	28.6	28.6	28.6	—	14.3	14.3	—	14.3	14.3	—	—

【地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別】

地域の支え合いを推進するために必要だと考えること別にみると、活動費などの経済的な支援で「活動資金の援助」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	福祉関係情報の提供	地域住民に身近な場所への相談窓口の設置	各行政機関や地域福祉活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発	地域での福祉学習活動への支援
全 体	544	16.2	6.3	29.6	39.0	21.7	15.6	29.4	9.6
先進的な活動事例の紹介	94	21.3	8.5	25.5	37.2	22.3	17.0	35.1	14.9
専門性を持った人材、団体の派遣	171	17.0	8.8	25.1	40.4	24.6	16.4	29.2	12.3
情報発信に関する支援	124	11.3	5.6	36.3	42.7	21.8	24.2	29.0	12.9
団体や組織間の連携支援	192	13.5	6.3	29.7	39.6	30.2	19.3	27.6	9.9
活動の担い手となる人材育成	268	17.2	4.9	26.9	40.7	21.3	16.0	33.6	10.4
活動費などの経済的な支援	119	41.2	9.2	21.8	36.1	25.2	8.4	26.1	5.9
活動場所の確保に関する支援	85	15.3	10.6	20.0	36.5	25.9	10.6	28.2	11.8
活動について相談できる機会の充実	176	13.6	4.5	34.1	46.0	23.3	17.0	31.8	8.0
市民に対する地域福祉の啓発	132	10.6	6.1	34.1	38.6	23.5	15.9	44.7	14.4
様々な人々が気軽に集える居場所づくり	220	15.5	7.3	27.3	40.9	21.8	15.5	30.0	10.9
特に支援を要する人に関する情報提供	239	8.4	4.6	36.8	39.7	24.3	20.9	29.7	10.5
活動団体同士の交流の場	71	15.5	7.0	25.4	38.0	19.7	21.1	29.6	15.5
負担軽減のための活動内容の精査	92	10.9	4.3	25.0	32.6	27.2	16.3	28.3	8.7
その他	7	14.3	—	—	14.3	28.6	—	14.3	14.3

(次ページへ続く)

区分	研修制度など人材面での支援	他の地域福祉活動団体との情報交換や交流の機会の充実	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	民生委員児童委員の役割、活動の重要性の理解	民生委員児童委員活動の問題点の理解と支援	特にない	その他	無回答
全 体	9.6	9.7	30.3	9.0	16.4	2.0	1.3	3.7
先進的な活動事例の紹介	12.8	11.7	28.7	11.7	18.1	1.1	1.1	2.1
専門性を持った人材、団体の派遣	12.9	7.0	33.9	7.6	12.9	1.2	1.2	4.1
情報発信に関する支援	8.9	11.3	34.7	9.7	13.7	1.6	—	4.0
団体や組織間の連携支援	10.4	13.5	34.4	7.3	16.7	0.5	0.5	3.6
活動の担い手となる人材育成	13.8	10.8	32.5	9.7	17.9	1.5	0.4	3.4
活動費などの経済的な支援	13.4	6.7	33.6	7.6	17.6	0.8	0.8	5.9
活動場所の確保に関する支援	14.1	16.5	40.0	11.8	14.1	1.2	1.2	4.7
活動について相談できる機会の充実	11.9	9.1	31.3	6.8	14.2	0.6	0.6	6.3
市民に対する地域福祉の啓発	8.3	9.1	28.0	6.8	19.7	0.8	1.5	2.3
様々な人々が気軽に集える居場所づくり	9.5	11.4	37.7	8.6	17.3	0.5	0.9	3.6
特に支援を要する人に関する情報提供	8.4	10.5	29.7	10.5	18.8	0.8	1.3	4.2
活動団体同士の交流の場	15.5	15.5	33.8	8.5	21.1	—	1.4	4.2
負担軽減のための活動内容の精査	12.0	8.7	31.5	15.2	25.0	3.3	2.2	3.3
その他	14.3	—	—	28.6	42.9	—	28.6	—

(前ページの表 続き)

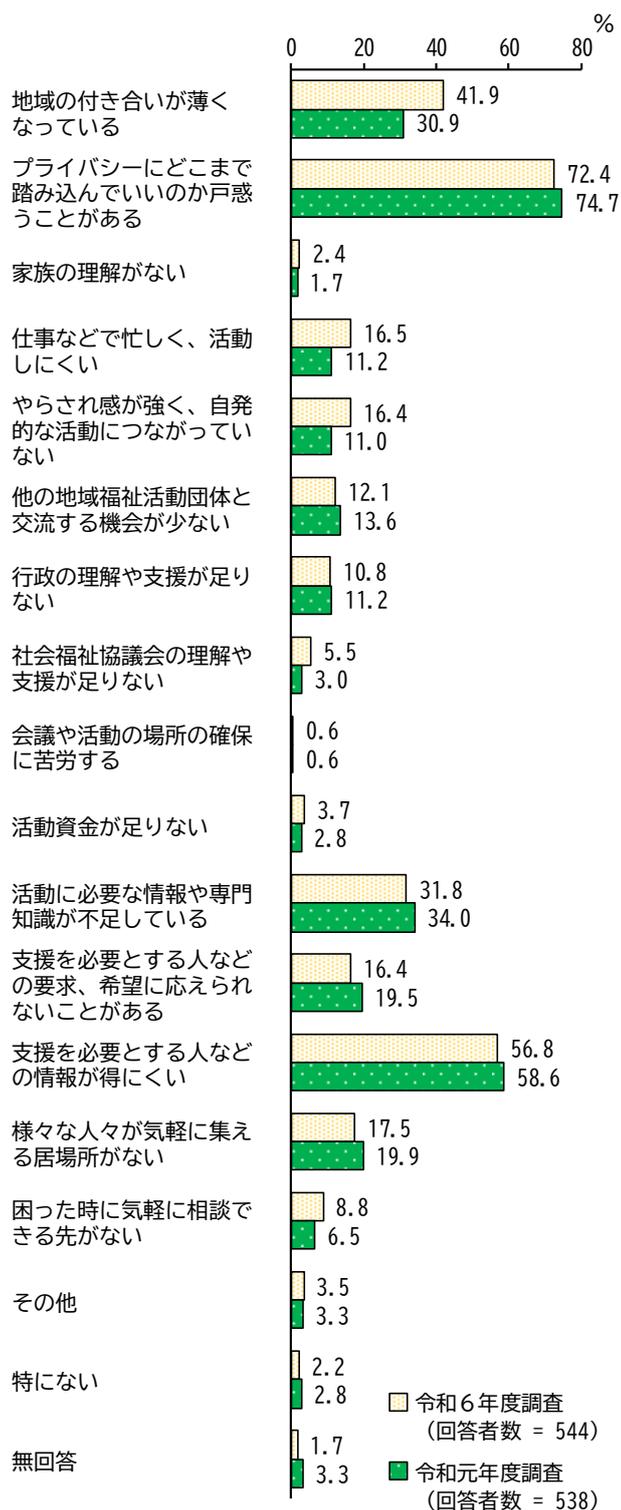
### (3) 地域での活動について

問 現在、民生委員児童委員として地域福祉活動をしている中で困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○印】（民生委員児童委員：問13）

「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑うことがある」の割合が72.4%と最も高く、次いで「支援を必要とする人などの情報が得にくい」の割合が56.8%、「地域の付き合いが薄くなっている」の割合が41.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域の付き合いが薄くなっている」、「仕事などで忙しく、活動しにくい」、「やらされ感が強く、自発的な活動につながっていない」の割合が増加しています。

【民生委員児童委員】

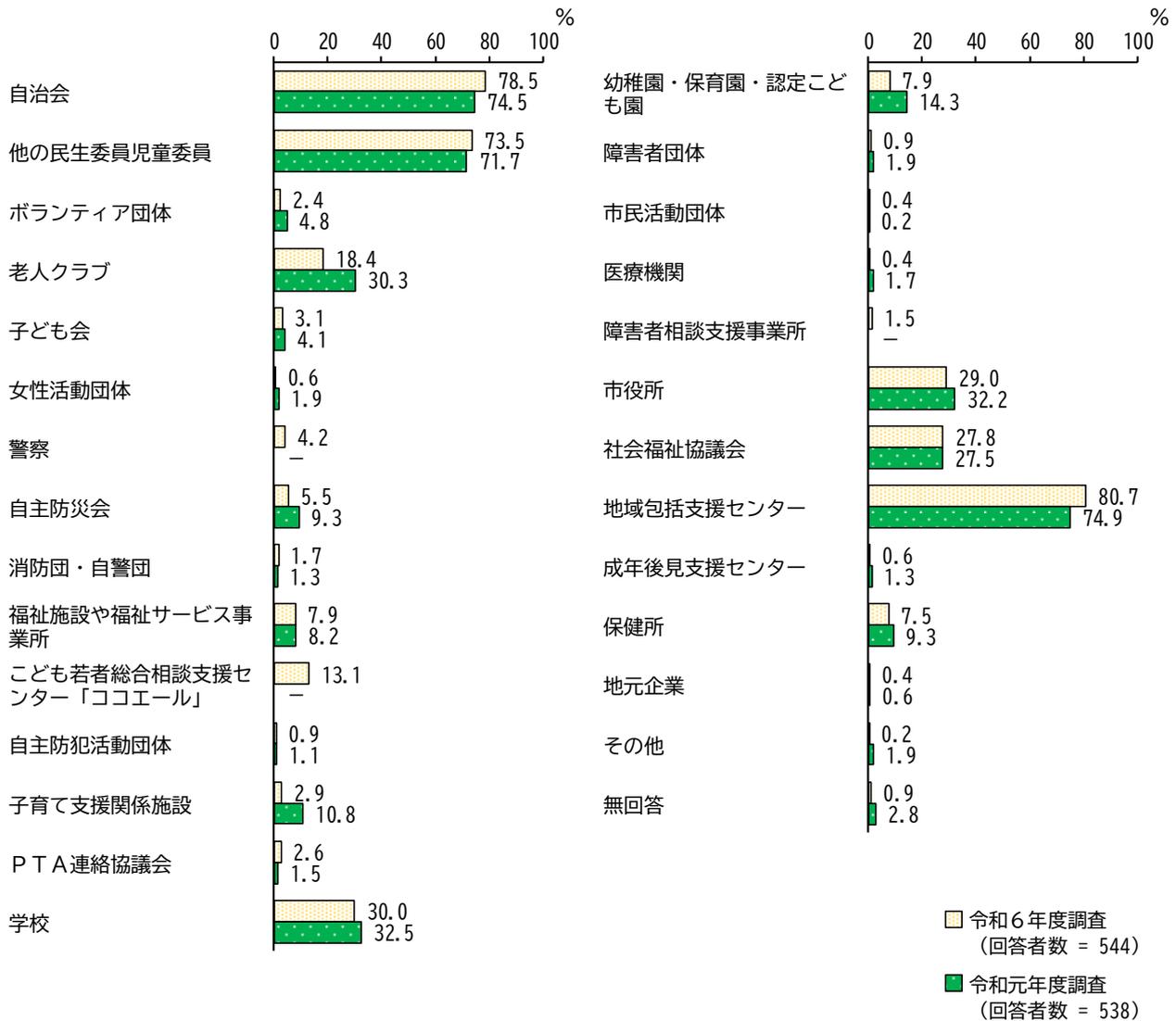


問 民生委員児童委員として地域福祉活動を行うにあたり普段から連携している組織団体は何か。【あてはまるものすべてに○印】（民生委員児童委員：問 14）

「地域包括支援センター」の割合が80.7%と最も高く、次いで「自治会」の割合が78.5%、「他の民生委員児童委員」の割合が73.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域包括支援センター」の割合が増加しています。一方、「老人クラブ」、「子育て支援関係施設」、「幼稚園・保育園・認定こども園」の割合が減少しています。

【民生委員児童委員】



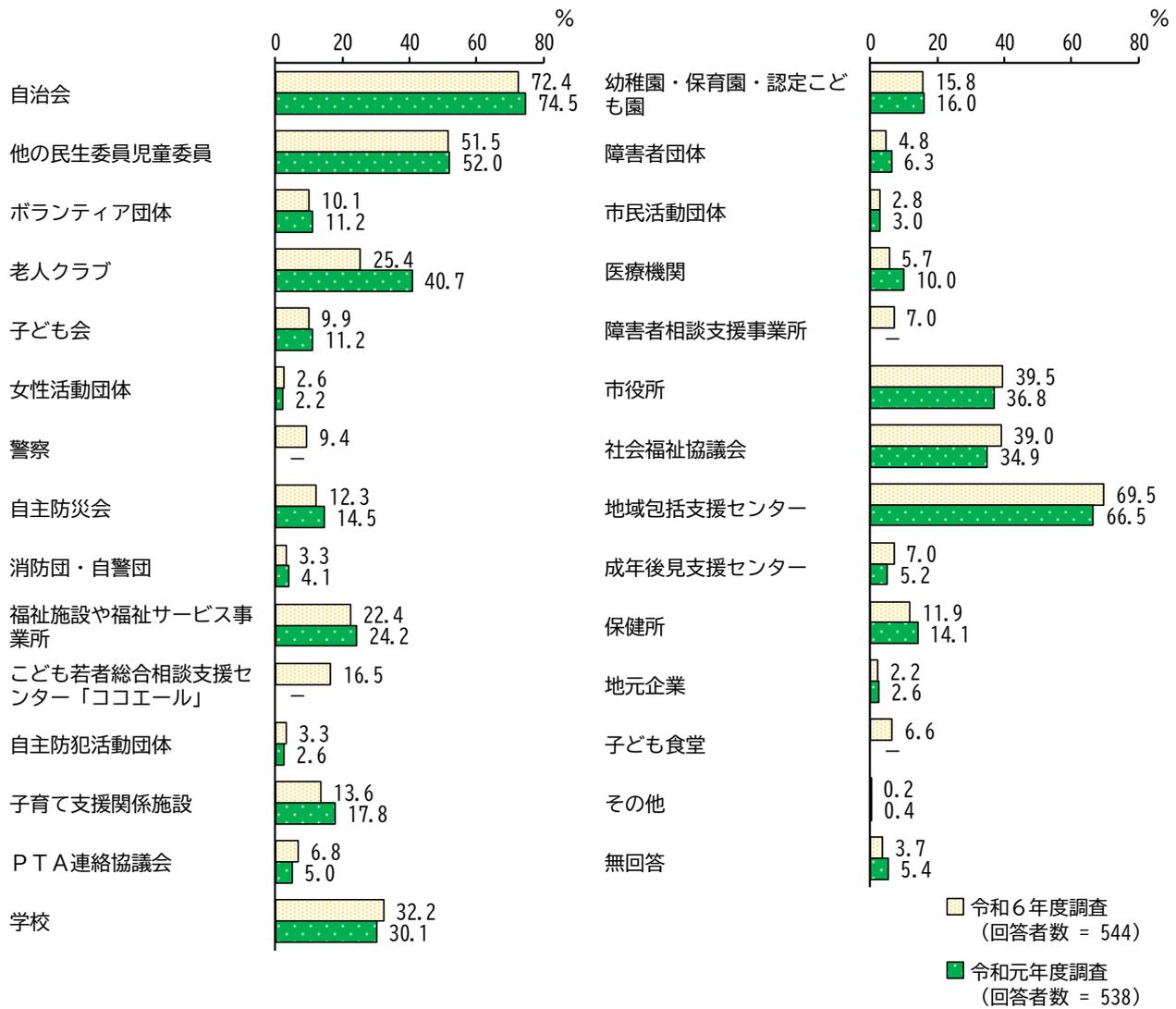
※前回調査では、「警察」、「子ども若者総合相談支援センター「ココエール」」、「障害者相談支援事業所」の選択肢はありませんでした。

問 民生委員児童委員として地域福祉活動を行うにあたり今後連携していきたい組織団体は何ですか。【あてはまるものすべてに○印】（民生委員児童委員：問 15）

「自治会」の割合が72.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が69.5%、「他の民生委員児童委員」の割合が51.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「老人クラブ」の割合が減少しています。

【民生委員児童委員】



※前回調査では、「警察」、「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」、「障害者相談支援事業所」、「子ども食堂」の選択肢はありませんでした。

## (4) 避難行動要支援者支援事業について

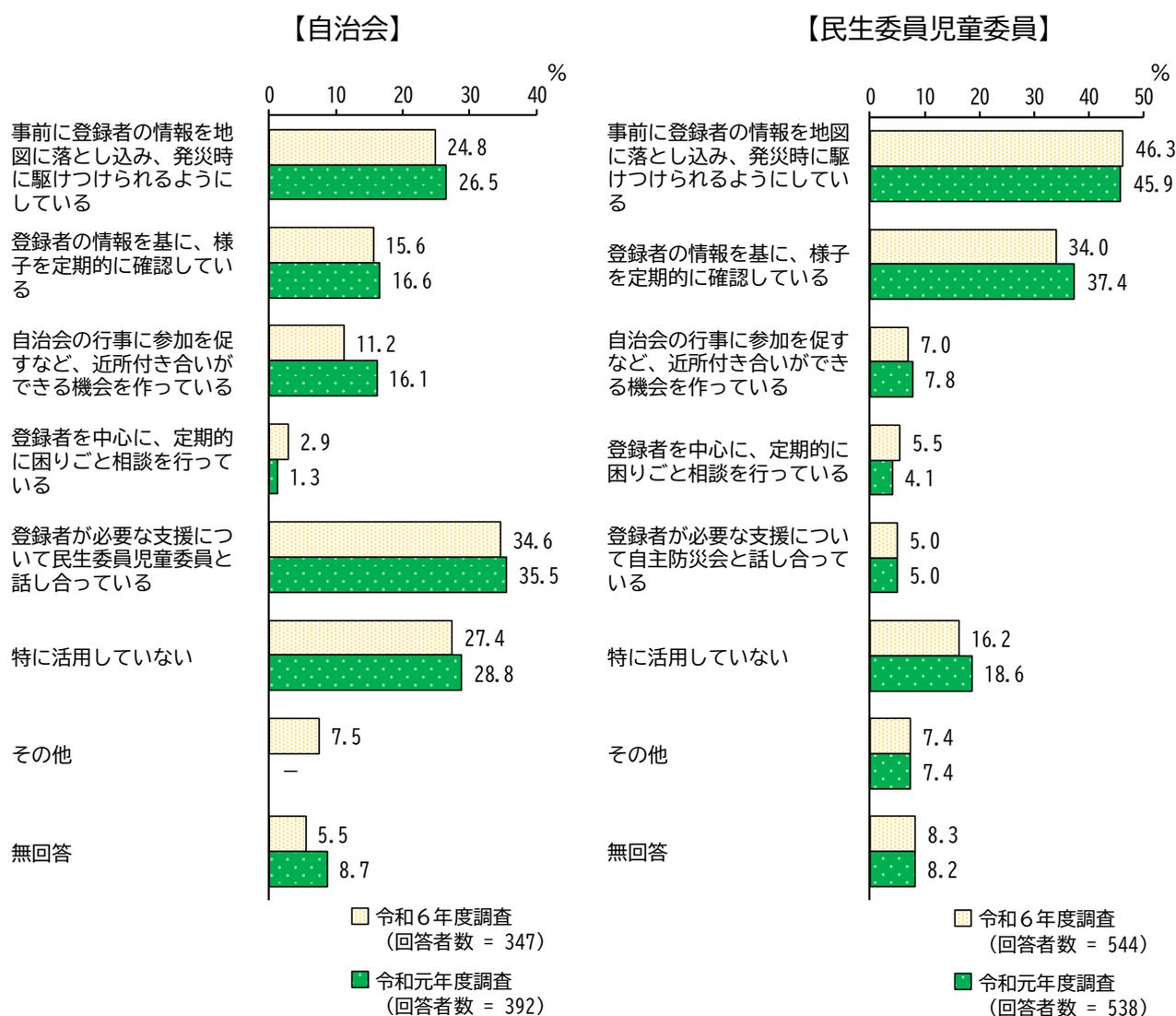
問 提供された避難行動要支援者の情報は、自主防災会等でどのように使用されていますか。  
【2つまで○印】（自治会：問 14、民生委員児童委員：問 17）

自治会は、「登録者が必要な支援について民生委員児童委員と話し合っている」の割合が34.6%と最も高く、次いで「特に活用していない」の割合が27.4%、「事前に登録者の情報を地図に落とし込み、発災時に駆けつけられるようにしている」の割合が24.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

民生委員児童委員は、「事前に登録者の情報を地図に落とし込み、発災時に駆けつけられるようにしている」の割合が46.3%と最も高く、次いで「登録者の情報を基に、様子を定期的に確認している」の割合が34.0%、「特に活用していない」の割合が16.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※自治会の前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、青陵で「登録者が必要な支援について民生委員児童委員と話し合っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	登録者が必要な支援について民生委員児童委員と話し合っている	登録者の情報を基に、様子を定期的に確認している	自治会の行事に参加を促すなど、近所付き合いができる機会を作っている	登録者を中心に、定期的に困りごと相談を行っている	登録者が必要な支援について民生委員児童委員と話し合っている	特に活用していない	その他	無回答
全体	347	24.8	15.6	11.2	2.9	34.6	27.4	7.5	5.5
北部	16	37.5	6.3	6.3	—	43.8	31.3	6.3	6.3
前芝	4	—	—	25.0	—	—	50.0	25.0	—
青陵	30	16.7	16.7	10.0	3.3	60.0	20.0	3.3	—
東陵	3	66.7	66.7	—	—	66.7	—	—	—
石巻	29	10.3	6.9	24.1	13.8	20.7	37.9	6.9	6.9
豊岡	12	41.7	—	16.7	—	16.7	33.3	8.3	—
東陽	13	23.1	7.7	15.4	7.7	46.2	23.1	15.4	7.7
二川	22	27.3	4.5	—	4.5	22.7	31.8	13.6	9.1
五並	7	57.1	28.6	14.3	—	28.6	—	—	14.3
章南	9	22.2	—	11.1	—	11.1	55.6	—	11.1
高豊	19	26.3	26.3	15.8	—	15.8	21.1	15.8	10.5
南稜	19	21.1	31.6	5.3	—	42.1	21.1	5.3	—
高師台	15	40.0	33.3	6.7	13.3	26.7	33.3	—	—
本郷	13	38.5	23.1	15.4	—	46.2	15.4	—	—
南部	19	31.6	10.5	5.3	—	42.1	31.6	—	—
南陽	12	25.0	16.7	8.3	—	—	33.3	33.3	—
羽田	16	18.8	18.8	12.5	—	50.0	25.0	6.3	6.3
牟呂	7	14.3	14.3	14.3	—	28.6	28.6	—	14.3
東部	8	37.5	25.0	—	—	37.5	25.0	—	12.5
中部	41	17.1	19.5	9.8	2.4	41.5	29.3	9.8	2.4
豊城	24	29.2	12.5	16.7	—	29.2	20.8	4.2	16.7
吉田方	6	—	—	—	—	50.0	33.3	—	16.7

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、東陵で「特に活用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	事前に登録者の情報を 地図に落とし込み、発 災時に駆けつけられる ようにしている	登録者の情報を基に、 様子を定期的に確認し ている	自治会の行事に参加を 促すなど、近所付き合 いができる機会を作っ ている	登録者を中心に、定期 的に困りごと相談を行 っている	登録者が必要な支援に ついて自主防災会と話 し合っている	特に活用していない	その他	無回答
全 体	544	46.3	34.0	7.0	5.5	5.0	16.2	7.4	8.3
北部	17	52.9	23.5	—	5.9	23.5	23.5	5.9	5.9
前芝	8	50.0	—	12.5	—	—	12.5	12.5	12.5
青陵	45	42.2	35.6	8.9	6.7	6.7	6.7	11.1	8.9
東陵	17	41.2	23.5	—	5.9	—	41.2	—	11.8
石巻	26	38.5	38.5	3.8	—	—	15.4	11.5	11.5
豊岡	25	52.0	40.0	12.0	12.0	8.0	12.0	4.0	4.0
東陽	18	50.0	33.3	5.6	—	—	22.2	—	16.7
二川	26	38.5	34.6	7.7	11.5	—	23.1	3.8	3.8
五並	7	57.1	—	—	28.6	14.3	—	14.3	14.3
章南	11	36.4	9.1	9.1	9.1	—	27.3	18.2	—
高豊	20	55.0	25.0	5.0	10.0	10.0	15.0	10.0	10.0
南稜	26	46.2	57.7	3.8	7.7	3.8	15.4	3.8	3.8
高師台	25	56.0	40.0	8.0	4.0	8.0	12.0	8.0	4.0
本郷	26	46.2	34.6	7.7	—	7.7	19.2	—	15.4
南部	40	50.0	27.5	10.0	10.0	2.5	17.5	2.5	7.5
南陽	25	44.0	44.0	—	4.0	—	12.0	16.0	8.0
羽田	30	36.7	30.0	10.0	3.3	6.7	20.0	13.3	3.3
牟呂	17	41.2	17.6	11.8	—	5.9	29.4	—	17.6
東部	31	48.4	38.7	12.9	9.7	—	6.5	6.5	9.7
中部	51	54.9	41.2	3.9	—	7.8	9.8	3.9	7.8
豊城	22	36.4	40.9	9.1	9.1	—	18.2	18.2	9.1
吉田方	22	40.9	40.9	4.5	—	9.1	22.7	9.1	9.1

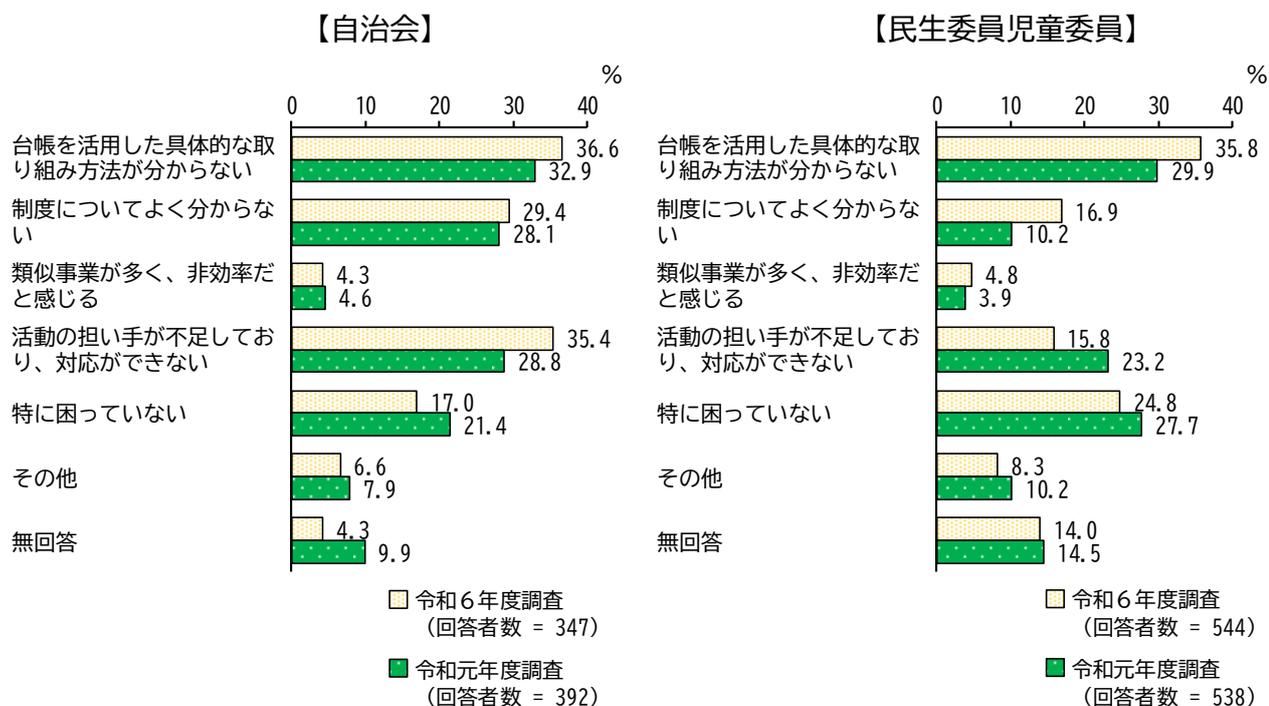
問 避難行動要支援者支援事業を行ううえでの困りごとはありますか【2つまで○印】  
 (自治会：問 14-2、民生委員児童委員：問 17-2)

自治会は、「台帳を活用した具体的な取り組み方法が分からない」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「活動の担い手が不足しており、対応ができない」の割合が 35.4%、「制度についてよく分からない」の割合が 29.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「活動の担い手が不足しており、対応ができない」の割合が増加しています。

民生委員児童委員は、「台帳を活用した具体的な取り組み方法が分からない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「特に困っていない」の割合が 24.8%、「制度についてよく分からない」の割合が 16.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「台帳を活用した具体的な取り組み方法が分からない」、「制度についてよく分からない」の割合が増加しています。一方、「活動の担い手が不足しており、対応ができない」の割合が減少しています。



<自治会>

【経験年数別】

経験年数別にみると、5年～9年で「活動の担い手が不足しており、対応ができない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	台帳を活用した 法的な取り組み 法が分からない	制度についてよく 分からない	類似事業が多く、非 効率だと感じる	活動の担い手が不 足しており、対応が できない	特に困っていない	その他	無回答
全 体	347	36.6	29.4	4.3	35.4	17.0	6.6	4.3
1年未満	151	41.1	35.1	2.6	31.1	11.3	4.6	4.6
1年～4年	110	34.5	27.3	3.6	40.0	21.8	6.4	0.9
5年～9年	60	33.3	20.0	6.7	43.3	20.0	10.0	6.7
10年以上	26	26.9	26.9	11.5	23.1	23.1	11.5	11.5

<民生委員児童委員>

【経験年数（期数）別】

経験年数（期数）別にみると、4～6期で「特に困っていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	台帳を活用した 法的な取り組み 法が分からない	制度についてよく 分からない	類似事業が多く、非 効率だと感じる	活動の担い手が不 足しており、対応が できない	特に困っていない	その他	無回答
全 体	544	35.8	16.9	4.8	15.8	24.8	8.3	14.0
1期未満	209	38.8	20.1	5.3	17.2	22.0	9.1	11.5
1～3期	237	35.4	16.5	5.1	13.9	24.1	8.4	13.9
4～6期	66	27.3	10.6	1.5	16.7	33.3	6.1	22.7
7～9期	24	41.7	8.3	8.3	16.7	29.2	8.3	12.5
10期以上	7	14.3	14.3	—	28.6	42.9	—	14.3

## (5) 「成年後見制度」について

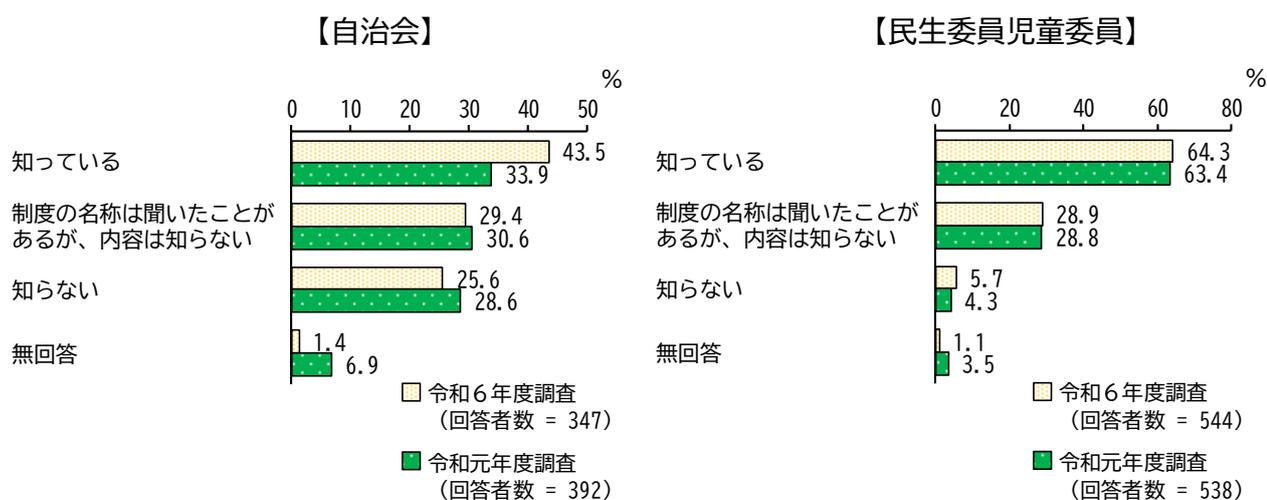
問 あなたは成年後見制度を知っていますか。【1つに○印】  
 (自治会：問 15、民生委員児童委員：問 18)

自治会は、「知っている」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 29.4%、「知らない」の割合が 25.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

民生委員児童委員は、「知っている」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 28.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

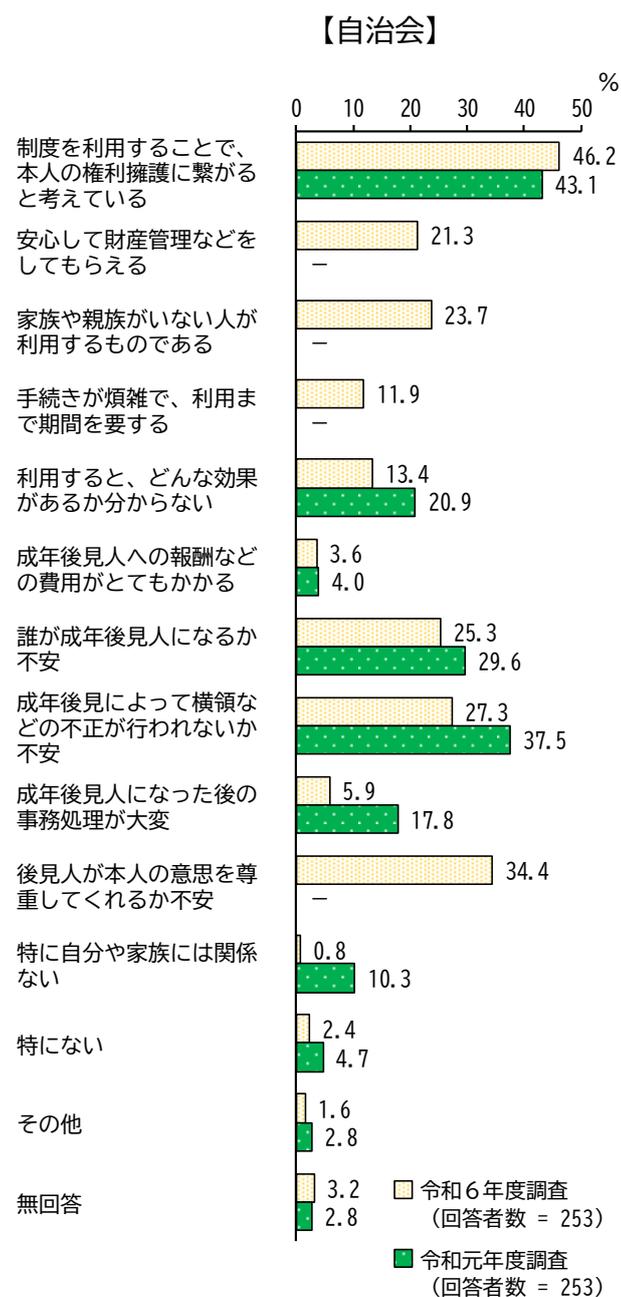


前設問（自治会：問 15、民生委員児童委員：問 18）で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

問 成年後見制度についてどのような印象を持っていますか。【3つまで〇印】  
（自治会：問 15-2、民生委員児童委員：問 18-2）

自治会は、「制度を利用することで、本人の権利擁護に繋がると考えている」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の割合が 34.4%、「成年後見によって横領などの不正が行われないか不安」の割合が 27.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用すると、どんな効果があるか分からない」、「成年後見人になった後の事務処理が大変」、「特に自分や家族には関係ない」の割合が減少しています。

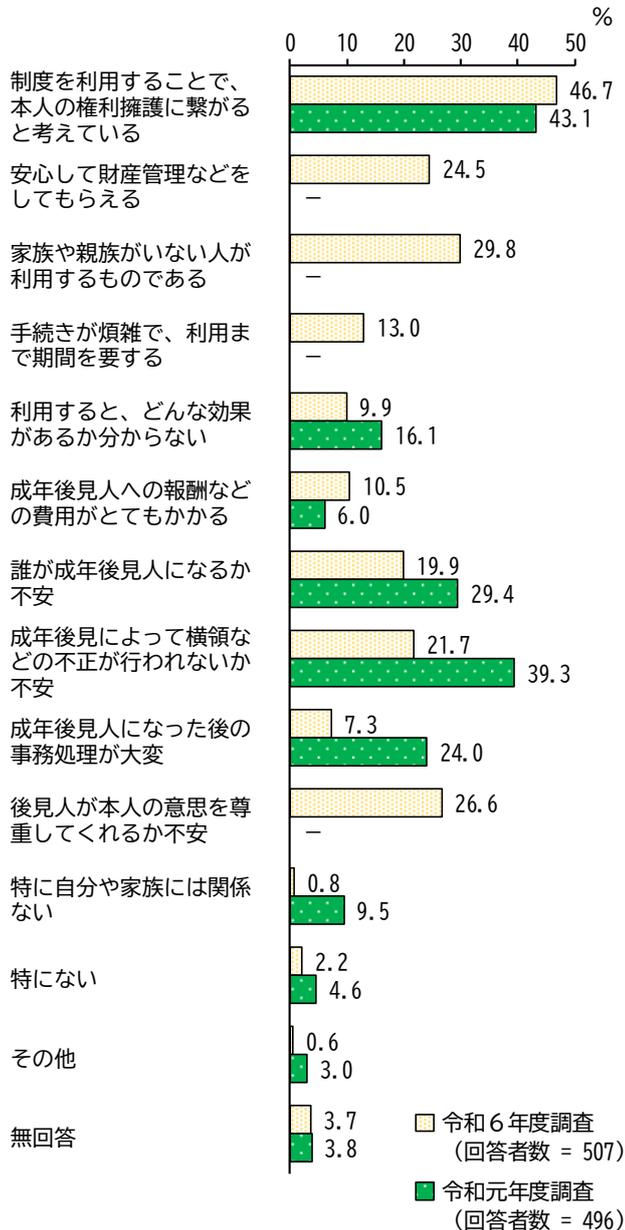


※前回調査では、「安心して財産管理などをしてもらえる」、「家族や親族がいない人が利用するものである」、「手続きが煩雑で、利用まで期間を要する」、「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の選択肢はありませんでした。

民生委員児童委員は、「制度を利用することで、本人の権利擁護に繋がると考えている」の割合が46.7%と最も高く、次いで「家族や親族がいない人が利用するものである」の割合が29.8%、「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の割合が26.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用すると、どんな効果があるか分からない」、「誰が成年後見人になるか不安」、「成年後見によって横領などの不正が行われないか不安」、「成年後見人になった後の事務処理が大変」、「特に自分や家族には関係ない」の割合が減少しています。

【民生委員児童委員】



※前回調査では、「安心して財産管理などをしてもらえる」、「家族や親族がいない人が利用するものである」、「手続きが煩雑で、利用まで期間を要する」、「後見人が本人の意思を尊重してくれるか不安」の選択肢はありませんでした。

前設問（自治会：問 15、民生委員児童委員：問 18）で「知っている」または「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」を回答された方のみにお尋ねします。

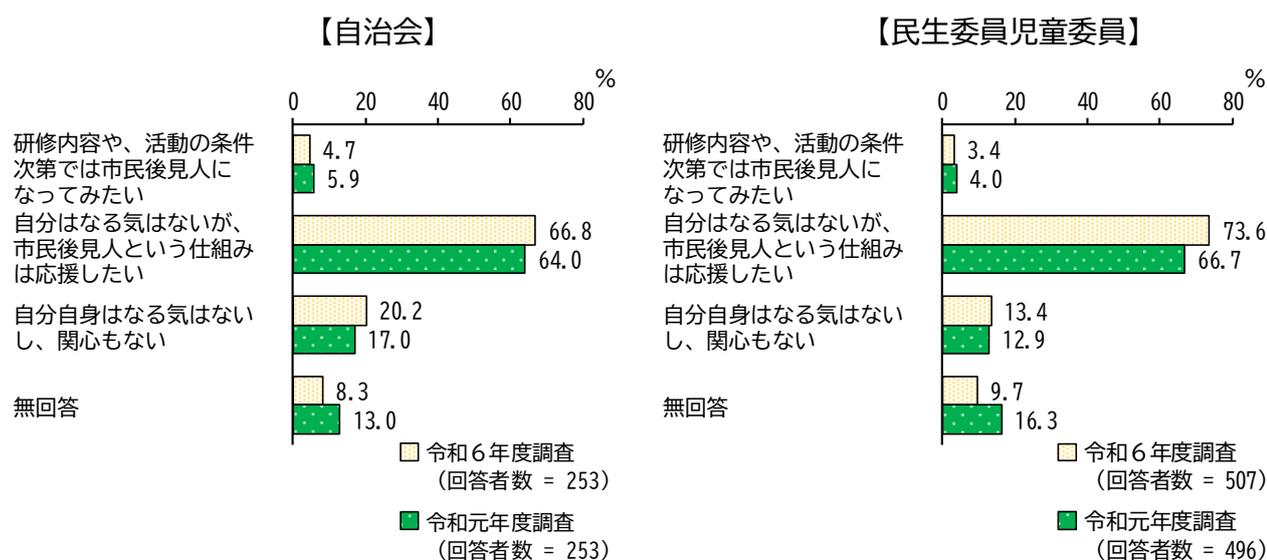
問 成年後見制度には、一定の研修を修了した地域の方を成年後見人として選任し、金銭管理などの活動をする「市民後見人」というものがあります。この市民後見人についてあなたの考えに最も近いものをお答えください。【1つに○印】  
 （自治会：問 15-3、民生委員児童委員：問 18-3）

自治会は、「自分になる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「自分自身はなる気はないし、関心もない」の割合が 20.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

民生委員児童委員は、「自分になる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「自分自身はなる気はないし、関心もない」の割合が 13.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自分になる気はないが、市民後見人という仕組みは応援したい」の割合が増加しています。



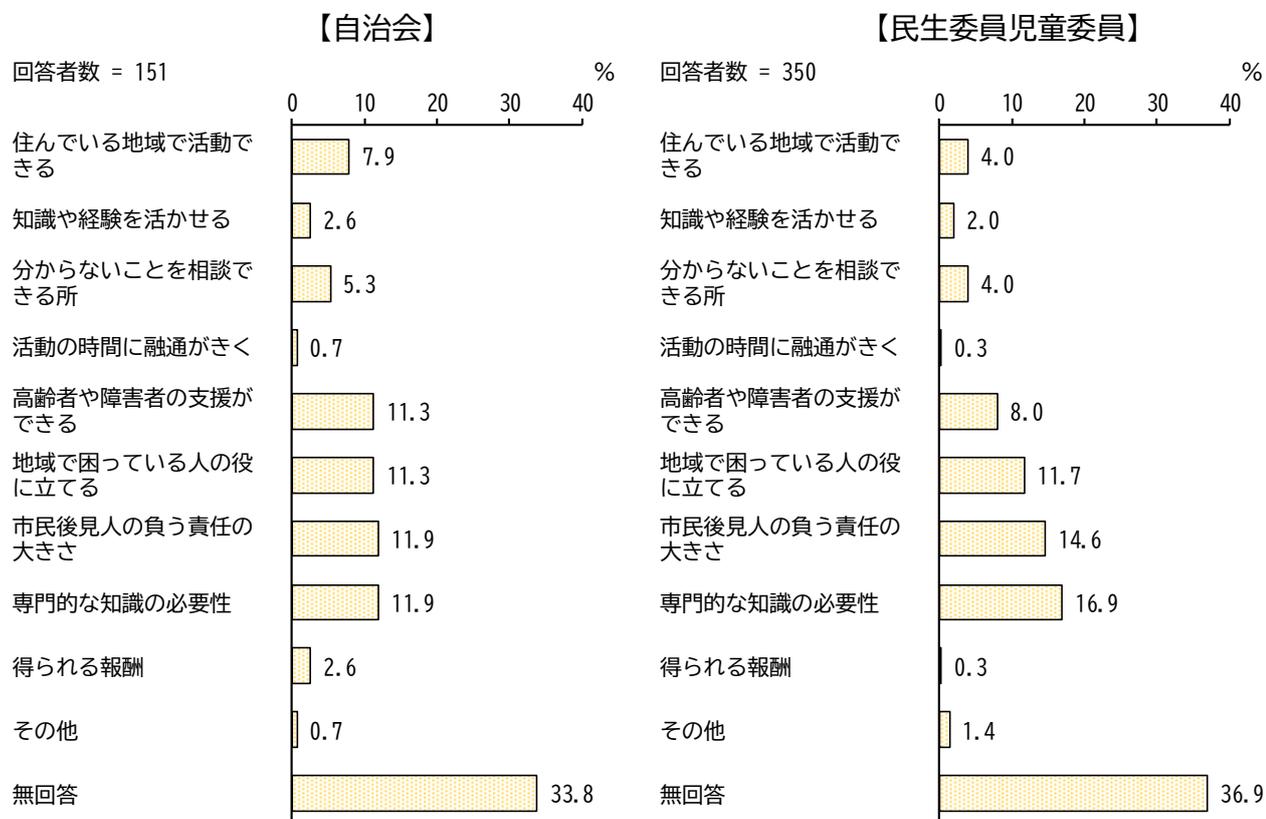
【新規】

前設問（自治会：問 15、民生委員児童委員：問 18）で「知っている」を回答された方のみにお尋ねします。

問 市民後見人の活動において、重要だと思うことは何ですか。【1つに○印】  
（自治会：問 15-4、民生委員児童委員：問 18-4）

自治会は、「市民後見人の負う責任の大きさ」、「専門的な知識の必要性」の割合が 11.9%と最も高く、次いで「高齢者や障害者の支援ができる」、「地域で困っている人の役に立てる」の割合が 11.3%となっています。

民生委員児童委員は、「専門的な知識の必要性」の割合が 16.9%と最も高く、次いで「市民後見人の負う責任の大きさ」の割合が 14.6%、「地域で困っている人の役に立てる」の割合が 11.7%となっています。



前設問（自治会：問 15、民生委員児童委員：問 18）で「知っている」を回答された方のみにお尋ねします。

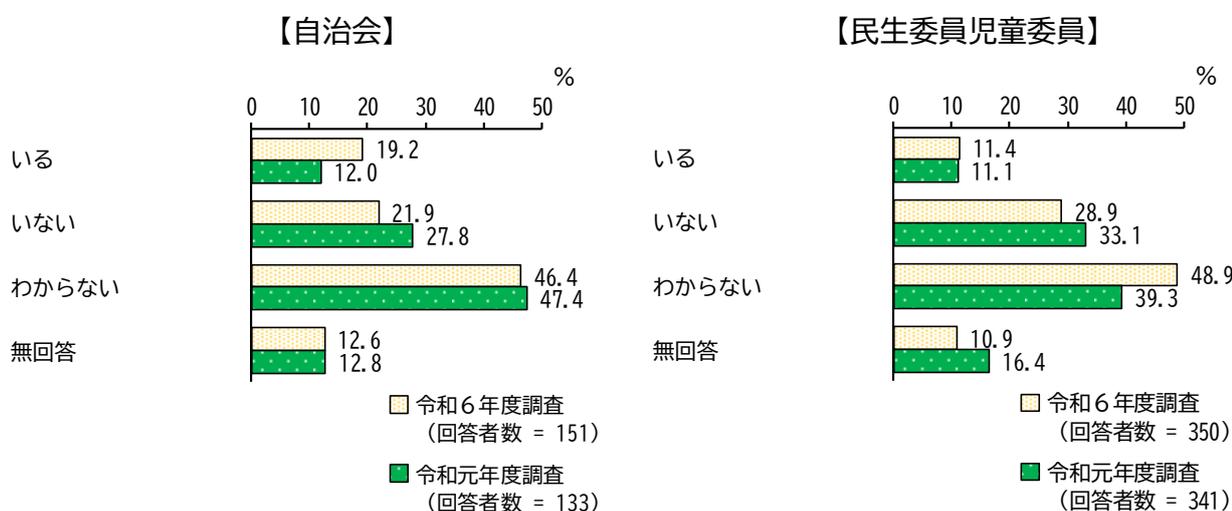
問 あなたの周りには成年後見制度が必要と思われる方はいますか【1つに○印】  
（自治会：問 16、民生委員児童委員：問 19）

自治会は、「わからない」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「いない」の割合が 21.9%、「いる」の割合が 19.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「いる」の割合が増加しています。一方、「いない」の割合が減少しています。

民生委員児童委員は、「わからない」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「いない」の割合が 28.9%、「いる」の割合が 11.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



<自治会>

【居住地区別】

居住地区別にみると、青陵で「わからない」の割合が、二川で「いる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	わからない	無回答
全 体	151	19.2	21.9	46.4	12.6
北部	9	—	—	66.7	33.3
前芝	2	50.0	50.0	—	—
青陵	11	—	36.4	63.6	—
東陵	2	—	50.0	50.0	—
石巻	10	20.0	30.0	30.0	20.0
豊岡	7	28.6	28.6	42.9	—
東陽	7	28.6	28.6	42.9	—
二川	11	36.4	—	54.5	9.1
五並	2	—	100.0	—	—
章南	3	—	33.3	33.3	33.3
高豊	6	16.7	16.7	66.7	—
南稜	6	33.3	33.3	33.3	—
高師台	5	—	20.0	40.0	40.0
本郷	7	14.3	—	71.4	14.3
南部	10	10.0	30.0	40.0	20.0
南陽	5	20.0	20.0	40.0	20.0
羽田	7	14.3	14.3	71.4	—
牟呂	2	50.0	—	50.0	—
東部	4	25.0	—	25.0	50.0
中部	21	28.6	14.3	52.4	4.8
豊城	9	11.1	44.4	11.1	33.3
吉田方	3	66.7	—	33.3	—

<民生委員児童委員>

【居住地区別】

居住地区別にみると、石巻で「いる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	いる	いない	わからない	無回答
全 体	350	11.4	28.9	48.9	10.9
北部	10	10.0	20.0	50.0	20.0
前芝	2	－	－	100.0	－
青陵	36	11.1	33.3	47.2	8.3
東陵	8	－	25.0	75.0	－
石巻	13	38.5	30.8	23.1	7.7
豊岡	15	6.7	20.0	53.3	20.0
東陽	14	－	28.6	64.3	7.1
二川	18	11.1	33.3	38.9	16.7
五並	4	－	75.0	－	25.0
章南	3	－	33.3	66.7	－
高豊	10	－	20.0	70.0	10.0
南稜	19	5.3	26.3	63.2	5.3
高師台	12	8.3	8.3	66.7	16.7
本郷	16	25.0	25.0	37.5	12.5
南部	27	7.4	33.3	51.9	7.4
南陽	21	14.3	42.9	23.8	19.0
羽田	18	11.1	27.8	50.0	11.1
牟呂	5	20.0	60.0	20.0	－
東部	20	5.0	30.0	50.0	15.0
中部	40	12.5	30.0	47.5	10.0
豊城	18	22.2	27.8	50.0	－
吉田方	14	7.1	14.3	57.1	21.4

前設問（自治会：問 16、民生委員児童委員：問 19）で「いる」を回答された方のみにお尋ねします。

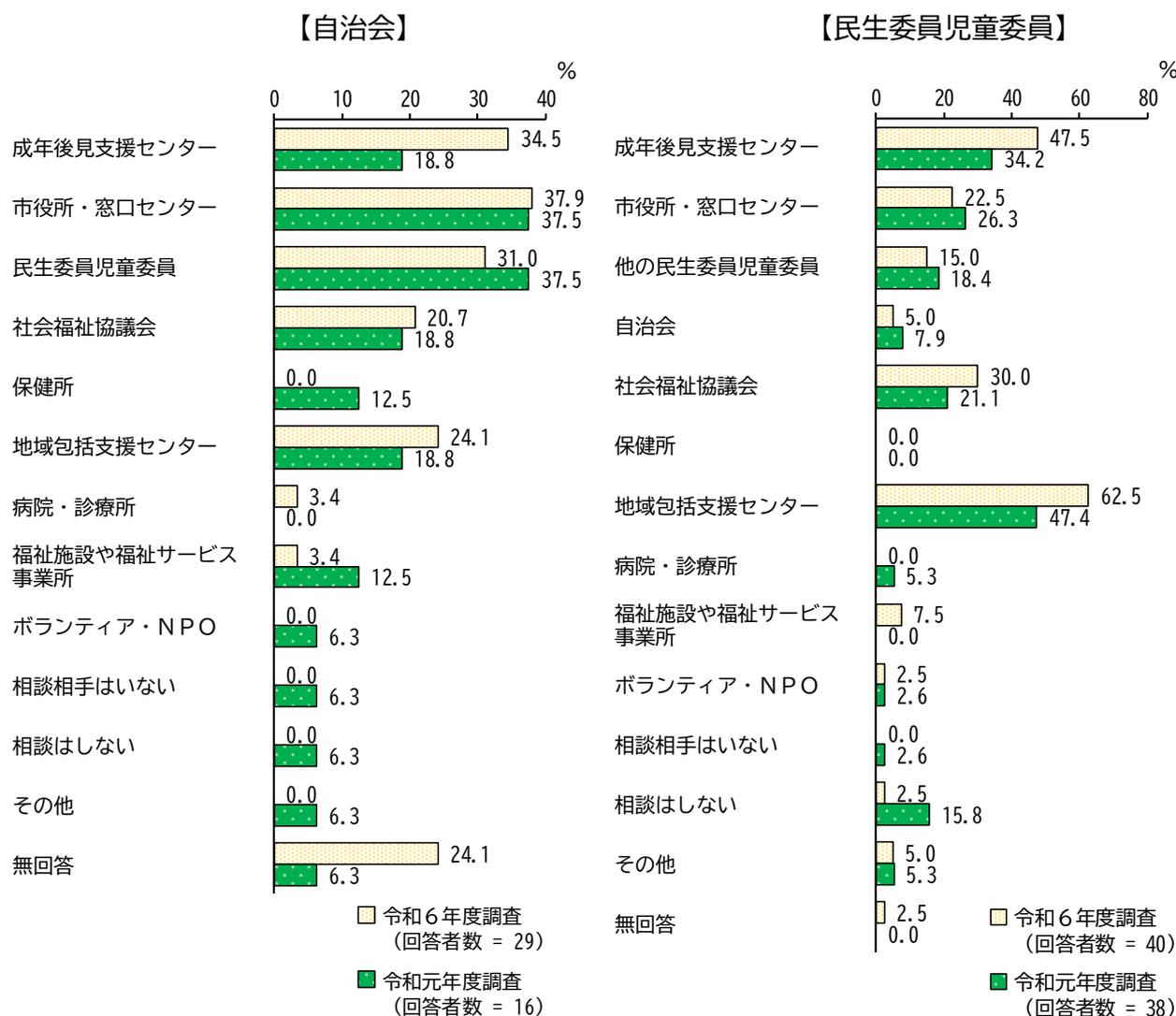
問 地域の中で成年後見制度が必要と思われる方がいたとき、どこ（誰）に相談しますか。  
【3つまで○印】（自治会：問 16-2、民生委員児童委員：問 19-2）

自治会は、「市役所・窓口センター」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「成年後見支援センター」の割合が 34.5%、「民生委員児童委員」の割合が 31.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「成年後見支援センター」、「地域包括支援センター」の割合が増加しています。一方、「民生委員児童委員」、「保健所」、「福祉施設や福祉サービス事業所」、「ボランティア・NPO」、「相談相手はいない」、「相談はしない」の割合が減少しています。

民生委員児童委員は、「地域包括支援センター」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「成年後見支援センター」の割合が 47.5%、「社会福祉協議会」の割合が 30.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「成年後見支援センター」、「社会福祉協議会」、「地域包括支援センター」、「福祉施設や福祉サービス事業所」の割合が増加しています。一方、「病院・診療所」、「相談はしない」の割合が減少しています。



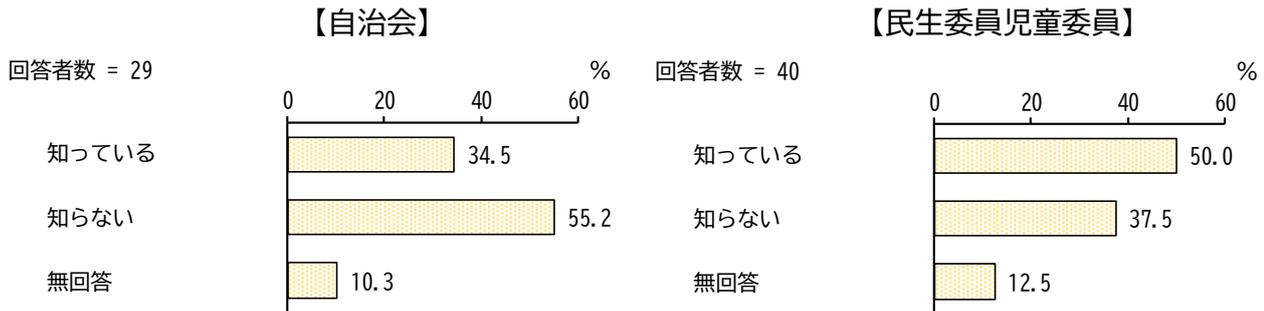
【新規】

前設問（自治会：問 16、民生委員児童委員：問 19）で「いる」を回答された方のみにお尋ねします。

問 民生委員児童委員や福祉施設等の職員を通じた市町村長申し立てにより成年後見制度が利用できることを知っていますか。【1つに○印】  
（自治会：問 16-3、民生委員児童委員：問 19-3）

自治会は、「知らない」の割合が 55.2%、「知っている」の割合が 34.5%となっています。

民生委員児童委員は、「知っている」の割合が 50.0%、「知らない」の割合が 37.5%となっています。



## (6) 再犯の防止等について

【新規】

問 あなたは地域の中で、保護司会、更生保護女性会、協力雇用主会、BBS会が再犯防止活動等を行っている団体や施設があることを知っていますか。

【それぞれ1つずつ〇印】(自治会：問17、民生委員児童委員：問20)

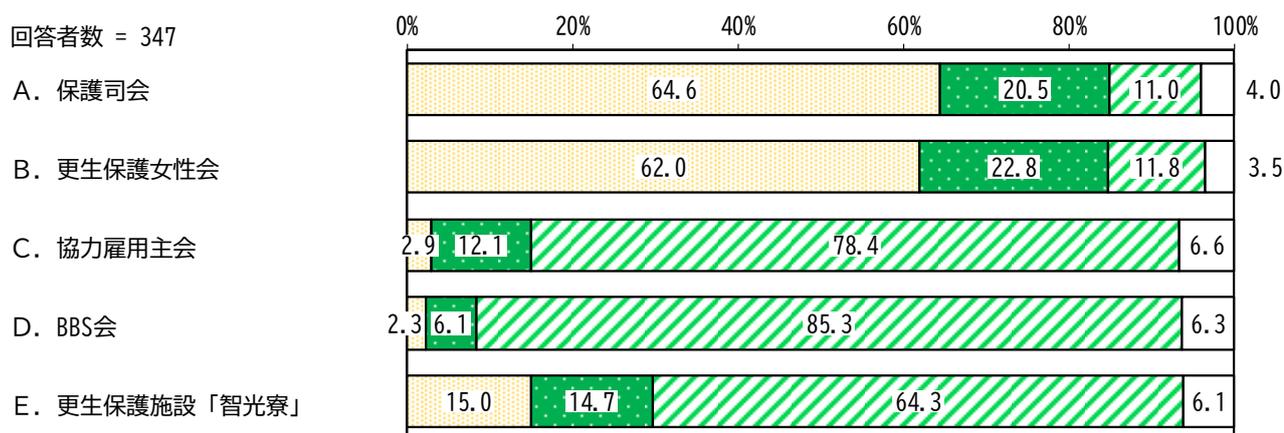
自治会は、「知っている」の割合が『A. 保護司会』で64.6%、『B. 更生保護女性会』で62.0%、「知らない」の割合が『C. 協力雇用主会』で78.4%、『D. BBS会』で85.3%、『E. 更生保護施設「智光寮」』で64.3%と高くなっています。

民生委員児童委員は、「知っている」の割合が『A. 保護司会』で63.1%、『B. 更生保護女性会』で55.7%、「知らない」の割合が『C. 協力雇用主会』で78.3%、『D. BBS会』で84.4%、『E. 更生保護施設「智光寮」』で64.5%と高くなっています。

- 知っている
- 名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- ▨ 知らない
- 無回答

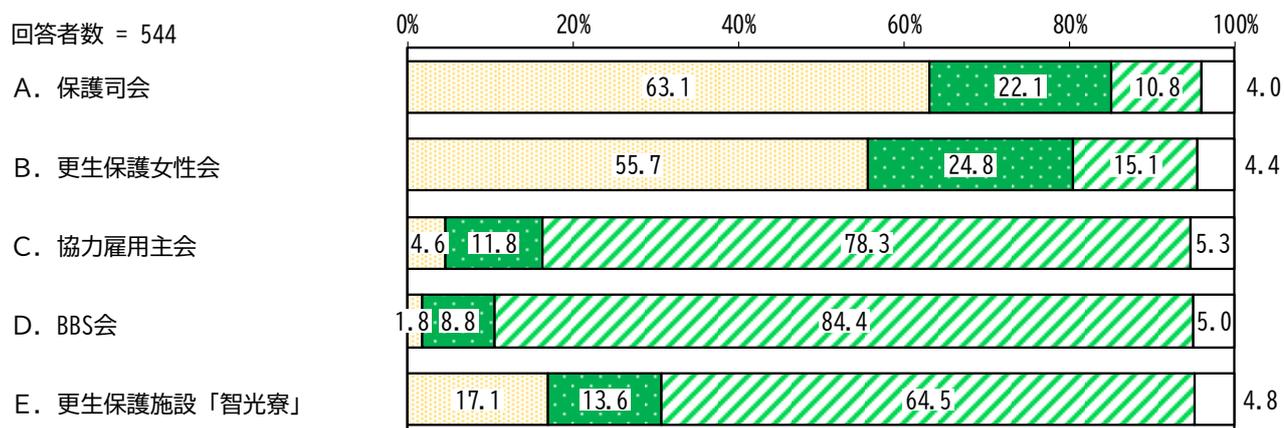
【自治会】

回答者数 = 347



【民生委員児童委員】

回答者数 = 544



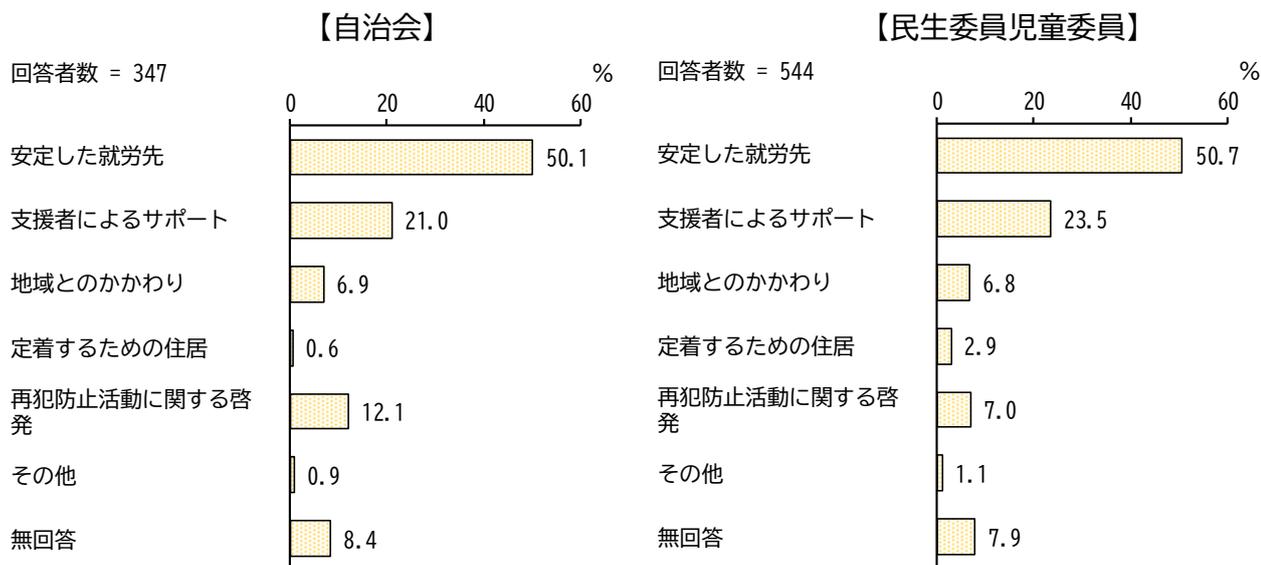
【新規】

問 豊橋市では「再犯防止推進計画」を定めていますが、犯罪をした者等が復帰に向けて地域社会の中で孤立することなく、自立した社会の構成員として安定した生活を送るために必要なものについてあなたの考えに最も近いものをお答えください。

【1つに○印】（自治会：問 18、民生委員児童委員：問 21）

自治会は、「安定した就労先」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「支援者によるサポート」の割合が 21.0%、「再犯防止活動に関する啓発」の割合が 12.1%となっています。

民生委員児童委員は、「安定した就労先」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「支援者によるサポート」の割合が 23.5%となっています。



## (7) 自由回答

今後、住みよい福祉のまちづくりを進めていくために、地域福祉に関するご意見やアイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。

### <自治会>

カテゴリー	件数
1 地域について	9
・住みよいまちづくりを進めてほしい	4
・時代に合った市営墓地の在り方を検討してほしい	1
・保護司の担い手不足が心配	1
・更生保護女性会の担い手不足が心配	1
・地域で役割を担っている組織の整理・在り方の見直しが必要	2
2 ご近所での助け合いについて	2
・地域のつながりが希薄化している	2
3 町内や小学校区での活動について	8
・様々な団体が協働した活動を検討してほしい	1
・町内で住民のために取組みを進めていきたい	1
・活動が盛んになる取組みを検討してほしい	1
・活動場所を整備してほしい	2
・集合住宅の住民が地域活動に参加できる取組みを進めてほしい	1
・校区での活動の在り方を検討してほしい	1
・老人クラブの在り方を検討してほしい	1
4 災害に対する備え等について	2
・災害に対する備えを充実してほしい	1
・災害対策に自信がなく不安である	1
5 ボランティア活動について	2
・ボランティアでは活動の担い手として不十分	1
・ボランティアではなく対価が必要	1
6 地域の福祉活動について	31
・地域福祉について周知してほしい	1
・様々な地域福祉活動の周知をしてほしい	5
・地域福祉活動の支援をしてほしい	1
・地域福祉活動には公的サービスだけでなく地域の活動が必要	1
・校区での活動を充実してほしい	1
・自治会としての活動には限界がある	4
・活動の拠点となる場所をつくってほしい	1
・個人情報保護による活動の妨げがある	4
・活動の担い手が不足している	2
・自分事として考えることが必要	1

カテゴリー	件数
・相談窓口の周知をしてほしい	6
・地域包括支援センターの周知をしてほしい	1
・行政サービスをより充実させてほしい	1
・市が主体となり行政サービスを変えていってほしい	1
・IT化の検討をしてほしい	1
7 アンケートについて	1
・アンケートが負担である	1
8 その他	23
・自治会の在り方を検討してほしい	7
・民生委員児童委員の在り方を検討してほしい	2
・行政による情報発信を進めてほしい	2
・行政による情報発信の在り方を見直してほしい	1
・行政の制度見直しが必要	10
・更生のための施設が地域にあることが不安だ	1

<民生委員児童委員>

カテゴリー	件数
1 地域について	68
・地域住民が集える居場所を増やすことが必要	11
・地域にあった方法での居場所づくりが重要	1
・高齢者の健康寿命を延ばす取組みが大切	1
・ワークショップの開催をしてほしい	1
・外出しやすい環境の整備をしてほしい	7
・隣近所の人たちとの交流が大事	15
・地域のつながりをどのように維持していくのかが課題である	1
・自治会の地域での関わり方の見直しが必要	1
・地域の中での連携や協力が大事	20
・孤立している家庭が心配である	1
・自治会未加入者の情報が得られず、見守り活動ができない	1
・地域に見守りが必要な人がいる	1
・自ら助けが必要だと周りに言える人が少ない	3
・ゆとりのある寛容な社会でないと福祉は普及しない	1
・なにが必要かわからない	2
・空き家が多く心配である	1
2 地域での活動について	39
・地域の活動を知る機会があるとよい	1
・地道な活動こそ意味がある	1

カテゴリー	件数
・地域活動の活性化が必要	1
・誰もが参加しやすい活動が必要	1
・地域行事を推進してほしい	1
・地域行事の支援が必要	1
・高齢者が外出を楽しめるような行事の開催を検討してほしい	1
・民生委員の活動の活性化が必要	1
・見守り活動を続けていきたい	1
・個人情報保護法の影響で活動がしにくい	5
・地域の住民の情報について、行政は積極的に共有してほしい	7
・関係機関へつないだ結果を共有してほしい	2
・ボランティアを育成し増やしていくことが必要	2
・声かけボランティアの創出を提案	1
・地域の活動を支える人材育成の支援をしてほしい	1
・地域活動に参加する人材を育てる	1
・地域の困りごとの把握が必要	1
・どのような支援をしていったらよいか分からず悩む	1
・孤立している人たちとどのように接すればよいか分からない	4
・人が変わっても情報や活動が継続されるまちづくりを実践する	1
・地域で助け合い関係をつくり、活気のあるまちづくりを実践したい	1
・出来ることを手伝いたい	1
・避難行動要支援者の避難訓練を行ってほしい	2
3 住民が安全で安心して暮らせるよう再犯の防止等について	2
・犯罪歴のある人の社会復帰に対する理解を深めることが必要	1
・働くことで社会との繋がりができ社会復帰の足がかりとなることもある	1
4 アンケートについて	2
・アンケートに答えることで勉強になった	1
・質問内容に違和感がある	1
5 行政等による地域福祉施策について	46
・地域に気軽に相談できる窓口があると心強い	4
・相談先を適切に案内してくれる相談窓口を設置してほしい	1
・業務時間外に連絡がつく体制を整えてほしい	8
・福祉サービスについて市がもっと広報してほしい	3
・適切な福祉サービスへの誘導が必要	1
・気軽に市民が声を届けることができる仕組みが必要	1
・支援を必要としている人たちの意見に耳を傾けるべき	1
・支援が必要な人に寄り添う支援が必要	1
・支援方法についての研修をしてほしい	1

カテゴリー	件数
・市が率先して体制をつくり地域福祉に関わるべき	7
・地域福祉活動の内容について市がもっと広報してほしい	7
・誰もが気軽に手伝い、参加できる仕組みが必要	1
・活動に参加できない人への支援方法を検討してほしい	1
・地図など基礎情報を配布してほしい	1
・居場所づくりのための補助金があるとよい	1
・ボランティア活動の質の向上に向けた取組みが必要	1
・「見守りボランティア事業」の負担が大きい	1
・住民の意識向上のための取組みをしてほしい	1
・公共施設の利用制限や場所を検討してほしい	3
・成年後見制度の講習会を増やしてほしい	1
6 民生委員児童委員の活動について	33
・活動内容の見直しが必要	29
・民生委員の担い手が不足している	4
7 その他	1
・個人情報保護制度について詳しく教えてほしい	1

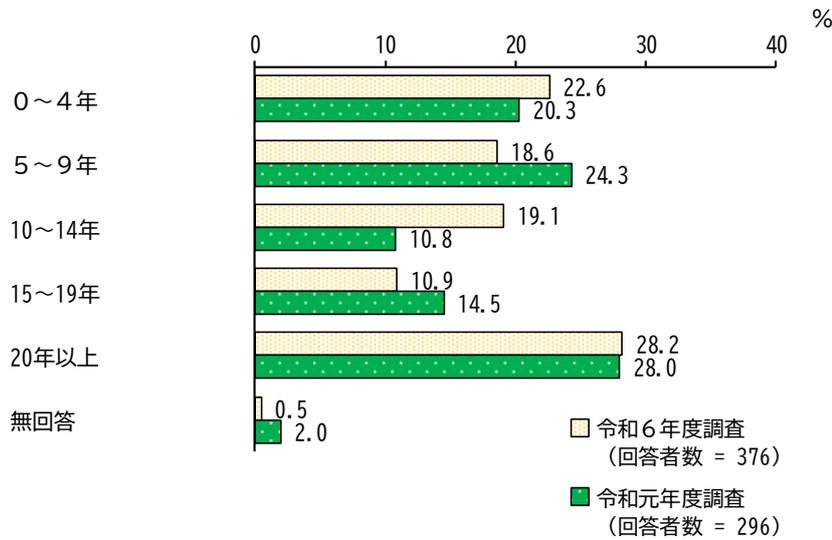
### 3 福祉・子ども関係事業所

#### (1) 事業所について

##### 問1 貴事業所の本市での活動歴を教えてください。【1つに○印】

「20年以上」の割合が28.2%と最も高く、次いで「0～4年」の割合が22.6%、「10～14年」の割合が19.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「10～14年」の割合が増加しています。一方、「5～9年」の割合が減少しています。

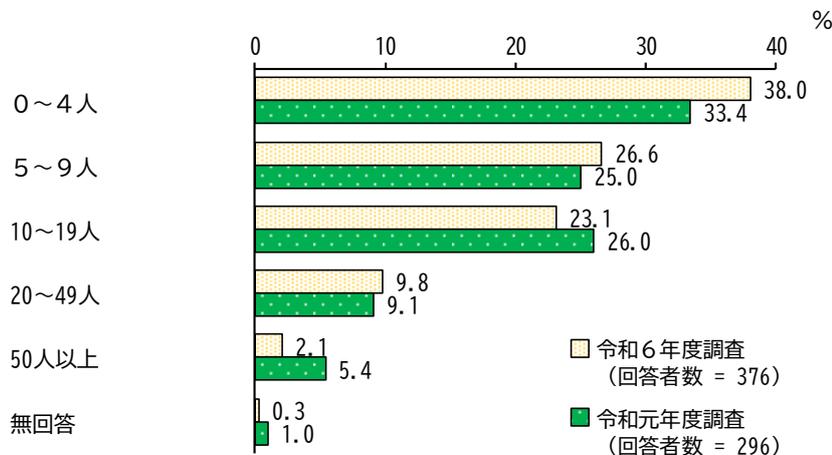


##### 問2 貴事業所の職員数を教えてください。【それぞれ1つに○印】

###### ◎正規職員

「0～4人」の割合が38.0%と最も高く、次いで「5～9人」の割合が26.6%、「10～19人」の割合が23.1%となっています。

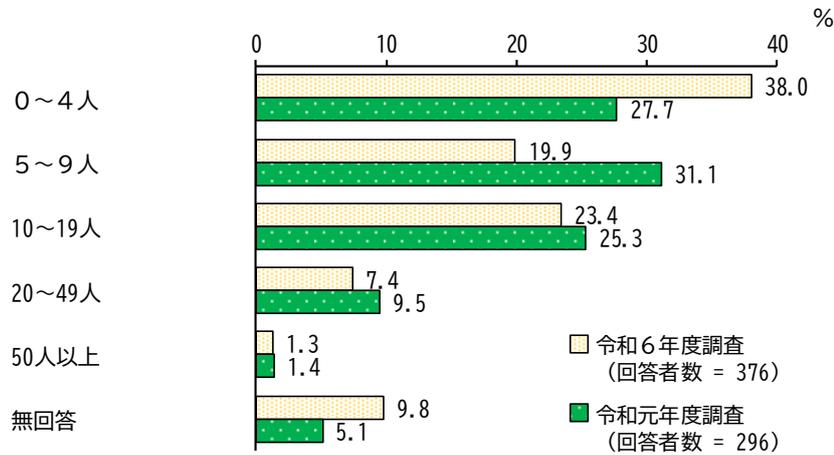
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



◎パート職員等

「0～4人」の割合が38.0%と最も高く、次いで「10～19人」の割合が23.4%、「5～9人」の割合が19.9%となっています。

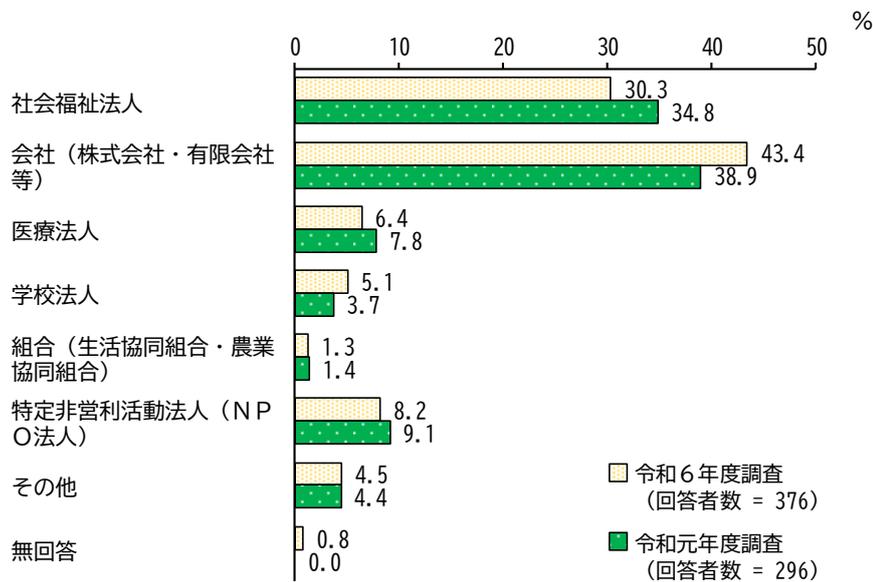
令和元年度調査と比較すると、「0～4人」の割合が増加しています。一方、「5～9人」の割合が減少しています。



問3 貴事業所の運営形態を教えてください。【1つに○印】

「会社（株式会社・有限会社等）」の割合が43.4%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が30.3%となっています。

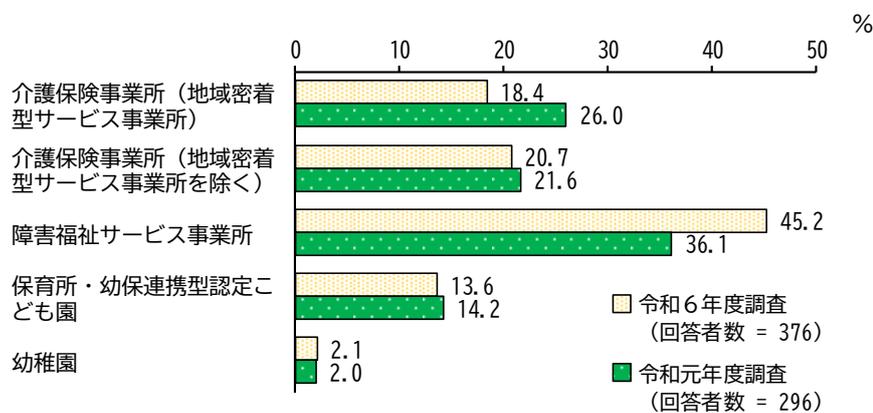
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 問4 貴事業所の事業分野を教えてください。【1つに○印】

「障害福祉サービス事業所」の割合が45.2%と最も高く、次いで「介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）」の割合が20.7%、「介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）」の割合が18.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「障害福祉サービス事業所」の割合が増加しています。一方、「介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）」の割合が減少しています。



※前回調査では、「保育所・幼保連携型認定こども園」の選択肢は「保育所」となっていました。

#### 【活動歴別】

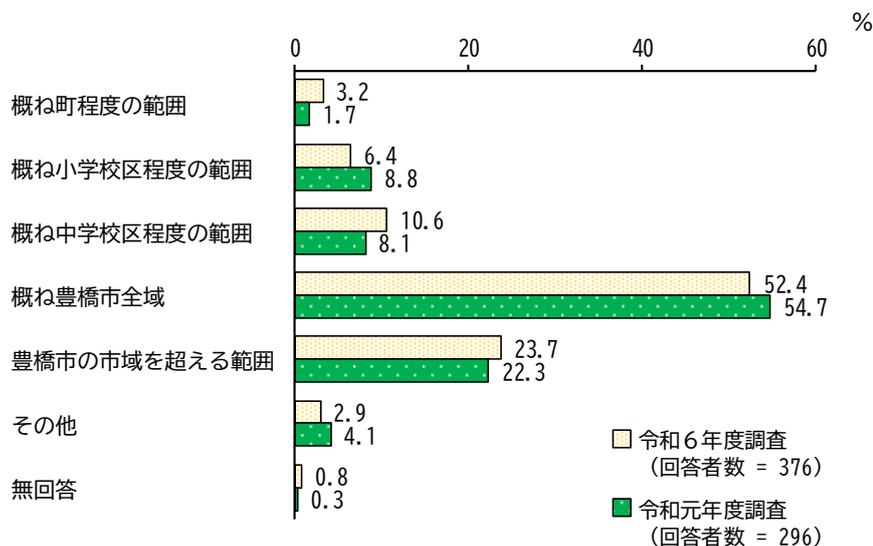
活動歴別にみると、0～4年で「障害福祉サービス事業所」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	介護保険事業所 (地域密着型サービス事業所)	介護保険事業所 (地域密着型サービス事業所を除く)	障害福祉サービス事業所	保育所・幼保連携型認定こども園	幼稚園
全体	376	18.4	20.7	45.2	13.6	2.1
0～4年	85	12.9	7.1	75.3	4.7	—
5～9年	70	27.1	12.9	55.7	4.3	—
10～14年	72	33.3	19.4	47.2	—	—
15～19年	41	17.1	43.9	39.0	—	—
20年以上	106	7.5	28.3	15.1	41.5	7.5

## 問5 貴事業所の活動範囲は次のうちどれですか【1つに○印】

「概ね豊橋市全域」の割合が52.4%と最も高く、次いで「豊橋市の市域を超える範囲」の割合が23.7%、「概ね中学校区程度の範囲」の割合が10.6%となっています。  
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「概ね小学校区程度の範囲」の割合が高くなっています。

単位：%

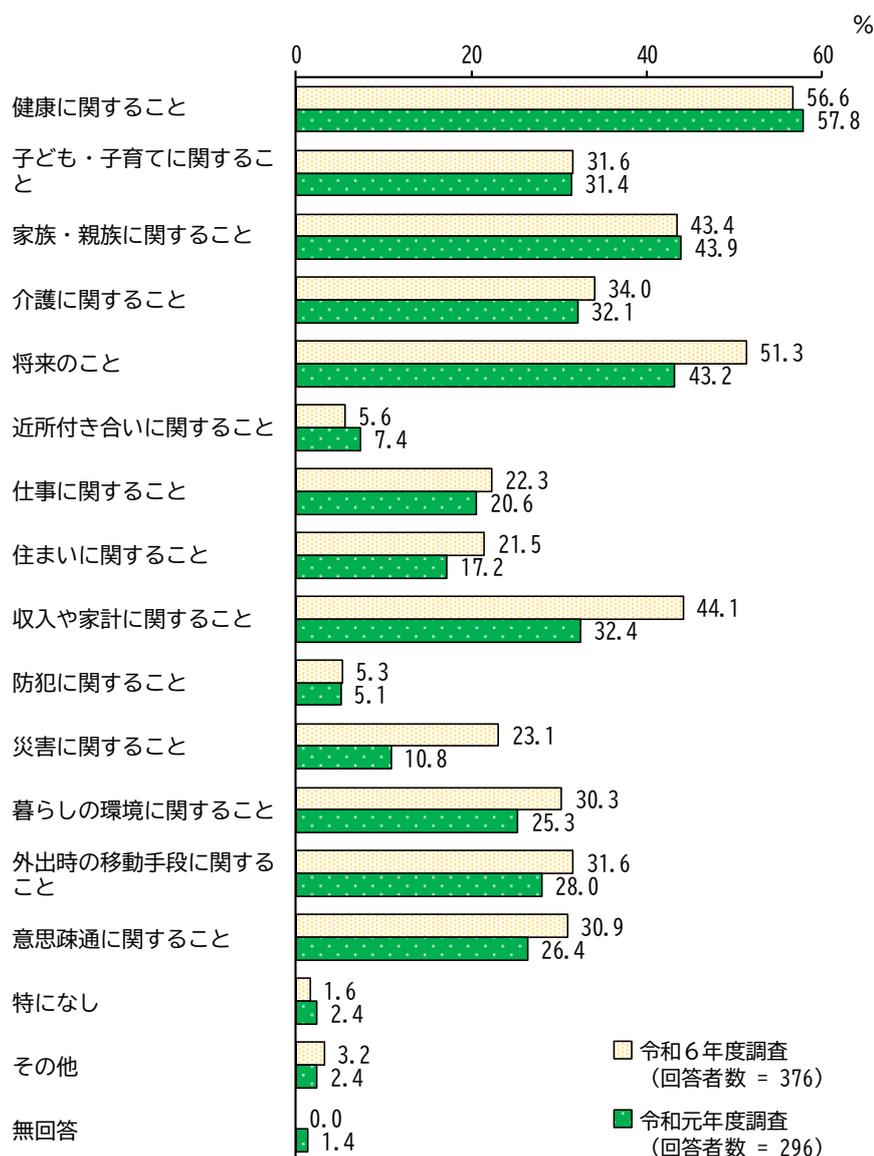
区分	回答者数(件)	概ね町程度の範囲	概ね小学校区程度の範囲	概ね中学校区程度の範囲	概ね豊橋市全域	豊橋市の市域を超える範囲	その他	無回答
全体	376	3.2	6.4	10.6	52.4	23.7	2.9	0.8
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	2.9	4.3	11.6	59.4	14.5	7.2	—
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	1.3	2.6	14.1	50.0	25.6	5.1	1.3
障害福祉サービス事業所	170	3.5	2.4	2.9	58.8	31.2	0.6	0.6
保育所・幼保連携型認定こども園	51	5.9	25.5	29.4	29.4	5.9	2.0	2.0
幼稚園	8	—	25.0	12.5	25.0	37.5	—	—

## (2) 事業所の利用者について

問6 利用者と接する中で、利用者の方々が特にどのようなことで困っている、または不安を抱えているとお感じですか。【あてはまるものすべてに○印】

「健康に関すること」の割合が56.6%と最も高く、次いで「将来のこと」の割合が51.3%、「収入や家計に関すること」の割合が44.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「将来のこと」、「収入や家計に関すること」、「災害に関すること」の割合が増加しています。



【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「子ども・子育てに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

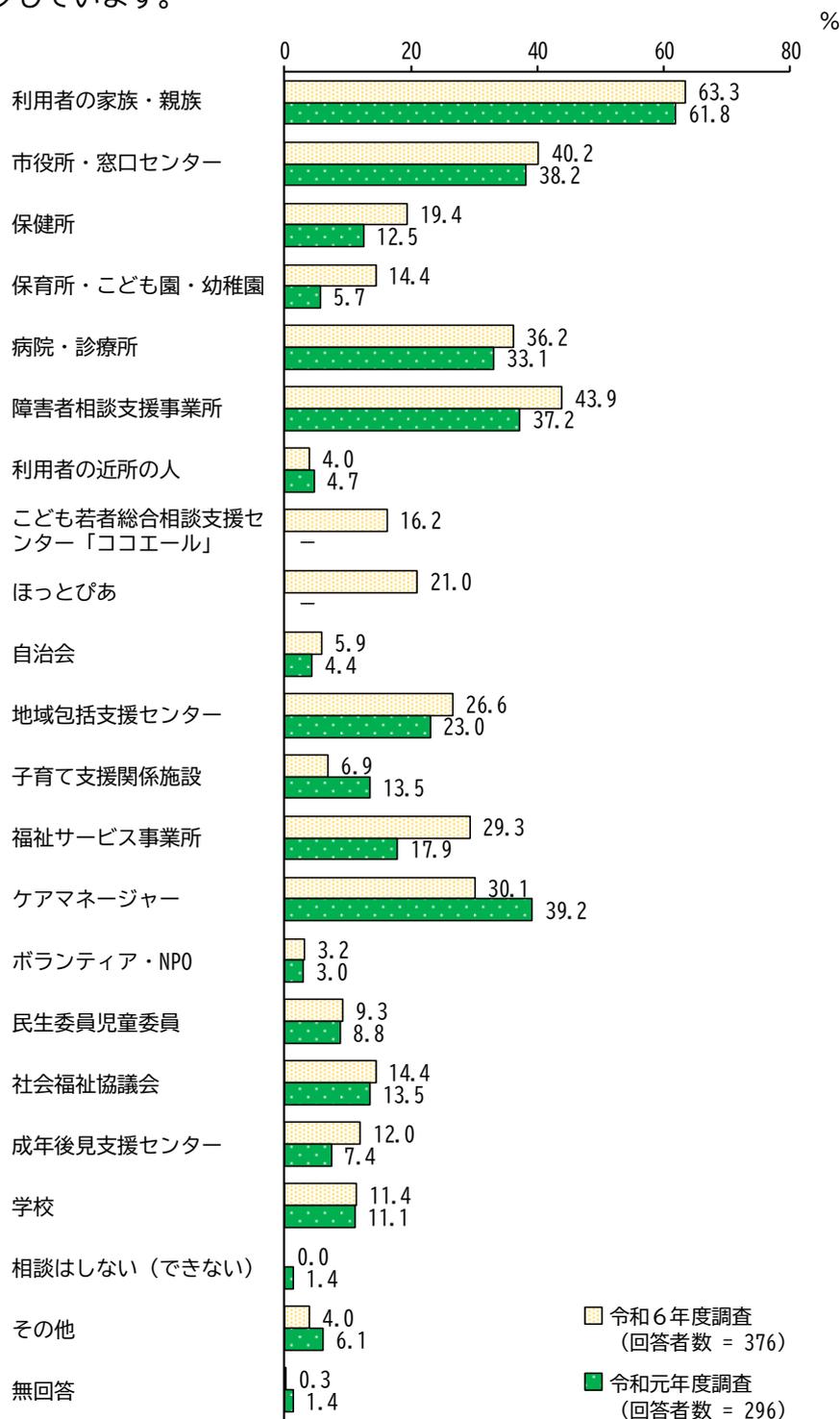
区分	回答者数(件)	健康に関すること	子ども・子育てに関すること	家族・親族に関すること	介護に関すること	将来のこと	近所付き合いに関すること	仕事に関すること	住まいに関すること
全 体	376	56.6	31.6	43.4	34.0	51.3	5.6	22.3	21.5
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	78.3	1.4	46.4	62.3	29.0	4.3	2.9	15.9
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	79.5	1.3	57.7	78.2	38.5	5.1	—	29.5
障害福祉サービス事業所	170	45.3	35.9	38.8	11.2	78.8	7.6	36.5	26.5
保育所・幼保連携型認定こども園	51	37.3	94.1	37.3	7.8	15.7	2.0	37.3	3.9
幼稚園	8	12.5	100.0	12.5	12.5	12.5	—	12.5	—

区分	収入や家計に関すること	防犯に関すること	災害に関すること	暮らしの環境に関すること	外出時の移動手段に関すること	意思疎通に関すること	特になし	その他	無回答
全 体	44.1	5.3	23.1	30.3	31.6	30.9	1.6	3.2	—
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	37.7	2.9	15.9	31.9	42.0	26.1	4.3	—	—
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	51.3	5.1	32.1	46.2	55.1	24.4	—	1.3	—
障害福祉サービス事業所	51.2	6.5	24.1	28.8	26.5	44.1	1.8	4.7	—
保育所・幼保連携型認定こども園	23.5	5.9	19.6	13.7	3.9	7.8	—	5.9	—
幼稚園	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—

問7 困っている、または不安を抱えている利用者の方々がいた場合、どこ（誰）に相談していますか。【あてはまるものすべてに○印】

「利用者の家族・親族」の割合が63.3%と最も高く、次いで「障害者相談支援事業所」の割合が43.9%、「市役所・窓口センター」の割合が40.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「保健所」、「保育所・こども園・幼稚園」、「障害者相談支援事業所」、「福祉サービス事業所」の割合が増加しています。一方、「子育て支援関係施設」、「ケアマネージャー」の割合が減少しています。



※前回調査では、「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」、「ほっとぴあ」の選択肢はありませんでした。

【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」の割合が高くなっています。

単位：％

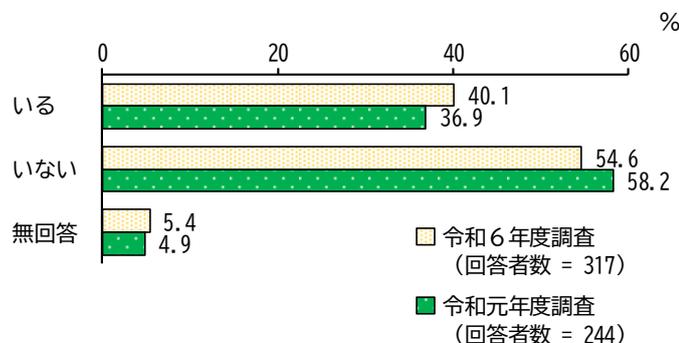
区分	回答者数(件)	利用者の家族・親族	市役所・窓口センター	保健所	園 保育所・こども園・幼稚園	病院・診療所	障害者相談支援事業所	利用者の近所の人	こども若者総合相談支援センター「ココエール」	ほっとぴあ	自治会	地域包括支援センター
全体	376	63.3	40.2	19.4	14.4	36.2	43.9	4.0	16.2	21.0	5.9	26.6
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	78.3	29.0	4.3	—	29.0	1.4	4.3	—	—	4.3	50.7
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	79.5	39.7	23.1	—	53.8	11.5	9.0	—	6.4	10.3	61.5
障害福祉サービス事業所	170	60.6	38.8	11.2	11.8	32.4	87.1	2.4	15.9	42.9	2.9	9.4
保育所・幼保連携型認定こども園	51	33.3	60.8	58.8	56.9	33.3	13.7	2.0	60.8	2.0	11.8	2.0
幼稚園	8	25.0	37.5	37.5	62.5	25.0	—	—	37.5	—	—	—

区分	子育て支援関係施設	福祉サービス事業所	ケアマネージャー	ボランティア・NPO	民生委員児童委員	社会福祉協議会	成年後見支援センター	学校	相談はしない(できない)	その他	無回答
全体	6.9	29.3	30.1	3.2	9.3	14.4	12.0	11.4	—	4.0	0.3
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	—	18.8	66.7	2.9	7.2	14.5	4.3	—	—	4.3	1.4
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	—	32.1	66.7	5.1	19.2	26.9	24.4	—	—	2.6	—
障害福祉サービス事業所	4.7	41.8	8.2	2.9	2.9	12.9	12.9	21.2	—	5.3	—
保育所・幼保連携型認定こども園	33.3	2.0	2.0	2.0	19.6	2.0	—	13.7	—	2.0	—
幼稚園	12.5	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	—

問4で「介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）」、「介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）」、「障害福祉サービス事業所」のいずれかを回答された事業所のみにお尋ねします。

**問8 利用者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。【1つに○印】**

「いない」の割合が54.6%、「いる」の割合が40.1%となっています。  
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**【事業分野別】**

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）で「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

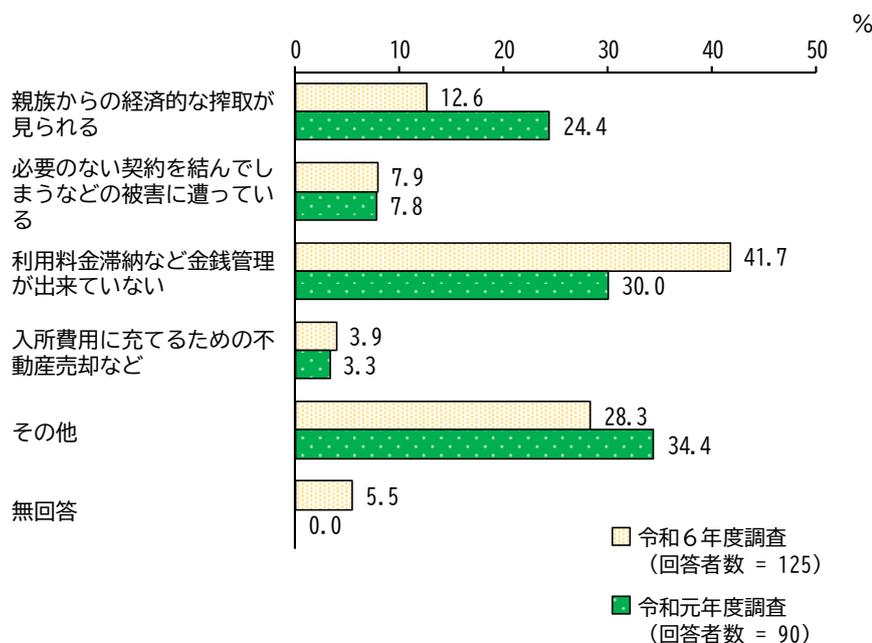
区分	回答者数（件）	いる	いない	無回答
全体	317	40.1	54.6	5.4
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	30.4	66.7	2.9
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	50.0	42.3	7.7
障害福祉サービス事業所	170	39.4	55.3	5.3
保育所・幼保連携型認定こども園	—	—	—	—
幼稚園	—	—	—	—

問8で「いる」を回答された事業所のみにお尋ねします。

問8-1 それはどのような理由によるものですか。【1つに○印】

「利用料金滞納など金銭管理が出来ていない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「親族からの経済的な搾取が見られる」の割合が12.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用料金滞納など金銭管理が出来ていない」の割合が増加しています。一方、「親族からの経済的な搾取が見られる」の割合が減少しています。



【事業分野別】

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）で「親族からの経済的な搾取が見られる」の割合が高くなっています。

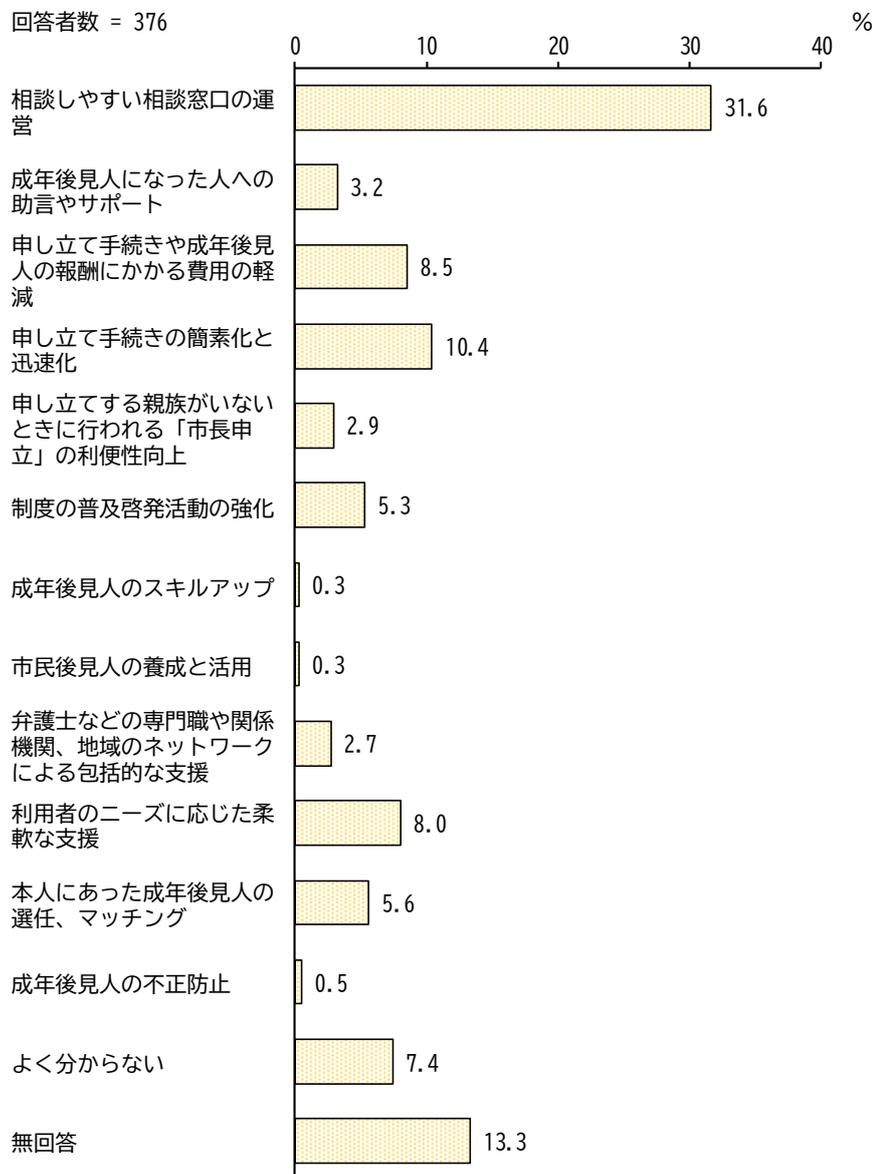
単位：%

区分	回答者数 (件)	親族からの経済的な搾取が見られる	必要のない契約を結んでしまうなどの被害に遭っている	利用料金滞納など金銭管理が出来ていない	入所費用に充てるための不動産売却など	その他	無回答
全体	127	12.6	7.9	41.7	3.9	28.3	5.5
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	21	19.0	9.5	28.6	—	28.6	14.3
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	39	2.6	2.6	46.2	12.8	33.3	2.6
障害福祉サービス事業所	67	16.4	10.4	43.3	—	25.4	4.5
保育所・幼保連携型認定こども園	—	—	—	—	—	—	—
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—

【新規】

問9 成年後見制度を利用しやすくするために、どんな取り組みが重要だと思いますか。  
【1つに○印】

「相談しやすい相談窓口の運営」の割合が31.6%と最も高く、次いで「申し立て手続きの簡素化と迅速化」の割合が10.4%となっています。



【事業分野別】

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）で「相談しやすい相談窓口の運営」の割合が高くなっています。

単位：％

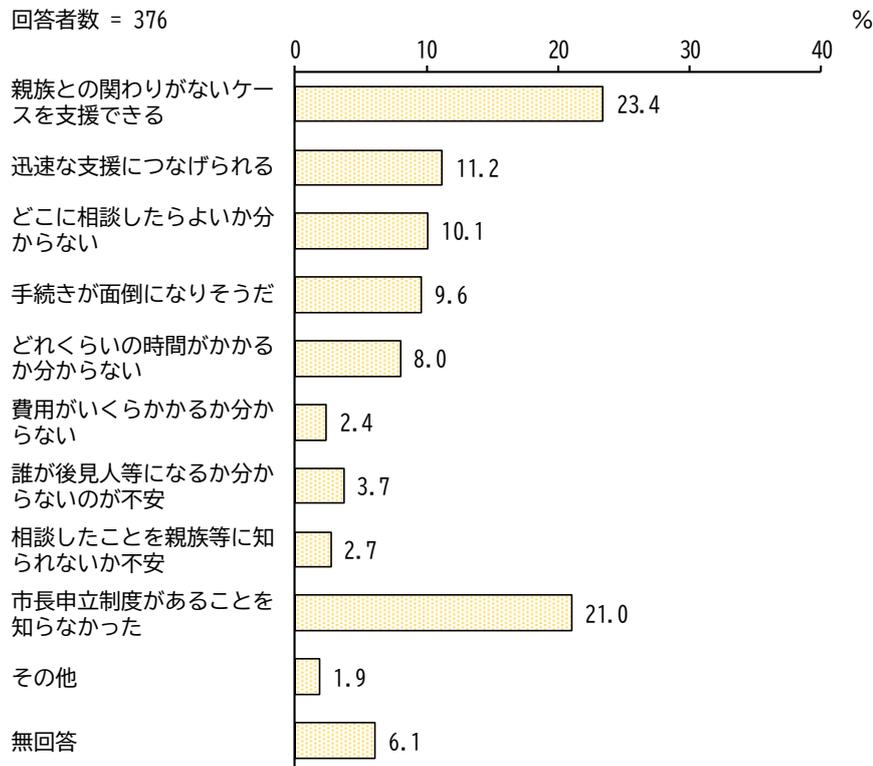
区分	回答者数（件）	相談しやすい相談窓口の運営	ポータルサイト 成人後見人になった人への助言やサポート	減に成年後見費用の軽減	申し立ての手続きや成年後見人の報酬	簡素化と迅速化 申し立て手続きの簡素化と迅速化	の利便性向上 「市長申立」の利便性向上	動の強化 制度の普及啓発活動の強化	ルアップ 成年後見人のスキルアップ
全 体	376	31.6	3.2	8.5	10.4	2.9	5.3	0.3	
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	50.7	—	4.3	7.2	1.4	5.8	—	
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	25.6	1.3	24.4	24.4	5.1	1.3	—	
障害福祉サービス事業所	170	25.9	4.1	5.9	6.5	3.5	8.2	0.6	
保育所・幼保連携型認定こども園	51	37.3	5.9	—	5.9	—	2.0	—	
幼稚園	8	12.5	12.5	—	12.5	—	—	—	

区分	市民後見人の養成と活用	職や関係機関、地域のネットワークによる包括的な支援	利用者へのニーズに応じた柔軟な支援	本人に合った成年後見人の選任、マッチング	成年後見人の不正防止	よく分からない	無回答
全 体	0.3	2.7	8.0	5.6	0.5	7.4	13.3
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	—	2.9	4.3	1.4	—	2.9	18.8
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	—	2.6	3.8	1.3	—	—	10.3
障害福祉サービス事業所	0.6	3.5	12.4	10.6	0.6	8.8	8.8
保育所・幼保連携型認定こども園	—	—	5.9	2.0	—	17.6	23.5
幼稚園	—	—	—	—	12.5	25.0	25.0

【新規】

問 10 親族の協力を得られなかったり虐待等によって、親族の申立人が立てられない場合に、民生委員や福祉関係者等を通じて行われる「市長申立」について、どのような印象をお持ちですか。【1つに○印】

「親族との関わりがないケースを支援できる」の割合が 23.4%と最も高く、次いで「市長申立制度があることを知らなかった」の割合が 21.0%、「迅速な支援につなげられる」の割合が 11.2%となっています。



【事業分野別】

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）で「どれくらいの時間がかかるか分からない」の割合が高くなっています。

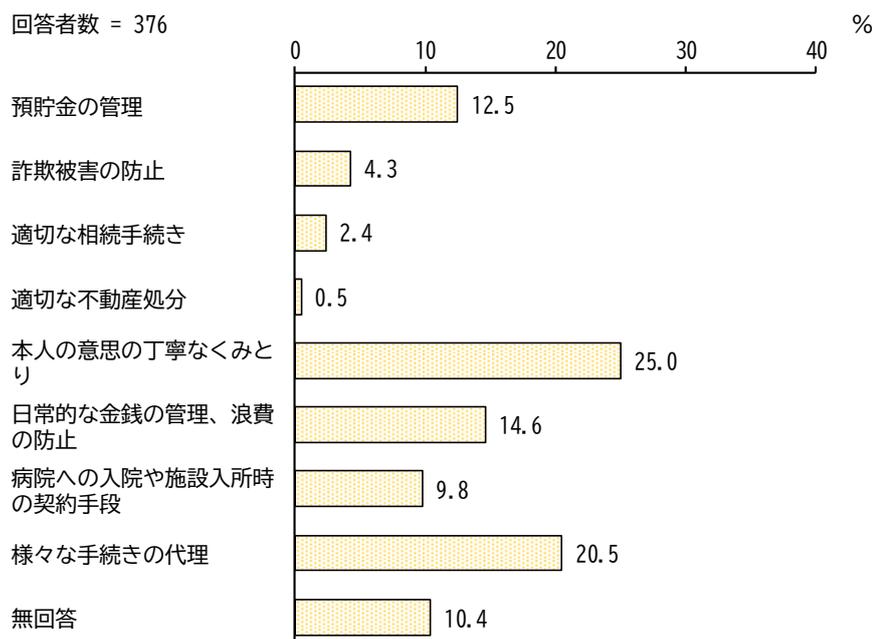
単位：％

区分	回答者数（件）	親族との関わりがないケースを支援できる	迅速な支援につなげられる	どこに相談したらよいか分からない	手続きが面倒になりそう	どれくらいの時間がかかるか分からない	費用がいくらかかるか分からない	誰が後見人等になるか分からないのが不安	相談したことを親族等に知られないか不安	市長申立制度があることを知らなかった	その他	無回答
全 体	376	23.4	11.2	10.1	9.6	8.0	2.4	3.7	2.7	21.0	1.9	6.1
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	24.6	13.0	15.9	11.6	7.2	1.4	1.4	4.3	17.4	—	2.9
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	25.6	5.1	6.4	16.7	19.2	2.6	1.3	—	10.3	3.8	9.0
障害福祉サービス事業所	170	23.5	12.9	10.0	7.6	4.7	3.5	5.9	3.5	23.5	1.2	3.5
保育所・幼保連携型認定こども園	51	15.7	13.7	9.8	3.9	3.9	—	3.9	2.0	31.4	3.9	11.8
幼稚園	8	37.5	—	—	—	—	—	—	—	37.5	—	25.0

【新規】

問 11 成年後見制度による支援に期待することは何ですか。【1つに○印】

「本人の意思の丁寧なくみとり」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「様々な手続きの代理」の割合が 20.5%、「日常的な金銭の管理、浪費の防止」の割合が 14.6%となっています。

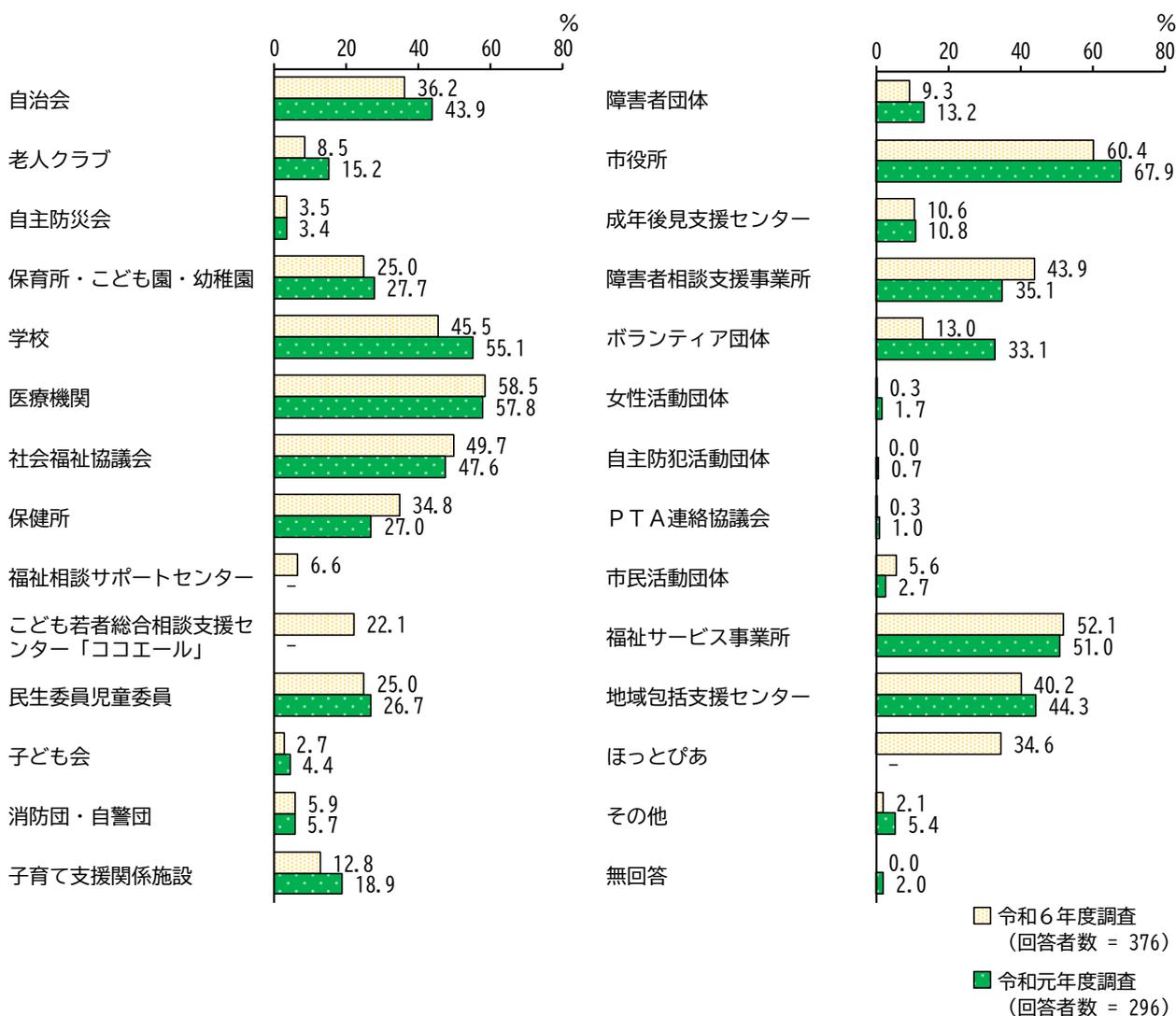


### (3) 地域の諸団体や関係機関との交流・連携について

問12 貴事業所が、普段から交流・連携している地域の諸団体や関係機関は何ですか。  
【あてはまるものすべてに○印】

「市役所」の割合が60.4%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が58.5%、「福祉サービス事業所」の割合が52.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「保健所」、「障害者相談支援事業所」の割合が増加しています。一方、「自治会」、「老人クラブ」、「学校」、「子育て支援関係施設」、「市役所」、「ボランティア団体」の割合が減少しています。



※前回調査では、「福祉相談サポートセンター」、「こども若者総合相談支援センター「ココエール」、「ほっとぴあ」の選択肢はありませんでした。

【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」の割合が高くなっています。

単位：％

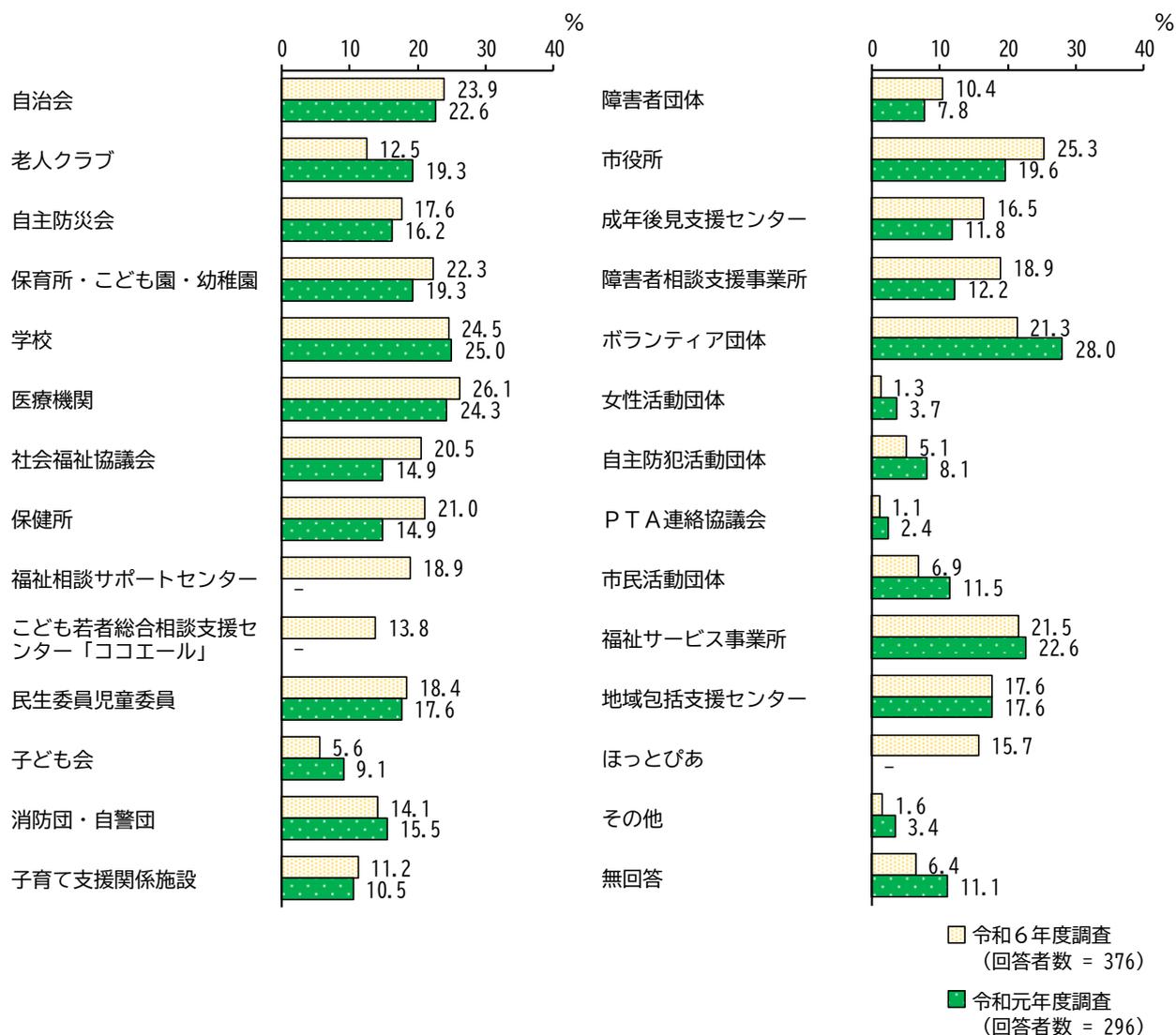
区分	回答者数(件)	自治会	老人クラブ	自主防災会	園 保育所・こども園・幼稚	学校	医療機関	社会福祉協議会	保健所	福祉相談サポートセンタ	こども若者総合相談支援センター「ココエール」	民生委員児童委員	子ども会	消防団・自警団	子育て支援関係施設
全 体	376	36.2	8.5	3.5	25.0	45.5	58.5	49.7	34.8	6.6	22.1	25.0	2.7	5.9	12.8
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	75.4	17.4	7.2	7.2	31.9	53.6	59.4	14.5	4.3	—	55.1	1.4	2.9	—
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	29.5	14.1	6.4	1.3	12.8	73.1	67.9	33.3	11.5	—	30.8	1.3	1.3	—
障害福祉サービス事業所	170	18.2	1.8	1.2	25.3	50.0	55.3	47.1	27.1	7.1	21.2	4.7	2.4	5.3	8.2
保育所・幼保連携型認定こども園	51	51.0	11.8	2.0	78.4	90.2	54.9	25.5	88.2	2.0	82.4	47.1	5.9	13.7	58.8
幼稚園	8	50.0	—	—	62.5	100.0	50.0	—	50.0	—	62.5	—	12.5	37.5	50.0

区分	障害者団体	市役所	成年後見支援センター	障害者相談支援事業所	ボランティア団体	女性活動団体	自主防犯活動団体	PTA連絡協議会	市民活動団体	福祉サービス事業所	地域包括支援センター	ほっとぴあ	その他	無回答
全 体	9.3	60.4	10.6	43.9	13.0	0.3	—	0.3	5.6	52.1	40.2	34.6	2.1	—
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	2.9	49.3	5.8	1.4	24.6	—	—	—	8.7	49.3	84.1	1.4	2.9	—
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	3.8	60.3	16.7	16.7	19.2	—	—	—	1.3	64.1	82.1	11.5	1.3	—
障害福祉サービス事業所	16.5	55.3	13.5	86.5	8.8	0.6	—	—	8.2	62.9	15.9	68.2	2.4	—
保育所・幼保連携型認定こども園	3.9	92.2	—	7.8	3.9	—	—	2.0	—	7.8	3.9	7.8	2.0	—
幼稚園	—	62.5	—	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	—

問 13 貴事業所が、今後交流してみたい、または連携が必要であるとする地域の諸団体や関係機関は何ですか。【あてはまるものすべてに○印】

「医療機関」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「市役所」の割合が 25.3%、「学校」の割合が 24.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「社会福祉協議会」、「保健所」、「市役所」、「障害者相談支援事業所」の割合が増加しています。一方、「老人クラブ」、「ボランティア団体」の割合が減少しています。



※前回調査では、「福祉相談サポートセンター」、「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」、「ほっとぴあ」の選択肢はありませんでした。

【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「こども若者総合相談支援センター「ココエール」」の割合が高くなっています。

単位：％

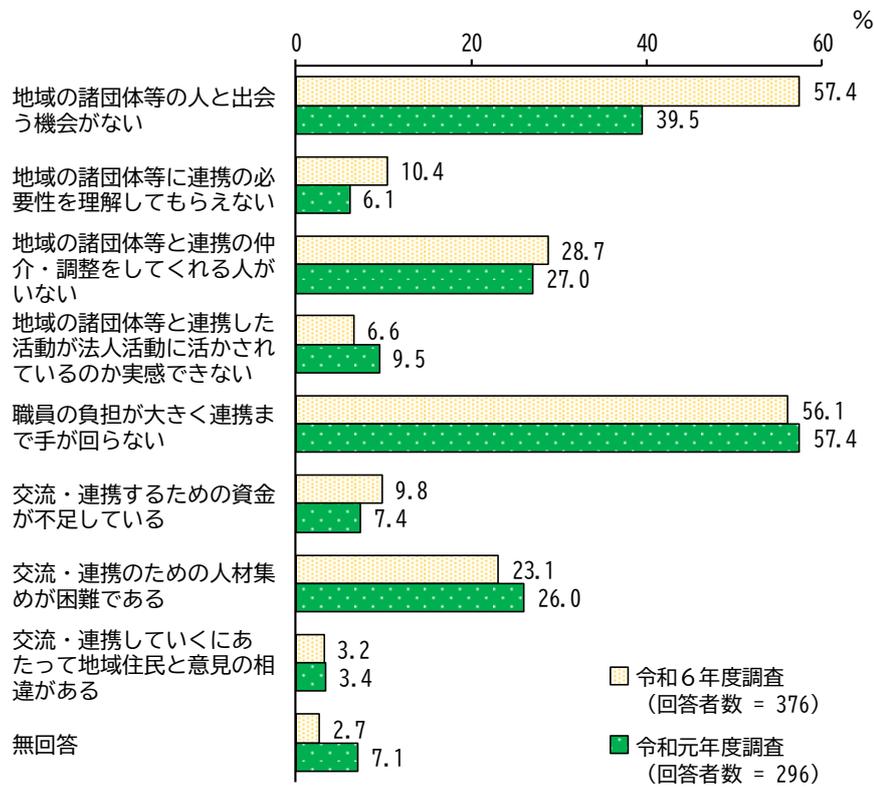
区分	回答者数(件)	自治会	老人クラブ	自主防災会	園	保育所・こども園・幼稚園	学校	医療機関	社会福祉協議会	保健所	福祉相談サポートセンター	こども若者総合相談支援センター「ココエール」	民生委員児童委員	子ども会	消防団・自警団	子育て支援関係施設
全体	376	23.9	12.5	17.6	22.3	24.5	26.1	20.5	21.0	18.9	13.8	18.4	5.6	14.1	11.2	
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	31.9	24.6	29.0	42.0	29.0	20.3	23.2	17.4	8.7	2.9	24.6	14.5	23.2	1.4	
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	24.4	17.9	21.8	10.3	10.3	19.2	17.9	16.7	33.3	5.1	23.1	3.8	10.3	—	
障害福祉サービス事業所	170	21.2	4.7	12.9	13.5	22.9	28.8	21.8	18.2	14.7	11.8	13.5	2.9	11.2	9.4	
保育所・幼保連携型認定こども園	51	25.5	15.7	13.7	41.2	45.1	35.3	19.6	41.2	27.5	45.1	21.6	3.9	15.7	41.2	
幼稚園	8	—	—	—	37.5	25.0	25.0	—	25.0	—	37.5	—	12.5	25.0	50.0	

区分	障害者団体	市役所	成年後見支援センター	障害者相談支援事業所	ボランティア団体	女性活動団体	自主防犯活動団体	PTA連絡協議会	市民活動団体	福祉サービス事業所	地域包括支援センター	ほっとぴあ	その他	無回答
全体	10.4	25.3	16.5	18.9	21.3	1.3	5.1	1.1	6.9	21.5	17.6	15.7	1.6	6.4
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	4.3	23.2	21.7	2.9	43.5	1.4	7.2	—	14.5	24.6	29.0	7.2	1.4	1.4
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	6.4	23.1	24.4	19.2	24.4	—	6.4	1.3	6.4	16.7	15.4	11.5	1.3	9.0
障害福祉サービス事業所	15.9	21.2	15.3	27.1	16.5	1.8	4.1	1.2	5.3	24.7	18.2	25.3	1.2	5.3
保育所・幼保連携型認定こども園	7.8	43.1	3.9	15.7	5.9	2.0	3.9	2.0	2.0	17.6	5.9	3.9	3.9	9.8
幼稚園	—	37.5	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	—	25.0

問 14 貴事業所が地域の諸団体や関係機関と交流・連携する際に課題となっているものは何ですか。【3つまで〇印】

「地域の諸団体等の人と出会う機会がない」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「職員の負担が大きく連携まで手が回らない」の割合が 56.1%、「地域の諸団体等と連携の仲介・調整をしてくれる人がいない」の割合が 28.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域の諸団体等の人と出会う機会がない」の割合が増加しています。



【事業分野別】

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）で「地域の諸団体等の人と出会う機会がない」の割合が高くなっています。

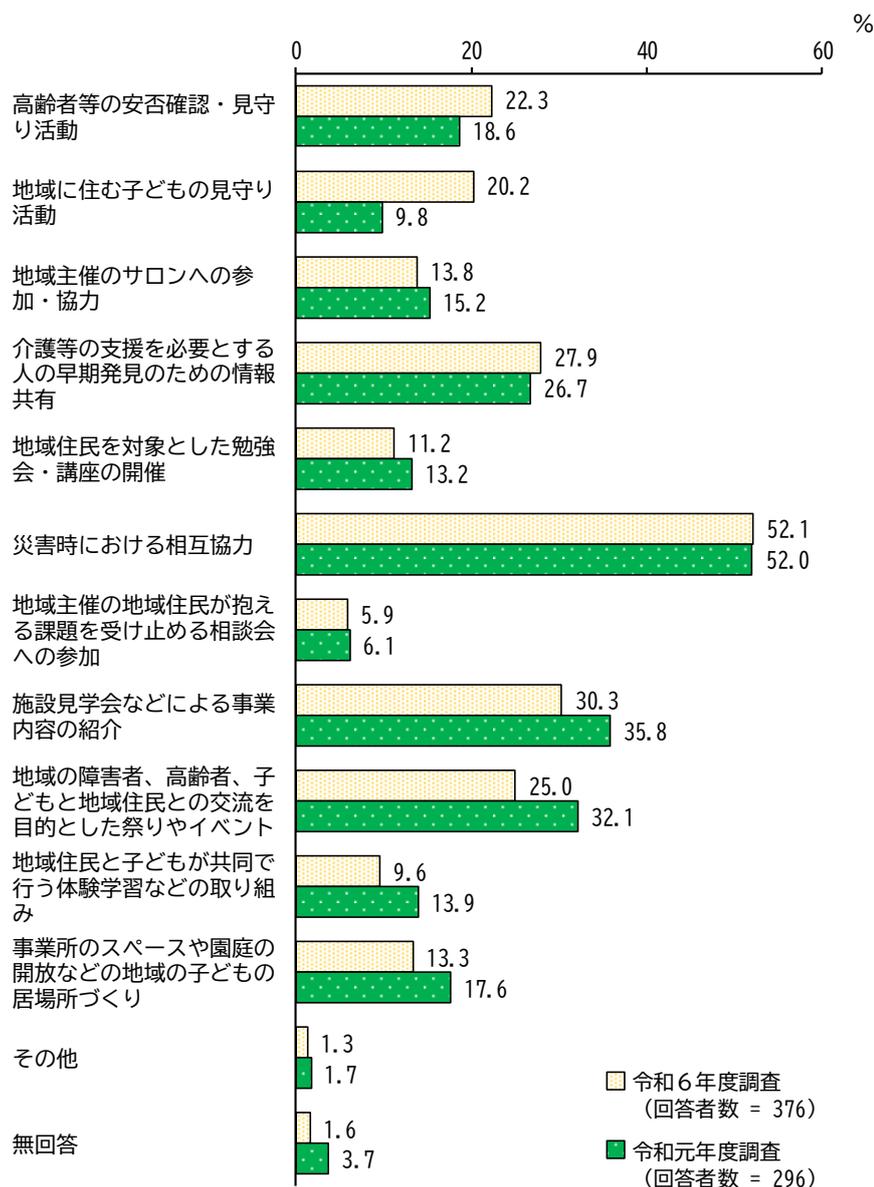
単位：％

区分	回答者数（件）	地域の諸団体等の人と出会う機会がない	地域の諸団体等に連携の必要性を理解してもらえない	地域の諸団体等と連携の仲介・調整をしてくれる人がいない	地域の諸団体等と連携した活動が法人活動に活かされていないのか実感できない	職員の負担が大きく連携まで手が回らない	交流・連携するための資金が不足している	交流・連携のための人材集めが困難である	交流・連携していくにあたって地域住民と意見の相違がある	無回答
全 体	376	57.4	10.4	28.7	6.6	56.1	9.8	23.1	3.2	2.7
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	49.3	11.6	31.9	11.6	62.3	10.1	29.0	1.4	1.4
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	69.2	7.7	30.8	7.7	61.5	3.8	19.2	3.8	2.6
障害福祉サービス事業所	170	62.4	14.1	30.0	6.5	47.1	11.2	24.7	3.5	0.6
保育所・幼保連携型認定こども園	51	37.3	2.0	19.6	—	64.7	9.8	17.6	3.9	11.8
幼稚園	8	37.5	—	12.5	—	87.5	37.5	12.5	—	—

問 15 貴事業所が地域の諸団体や関係機関と交流・連携しながら取り組んでも良いと考えるものは何ですか。【3つまで〇印】

「災害時における相互協力」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「施設見学会などによる事業内容の紹介」の割合が 30.3%、「介護等の支援を必要とする人の早期発見のための情報共有」の割合が 27.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域に住む子どもの見守り活動」の割合が増加しています。一方、「施設見学会などによる事業内容の紹介」、「地域の障害者、高齢者、子どもと地域住民との交流を目的とした祭りやイベント」の割合が減少しています。



【事業分野別】

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）で「介護等の支援を必要とする人の早期発見のための情報共有」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	高齢者等の安否確認・見守り活動	地域に住む子どもの見守り活動	地域主催のサロンへの参加・協力	介護等の支援を必要とする人の早期発見のための情報共有	地域住民を対象とした勉強会・講座の開催	災害時における相互協力
全体	376	22.3	20.2	13.8	27.9	11.2	52.1
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	49.3	13.0	23.2	43.5	11.6	49.3
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	50.0	6.4	21.8	61.5	17.9	47.4
障害福祉サービス事業所	170	5.3	18.8	10.0	14.7	10.6	55.3
保育所・幼保連携型認定こども園	51	3.9	52.9	3.9	3.9	3.9	54.9
幼稚園	8	—	37.5	—	—	—	37.5

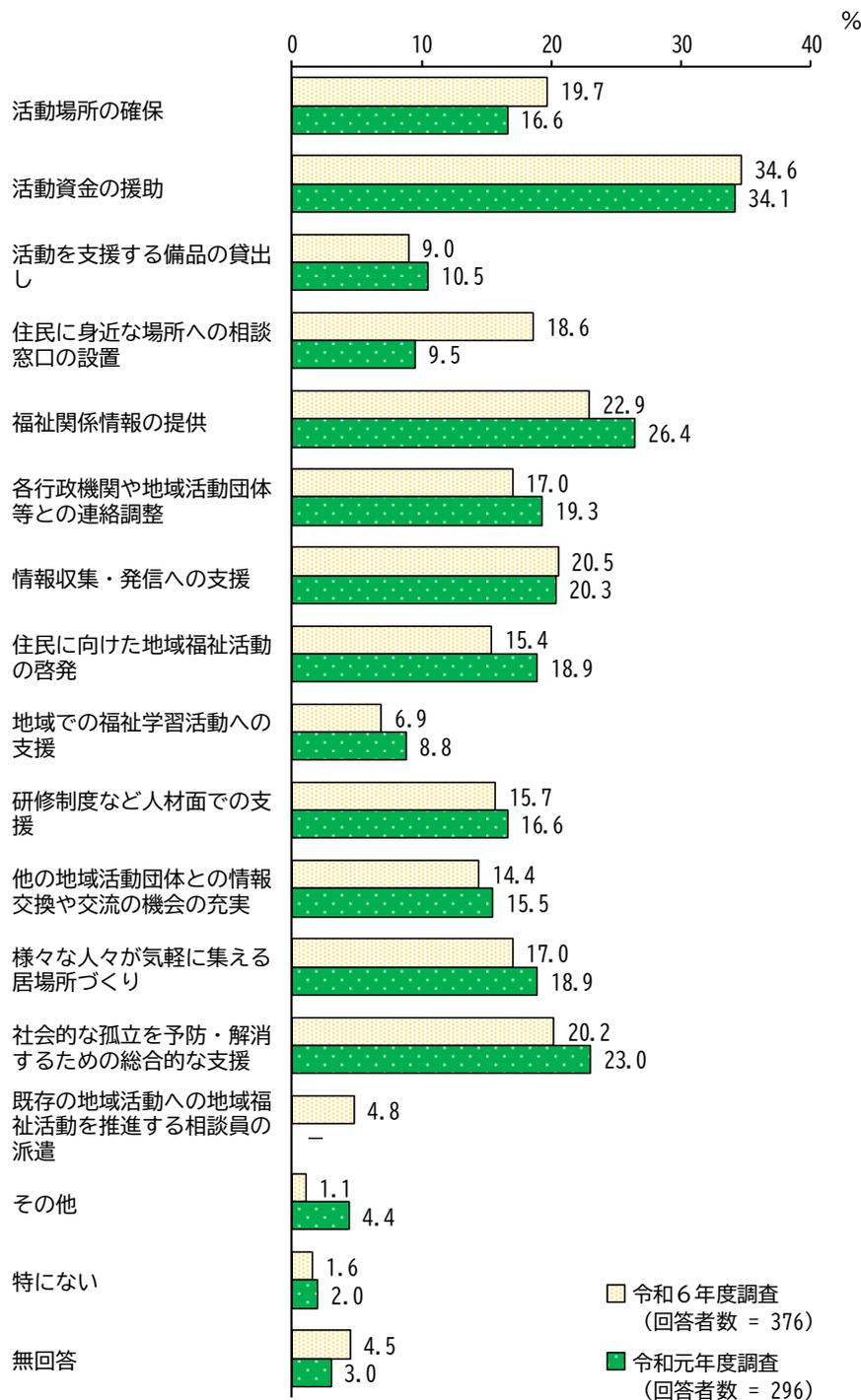
区分	地域主催の地域住民が抱える課題を受け止める相談会への参加	施設見学会などによる事業内容の紹介	地域の障害者、高齢者、子どもと地域住民との交流を目的とした祭りやイベント	地域住民と子どもが共同で行う体験学習などの取り組み	事業所のスペースや園庭の開放などの地域の子ども居場所づくり	その他	無回答
全体	5.9	30.3	25.0	9.6	13.3	1.3	1.6
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	7.2	20.3	10.1	2.9	8.7	1.4	2.9
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	6.4	24.4	11.5	—	5.1	—	1.3
障害福祉サービス事業所	7.1	37.6	42.9	10.6	9.4	1.2	1.2
保育所・幼保連携型認定こども園	—	31.4	2.0	25.5	37.3	3.9	2.0
幼稚園	—	12.5	50.0	37.5	62.5	—	—

#### (4) 今後の行政等による地域福祉施策について

問 17 地域住民が地域福祉活動を推進していくうえで、貴事業所が行政に期待することは何ですか。【3つまで〇印】

「活動資金の援助」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「福祉関係情報の提供」の割合が 22.9%、「情報収集・発信への支援」の割合が 20.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が増加しています。



※前回調査では、「既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣」の選択肢はありませんでした。

【運営形態別】

運営形態別にみると、学校法人で「活動資金の援助」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発
全体	376	19.7	34.6	9.0	18.6	22.9	17.0	20.5	15.4
社会福祉法人	114	14.9	40.4	5.3	15.8	24.6	21.9	15.8	16.7
会社(株式会社・有限会社等)	163	25.2	33.1	11.7	17.8	20.2	13.5	22.7	14.1
医療法人	24	16.7	16.7	8.3	33.3	20.8	20.8	12.5	12.5
学校法人	19	21.1	63.2	21.1	26.3	21.1	21.1	26.3	10.5
組合(生活協同組合・農業協同組合)	5	20.0	—	—	60.0	60.0	—	20.0	60.0
特定非営利活動法人(NPO法人)	31	9.7	29.0	6.5	22.6	19.4	12.9	16.1	6.5
その他	17	23.5	17.6	5.9	—	35.3	11.8	35.3	29.4

区分	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面で の支援	他の地域活動団体との 情報交換や交流の 機会の充実	様々な人々が気軽に 集える居場所づくり	社会的な孤立を予 防・解消するための 総合的な支援	既存の地域活動への 地域福祉活動を推進 する相談員の派遣	その他	特にな い	無回 答
全体	6.9	15.7	14.4	17.0	20.2	4.8	1.1	1.6	4.5
社会福祉法人	6.1	14.9	15.8	15.8	20.2	7.0	0.9	2.6	6.1
会社(株式会社・有限会社等)	9.2	18.4	12.9	19.0	19.6	1.2	1.2	0.6	4.3
医療法人	—	20.8	25.0	12.5	25.0	16.7	4.2	—	4.2
学校法人	—	10.5	—	15.8	5.3	15.8	—	—	—
組合(生活協同組合・農業協同組合)	—	20.0	—	40.0	—	—	—	—	—
特定非営利活動法人(NPO法人)	6.5	6.5	19.4	16.1	25.8	3.2	—	—	6.5
その他	5.9	11.8	17.6	11.8	35.3	—	—	11.8	—

【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「活動資金の援助」の割合が高くなっています。

単位：％

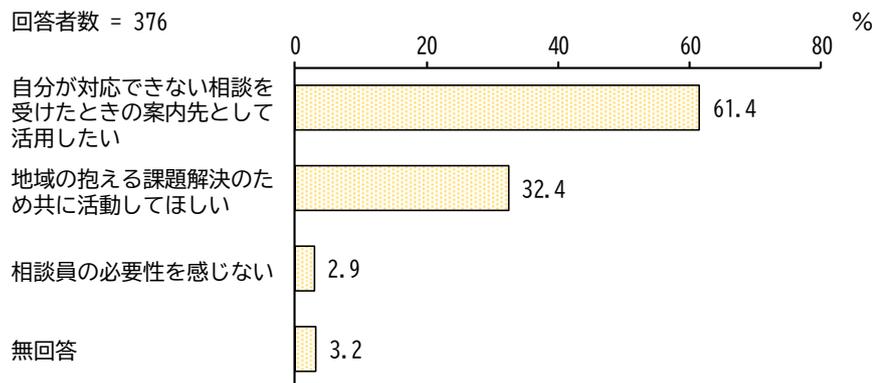
区分	回答者数(件)	活動場所の確保	活動資金の援助	活動を支援する備品の貸出し	住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発
全体	376	19.7	34.6	9.0	18.6	22.9	17.0	20.5	15.4
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	18.8	20.3	14.5	31.9	17.4	20.3	15.9	31.9
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	20.5	32.1	6.4	24.4	23.1	23.1	24.4	14.1
障害福祉サービス事業所	170	21.2	32.4	8.8	9.4	25.9	14.1	20.6	12.4
保育所・幼保連携型認定こども園	51	13.7	60.8	3.9	21.6	21.6	11.8	17.6	7.8
幼稚園	8	25.0	62.5	25.0	25.0	12.5	25.0	37.5	—

区分	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面で支援	他の地域活動団体との情報交換や交流の機会の充実	様々な人々が気軽に集える居場所づくり	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	既存の地域活動への地域福祉活動を推進する相談員の派遣	その他	特になし	無回答
全体	6.9	15.7	14.4	17.0	20.2	4.8	1.1	1.6	4.5
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	11.6	13.0	18.8	21.7	15.9	2.9	1.4	1.4	4.3
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	1.3	14.1	21.8	11.5	29.5	9.0	2.6	—	1.3
障害福祉サービス事業所	8.8	20.0	11.2	20.0	21.2	2.9	0.6	1.8	4.7
保育所・幼保連携型認定こども園	3.9	7.8	9.8	11.8	11.8	5.9	—	3.9	9.8
幼稚園	—	12.5	—	—	—	12.5	—	—	—

【新規】

問 18 地域において住民が抱える課題等について、相談先が見つからない（わからない）場合に、解決に向けて共に取り組み地域で支え合う仕組みを作っていく相談員（CSW）の存在についての貴事業所の考えに最も近いものをお答えください。  
【1つに○印】

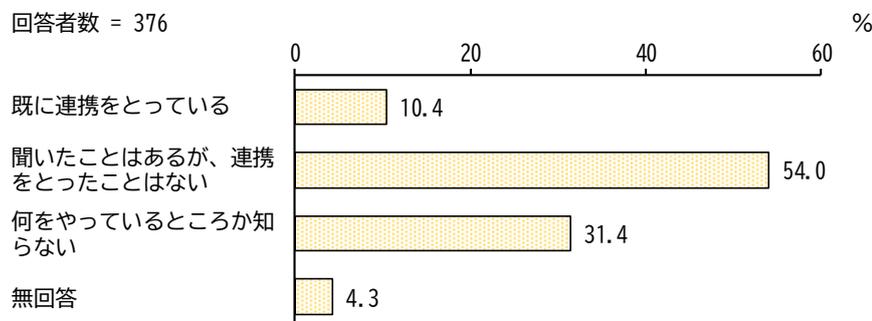
「自分に対応できない相談を受けたときの案内先として活用したい」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「地域の抱える課題解決のため共に活動してほしい」の割合が 32.4%となっています。



【新規】

問 19 介護と子育てなど複数課題を抱える家庭の問題解決のために関係機関との調整を図る多機関協働事業や、セルフネグレクトなど自ら SOS を発信出来ない家庭に関わり福祉支援に繋げるアウトリーチ事業を実施する福祉相談サポートセンターについて貴事業所の認識を伺います。【1つに○印】

「聞いたことはあるが、連携をとったことはない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「何をやっているところか知らない」の割合が 31.4%、「既に連携をとっている」の割合が 10.4%となっています。



【活動歴別】

活動歴別にみると、15～19年で「既に連携をとっている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	既に連携をとっている	聞いたことはあるが、連携をとったことはない	何をやっているところか知らない	無回答
全 体	376	10.4	54.0	31.4	4.3
0～4年	85	7.1	57.6	30.6	4.7
5～9年	70	1.4	60.0	38.6	—
10～14年	72	11.1	55.6	26.4	6.9
15～19年	41	22.0	48.8	29.3	—
20年以上	106	14.2	47.2	32.1	6.6

【事業分野別】

事業分野別にみると、介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）で「既に連携をとっている」の割合が高くなっています。

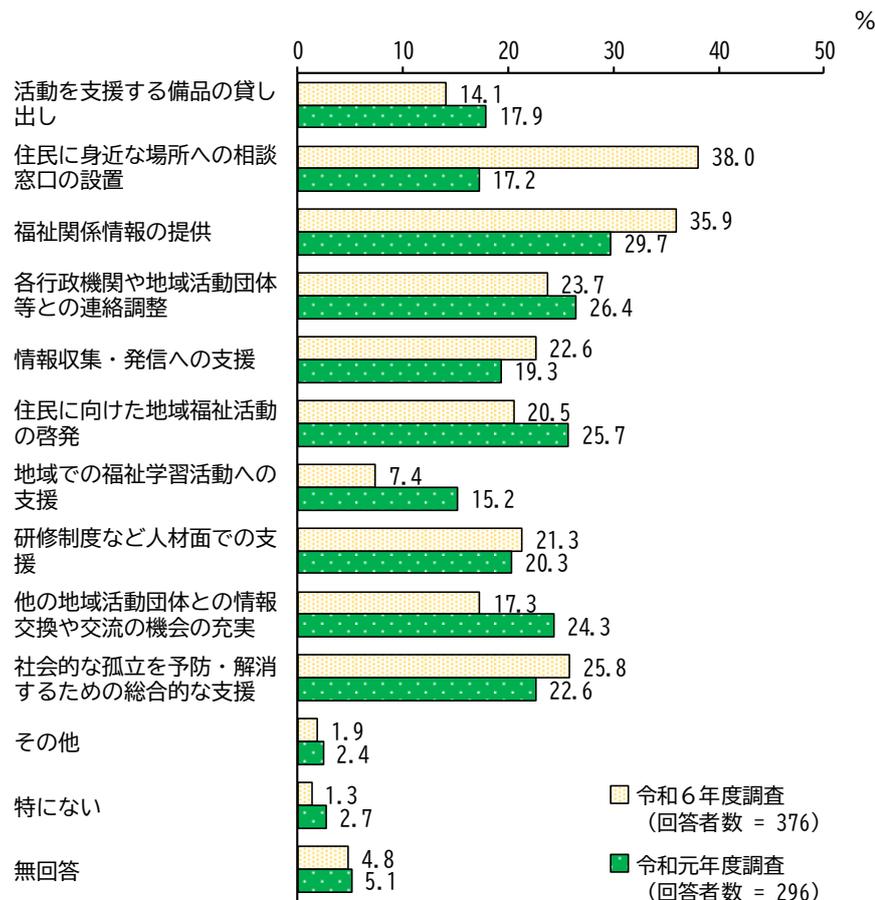
単位：％

区分	回答者数 (件)	既に連携をとっている	聞いたことはあるが、連携をとったことはない	何をやっているところか知らない	無回答
全 体	376	10.4	54.0	31.4	4.3
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所）	69	4.3	58.0	34.8	2.9
介護保険事業所（地域密着型サービス事業所を除く）	78	17.9	53.8	23.1	5.1
障害福祉サービス事業所	170	7.1	57.6	32.4	2.9
保育所・幼保連携型認定こども園	51	15.7	41.2	37.3	5.9
幼稚園	8	25.0	25.0	25.0	25.0

問 20 地域住民が地域福祉活動を推進していくうえで、貴事業所が社会福祉協議会に期待することは何ですか。【3つまで○印】

「住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「福祉関係情報の提供」の割合が 35.9%、「社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援」の割合が 25.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「住民に身近な場所への相談窓口の設置」、「福祉関係情報の提供」の割合が増加しています。一方、「住民に向けた地域福祉活動の啓発」、「地域での福祉学習活動への支援」、「他の地域活動団体との情報交換や交流の機会の充実」の割合が減少しています。



【運営形態別】

運営形態別にみると、学校法人で「住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	活動を支援する備品の貸し出し	住民に身近な場所への相談窓口の設置	福祉関係情報の提供	各行政機関や地域活動団体等との連絡調整	情報収集・発信への支援	住民に向けた地域福祉活動の啓発
全体	376	14.1	38.0	35.9	23.7	22.6	20.5
社会福祉法人	114	8.8	39.5	28.1	29.8	21.9	28.1
会社(株式会社・有限会社等)	163	17.8	34.4	36.8	17.8	22.7	16.0
医療法人	24	20.8	50.0	50.0	33.3	16.7	20.8
学校法人	19	10.5	63.2	31.6	15.8	21.1	15.8
組合(生活協同組合・農業協同組合)	5	—	20.0	80.0	60.0	20.0	20.0
特定非営利活動法人(NPO法人)	31	16.1	35.5	22.6	12.9	25.8	9.7
その他	17	5.9	29.4	76.5	41.2	29.4	41.2

区分	地域での福祉学習活動への支援	研修制度など人材面での支援	他の地域活動団体との情報交換や交流の機会の充実	社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	その他	特になし	無回答
全体	7.4	21.3	17.3	25.8	1.9	1.3	4.8
社会福祉法人	7.9	16.7	11.4	25.4	3.5	2.6	6.1
会社(株式会社・有限会社等)	8.6	27.0	20.2	27.0	1.8	0.6	3.7
医療法人	—	25.0	25.0	37.5	—	—	4.2
学校法人	—	15.8	5.3	5.3	—	5.3	10.5
組合(生活協同組合・農業協同組合)	40.0	—	40.0	20.0	—	—	—
特定非営利活動法人(NPO法人)	6.5	16.1	25.8	32.3	—	—	6.5
その他	5.9	17.6	5.9	17.6	—	—	—

【事業分野別】

事業分野別にみると、保育所・幼保連携型認定こども園で「住民に身近な場所への相談窓口の設置」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	活動を支援する備 品の貸し出し	住民に身近な場所 への相談窓口の設 置	福祉関係情報の提 供	各行政機関や地域 活動団体等との連 絡調整	情報収集・発信への 支援	住民に向けた地域 福祉活動の啓発
全 体	376	14.1	38.0	35.9	23.7	22.6	20.5
介護保険事業所（地域密着型サー ビス事業所）	69	15.9	39.1	46.4	29.0	21.7	23.2
介護保険事業所（地域密着型サー ビス事業所を除く）	78	14.1	38.5	39.7	30.8	24.4	19.2
障害福祉サービス事業所	170	15.3	32.4	31.8	16.5	21.2	22.4
保育所・幼保連携型認定こども園	51	7.8	54.9	29.4	31.4	25.5	15.7
幼稚園	8	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	—

区分	地域での福祉学習 活動への支援	研修制度など人材 面での支援	他の地域活動団体 との情報交換や交 流の機会の充実	社会的な孤立を予 防・解消するための 総合的な支援	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	7.4	21.3	17.3	25.8	1.9	1.3	4.8
介護保険事業所（地域密着型サー ビス事業所）	14.5	23.2	21.7	21.7	2.9	—	1.4
介護保険事業所（地域密着型サー ビス事業所を除く）	5.1	15.4	24.4	33.3	—	—	6.4
障害福祉サービス事業所	7.1	25.3	17.6	28.8	2.4	1.8	3.5
保育所・幼保連携型認定こども園	3.9	17.6	2.0	13.7	2.0	2.0	7.8
幼稚園	—	—	—	—	—	12.5	25.0

## (5) 自由回答

今後、住みよい福祉のまちづくりを進めていくために、地域福祉に関するご意見やアイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。

カテゴリー	件数
1 事業所について	6
・事業所についての周知啓発が必要	1
・本来業務で忙しく、業務外のことに手が回らない	3
・サービスに対する正当な対価が必要	1
・活動資金不足のため地域福祉活動や人材確保ができない	1
2 地域の諸団体や関係機関との交流・連携について	12
・施設へボランティアとしてきてほしい	1
・地域の商店と連携した住民同士の交流活動を実施してほしい	1
・地域で自治会等が持っている情報を集める取組みをしてほしい	1
・地域での交流により事業所の活動を周知したい	1
・地域との連携を進めていきたい	5
・地域と連携するための場がほしい	2
・地域と交流するための支援をしてほしい	1
3 今後の行政等による地域福祉施策について	32
・福祉に関する教育・啓発を進めてほしい	2
・福祉に関する情報提供を進めてほしい	5
・地域における福祉活動の主体を周知してほしい	1
・円滑な情報共有のための取組みを検討してほしい	1
・地域の人が集まれる居場所づくりをしてほしい	3
・地域課題を把握し新たな体制整備、活動を進めてほしい	1
・地域活動の支援をしてほしい	1
・福祉人材の確保・育成の支援をしてほしい	2
・地域と事業所をつなぐ担い手がほしい	2
・行政職員に実務経験・問題意識のある人材がいてほしい	1
・行政制度の見直しを進めてほしい	7
・行政が困難事例に積極的にかかわってほしい	1
・災害時の対応について周知してほしい	1
・災害対応として普段から地域との連携が大切である	1
・災害に備えた体制を充実させてほしい	1
・事業所が継続していくための支援をしてほしい	1
・新都市の「あんきにしんしろサポート事業」のような事業を実施してほしい	1
4 その他	4
・利用者でもできる活動があるか知りたい	1
・警察の協力による見守り体制の強化をしてほしい	1

カテゴリー	件数
・できることがあれば協力していきたい	1
・なにをしたらよいかわからない	1

豊橋市  
第5期豊橋市地域福祉計画市民意識調査

発行年日：令和7年2月

発行：豊橋市 福祉部 福祉政策課

〒440-8501

愛知県豊橋市今橋町1番地

電話：0532-51-2355